

令和4年度 予算の概況

藤 沢 市

目 次

1	藤沢市の概要	2
2	予算の概要	2
	(1) 会計別総括	2
	(2) 予算規模推移（一般会計）	4
3	歳入の状況（一般会計）	6
	(1) 歳入の内訳	6
	(2) 市税の状況	8
	(3) 他市との人口一人当たり比較	10
4	歳出の状況（一般会計）	12
	(1) 性質別歳出の状況	12
	ア 性質別歳出	12
	イ 性質別歳出の目的別内訳	14
	(2) 充当財源の内訳とその割合	16
	ア 目的別歳出からみた割合	16
	イ 性質別歳出からみた割合	17
	(3) 他市との人口一人当たり比較	18
	(4) 消費税率引上げによる増収分（地方消費税交付金）が充てられる社会保障 施策に要する経費	18
5	款別、節別集計（一般会計）	20
6	年度別予算規模の状況（一般会計・特別会計）	22
7	年度別市債借入・償還及び残高の状況（一般会計・特別会計）	23
8	特別会計の状況	26
9	市政運営の総合指針2024体系別「予算の概況」掲載事業一覧	36
10	主要な施策の概要	40
	(1) 議会費	40
	(2) 総務費	41
	(3) 環境保全費	89
	(4) 民生費	102
	(5) 衛生費	160
	(6) 労働費	178
	(7) 農林水産業費	182
	(8) 商工費	193
	(9) 土木費	204
	(10) 消防費	229
	(11) 教育費	234
	(12) 特別会計	275

※1 主要な施策の概要における事業費及び財源内訳欄の単位は千円

※2 主要な施策の概要における将来にわたる費用において記載した金額は、
見込額であり、当該年度の実際の予算額とは異なる場合がある。

1 藤沢市の概要

人 口			面 積	内 訳				人口密度
				年	田 畑	宅 地	そ の 他	
国 調 推 計	R2. 10. 1	436,905 人	km ² 69.56	R 3	10.66 km ²	33.29 km ²	25.61 km ²	人/km ² 6,281
	H27. 10. 1	423,894		R 2	10.73 km ²	33.18 km ²	25.65 km ²	
	R4. 1. 1	441,708		差引面積	km ²	km ²	km ²	
	R3. 1. 1	437,998			△ 0.07	0.11	△ 0.04	

※令和4年1月1日現在

2 予算の概要

(1) 会計別総括

会 計 区 分		令 和 4 年 度				
		予 算 額	歳 入		歳 出	
			経常的収入	臨時的収入	経常的支出	
一 般 会 計		161,366,000	131,616,652	29,749,348	133,188,185	
特 別 会 計	北部第二(三地区)土地区画整理事業費	2,732,390		2,732,390		
	墓 園 事 業 費	600,117	419,115	181,002	348,084	
	国 民 健 康 保 険 事 業 費	38,663,961	35,575,561	3,088,400	38,633,661	
	湘 南 台 駐 車 場 事 業 費	0				
	介 護 保 険 事 業 費	31,816,763	31,296,851	519,912	31,813,563	
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 費	7,014,271	6,979,488	34,783	7,012,271	
	小 計	80,827,502	74,271,015	6,556,487	77,807,579	
	公 営 企 業 会 計	下 水 道 事 業 費	19,857,442	16,464,982	3,392,460	16,068,563
	市 民 病 院 事 業	24,084,899	23,666,911	417,988	23,366,500	
	小 計	43,942,341	40,131,893	3,810,448	39,435,063	
計	124,769,843	114,402,908	10,366,935	117,242,642		
合 計		a 286,135,843	246,019,560	40,116,283	250,430,827	

$$\text{純計予算額} = a - b = \underline{\underline{269,377,077}}$$

産 業 構 造						財 政 力 指 数		職 員 数	
区 分			第 1 次	第 2 次	第 3 次	年 度	指 数	年 度	職 員 定 数
就 業 人 口	人 口	H	人	人	人	R 3	1.012	R 3	3,672 人
		27.10.1	2,059	43,451	137,037	R 2	1.087	R 2	3,652
	割 合		%	%	%	R 元	1.092	R 元	3,543
			1.1	23.8	75.1	H 30	1.062	H 30	3,514

※条例定数 3,729 人

(単位 千円)

出	純 計		令 和 3 年 度 予 算 額		前 年 度 対 比	
	他 会 計 受 入	他 会 計 支 出	当 初 予 算 額	最 終 予 算 見 込 額	%	
					当 初	最 終
臨時的支出						
28,177,815		16,758,766	156,268,000	182,920,498	103.3	88.2
2,732,390	1,516,940		2,570,821	2,514,341	106.3	108.7
252,033			630,355	606,526	95.2	98.9
30,300	3,072,571		38,061,874	38,374,079	101.6	100.8
			26,243	26,243	0.0	0.0
3,200	5,078,399		30,339,205	31,597,704	104.9	100.7
2,000	868,602		6,577,432	6,660,326	106.6	105.3
3,019,923	10,536,512		78,205,930	79,779,219	103.4	101.3
3,788,879	4,458,107		19,937,416	19,265,023	99.6	103.1
718,399	1,764,147		23,370,646	23,645,070	103.1	101.9
4,507,278	6,222,254		43,308,062	42,910,093	101.5	102.4
7,527,201	16,758,766		121,513,992	122,689,312	102.7	101.7
	b					
35,705,016	16,758,766	16,758,766	277,781,992	305,609,810	103.0	93.6

(2) 予算規模推移 (一般会計)

区 分		平成30年度	令和元年度	
当 初 予 算	予算規模	予 算 総 額	138,553,000	149,022,000
		前年度当初予算対比	90.7	107.6
		前年度最終予算対比	89.1	102.4
	うち市税	市 税 総 額	79,203,700	81,822,000
		前年度当初予算対比	99.3	103.3
		前年度最終予算対比	99.3	101.4
最 終 予 算	予算規模	予 算 総 額	145,554,497	157,112,237
		同年度当初予算対比	105.1	105.4
		前年度最終予算対比	93.6	107.9
	うち市税	市 税 総 額	80,723,800	82,399,200
		同年度当初予算対比	101.9	100.7
		前年度最終予算対比	101.2	102.1

(注) 令和3年度の最終予算は見込み

(単位 千円：%)

令和2年度	令和3年度	令和4年度
148,056,000	156,268,000	161,366,000
99.4	105.5	103.3
94.2	74.4	88.2
81,873,000	77,879,000	81,106,000
100.1	95.1	104.1
99.4	95.1	100.5
209,999,402	182,920,498	—
141.8	117.1	
133.7	87.1	
81,893,000	80,669,000	
100.0	103.6	
99.4	98.5	

3 歳入の状況（一般会計）

（1）歳入の内訳

区 分		令 和 4 年		
		予 算 額	内 訳（1）	
			経常的収入	臨時的収入
自 主 財 源	市 税	81,106,000	75,031,000	6,075,000
	分 担 金 及 び 負 担 金	1,099,390	1,087,755	11,635
	使 用 料 及 び 手 数 料	3,574,085	3,413,623	160,462
	財 産 収 入	1,193,954	140,285	1,053,669
	寄 付 金	484,574		484,574
	繰 入 金	5,551,610		5,551,610
	繰 越 金	2,000,000		2,000,000
	諸 収 入	3,619,966	3,211,303	408,663
	計	98,629,579	82,883,966	15,745,613
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	828,961	828,961	
	利 子 割 交 付 金	39,000	39,000	
	配 当 割 交 付 金	429,000	429,000	
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	653,000	653,000	
	法 人 事 業 税 交 付 金	550,000	550,000	
	地 方 消 費 税 交 付 金	10,250,000	10,250,000	
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	14,000	14,000	
	環 境 性 能 割 交 付 金	216,000	216,000	
	地 方 特 例 交 付 金	575,000	575,000	
	地 方 交 付 税	10,000		10,000
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	54,000	54,000	
	国 庫 支 出 金	29,192,395	25,087,247	4,105,148
	県 支 出 金	10,920,365	10,036,478	883,887
	市 債	9,004,700		9,004,700
計	62,736,421	48,732,686	14,003,735	
合 計	161,366,000	131,616,652	29,749,348	
（ ）内は構成比 %	(100.0)	(81.6)	(18.4)	

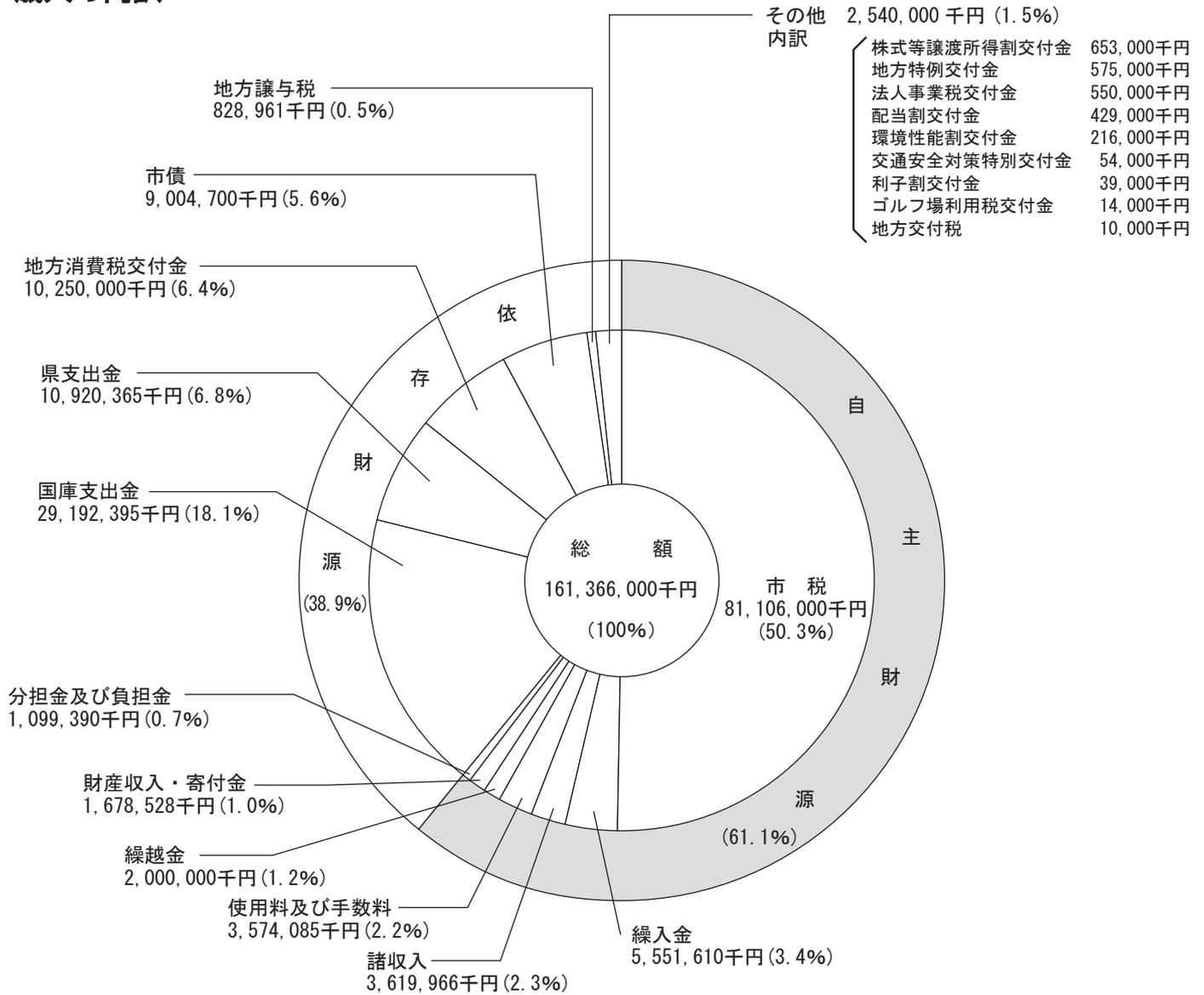
(単位 千円)

度		令和3年度		前年度	
内 訳 (2)		構 成 比	当初予算額	構 成 比	対 比
一般財源	特定財源	%		%	%
81,106,000		50.3	77,879,000	49.8	104.1
	1,099,390	0.7	1,093,048	0.7	100.6
353,506	3,220,579	2.2	3,576,666	2.3	99.9
1,157,872	36,082	0.7	1,308,040	0.8	91.3
374,160	110,414	0.3	453,891	0.3	106.8
3,000,000	2,551,610	3.4	7,682,111	4.9	72.3
2,000,000		1.2	2,000,000	1.3	100.0
284,005	3,335,961	2.3	3,883,522	2.5	93.2
88,275,543	10,354,036	61.1	97,876,278	62.6	100.8
828,961		0.5	731,288	0.5	113.4
39,000		0.0	50,000	0.0	78.0
429,000		0.3	394,000	0.2	108.9
653,000		0.4	441,000	0.3	148.1
550,000		0.3	422,000	0.3	130.3
10,250,000		6.4	8,600,000	5.5	119.2
14,000		0.0	15,000	0.0	93.3
216,000		0.1	102,000	0.1	211.8
575,000		0.4	869,000	0.6	66.2
10,000		0.0	10,000	0.0	100.0
54,000		0.0	54,000	0.0	100.0
	29,192,395	18.1	28,370,907	18.2	102.9
	10,920,365	6.8	10,373,827	6.6	105.3
	9,004,700	5.6	7,958,700	5.1	113.1
13,618,961	49,117,460	38.9	58,391,722	37.4	107.4
101,894,504 (63.1)	59,471,496 (36.9)	100.0	156,268,000 (100.0)	100.0	103.3

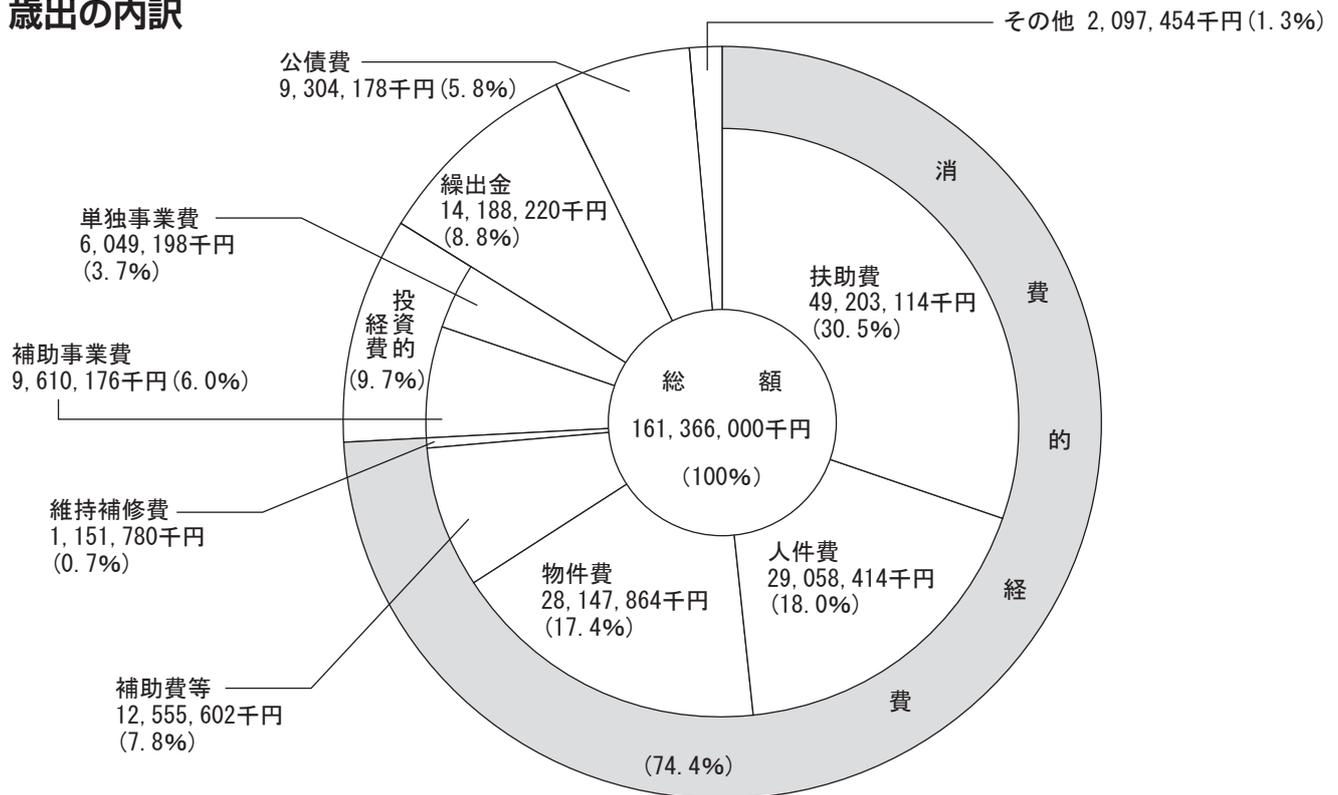
(2) 市税の状況

区 分		予 算 額 (千円)	構 成 比 (%)		前年度比 (%)	人口一人当 たり額 (円)
			税目内	税目間		
市民税	総 額	37,000,000	100.0	45.6	108.2	83,766
	内 個人	33,555,900	90.7		106.2	
	内 法人	3,444,100	9.3		131.8	
固定資産税	総 額	32,600,600	100.0	40.2	101.0	73,806
	内 土地・家屋	28,056,700	86.1		101.1	
	内 償却資産	4,423,100	13.6		100.0	
	内 交付金	120,800	0.3		122.0	
その他の税	総 額	11,505,400	100.0	14.2	100.9	26,047
	内 軽自動車税	565,000	4.9		102.3	
	内 市たばこ税	2,412,800	21.0		100.6	
	内 特別土地保有税	1,000	0.0		90.9	
	内 入湯税	7,900	0.1		89.8	
	内 事業所税	2,443,700	21.2		100.4	
	内 都市計画税	6,075,000	52.8		101.0	
市 税		81,106,000	100.0		104.1	183,619

歳入の内訳



歳出の内訳



(3) 他市との人口一人当たり比較

区 分		藤 沢 市			平
		人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額
人 口 (令 4.1.1)		441,708	-	100.8	257,631
自 主 財 源	市 税	183,619	50.3	103.3	165,834
	分 担 金 及 び 負 担 金	2,489	0.7	99.7	2,054
	使 用 料 及 び 手 数 料	8,092	2.2	99.1	6,422
	財 産 収 入	2,703	0.7	90.5	539
	寄 付 金	1,097	0.3	105.9	278
	繰 入 金	12,568	3.4	71.7	8,946
	繰 越 金	4,528	1.2	99.2	5,046
	諸 収 入	8,195	2.3	92.4	16,095
	計	223,291	61.1	99.9	205,214
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	1,877	0.5	112.4	2,019
	利 子 割 交 付 金	88	0.0	77.2	78
	配 当 割 交 付 金	971	0.3	108.0	738
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,479	0.4	146.9	854
	法 人 事 業 税 交 付 金	1,245	0.3	129.3	1,553
	地 方 消 費 税 交 付 金	23,205	6.4	118.2	22,008
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	32	0.0	94.1	116
	環 境 性 能 割 交 付 金	489	0.1	209.9	543
	地 方 特 例 交 付 金	1,302	0.4	65.6	1,009
	地 方 交 付 税	23	0.0	100.0	6,444
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	122	0.0	99.2	116
	国 庫 支 出 金	66,090	18.1	102.0	64,996
	県 支 出 金	24,723	6.8	104.4	25,085
	市 債	20,386	5.6	112.2	11,150
計	142,032	38.9	106.5	136,709	
合 計		365,323	100.0	102.4	341,923
比 較		100.0			93.6

※人口については、令和2年国勢調査を基準とした推計人口としています。

(単位 円)

塚 市		茅ヶ崎市			鎌倉市		
構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%
-	100.1	243,835	-	100.5	172,698	-	99.9
48.5	106.1	149,819	47.7	107.5	203,226	52.3	105.9
0.6	97.1	2,714	0.9	99.8	2,001	0.5	105.6
1.9	102.8	5,730	1.8	134.4	6,911	1.8	99.8
0.1	101.3	665	0.2	105.4	3,601	0.9	142.1
0.1	190.4	619	0.2	111.9	10,534	2.7	150.1
2.6	72.1	2,516	0.8	61.2	23,688	6.1	99.4
1.5	99.9	3,076	1.0	99.5	3,474	0.9	100.1
4.7	121.1	14,867	4.7	123.1	7,194	1.8	139.7
60.0	104.6	180,006	57.3	107.9	260,629	67.0	107.4
0.6	130.2	1,686	0.5	114.5	1,833	0.5	109.6
0.0	66.7	74	0.0	105.7	116	0.0	87.2
0.2	86.3	935	0.3	116.9	1,251	0.3	281.1
0.3	73.3	1,001	0.3	142.8	1,332	0.4	209.4
0.5	159.9	1,111	0.4	126.5	1,165	0.3	125.4
6.4	109.2	20,637	6.6	111.4	22,253	5.7	98.3
0.0	74.8	205	0.1	142.4	133	0.0	100.0
0.2	60.7	459	0.1	166.3	318	0.1	63.2
0.3	36.2	1,206	0.4	50.1	869	0.2	35.0
1.9	144.2	14,087	4.5	172.5	191	0.1	113.7
0.0	99.1	103	0.0	113.2	122	0.0	105.2
19.0	106.8	55,629	17.7	104.7	53,461	13.8	115.8
7.3	103.8	25,009	8.0	105.1	24,485	6.3	108.0
3.3	30.8	11,794	3.8	50.0	20,729	5.3	156.9
40.0	88.5	133,936	42.7	99.9	128,258	33.0	114.6
100.0	97.5	313,942	100.0	104.3	388,887	100.0	109.7
		85.9			106.5		

4 歳出の状況（一般会計）

（1）性質別歳出の状況

ア 性質別歳出

区 分		令 和 4 年 度			
		予 算 額	内 訳		構 成 比 %
			経 常 的 経 費	臨 時 的 経 費	
消 費 的 経 費	人 件 費	29,058,414	28,860,291	198,123	18.0
	物 件 費	28,147,864	21,926,298	6,221,566	17.4
	維 持 補 修 費	1,151,780	1,151,780		0.7
	扶 助 費	49,203,114	49,053,137	149,977	30.5
	補 助 費 等	12,555,602	9,029,695	3,525,907	7.8
	計	120,116,774	110,021,201	10,095,573	74.4
投 資 的 経 費	補 助 事 業 費	9,610,176		9,610,176	6.0
	単 独 事 業 費	6,049,198		6,049,198	3.7
	計	15,659,374		15,659,374	9.7
公 債 費		9,304,178	9,304,178		5.8
繰 出 金		14,188,220	12,671,280	1,516,940	8.8
そ の 他		2,097,454	1,191,526	905,928	1.3
合 計		161,366,000	133,188,185	28,177,815	100.0

(単位 千円)

令和3年度		前年度
当初予算額	構成比	対比
	%	%
28,689,283	18.4	101.3
26,273,470	16.8	107.1
1,110,216	0.7	103.7
48,172,053	30.8	102.1
12,020,927	7.7	104.4
116,265,949	74.4	103.3
9,782,547	6.3	98.2
5,311,876	3.4	113.9
15,094,423	9.7	103.7
9,146,123	5.9	101.7
13,500,105	8.6	105.1
2,261,400	1.4	92.8
156,268,000	100.0	103.3

イ 性質別歳出の目的別内訳

目的別	消費的経費					
	人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	計
議会費	586,237	60,188			47,740	694,165
総務費	7,583,524	6,130,699	77,136	234,550	1,023,862	15,049,771
環境保全費	461,526	477,343	22,316		218,295	1,179,480
民生費	5,147,662	2,740,283	38,920	48,626,631	2,609,095	59,162,591
衛生費	3,479,201	8,182,880	141,817	92,057	2,795,386	14,691,341
労働費	73,536	34,337			31,602	139,475
農林水産業費	213,604	27,146	22,996		101,846	365,592
商工費	187,315	399,218	16,020		478,168	1,080,721
土木費	2,216,764	2,595,882	580,997		4,567,902	9,961,545
消防費	4,716,895	1,035,737	12,856		96,793	5,862,281
教育費	4,392,150	6,463,592	238,722	249,876	584,913	11,929,253
公債費		559				559
予備費						
合計	29,058,414	28,147,864	1,151,780	49,203,114	12,555,602	120,116,774
構成比%	18.0	17.4	0.7	30.5	7.8	74.4

(単位 千円)

投資的経費			公債費	繰出金	その他	合計
補助事業費	単独事業費	計				
						694,165
76,264	389,731	465,995			7,755	15,523,521
224,856	200,836	425,692			142,587	1,747,759
24,460	242,497	266,957		12,671,280	50,168	72,150,996
3,918,123	2,079,488	5,997,611			689,694	21,378,646
					280,000	419,475
54,842	24,924	79,766				445,358
	8,298	8,298			671,000	1,760,019
2,719,926	2,456,809	5,176,735		1,516,940	110,526	16,765,746
180,758	34,335	215,093				6,077,374
2,410,947	612,280	3,023,227			45,724	14,998,204
			9,304,178			9,304,737
					100,000	100,000
9,610,176	6,049,198	15,659,374	9,304,178	14,188,220	2,097,454	161,366,000
6.0	3.7	9.7	5.8	8.8	1.3	100.0

(2) 充当財源の内訳とその割合

ア 目的別歳出からみた割合

(単位 千円)

区 分	国庫支出金	県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	一般財源 構成比 %
議 会 費					694,165 (100.0)	0.7
総 務 費	335,731 (2.2)	1,145,925 (7.4)	142,600 (0.9)	390,763 (2.5)	13,508,502 (87.0)	13.3
環 境 保 全 費	79,950 (4.6)	29,752 (1.7)	146,800 (8.4)	278,505 (15.9)	1,212,752 (69.4)	1.2
民 生 費	25,246,585 (35.0)	9,487,801 (13.1)	80,000 (0.1)	1,799,780 (2.5)	35,536,830 (49.3)	34.9
衛 生 費	1,466,369 (6.9)	75,516 (0.4)	3,791,200 (17.7)	4,153,003 (19.4)	11,892,558 (55.6)	11.7
労 働 費	1,827 (0.4)	1,043 (0.2)		280,000 (66.8)	136,605 (32.6)	0.1
農林水産業費		52,467 (11.8)	15,900 (3.6)	27,880 (6.2)	349,111 (78.4)	0.3
商 工 費		24,500 (1.4)	72,200 (4.1)	953,891 (54.2)	709,428 (40.3)	0.7
土 木 費	871,128 (5.2)	66,266 (0.4)	2,654,500 (15.8)	754,021 (4.5)	12,419,831 (74.1)	12.2
消 防 費	37,554 (0.6)	26,227 (0.4)	791,200 (13.0)	39,890 (0.7)	5,182,503 (85.3)	5.1
教 育 費	1,153,251 (7.7)	10,868 (0.1)	1,310,300 (8.7)	1,676,303 (11.2)	10,847,482 (72.3)	10.6
公 債 費					9,304,737 (100.0)	9.1
予 備 費					100,000 (100.0)	0.1
合 計	29,192,395 (18.1)	10,920,365 (6.8)	9,004,700 (5.6)	10,354,036 (6.4)	101,894,504 (63.1)	100.0

イ 性質別歳出からみた割合

(単位 千円)

区 分	国庫支出金	県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	一般財源 構成比 %	
消 費 的 経 費	人 件 費	130,429 (0.5)	735,493 (2.5)		93,783 (0.3)	28,098,709 (96.7)	27.6
	物 件 費	971,286 (3.4)	649,624 (2.3)	775,600 (2.8)	5,567,646 (19.8)	20,183,708 (71.7)	19.8
	維持補修費				65,767 (5.7)	1,086,013 (94.3)	1.1
	扶 助 費	24,138,083 (49.0)	7,439,675 (15.1)		1,406,672 (2.9)	16,218,684 (33.0)	15.9
	補 助 費 等	491,371 (3.9)	412,255 (3.3)		344,138 (2.7)	11,307,838 (90.1)	11.1
	計	25,731,169 (21.4)	9,237,047 (7.7)	775,600 (0.7)	7,478,006 (6.2)	76,894,952 (64.0)	75.5
投 資 的 経 費	補助事業費	2,962,877 (30.8)	62,485 (0.7)	5,388,800 (56.1)	725,182 (7.5)	470,832 (4.9)	0.4
	単独事業費		8,647 (0.1)	2,840,300 (47.0)	1,066,076 (17.6)	2,134,175 (35.3)	2.1
	計	2,962,877 (18.9)	71,132 (0.5)	8,229,100 (52.6)	1,791,258 (11.4)	2,605,007 (16.6)	2.5
公 債 費					9,304,178 (100.0)	9.1	
繰 出 金	498,349 (3.5)	1,612,186 (11.4)			12,077,685 (85.1)	11.9	
そ の 他				1,084,772 (51.7)	1,012,682 (48.3)	1.0	
合 計	29,192,395 (18.1)	10,920,365 (6.8)	9,004,700 (5.6)	10,354,036 (6.4)	101,894,504 (63.1)	100.0	

(3) 他市との人口一人当たり比較

区 分		藤 沢 市			平
		人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額
人 口 (令 4.1.1)		441,708	-	100.8	257,631
消 費 的 経 費	人 件 費	65,786	18.0	100.4	67,608
	物 件 費	63,725	17.4	106.2	55,015
	維 持 補 修 費	2,608	0.7	102.9	4,222
	扶 助 費	111,393	30.5	101.3	99,940
	補 助 費 等	28,425	7.8	103.6	38,179
	計	271,937	74.4	102.4	264,964
投 資 的 経 費	補 助 事 業 費	21,757	6.0	97.4	5,871
	単 独 事 業 費	13,695	3.7	112.9	12,748
	計	35,452	9.7	102.9	18,619
公 債 費		21,064	5.8	100.9	24,640
繰 出 金		32,121	8.8	104.2	24,677
そ の 他		4,749	1.3	92.0	9,023
合 計		365,323	100.0	102.4	341,923

※人口については、令和2年国勢調査を基準とした推計人口としています。

(4) 消費税率引上げによる増収分（地方消費税交付金）が充てられる社会保障施策に要する経費

区 分	(単位：千円)	
(歳入)	令和4年度予算額	
地方消費税交付金（社会保障財源化分）	5,607,000	
(歳出)	事業費	一般財源
社会福祉費（障がい者福祉、国民健康保険等）	16,572,034	6,912,677
老人福祉費	10,230,828	9,274,978
児童福祉費	26,649,205	9,550,284
生活保護費	9,998,627	2,416,513
保健衛生費（各種予防接種、感染症対策等）	2,438,215	2,201,846
合計	65,888,909	30,356,298
※歳出の事業費・一般財源は、人件費、物件費等を除く金額		

(単位 円)

塚 市		茅ヶ崎市			鎌倉市		
構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%
-	100.1	243,835	-	100.5	172,698	-	99.9
19.8	101.0	64,462	20.5	105.4	77,289	19.9	96.5
16.1	110.5	48,852	15.6	111.3	86,108	22.1	114.3
1.2	127.4	1,946	0.6	173.6	3,513	0.9	132.8
29.2	102.1	80,895	25.8	99.3	83,282	21.4	104.1
11.2	97.9	38,541	12.3	97.4	17,740	4.6	123.1
77.5	103.1	234,696	74.8	103.3	267,932	68.9	106.1
1.7	77.1	4,344	1.4	104.8	21,026	5.4	338.5
3.8	39.8	9,802	3.1	103.2	11,395	2.9	98.9
5.5	47.0	14,146	4.5	103.7	32,421	8.3	182.8
7.2	106.6	24,108	7.7	110.8	23,571	6.1	100.8
7.2	106.3	29,608	9.4	103.2	57,895	14.9	103.9
2.6	117.2	11,384	3.6	118.4	7,068	1.8	134.3
100.0	97.5	313,942	100.0	104.3	388,887	100.0	109.7

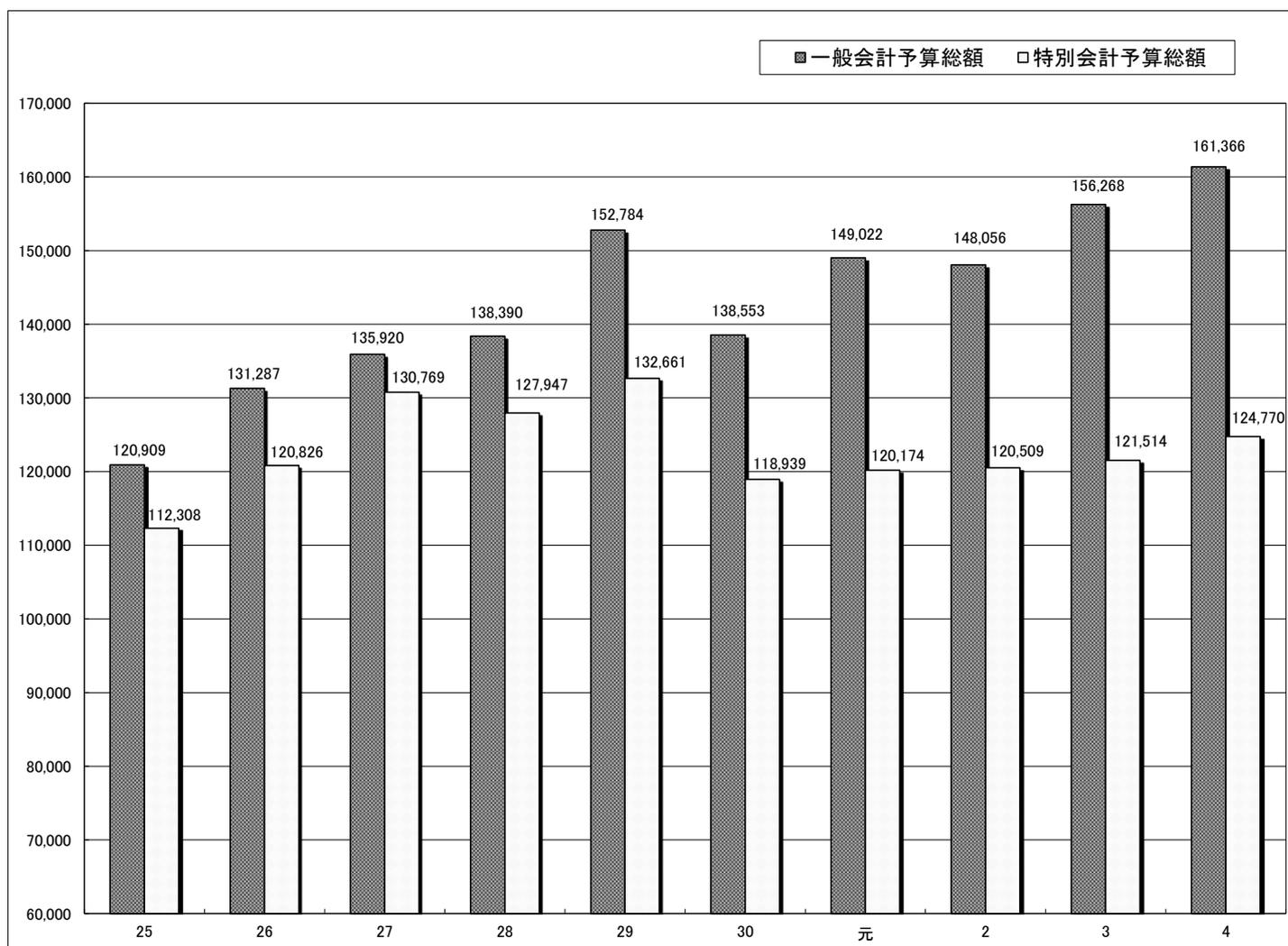
5 款別、節別集計（一般会計）

節	款	議会費	総務費	環境保全費	民生費	衛生費	労働費
1	報酬	255,408	633,550	32,044	773,155	103,844	22,601
2	給料	65,397	2,591,773	192,182	1,969,794	1,532,345	19,686
3	職員手当等	159,761	3,530,360	162,802	1,602,957	1,265,349	19,863
4	共済費	105,671	1,145,935	74,498	801,756	577,663	11,386
5	災害補償費		356				
6	恩給及び退職年金						
7	報償費	9,309	38,064	41,770	43,126	26,278	2,679
8	旅費	7,409	44,931	2,623	68,397	7,475	1,424
9	交際費	1,450	2,405			15	
10	需用費	8,711	885,336	66,320	304,010	1,273,288	1,365
	うち食糧費	198	1,732				
11	役務費	2,542	464,333	47,390	170,522	323,895	22
12	委託料	37,717	3,165,633	332,030	12,766,825	6,660,320	31,486
13	使用料及び賃借料	2,359	1,749,968	84,114	350,815	287,261	40
14	工事請負費		204,345	9,988	88,649	5,747,638	
15	原材料費		231	344	1,286	1,149	
16	公有財産購入費			352,318	128,870		
17	備品購入費		47,593	16,329	2,493	7,885	
18	負担金補助及び交付金	38,431	371,326	190,362	10,556,103	2,781,358	28,923
19	扶助費				33,452,491	92,057	
20	貸付金				30,000		280,000
21	補償補填及び賠償金		121			36	
22	償還金利子及び割引料		636,947				
23	投資及び出資金						
24	積立金		7,755	142,587	20,168	689,694	
25	寄付金						
26	公課費		2,559	58	7	1,096	
27	繰出金				9,019,572		
	予備費						
	計	694,165	15,523,521	1,747,759	72,150,996	21,378,646	419,475

(単位 千円)

農林水 産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	諸支出金 予備費	計
13,025	2,078	19,431	75,540	1,243,674			3,174,350
90,516	81,218	1,152,876	1,761,489	1,274,387			10,731,663
75,888	72,623	990,158	2,154,477	1,278,615			11,312,853
34,175	31,396	434,090	707,187	595,474			4,519,231
			2,088				2,444
							0
535	177	2,463	42,300	173,482			380,183
467	626	5,844	6,110	67,157	53		212,516
33				390			4,293
26,796	21,109	811,615	164,583	2,653,396	244		6,216,773
				337			2,267
10,527	9,871	125,614	27,860	160,517			1,343,093
21,935	311,071	2,521,156	820,684	2,977,260			29,646,117
570	566	530,207	37,105	1,376,641	162		4,419,808
32,252		2,745,195	10,593	1,668,589			10,507,249
		21,602		4,829			29,441
1,210		472,514		821,000			1,775,912
		10,083	200,220	40,480			325,083
123,851	558,284	5,116,746	64,380	366,036	100		20,195,900
				249,876			33,794,424
	671,000						981,000
13,578		109,630		18			123,383
		69,056		550	9,304,178		10,010,731
		110,526					110,526
				45,724			905,928
							0
			2,758	109			6,587
		1,516,940					10,536,512
						100,000	100,000
445,358	1,760,019	16,765,746	6,077,374	14,998,204	9,304,737	100,000	161,366,000

6 年度別予算規模の状況（一般会計・特別会計）

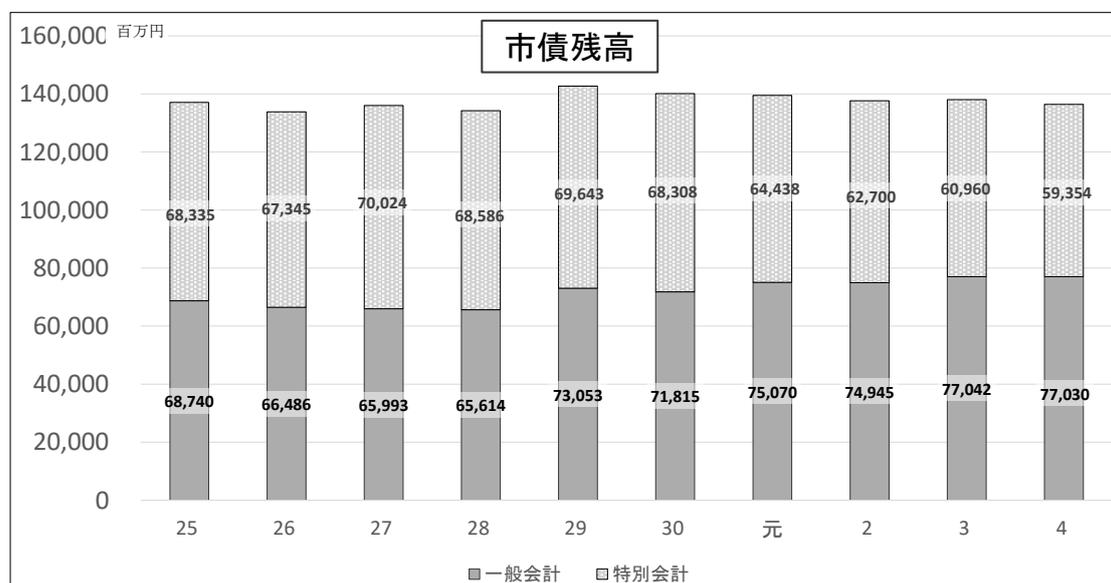
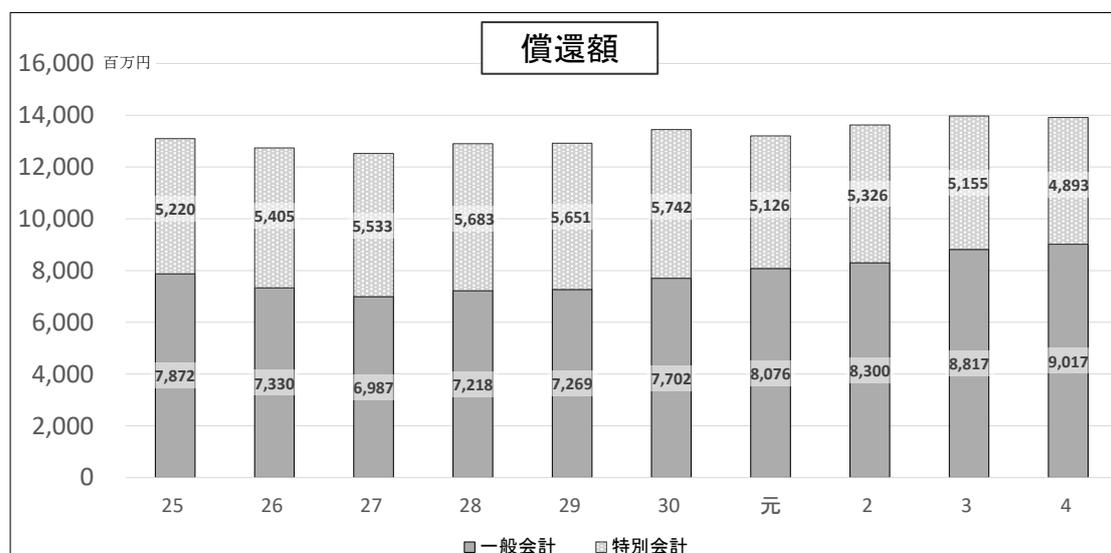
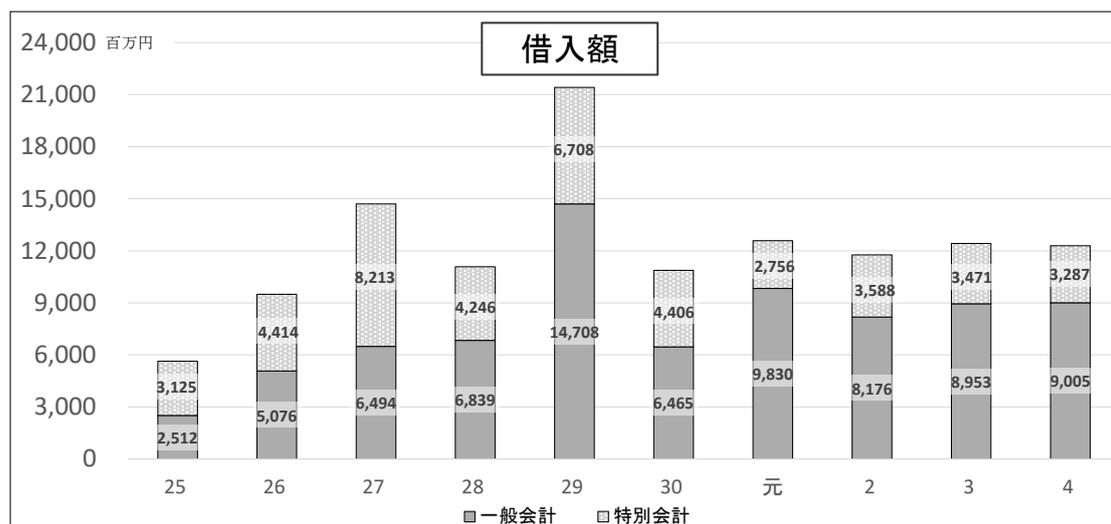


(単位 百万円)

年度	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
一般会計予算総額	120,909	131,287	135,920	138,390	152,784	138,553	149,022	148,056	156,268	161,366
特別会計予算総額	112,308	120,826	130,769	127,947	132,661	118,939	120,174	120,509	121,514	124,770

※特別会計については、下水道事業費、市民病院事業の公営企業会計を含む予算総額です。

7 年度別市債借入・償還及び残高の状況（一般会計・特別会計）



※ 令和2年度までは決算額、令和3年度は2月補正後予算額、令和4年度は当初予算額です。

※ 特別会計については、下水道事業費、市民病院事業の公営企業会計を含みます。

会計別市債借入・償還及び残高の状況

会計区分		令和2年度末 現在高	令和3年度末 現在高見込額	
一般会計		74,944,998	77,041,892	
特別 会計	北部第二(三地区) 土地区画整理事業費	4,547,931	4,501,863	
	湘南台駐車場事業費	25,924	—	
	小計	4,573,855	4,501,863	
	公営企業会計	下水道事業費	46,118,165	44,977,272
		市民病院事業	12,008,257	11,480,562
		小計	58,126,422	56,457,834
	計	62,700,277	60,959,697	
合計		137,645,275	138,001,589	

※ 湘南台駐車場事業費は令和3年度で償還完了見込。

※ 令和2年度までは決算額、令和3年度は2月補正後予算額、令和4年度は当初予算額です。

(単位：千円)

令和4年度		令和4年度末 現在高見込額
借入見込額	償還見込額	
9,004,700	9,016,627	77,029,965
549,400	414,006	4,637,257
—	—	—
549,400	414,006	4,637,257
2,487,800	3,802,030	43,663,042
249,900	676,494	11,053,968
2,737,700	4,478,524	54,717,010
3,287,100	4,892,530	59,354,267
12,291,800	13,909,157	136,384,232

8 特別会計の状況

(1) 北部第二（三地区）土地区画整理事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
国 庫 支 出 金	203,500	7.4	50.5
県 支 出 金	67,500	2.5	37.5
繰 入 金	1,516,940	55.5	114.9
諸 収 入	5,050	0.2	10,100.0
市 債	549,400	20.1	149.7
繰 越 金	150,000	5.5	67.9
保留地処分金収入	240,000	8.8	300.0
合 計	2,732,390	100.0	106.3

(2) 墓園事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
使用料及び手数料	408,064	68.0	98.6
財 産 収 入	258	0.0	112.7
繰 越 金	25,000	4.2	103.4
諸 収 入	11,051	1.8	99.7
繰 入 金	155,744	26.0	86.1
合 計	600,117	100.0	95.2

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
区画整理事業費	2,303,153	84.3	108.2
公 債 費	429,137	15.7	97.3
予 備 費	100	0.0	100.0
合 計	2,732,390	100.0	106.3

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
墓 園 管 理 費	340,939	56.8	104.3
墓 園 事 業 費	65,390	10.9	62.6
基 金 積 立 金	190,438	31.7	96.9
諸 支 出 金	2,850	0.5	150.0
予 備 費	500	0.1	100.0
合 計	600,117	100.0	95.2

(3) 国民健康保険事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
保 険 料	8,513,135	22.0	104.4
国 庫 支 出 金	1,000	0.0	100.0
県 支 出 金	26,463,203	68.4	100.8
財 産 収 入	300	0.0	100.0
繰 入 金	3,357,473	8.7	100.9
諸 収 入	28,850	0.1	97.0
繰 越 金	300,000	0.8	100.0
合 計	38,663,961	100.0	101.6

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
総 務 費	474,922	1.2	99.1
保 険 給 付 費	26,088,857	67.5	100.6
国民健康保険事業費 納 付 金	11,690,819	30.2	104.2
保 健 事 業 費	312,845	0.8	94.5
基 金 積 立 金	300	0.0	100.0
公 債 費	2,124	0.0	100.0
諸 支 出 金	64,094	0.2	97.5
予 備 費	30,000	0.1	100.0
合 計	38,663,961	100.0	101.6

(4) 介護保険事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
保 険 料	7,192,467	22.6	103.6
国 庫 支 出 金	6,830,702	21.5	105.0
支 払 基 金 交 付 金	8,200,292	25.8	105.0
県 支 出 金	4,444,192	14.0	104.7
財 産 収 入	200	0.0	20.0
繰 入 金	5,129,566	16.1	106.3
諸 収 入	19,144	0.0	173.2
繰 越 金	200	0.0	100.0
合 計	31,816,763	100.0	104.9

(5) 後期高齢者医療事業費

歳 入			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
保 険 料	6,124,769	87.3	106.5
繰 入 金	868,602	12.4	107.5
諸 収 入	20,900	0.3	100.0
合 計	7,014,271	100.0	106.6

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
総 務 費	814,282	2.6	101.4
保 険 給 付 費	28,885,475	90.8	104.9
地 域 支 援 事 業 費	2,100,416	6.6	106.3
基 金 積 立 金	200	0.0	20.0
公 債 費	100	0.0	100.0
諸 支 出 金	14,290	0.0	100.0
予 備 費	2,000	0.0	100.0
合 計	31,816,763	100.0	104.9

歳 出			
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
総 務 費	68,319	1.0	94.7
後期高齢者医療広域 連 合 納 付 金	6,923,552	98.7	106.8
諸 支 出 金	20,400	0.3	100.0
予 備 費	2,000	0.0	100.0
合 計	7,014,271	100.0	106.6

(6) 下水道事業費

		収 入			
区 分		予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
収 益 的 収 支		営 業 収 益	10,368,213	81.0 (64.0)	101.0
	内 訳	下 水 道 使 用 料	6,337,907	49.5 (39.1)	100.4
		他 会 計 負 担 金	3,989,032	31.2 (24.6)	101.9
		受 託 事 業 収 益	41,274	0.3 (0.3)	102.3
		営 業 外 収 益	2,420,714	18.9 (14.9)	102.4
	内 訳	他 会 計 負 担 金	287,468	2.2 (1.7)	102.2
		国 県 補 助 金	30,000	0.2 (0.2)	103.4
		そ の 他	2,103,246	16.5 (13.0)	102.4
		特 別 利 益	11,302	0.1 (0.1)	81.0
		計	12,800,229	100.0 (79.0)	101.2
資 本 的 収 支		資 本 的 収 入	3,392,460	100.0 (21.0)	89.1
	内 訳	企 業 債	2,487,800	73.3 (15.4)	83.1
		受 益 者 負 (分) 担 金	43,031	1.3 (0.3)	61.3
		他 会 計 出 資 金	110,526	3.3 (0.7)	—
		国 県 補 助 金	679,510	20.0 (4.2)	109.7
		他 会 計 負 担 金	71,081	2.1 (0.4)	56.6
		そ の 他	512	0.0 (0.0)	72.6
	合 計	16,192,689	(100.0)	98.4	

() 内は合計に対する構成比を示す。

		支 出			収支差引額 千円
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %		
営 業 費 用	11,530,321	94.0 (58.1)	104.5	△ 1,162,108	
営 業 外 費 用	726,212	5.9 (3.6)	88.6	1,694,502	
特 別 損 失	0	— (—)	0.0	11,302	
予 備 費	10,000	0.1 (0.1)	100.0	△ 10,000	
計	12,266,533	100.0 (61.8)	103.4	533,696	
資 本 的 支 出	7,590,909	100.0 (38.2)	94.0	△ 4,198,449	
内 訳	建設改良費	3,783,279	49.9 (19.1)	95.3	
	企業債償還金	3,802,030	50.1 (19.1)	92.7	
	貸 付 金	5,500	0.0 (0.0)	100.0	
	予 備 費	100	0.0 (0.0)	100.0	
合 計	19,857,442	(100.0)	99.6	△ 3,664,753	

(7) 市民病院事業

		収 入			
		区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
収 益 的 収 支		医 業 収 益	19,592,646	90.3 (88.6)	102.6
	内 訳	入 院 収 益	13,275,645	61.2 (60.0)	100.4
		外 来 収 益	5,836,980	26.9 (26.4)	108.1
		そ の 他	480,021	2.2 (2.2)	102.0
		医 業 外 収 益	2,113,489	9.7 (9.5)	107.1
	内 訳	他 会 計 負 担 金	1,504,199	6.9 (6.8)	105.8
		そ の 他	609,290	2.8 (2.7)	110.3
		特 別 利 益	0	— (—)	0.0
		計	21,706,135	100.0 (98.1)	103.0
	資 本 的 収 支		資 本 的 収 入	417,988	100.0 (1.9)
内 訳		企 業 債	249,900	59.8 (1.1)	177.1
		負 担 金	168,088	40.2 (0.8)	128.2
	合 計	22,124,123	(100.0)	103.6	

() 内は合計に対する構成比を示す。

		支 出			収支差引額 千円
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %		
医 業 費 用	22,047,882	97.2 (91.5)	103.0	△ 2,455,236	
医 業 外 費 用	493,750	2.2 (2.1)	105.9	1,619,739	
特 別 損 失	146,374	0.6 (0.6)	104.6	△ 146,374	
予 備 費	2,000	0.0 (0.0)	100.0	△ 2,000	
計	22,690,006	100.0 (94.2)	103.1	△ 983,871	
資 本 的 支 出	1,394,893	100.0 (5.8)	102.5	△ 976,905	
内 訳	建設改良費	716,399	51.4 (3.0)	103.7	
	企業債償還金	676,494	48.5 (2.8)	101.2	
	予 備 費	2,000	0.1 (0.0)	100.0	
合 計	24,084,899	(100.0)	103.1	△ 1,960,776	

9 市政運営の総合指針2024体系別「予算の概況」掲載事業一覧

体系コード	事務事業名	課名	頁
まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」			
1	災害対策の充実		
11	防災設備等整備事業費	防災政策課	86
21	危機管理対策事業費	危機管理課	88
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	204
41	公園改修費（法面对策）	公園課	225
51	緑地改修事業費	みどり保全課	95
61	一色川改修費	河川水路課	215
71	大規模震災等対策強化事業費	警防課	230
2	防犯・交通安全対策の充実		
11	街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	100
21	防犯対策強化事業費	防犯交通安全課	98
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	213
41	市道新設改良費（自転車走行空間整備事業）	道路整備課	208
51	道路安全対策費	道路維持課	209
3	感染症対策の強化		
11	感染症対策事業費（新型コロナウイルス感染症対策事業）	保健予防課	170
まちづくりテーマ2 「健康で豊かな長寿社会をつくる」			
1	地域共生社会の実現に向けた取組の推進		
11	包括的支援体制推進事業費	地域共生社会推進室	111
21	生活困窮者自立支援事業費	地域共生社会推進室	110
31	成年後見制度等推進事業費	地域共生社会推進室	108
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域共生社会推進室	113
51	障がい者相談支援事業費	障がい者支援課	124
61	【特別会計】介護保険事業費（包括的支援事業）	介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課	278
2	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進		
11	健康づくり推進事業費	健康づくり課	164
21	がん検診事業費	健康づくり課	165
31	【特別会計】介護保険事業費（一般介護予防事業費）	介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課	278
3	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
11	ミライカナエル活動サポート事業費	市民自治推進課	77

体系コード	事務事業名	課名	頁
21	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	58
31	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	59
41	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	60
51	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	61
61	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	62
71	長後地域活性化事業費	長後市民センター	63
81	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	64
91	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	65
101	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	66
111	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	67
121	鵠沼地区まちづくり事業費	鵠沼市民センター	68
131	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	69
141	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	70
151	善行市民センター改築事業費	市民自治推進課	71
171	村岡公民館改築事業費	村岡公民館	263

まちづくりテーマ3 「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

11	教育情報機器関係費	教育総務課	238
21	教育情報化推進事業費	教育総務課	242
31	学校運営協議会推進事業費	教育総務課	256
41	特別支援教育整備事業費	教育指導課	245
51	諸整備事業費（特別支援学校）	学校施設課	254
61	鵠南小学校改築事業費	学校施設課・学校給食課	249
62	鵠沼中学校改築事業費	学校施設課	253

2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

21	法人立保育所運営費等助成事業費（病児保育）	保育課	140
41	妊娠・出産包括支援事業費	健康づくり課	162
51	少年の森整備事業費	青少年課	150
61	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	154
71	放課後児童健全育成事業費	青少年課	153
81	医療的ケア児保育事業費	保育課	144
91	養育費確保支援事業費	子育て給付課	138

体系コード	事務事業名	課名	頁
3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
11	就労支援事業費	産業労働課	178

まちづくりテーマ4 「都市の機能と活力を高める」

1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

11	【特別会計】墓園事業費（大庭台墓園立体墓地再整備事業）	福祉総務課	276
21	環境事業センター整備費	環境事業センター	176
31	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	177
41	村岡地区都市拠点総合整備事業費	都市整備課	222
51	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	221
61	公園改修費（鵜沼海浜公園）	公園課	225
71	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	220
81	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	218
91	市道新設改良費（藤沢652号線）	道路整備課	208
101	善行長後線街路新設事業費	道路整備課	223

2 住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築

11	空家対策関係費	住宅政策課	228
21	住宅政策推進費	住宅政策課	227
31	総合交通体系推進業務費	都市計画課	216

3 地域経済循環を高める経済対策の推進

11	誘客宣伝事業費	観光課	200
21	観光施設整備費	観光課	203

まちづくりテーマ5 「未来を見据えてみんなではじめる」

1 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進

11	環境基本計画関係費	環境総務課	89
21	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	90
31	環境啓発推進事業費	環境総務課	92
41	海岸美化関係費	環境総務課	96
51	ごみ減量推進事業費（プラスチックごみ削減等）	環境総務課・環境事業センター	172
61	緑地保全事業費（樹林地復元）	みどり保全課	93
71	自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略）	みどり保全課	94
81	【特別会計】下水道事業費（辻堂浄化センター雨水滞水池等）	下水道総務課 ほか2課	281

体系コード	事務事業名	課名	頁
2 デジタル市役所・スマートシティの推進			
11	デジタル推進事業費	デジタル推進室	54
21	ロボット未来社会推進事業費	デジタル推進室	56
31	個人番号カード普及促進事業費	市民窓口センター	81
3 人材育成の推進			
11	職員採用関係費	職員課	42
21	職員基本研修費	職員課	43
31	職員専門研修費	職員課	43
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	106
51	法人立保育所運営費等助成事業費（保育士確保）	保育課	140
61	幼稚園人材確保支援事業費	保育課	148
71	担い手育成支援事業費	農業水産課	184
4 次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
11	生活・文化拠点再整備費	企画政策課	51
21	アートスペース運営管理費	文化芸術課	267
31	景観資源推進費	街なみ景観課	217
41	シティプロモーション関係費	広報シティプロモーション課	47
5 市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
11	チームFUJISAWA2020推進事業費	市民自治推進課	78
21	スポーツ都市宣言推進事業費	スポーツ推進課	272

10 主要な施策の概要

議会費

事業名	議会史編さん事業費					
予算科目	款 1	項 1	目 1	細目 04	説明 07	議事課
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	17,991					17,991
令和3年度	7,668					7,668
対前年度	10,323					10,323

<拡充事業> 藤沢市議会史（記述編）等の編さん・印刷の実施

【施策等を必要とする背景】

市制町村制以後の藤沢町会・市会・市議会と時代の変遷にしたがって展開された行政を背景に、これまで市制施行の節目の年にあわせて昭和45年、平成2年と2度にわたり、議会活動・住民活動等を客観的に記述した藤沢市議会史の編さんを行ってきた。

令和に改元され、令和2年には市制施行80周年を迎えたこと、また、前回の議会史の編さんからおよそ30年が経過していることを踏まえ、平成の時代における市議会の歴史をまとめ、引き続き次世代に伝えることにより、本市の発展に寄与する。

【議会史編さんに至るまでの経緯】

令和元年9月24日の議会運営委員会での決定を受け、同年10月8日に議会史編さん委員会を設置し、平成元年以降の議会史の編さんに向けた検討を開始した。

同年10月21日の同委員会において、編さん体制の構築及び環境整備に関し、具体的な方向性が決まった。

令和2年度には監修者2人、執筆者4人の編さん体制が決まり、執筆作業に向け、編集委員会等を開催し、具体的な編さん作業の準備として資料収集等を始めた。

令和3年度には議会史（資料・年表編）をデジタル版として完成させるとともに、記述編執筆に向けて、平成の時代における議長等へのインタビューを行った。また記述編の執筆要領の作成等、具体的な仕様についても議論した。

【将来にわたる効果及び費用】

本事業の実施により、藤沢市議会の歴史や活動内容を広く周知するとともに、藤沢市議会の活動記録をわかりやすく次世代に伝えることで、本市の発展に資する。

また、過去の貴重な歴史的資料の散逸を防ぎ、アーカイブとしての保存、整理及び周知を行うことで、市政運営をはじめ幅広い分野での活用を促す。

【事業概要】

市制施行80周年を契機に、平成の時代の藤沢市議会の記録を、藤沢市議会史として編さんする。

1. 議会史編さんに係る費用 17,991 千円

- ・報償費 8,960 千円
- ・旅費 34 千円
- ・需用費 252 千円
- ・委託料 8,745 千円



議会史編集委員会の様子

総務費

事業名	都市親善費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 細目 10 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	13,333				13,333	
令和3年度	13,937				13,937	
対前年度	△ 604				△ 604	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				13,333

【事業概要】

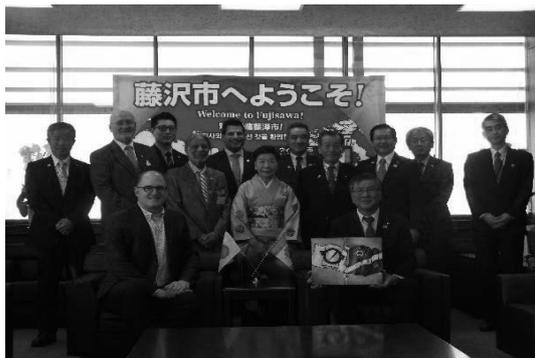
姉妹友好都市を中心とした海外等諸都市との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解の推進を図るため、都市親善交流を行う。

1. 姉妹友好都市等との親善事業 8,611 千円
 姉妹友好都市をはじめとする諸都市との親善交流を目的とした事業を、藤沢市都市親善委員会に委託して実施する。
 - (1) マイアミビーチ市との交流
 - (2) 昆明市との交流
 - (3) ウィンザー市との交流（姉妹都市提携35周年記念事業）
 - ・公式訪問団派遣 7月（予定）
 - ・公式訪問団受入 2月（予定）
 - (4) 保寧市との交流（姉妹都市提携20周年記念事業）
 - ・公式訪問団派遣 7月（予定）
 - ・公式訪問団受入 9月（予定）
 - (5) 湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待
 姉妹友好都市の方々を湘南藤沢市民マラソンへ招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。

2. ふじさわ国際交流フェスティバルの開催 818 千円
 外国につながるのある市民との交流や異文化への理解を深めるための事業を、ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会に委託して実施する。
 - ・開催時期：10月（予定）

3. 聶耳記念碑保存会への助成 250 千円

4. 事務経費 3,654 千円
 - ・旅費 3,269 千円
 - ・報償費、需用費、役務費 385 千円



藤沢市・ウィンザー市
姉妹都市提携30周年記念事業の様子



藤沢市・保寧市
姉妹都市提携15周年記念事業の様子

総務費

事業名	職員採用関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 2 細目 01 説明 01			職員課		
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	12,802					12,802
令和3年度	11,823					11,823
対前年度	979					979

【事業概要】

社会情勢の変化に適応できる柔軟性や、魅力あるまちづくりを形成するための発想力、住民の参画意識を高めるためのコミュニケーション能力を持った優秀な人材を確保するため、採用情報の効果的な周知を図るとともに、本市の将来を担うことができる人材の採用につながる職員採用試験を実施する。

1. 採用情報の周知 1,106 千円
各大学が開催する採用説明会に参加するとともに、就職情報サイトや求人広告等に採用情報を掲載する。
2. 採用支援ツールの活用 1,100 千円
採用試験の実施にあたり、求める人材像を可視化するとともに、優秀な人材に直接アプローチするため、採用支援ツールを活用する。
3. 採用試験の実施 10,076 千円
公務員志望者だけでなく民間企業志望者からの応募を促進するため、インターネット上で受験可能なWeb方式など、ニーズに沿った効果的な手法で採用試験を実施する。
4. 事務経費 520 千円

総務費

事業名	職員基本研修費					
予算科目	款 2 項 1 目 3 細目 01 説明 01			職員課		
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,098					10,098
令和3年度	8,668					8,668
対前年度	1,430					1,430

【事業概要】
 多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、幅広い課題に迅速かつ的確に対応するため、人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりの資質を向上させ、組織力の向上を図り、市民サービスの向上につながるよう、職員の成長段階に応じた能力向上や自己啓発の推進のための基本研修及び職場研修等を実施する。

1. 基本研修及び職場研修の実施 8,969 千円
 階層別研修、合同研修及び職場研修を実施する。基本研修では、政策形成やDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進など、課題解決に挑戦する人材の育成を図る研修を実施する。

2. 事務経費 1,129 千円

総務費

事業名	職員専門研修費					
予算科目	款 2 項 1 目 3 細目 01 説明 02			職員課		
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,006				600	6,406
令和3年度	7,006				600	6,406
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	(公財)神奈川県市町村振興協会中央研修所等受講助成金				600

【事業概要】
 多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、幅広い課題に迅速かつ的確に対応するため、人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりの資質を向上させ、組織力の向上を図り、市民サービスの向上につながる専門的な知識やスキルを習得するため、専門研修及び派遣研修を実施する。

1. 専門研修及び派遣研修の実施 4,676 千円
 市民サービスの向上につながる専門的な知識やスキルを習得するため、専門研修の実施のほか研修専門機関が主催する研修への派遣やより多様な民間企業への長期派遣研修を実施する。

2. 事務経費 2,330 千円

総務費

事業名	広報ふじさわ発行費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 01			広報シティプロモーション課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	77,778				7,350	70,428
令和3年度	76,838				7,350	69,488
対前年度	940				0	940
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				7,350

【事業概要】

市民の市政への理解を深め市民参加による市政運営を図るため、市の施策や催しなど市民生活に必要な情報を「広報ふじさわ」を発行することにより提供する。

1. 「広報ふじさわ」の作成及び配布 71,946 千円
 月2回、1号当たり約165,000部発行
 ・ 広報ふじさわ印刷製本費 45,130 千円
 ・ 広報ふじさわ梱包配布及び郵送準備業務委託料 10,578 千円
 ・ 広報紙編集等業務委託料 16,238 千円

2. 「点字版広報ふじさわ」及び「声の広報」作成及び配布 5,285 千円
 視覚障がいのある方等を対象に、「点字版広報ふじさわ」と「声の広報（音声版広報ふじさわ）」を作成し配布する。
 月2回、1号当たり点字版25部・音声版60部発行予定

3. 事務経費 547 千円

総務費

事業名	CATV等視覚広報事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 02			広報シティプロモーション課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	27,038				24	27,014
令和3年度	27,038				24	27,014
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				24

【事業概要】

ケーブルテレビ等を利用し、市の施策や事業、市内の出来事、地域で活躍する人物等を広く市民に周知紹介するため、映像による広報番組を制作し放映する。

1. CATV放映藤沢市広報番組制作業務委託 24,950 千円
 市広報番組「ふじさわ情報ナビ」を制作し、放映する。また、災害等緊急時には、被害状況や避難案内、ライフラインの復旧状況等きめ細かい情報提供を行う。
 ・ 15分番組年52回制作（毎週更新）

2. tvk放映藤沢市広報番組制作業務委託 2,032 千円
 tvkで放送中の番組「猫のひたいほどワイド」内で、藤沢市のイベントや事業の告知を行う。
 ・ 毎月1回（年12回）放映

3. 事務経費 56 千円

総務費

事業名	FM放送事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 03	広報シティプロモーション課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	45,949					45,949
令和3年度	45,949					45,949
対前年度	0					0

【事業概要】

FM放送を媒体として、市の広報番組を制作・放送し市民等に的確な情報発信を行うほか、災害発生時、防災ラジオとしての役割を果たせるよう環境を整備する。

1. エフエム放送藤沢市広報番組制作業務委託 45,949 千円
市広報番組・特別番組の制作、放送、及び緊急時のための訓練放送を行う。
 - (1) 藤沢市広報番組
 - ・ハミングふじさわ（30分番組：月～金曜日 1日2回放送）
 - ・ハミングインフォメーション（5分番組：毎日 1日3回放送）
 - ・ラジカルなび（外国語講座）（5分番組：月～金曜日 1日2回放送）
（英語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語・中国語）
 - (2) 特別番組（60分番組：年5回放送）
各地域や団体等が行っているさまざまな取組やイベント等の公開収録・放送を行う。
 - (3) 緊急放送設備等保守点検及び試験放送
「災害時等における放送協力に関する協定書」に基づき、市民等に災害情報を迅速、かつ的確に発信できるよう、緊急放送設備等保守点検及び試験放送（原則第2木曜日）を行う。

総務費

事業名	ホームページ運営管理費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 04			広報シティプロモーション課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	12,563				1,000	11,563
令和3年度	12,563				750	11,813
対前年度	0				250	△ 250
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,000

【事業概要】

ホームページを媒体として、市民等の市政への理解と周知を図るため、各課がホームページを作成するためのコンテンツマネジメントシステム（ウェブページを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理しサイトを構築・編集するシステム）の運営、管理等を行う。

1. インターネット活用業務委託 1,634 千円
 - ・ 特殊なページの公開作業やアクセス数集計などを業務委託により実施
 - ・ ホームページの改ざん防止や情報の暗号化など、ウイルス対策を実施

2. 藤沢市ホームページ等気象情報提供業務委託 1,023 千円

日本気象協会から提供される防災気象情報をPC版ホームページや携帯版ホームページ等に掲載する。

3. ウェブサイト管理システム利用料 9,597 千円

各課がホームページを作成するためのコンテンツマネジメントシステムサービスを利用する。

4. 事務経費 309 千円

総務費

事業名	シティプロモーション関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 03 説明 01	広報シティプロモーション課				
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	17,930		163			17,767
令和3年度	15,023		2,200			12,823
対前年度	2,907		△ 2,037			4,944
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				163

【事業概要】

藤沢の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、藤沢のブランド価値を高め、発展させていくため、「ふじさわシティプロモーション推進方針（第2期）」に基づき、「キュンとするまち。藤沢」のキャッチフレーズのもと、市民や企業（団体）等を巻き込んだ「市民参加型」のプロモーションを展開する。

また、SNSを主にした情報発信を強化するとともに、「クチコミ」やSNSの拡散効果を活用し、知名度やブランド力の向上を図る。

- (括) 1. ふじさわシティプロモーション推進事業業務委託 9,394 千円
 SNSを活用し、藤沢の魅力の情報発信を強化するとともに、SNSの強い拡散力を生かし、市民自らがまちの魅力を発信する等の行動（アクション）を促す取組を行う。
2. ふじさわファンクラブ事務局運營業務委託 2,093 千円
 藤沢を応援するコミュニティである「ふじさわファンクラブ」活動を推進する取組を行う。
3. 公式WEBサイト運用管理業務委託 2,497 千円
 ふじさわシティプロモーション公式WEBサイトの運用管理を行う。
4. キャラクターデザイン作成業務委託 99 千円
 公式マスコットキャラクター「ふじキュン♡」の新規イラストデザインの作成を行う。
5. InstagramARエフェクト作成業務委託 490 千円
 SNSの「Instagram」において公式マスコットキャラクター「ふじキュン♡」を活用したプロモーションを推進する取組を行う。
6. 市民アンケート調査の実施 423 千円
 藤沢への愛着度や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため市民アンケート調査を行う。
7. シティプロモーション関係事務経費 2,934 千円
- ・報償費（講師謝礼等） 552 千円
 - ・旅費 41 千円
 - ・役務費（郵便料、クリーニング等） 133 千円
 - ・備品 308 千円
 - ・その他（啓発品、消耗品、Wi-Fi回線使用料等） 1,900 千円

総務費

事業名	ふるさと納税関係事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 6 細目 02 説明 01			財政課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	100,000					100,000
令和3年度	100,000					100,000
対前年度	0					0

【事業概要】
ふるさと納税制度を活用した寄附金募集を行い、シティプロモーションに資するお礼品等を寄附者に贈呈する。

1. ふるさと納税関係事務に係る委託料等 100,000 千円
インターネット上での寄附金の受付・決済・お礼品の選択等を行うサイト運営、また寄附金の収納管理、お礼品の発注・配送・問い合わせへの対応、広告掲載等を行う。

総務費

事業名	広域行政推進関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 01 説明 01			企画政策課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	270					270
令和3年度	270					270
対前年度	0					0

【事業概要】
藤沢市、茅ヶ崎市及び寒川町の2市1町で構成する湘南広域都市行政協議会において、広域的な連携による住民サービスの向上、地域の活性化及び行政の合理化と効率化の実現のため、行政事務、都市農業、地球温暖化防止、文化振興、産業振興等、各分野の調査研究及び事業等を実施する。
また、その他の近隣市との間においても、共通した行政課題の解決に向けて、情報共有及び検討、協議等を行う。

1. 湘南広域都市行政協議会（2市1町）での取組 98 千円
各市町の関係部署の職員で構成する7つの専門部会等で、各取組に関する連絡調整や調査研究を行う。また、協議会の取組に関する進捗管理や基本的な事項を決定するため、各市町の市長・町長等で構成する定例会及び企画担当部長等で構成する幹事会を開催する。

2. 事務経費 172 千円

総務費

事業名	企画業務関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 01 説明 02	企画政策課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	14,320					14,320
令和3年度	3,903					3,903
対前年度	10,417					10,417

【事業概要】

国・県の動向や社会経済情勢の急激な変化、多様化する市民ニーズに対応するため、政策の総合調整、重要施策に係る企画立案を行うとともに、緊急性の高い重要な課題に対し、迅速な対応を図る。

1. 市政運営の総合指針の推進 661 千円
 変化する社会情勢や市民ニーズに対応し、長期にわたって行政計画を継続できる仕組みとして重点化プログラムである「市政運営の総合指針2024」を推進する。
 また、施策評価を行うため、市民満足度等の意識調査を実施する。

2. 藤沢市総合教育会議の運営 166 千円
 市長と教育委員会の円滑な意思疎通により、本市の教育の課題やあるべき姿を共有し、次代を担うすべての子どもたちを市全体で見守り、育む取組を協議するため、「藤沢市総合教育会議」を運営する。

(拡) 3. SDGs（持続可能な開発目標）の推進 320 千円
 SDGsの推進のためには、多様なステークホルダー（関係者：市民、地域団体、市民活動団体、大学、各種法人、企業等）との連携が重要であることから、SDGsの周知・普及啓発のための講演会・セミナーを複数回実施する。
 また、「ふじさわSDGs共創パートナー制度」の創設にあたり、同制度に登録した団体等に使用してもらうためのロゴを作成し、認知度の向上を図る。併せて、同制度については令和5年度以降の発展的な展開を検討するため、有識者にコンサルテーションを依頼する。

4. 将来人口推計の実施 3,459 千円
 将来的な人口減少や超高齢社会への適切な対応を図るため、各種施策の立案における基礎資料として、令和2年の国勢調査の結果に基づく将来人口推計を実施する。

5. 未来共創に係るセッションの実施 4,598 千円
 地域住民をはじめとする地域における多様な関係者が、バックキャストの考え方を取り入れ、対話することで、持続可能な「まち」の共創をめざすワークショップを開催する。

6. 緊急課題への対応 3,000 千円
 年度途中に発生した緊急かつ重要な特定課題に対し、必要な調査研究を実施し、さまざまな課題に対応する施策等の総合調整を図る。

7. 事務経費 2,116 千円
 ・講師謝礼 146 千円
 ・旅費 300 千円
 ・その他 1,670 千円

(この事業は令和3年度12月補正で増額した事業)

総務費

事業名	行政改革等推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 02 説明 01	行革内部統制推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,773					8,773
令和3年度	1,859					1,859
対前年度	6,914					6,914

【事業概要】

コロナ禍等による社会経済情勢の急激な変化や本市の現状と将来課題を踏まえ、限られた財源・人員を効率的かつ効果的に活用するなど、行財政改革等に取り組むことで持続可能な行財政運営を推進する。

- (括) 1. 行財政改革の推進 8,068 千円
 行財政改革2024基本方針に基づく実行プランの取組を着実に進めるため、行財政改革協議会を開催し、その進捗管理等を行う。
 また、将来的な人口減少社会を見据え、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進するため、新たに業務量調査分析及び業務の抜本的見直しを行い、業務の効率化に係る職員の意識改革を図る。
2. 行政評価の推進 40 千円
 行政が実施する事務事業の現状や成果を確認し、事業の見直しや質的向上を図るため、事務事業評価及び外部評価を実施する。
3. 指定管理者制度の総括及び出資団体への指導 260 千円
 指定管理者制度の円滑な運用を図るため、制度全体を総括するとともに、市民サービスの質的向上を図る観点から指定管理者に対する評価を実施する。
 また、出資団体改革基本方針に基づき、出資団体改革を推進する。
4. 事務経費 405 千円

事業名	(新)生活・文化拠点再整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 02	企画政策課				
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	13,806				12,427	1,379
令和3年度	0				0	0
対前年度	13,806				12,427	1,379
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				12,427

【施策等を必要とする背景】

市民会館及び旧南市民図書館の建て替えに合わせ、市民ギャラリーを複合化して再整備することを軸とした「市民会館等再整備事業」の検討を進める中で、その他の公共施設（機能）の複合化、隣接する奥田公園の活用並びに雨水管理総合計画に基づく内水浸水対策施設の整備等を、「境川右岸鵜沼東地区地区計画」で定めるA地区（生活・文化拠点）において、一体的に計画することにより、各機能の相乗効果を図るとともに藤沢文化の発信、利便性の向上、多世代の新たな交流を推進するもの。

【提案に至るまでの経緯・市の策定する計画や条例との整合性】

生活・文化拠点再整備事業は、老朽化した市民会館及び旧南市民図書館の建て替えに合わせ、市民ギャラリーを複合化して再整備することを軸に事業を立案し、現在は、「第3次公共施設再整備プラン」の実施事業に位置付け事業を進めている。

- ・平成26年11月 第1次公共施設再整備プラン 検討事業
- ・平成29年 3月 第2次公共施設再整備プラン 検討事業
- ・令和3年 9月 第3次公共施設再整備プラン 実施事業

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

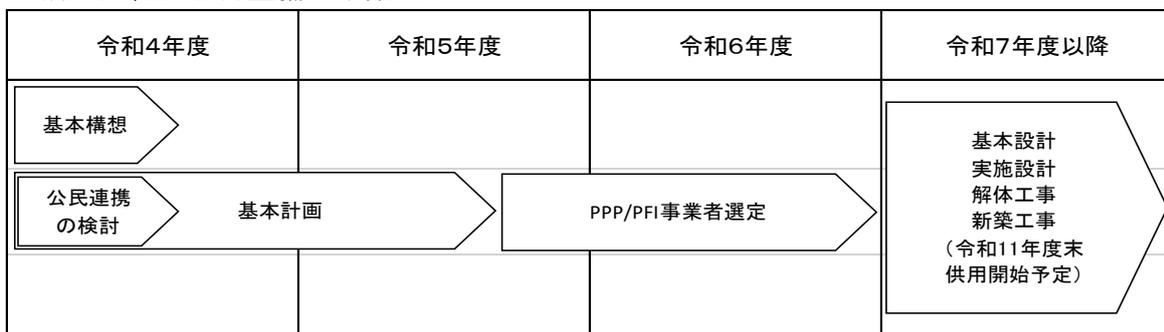
事業を進めるにあたり、整備する施設の役割や機能等について、市民の意見等を聴取するため、令和元年度に中・高生向けワークショップを1回、市民向けワークショップを4回、令和2年度は市ホームページ及び広報ふじさわで本事業の意見集約を行った。令和3年度は、「#ふじキュン課」からの提案と意見交換、ワークショップも全3回にわたり開催し、市民の意見を聴取した。

【事業概要】

老朽化した市民会館及び旧南市民図書館の建て替えに合わせ、周辺の公共機能を複合化して、奥田公園等と一体的に整備するための基本計画等を策定する。

1. 生活・文化拠点再整備基本計画等策定業務委託【継続費】 12,427 千円
2. 生活・文化拠点再整備基本計画等策定に係る委員会報酬 1,259 千円
3. 生活・文化拠点再整備に伴うシンポジウム等の開催 120 千円

生活・文化拠点再整備 事業スケジュール



総務費

事業名	基幹系システム関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 01 説明 01			情報システム課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	757,841	62,347				695,494
令和3年度	722,251	15,641				706,610
対前年度	35,590	46,706				△ 11,116
特定財源の内訳	(国庫支出金)	デジタル基盤改革支援補助金				44,744
		マイナンバーカード交付事務費補助金				3,022
		国民年金事務委託金				14,581

【事業概要】

行政事務の根幹である基幹系システム機器等を正常に稼働させ、事務処理の効率化や情報資産の管理の適正化を推進するとともに、国が主導する情報システム標準化に向けた準備を進める。

1. 基幹系システム機器及び基幹系システム用端末等の賃借 594,404 千円
 基幹系システム機器、基幹系システム用端末等(353台)の賃借
 (主な基幹系業務)
 - ・税務業務 市県民税、固定資産税、軽自動車税等
 - ・住民業務 住民記録、印鑑登録、選挙等
 - ・福祉業務 国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、国民年金等
 - ・その他業務 収納管理、滞納管理、団体内統合宛名管理等

2. 基幹系システムの運用、管理業務 108,233 千円
 入力データ作成業務委託、派遣SE(9人)の経費等

3. 基幹系システムのセキュリティ対策業務 3,776 千円
 セキュリティコンサルティング、ウイルス対策機器の賃借等

4. 自治体中間サーバー・プラットフォームの運営に係る交付金 6,684 千円
 社会保障・税番号制度において各種情報連携を行うため、地方公共団体情報システム機構が整備・運用する中間サーバー・プラットフォームの共同利用に関連する事務を同機構に委任することに伴う交付金

- (新) 5. 情報システムの標準化への対応業務 44,744 千円
 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、対象となる情報システムの標準化対応に係る計画策定及び影響調査を行う業務

総務費

事業名	情報系システム関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 01 説明 02	情報システム課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	602,921					602,921
令和3年度	538,783					538,783
対前年度	64,138					64,138

【事業概要】

庁内の事務効率の向上及び情報セキュリティの確保のため、庁内のIT環境（庁内ネットワーク、職員ポータルシステム、セキュリティ対策等）の整備、運用管理を行うとともに、職員に対する情報セキュリティ研修を実施する。

1. 情報系パソコン、ネットワーク機器等の賃借・ソフト等の利用 333,477 千円
職員が日常的に使用する情報系パソコン、サーバ、ネットワーク機器、アプリケーション等の賃借及び使用料
情報系パソコン 2,625 台、サーバ 30 台、ネットワーク機器、基本ソフト・アプリケーションのライセンス、職員ポータルシステム（文書管理・財務会計システム、グループウェア）等
2. 職員ポータルシステム等の運用、管理業務 167,833 千円
運用サポート、複合機（210 台）の管理・保守、インターネット接続専用機器の保守、ネットワーク機器の保守、基本ソフト・アプリケーションのアップデート等の業務委託料、各拠点間等の回線及びテレワーク用回線使用料
3. 職員情報化研修 4,945 千円
全職員を対象としたeラーニング研修の実施
4. 神奈川情報セキュリティクラウド（KSC）利用料 86,186 千円
5. 情報系システムのセキュリティ対策業務 10,480 千円
入退室管理機器（監視カメラ等）及び磁気データ消去装置等の賃借、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証継続及び情報機器等処理の手数料



（参考）ISMS（ISO27001）認定シンボル

○認証登録番号：JQA-IM1515

○認証登録範囲：

総務部情報システム課における、情報システム・ネットワークの運用管理業務
市民自治部市民窓口センターにおける、戸籍法及び住民基本台帳等の各種関係法令に基づく業務（令和2年4月1日付適用宣言書第3版）

○有効期限日：令和6年7月31日

総務費

事業名	デジタル推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 02 説明 01	デジタル推進室				
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
区分	事業費	重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	128,429	29,986				98,443
令和3年度	39,935	0				39,935
対前年度	88,494	29,986				58,508
特定財源の内訳	(国庫支出金)	デジタル基盤改革支援補助金				29,986

< 拡充事業 > 行政手続等オンライン化、内部事務効率化、スマートシティの推進ほか

【施策等を必要とする背景】

現在国は、デジタル庁を設置するなど行政のデジタル化に向けて急速な改革を進めている。各自治体においても2040年問題への対応や内部事務の効率化、市民の利便性の向上など、デジタル市役所の実現に向けた取組の推進が必要である。

また、人口減少、少子超高齢化、自然災害の激甚化など、さまざまな社会課題が深刻化する中、限られた人員や財源で持続可能なまちづくりを実現するためには、デジタル技術など新しい技術を活用したスマートシティの推進が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

- ・国
令和2年12月 : 「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」の策定
令和3年 5月 : デジタル改革関連法成立
- ・本市
令和3年 4月 : 「藤沢市官民データ活用推進指針」の改定
令和3年 6月 : 総務常任委員会において「本市におけるDXの取組について」を報告
令和3年11月 : DX戦略推進プロデューサーを任用

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. 市政運営の総合指針2024における重点施策
2. 藤沢市DX推進計画(今後、「藤沢市官民データ活用推進指針」を兼ねる)
3. 藤沢市スマートシティ基本方針

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
デジタル市役所の実現により、市民の利便性の向上、内部事務の効率化につなげる。
また、産官学のマルチパートナーシップによるスマートシティの推進により、ICT等の新技術やデータの利活用で本市の抱える諸課題の解決を行い、市民生活の質をさらに向上させ、豊かで暮らしやすいまちづくりを実現する。
2. 将来にわたる費用
デジタル市役所の実現及びスマートシティ推進のための事業費が継続的に必要となる。
なお、デジタル庁をはじめとする国の交付金・補助金等、国・県の支援策を積極的に活用する。

【事業概要】

市民の利便性の向上や内部事務の効率化を図るため、行政手続等のオンライン化、ICTの利活用による内部事務効率化、デジタル人材の育成等によって、デジタル市役所の実現を推進する。

また、Society 5.0時代の到来を踏まえ、ICT等の新技術やデータの活用等により、本市が抱える諸課題の解決を行い、市民生活の質を向上させ、新たな価値を創出し続ける持続可能なまちづくりの実現に向けて、スマートシティを推進する。

1. 行政手続等オンライン化とICTの利活用による内部事務効率化 84,063 千円
・行政手続等のオンライン化に向けた課題整理を行うため、手続の棚卸調査、分析、検証等を委託する。
・各課等の行政手続のオンライン化を支援するとともに、e-kanagawa電子申請システム等を活用する。
(拡) ・RPAツールの活用により事務処理の効率化を図る。
(拡) ・各種証明書等の手数料などをキャッシュレス化し、市民の利便性の向上を図る。
(拡) ・マイナポータル（ぴったりサービス）連携に伴う申請管理システムの導入を行い、庁内の基幹系システムとオンライン接続することで行政運営の効率化を図る。
- (拡) 2. Web会議等環境の整備 8,358 千円
Web会議システムを使用した会議や打ち合わせの増加に対応するため、Web会議の環境整備を拡充する。
- (拡) 3. デジタル人材の育成 9,210 千円
各業務における課題整理、解決方法を習得し、業務プロセスの再構築等を行うことができるデジタル人材の育成人数を拡充し、DXの推進に向けた体制整備を図る。
4. ITガバナンスの推進 9,899 千円
各課等のシステム調達に対する相談・支援を委託し、効果的なシステムの導入及び経費削減を図る。
5. デジタルデバイド対策事業 1,579 千円
スマートフォンなどのデジタル機器の取扱方法を学ぶ講座の開催等、デジタル化に対する不安を解消する機会の提供を行う。
6. 藤沢市LINE公式アカウント運用 2,783 千円
藤沢市LINE公式アカウントを活用し、利用者のニーズに合わせた行政情報の配信やチャットボットによる自動問い合わせ対応などのサービス提供を行う。
- (拡) 7. スマートシティの推進 9,810 千円
スマートシティの取組として有効となる事業の検討・実施に向けた支援及び市民ニーズを的確に把握し、事業実施に結び付けるための支援を委託する。
8. DX戦略推進プロデューサーの任用 1,515 千円
自治体DXやスマートシティ推進のため、専門的な知見を持つ外部人材を非常勤特別職として任用する。
9. その他事務経費 1,212 千円

(7と8の事業は令和3年度9月補正で増額した事業)

総務費

事業名	ロボット未来社会推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 03 説明 01	デジタル推進室				
指針体系コード	5-2-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	27,740		0			27,740
令和3年度	28,736		8,781			19,955
対前年度	△ 996		△ 8,781			7,785

【事業概要】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」に基づき、生活支援ロボットの利活用と普及啓発等を図る。

- 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 24,634 千円
 地域経済団体と連携し、生活支援ロボットの展示ショールーム「ロボテラス」において、展示するロボットや開催するイベント等を充実させ、ロボットが生活の中で身近に感じられるよう普及啓発等を行う。
- ロボットに関する次世代人材の育成 2,392 千円
 子どもたちがモノづくりの楽しさを体験する中で、ロボットのメカニズムを通じ工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- 行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業 714 千円
 行政が抱えるさまざまな課題の解決や新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式への対応に適したロボット（AIなど要素技術を含む）を実証的に活用することで、ロボットの利活用における先進的な取組を行う。



ロボテラスでのドローンセミナー



自動走行型紫外線照射
除菌ロボットの实証実験

総務費

事業名	郷土づくり推進会議関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 01 説明 01	市民センター・公民館・市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	6,057				445	5,612
令和3年度	6,218				445	5,773
対前年度	△ 161				0	△ 161
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				445

【事業概要】

地域の特性を生かした郷土愛あふれるまちづくりを推進するため、市民センター・公民館を拠点として市内13地区に設置した郷土づくり推進会議を運営する。

1. 推進会議関係事業費等

6,057 千円

<内訳>

(単位：千円)

地区名等	事業費内訳		予算額
	会議費・事務費	事業費	
六会地区	105	628	733
片瀬地区	194	576	770
明治地区	32	281	313
御所見地区	103	325	428
遠藤地区	36	0	36
長後地区	88	378	466
辻堂地区	249	315	564
善行地区	25	323	348
湘南大庭地区	134	345	479
湘南台地区	138	307	445
鶴沼地区	90	283	373
藤沢地区	35	149	184
村岡地区	35	696	731
市民自治推進課	0	187	187
合計			6,057

<対象経費>

- (1) 郷土づくり推進会議の運営に要する経費
- (2) 郷土づくり推進会議が実施する事業の企画及び実施に要する経費
- (3) 地区内の地域活動の支援に要する経費
- (4) 地区集会の開催に要する経費
- (5) 郷土づくり推進会議に関する地区内の広報活動に要する経費
- (6) 郷土づくり推進会議の運営に必要な学習又は調査研究活動に要する経費

総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01	六会市民センター				
指針体系コード	2-3-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,175					2,175
令和3年度	1,596					1,596
対前年度	579					579

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、さまざまなまちづくり事業を行い、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 花の植栽活動等による美しいまちづくり事業 278 千円

地区内の公園、小・中学校等への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」、「ふるさと六会今昔写真展」、「あいさつ声掛け運動」を行い、自然とのふれあいや近所とのつながりを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。

- ・ 幼苗の育成及び花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）

2. 六会人材センター推進事業 1,053 千円

地域の人材発掘やボランティア先とのコーディネート事業等を行うとともに、学習支援などを通じて住民相互のつながりを深め、地域活動の推進を図る。

- ・ 六会人材センター運営（委託料）

3. 六会まちおこし活動支援事業 841 千円

地域の子どもから高齢者・障がい者まで皆が楽しめるイベント等の掘り起こしや支援を行い、地域文化・郷土を愛する心を醸成し、活気あるまちづくりを推進する。

(1) 六会日大前駅ロータリーにイルミネーション・キャンドルを設置する。また、年間を通じた六会ふるさと音頭の普及活動を行う。

- ・ イルミネーションの設置（光熱水費・手数料）

(新) (2) 地域の特徴や歴史を記載した「六会ふるさとかるた」の作成及び普及活動などを通じて、世代間・地域間交流を行う。

- ・ 「六会ふるさとかるた」の作成（消耗品費）

(新) (3) 地域の宝であり、誇りでもある六会地区の伝統文化（民俗芸能・民話など）にスポットをあて、「(仮)六会のおはなし」として冊子化し、埋もれつつある伝統文化の継承を目的とした事業を行う。

- ・ 「(仮)六会のおはなし」の作成印刷（印刷製本費）

4. 交通不便地区解消検討事業 3 千円

西俣野地区で運行する予約型乗合タクシーの利用者拡大を図るため、協議会主催の会議に参加するとともに、会報による周知を支援する。

- ・ 会報作成用の用紙（消耗品費）



花の植栽活動等による美しいまちづくり事業
(幼苗植替え作業)



六会まちおこし活動支援事業
(駅前へのイルミネーション設置)

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	2-3-3 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,938					1,938
令和3年度	2,132					2,132
対前年度	△ 194					△ 194

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,652 千円
 地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動をつなぐコーディネート事業やボランティア活動への関心を醸成する機会となる講演会などを企画・実施する。
 ・コーディネーター謝礼等、事業運営に関する経費（委託料）
2. まちかど相談事業 206 千円
 子育て世代や高齢者などの生活支援の充実を図るため、身近な地域の居場所等を活用し臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。
 ・臨床心理士謝礼等、まちかど相談事業に関する経費（補助金）
3. 民俗文化財等継承事業 13 千円
 制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、更なる普及・発展を図るため、体験会や大会用のこまを購入する。
 ・片瀬こま（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 67 千円
 日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。
 ・花苗、肥料、上下水道代等（消耗品費・光熱水費）



片瀬地区人材・情報バンクセンター事業
 (ボランティアによる講演及びフィールドワーク)



民俗文化財等継承事業
 (片瀬こま大会)

総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 03	明治市民センター				
指針体系コード	2-3-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	604					604
令和3年度	543					543
対前年度	61					61

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 歴史・文化継承事業 452 千円
 明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し実施する。
 平成25年に国登録有形文化財に登録された旧三觜八郎右衛門家住宅が解体予定であることから、現在の姿をVR化した映像を活用し、次世代への継承を図る。
 ・小笠原東陽に係る書物等資料の調査（報償金）
 ・明治郷土史料室の運営（委託料）
 ・旧三觜八郎右衛門家住宅のVR機器の賃貸借（賃借料）
2. 明治地区マナーアップ推進事業 16 千円
 自転車運転、歩きタバコ、ごみのポイ捨て等、さまざまな分野で地域のマナー向上を図るため、地域団体や住民、学校等が連携し、地域一丸となり街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を実施する。
 ・チラシ作成（印刷製本費）
3. 子育て支援充実事業 120 千円
 明治地区内の子育てグループやフリースペースにこここ、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。
 ・子育て応援メッセ開催経費（報償金・消耗品費・印刷製本費）
4. 明治地区健康体操推進事業 16 千円
 明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。
 ・チラシ作成（印刷製本費）



歴史・文化継承事業
 (旧三觜八郎右衛門家住宅VR機器の賃貸借)



明治地区健康体操推進事業
 (柏山公園あかじん体操)

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 04	御所見市民センター
指針体系コード	2-3-5 1		まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	480					480
令和3年度	480					480
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域資源を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 田園パーク構想推進事業

480 千円

御所見地区の活性化を促進するため、地域団体やボランティアと連携して、少年の森を拠点とした散策ルートを整備を進めるとともに、地区内の農畜産物を使用した「御所見グルメ」の更なる定着及び新たな「御所見ブランド」の創出をめざす。

また、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備を進める。

- ・花の植栽活動（消耗品費）
- ・散策ルートを整備、地場産食材を使用した「食」の提供促進、地区マスコットキャラクターを使用したPR活動等（補助金）



花の植栽活動（少年の森）
上段：コスモス（夏）
下段：ノースポール・パンジー（秋）



地場産食材を使用した「食」の提供促進
（ごしょみ汁の提供）



地区マスコットキャラクターを使用したPR活動（ごしょみカレンダーの作成）

総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	2-3-6 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	878				0	878
令和3年度	985				704	281
対前年度	△ 107				△ 704	597

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「人と自然がいきづくまち」夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりを推進する。

1. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 40 千円
 複数の地域団体やボランティア団体、行政が連携し、高齢者のための活動を対象者にわかりやすく周知する。
 ・チラシの作成（消耗品費）
2. 自然環境推進事業 139 千円
 地域と市が一体となり整備して都市公園となった「いけのかしら公園」において、遠藤の農産物等をPRするとともに地域交流の場とするため、遠藤朝市の開催を支援する。環境保全活動等の後継者を育成するため、児童生徒やその保護者等を対象に、地区の自然にふれあひながらの散策及び環境美化等の環境保全活動を行う。
 ・遠藤朝市の実施（補助金）
 ・環境保全活動の実施（報償金・消耗品費）
3. 遠藤魅力アップ推進事業 446 千円
 寒川町との連携による小出川彼岸花まつりや、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計7基）を設置する。また、史跡案内看板の維持補修を行う。
 ・仮設トイレ設置、汲み取り（賃借料・手数料）
 ・史跡案内看板の維持補修（施設修繕費）
4. 地域活動の広報充実事業 253 千円
 遠藤地区のPRを行うため、地区内児童生徒の視点で描く遠藤の自然や風景、農産物、お祭等をテーマにポスターを募集して「わがまち遠藤ポスターコンクール」を開催する。地域活動や地域イベント情報を効果的に発信するため、多様な媒体を活用するとともにさまざまなニーズに対応するため、まちづくりニュースを年1回発行する。
 ・わがまち遠藤ポスターコンクールの実施に係る物品（報償金・消耗品費）
 ・コンクール優秀作品を使用したポスターの作成（印刷製本費）
 ・まちづくりニュースの発行（印刷製本費）
5. 道路環境整備事業
 交通安全・防犯の観点から地区内道路等について自治会ごとに点検を行い、必要に応じて担当部署が作成している看板を設置し注意喚起・啓発等を行う。



遠藤魅力アップ推進事業
(あじさいまつり)



地域活動の広報充実事業
(わがまち遠藤ポスターコンクール表彰式)

総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	2-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	932					932
令和3年度	933					933
対前年度	△1					△1

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

1. 健康づくり普及事業 142 千円
 地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施する。
 ・健康づくりに関する講座の実施（報償金・消耗品費）
2. 長後すくすく応援事業 136 千円
 子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が実施する子育て応援事業を支援する。
 ・子育て応援事業「長後子育てメッセ」の実施（補助金）
3. 地域人材発掘・育成事業 39 千円
 地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成を図るため、地域活動及びボランティア活動に係る情報発信等を行う。
 ・機関紙「つなぐ」の作成等（消耗品費）
4. ちよご見守りネットワーク事業 58 千円
 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、「ちよご見守りネットワークシステム」の推進を図る。
 ・「ちよご見守りネットワーク通信」の発行（印刷製本費）
5. 観光・歴史資源開拓事業 259 千円
 観光・歴史資源の開拓等を目的として、名所・旧跡の解説板の設置等を行う。
 ・歴史観光ウォークラリーの実施（消耗品費・保険料）
 ・解説板の設置（施設修繕費）
6. 交通手段支援事業 145 千円
 交通不便地域の解消のため、地域公共交通の本格運行に向けた取組を行う。
 ・事業案内リーフレットの発行等（消耗品費・印刷製本費）
7. 花いっぱい運動推進事業 120 千円
 花があふれる地域づくりのため、花フェスタの開催、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等の活動を支援する。
 ・花の広場の管理、プランターへの植栽等（補助金）
8. 地域活動支援事業 33 千円
 環境美化活動への支援を行う。
 ・環境美化活動に要する用具等（消耗品費）

総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 07	辻堂市民センター				
指針体系コード	2-3-8 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	914					914
令和3年度	970					970
対前年度	△ 56					△ 56

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち“湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 辻堂交流事業 553 千円
 地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施する。

 - ・ 伝統文化継承に関する講座講師謝礼（報償金）
 - ・ 環境美化活動に関する花苗等（消耗品費）
 - ・ 辻堂さんぼ事業（消耗品費）
 - ・ 湘南ニコニコロードギャラリープロジェクト（消耗品費）
 - ・ チラシ作成（消耗品費）
2. 暮らし安心・安全事業 112 千円
 災害や犯罪などの脅威への対策や地域住民の健康増進等を図るための活動支援を実施する。

 - ・ 防災に関する講演会講師謝礼（報償金）
 - ・ まちづくりに関する講演会講師謝礼（報償金）
 - ・ チラシ作成（消耗品費）
3. 福祉事業 61 千円
 健康増進など地域福祉の推進のための活動を実施する。

 - ・ 認知症に関する講演会講師謝礼（報償金）
 - ・ チラシ作成（消耗品費）
4. 広報・啓発事業 188 千円
 辻堂への誇りや愛着を高めてもらうとともに、活動の周知及び参加を促すため、「辻堂プライド」を概念として取組を実施する。

 - ・ 子ども回覧板作成事業（印刷製本費）
 - ・ オンラインcafe周知チラシ・辻堂プライド周知啓発品（消耗品費）
 - ・ 湘南工科大学との連携によるSNS配信



辻堂交流事業
(環境美化活動の実施)



辻堂交流事業
(ギャラリープロジェクト)



広報・啓発事業
(オンラインcafe配信風景)

総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 08	善行市民センター
指針体系コード	2-3-9	1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	919					919
令和3年度	1,002					1,002
対前年度	△ 83					△ 83

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 広報・地域ネットワーク構築事業 456 千円
郷土づくり推進会議の活動を地域住民に周知する。また、地域で活動する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援するとともに、周知・啓発を図る。
・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等及び広報紙作成（消耗品費・印刷製本費）
・ 地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）
2. 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業 175 千円
坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することによる不便を感じる人に対する移動手段「のりあい善行」の運営を支援する。
・ 地区内への交通不便解消に向けた情報発信に要する紙代等（消耗品費）
・ 「のりあい善行」乗車回数券の作成（印刷製本費）
3. 地域共生社会の構築事業 17 千円
藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支えあいの地域づくりに向けて、地域におけるさまざまな福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行う。
また、こうした良い取組を地区内に広げ、根付かせることを推進する。
・ 地区内への地域福祉に関する情報の発信や広報に要する紙代等（消耗品費）
4. 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業 271 千円
善行駅周辺バリアフリー化等のハード整備について、地域住民と協働で推進する。
また、地域の魅力を広く内外に発信し、善行地区の活性化を図るための事業や取組を支援・推進する。
・ 地区内への活性化事業の周知や啓発のためのチラシなどの紙代等（消耗品費）
・ 地区内の回遊性を高め、地区の魅力を発信するためのマップの作成（印刷製本費）
・ 駅前・商店街を中心とした地域活性化事業の実施（補助金）



地域共生社会の構築事業
(団地の井戸端会議「スマホ体験講座」)



地域活性化に向けた取組の支援・推進事業
(善行駅前バリアフリー化の実証実験)

総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	2-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	471					471
令和3年度	380					380
対前年度	91					91

【事業概要】

湘南大庭地区郷土づくり推進会議において検討した地域課題の解決に必要な事業を実施し、地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」を実現する。

1. 健康なんでも相談事業 301 千円

地域で進展する高齢化の中で、地域と医療をつなぐための相談会や健康づくりに関する講習会等を実施し、心身の活力や生活機能の維持向上など、健康に対する地域住民の意識を高める。

- ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの人件費及び運営に関する経費（委託料）
- ・地区内大型店舗の催事スペース使用（使用料）

2. 健康体操普及推進事業 30 千円

健康体操の自主グループの育成・支援を行い、地域における健康体操の普及と気軽に参加できる場づくりを広める。

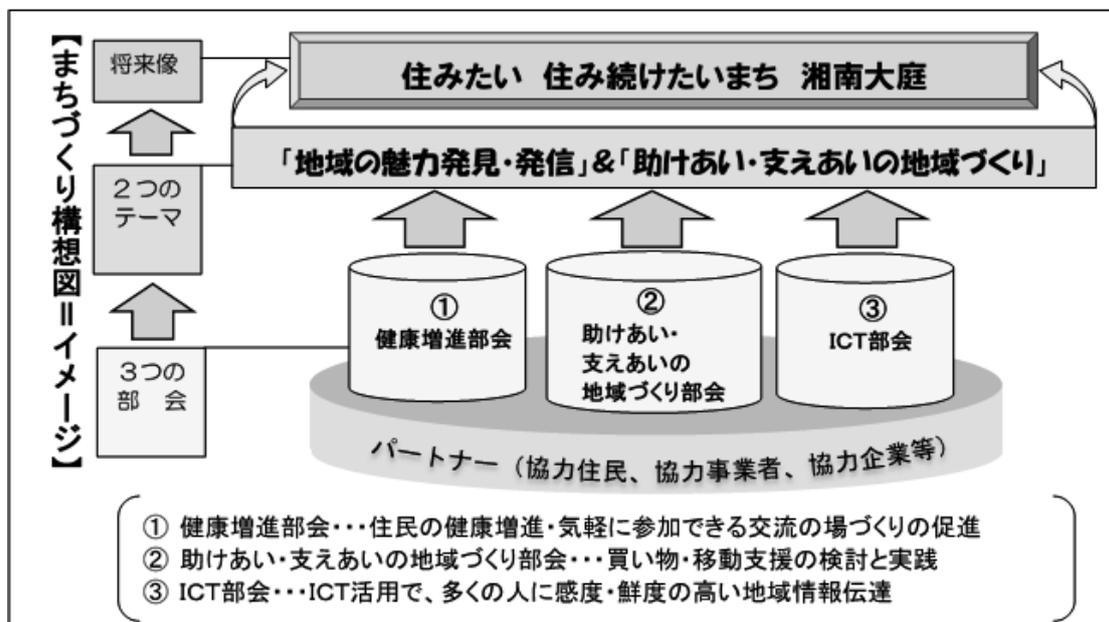
- ・健康増進遊具実技指導等の講師謝礼（報償金）
- ・消耗品等（消耗品費）

(括) 3. ICT普及推進事業 140 千円

令和2年12月に郷土づくり推進会議が実施した「より良いまちづくりアンケート」では、ICTを活用した感度・鮮度の高い地域情報の伝達が求められており、新たな地域課題と捉えて解決に必要な事業を実施する。

さまざまな地域情報について、収集力と発信力の向上や内容の充実により、地域におけるコミュニケーションの活性化や住民活動の魅力、付加価値の増進を図るため、ICTを活用した情報伝達などの取組を普及・推進する。

- ・湘南大庭ポータルサイト運営スキルアップ講座の講師謝礼（報償金）
- ・回覧デジタル化推進パンフレット作成（印刷製本費）



総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	2-3-111	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,297				1,772	5,525
令和3年度	33,562				10,253	23,309
対前年度	△ 26,265				△ 8,481	△ 17,784
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,772

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. ようこそ先輩 in 湘南台事業 18 千円
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、先輩講師との交流事業を開催する。
 ・ ようこそ先輩 in 湘南台開催経費（報償金・消耗品費）
2. 緑の回遊路事業 90 千円
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業を開催する。
 ・ ウォークイベント開催経費（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育てネットワーク事業 218 千円
 地域の子育て環境の向上を図るため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、各種子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行う。
 ・ 湘南台子育て応援メッセ開催補助（補助金）
4. 地域サポーター育成事業 2 千円
 地域活動を支える人材不足の解消を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、さまざまな地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座を開催する。
 ・ 地域サポーター養成講座開催経費（消耗品費）
5. 文化創造事業 700 千円
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組の一つとして、湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図りながら、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを開催する。
 ・ 駅地下イベント広場活用運営等業務委託（委託料）

- (括) 6. 湘南台駅地下アートスクエア整備事業 6,269 千円
 湘南台駅地下イベント広場を住民参加型の音楽とアートの文化芸術活動拠点とするため、「湘南台駅地下アートスクエア」として整備する。
 ・ イベント用品、可動式パネル（消耗品費） 2,215 千円
 ・ 天井清掃、常設展示パネル等処分（手数料） 633 千円
 ・ パブリックアートギャラリー（備品購入費） 3,421 千円

総務費

事業名	鵜沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鵜沼市民センター				
指針体系コード	2-3-1-2-1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,765					1,765
令和3年度	1,791					1,791
対前年度	△ 26					△ 26

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鵜沼」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 鵜沼元気塾・鵜沼元気ひろば事業 751 千円
 地域の子どもたちの豊かな人間性を育むため、地域のボランティアスタッフとのさまざまな学習や体験、運動等を通じて、児童の放課後の居場所づくりを行う。
 対象は、地域の小学3～6年生で、それぞれ週1回実施する。
 ・スタッフ謝礼、施設入場料、野外活動時の昼食、教材、チラシ等作成、交通費
 （報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費・使用料）
2. 認知症等啓発事業 170 千円
 誰もが安心して住み続けることができる地域づくりをめざし、認知症等への理解を深めるための講演会や啓発等を行う。
 ・講演会等講師謝礼、啓発物品（報償金・消耗品費）
3. 歴史・文化継承事業 660 千円
 鵜沼に特化した歴史文化の資料収集及び調査とその展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場として、鵜沼郷土資料展示室の企画運営を行う。また、既存資料等の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図る。
 ・鵜沼郷土資料展示室の運営（委託料）
 ・鵜沼郷土資料展示室の資料整理（報償金・消耗品費）
4. 鵜（くぐい）まつり事業 184 千円
 地域活性化を図るため、八部公園（鵜沼運動公園）芝生広場において、地域団体や地元サークル、物販・飲食店等が参加する地域住民主体のまつりの開催を支援する。
 ・会場運営費（補助金）



鵜沼元気塾・鵜沼元気ひろば事業
（夏のデートリップ）



歴史・文化継承事業
（鵜沼郷土資料展示室
：鵜沼海岸は『海水浴場』から始まった）

総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	2-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,610					2,610
令和3年度	2,112					2,112
対前年度	498					498

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、藤沢地区郷土づくり推進会議において検討されている地域課題の解決と、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 藤沢宿活性化事業 2,355 千円

藤沢宿の伝承・継承を目的として未来を担う子どもたちに藤沢宿に関心を持ってもらう取組等を行うとともに、藤沢地区の歴史的資源等を活用した地域イベントを実施する活動を支援する。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。

- ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）
- ・地域内トランスボックスのラッピング掲載料（使用料）
- ・藤沢宿紹介冊子「歩いて見よう藤沢宿」の改訂と増刷（印刷製本費）
- ・藤沢宿紹介用二次元コードステッカーの作成（印刷製本費）
- ・子ども向け藤沢宿紹介冊子「藤沢宿通行手形」の改訂と増刷（印刷製本費）
- ・子ども向け藤沢宿PRグッズの作成（消耗品費）

(括) 2. 子ども・高齢者の見守り活動事業 255 千円

学校・家庭・地域の連携のもと、子どもの見守り活動を行うとともに、高齢者見守りの環境づくりや住み慣れた地域で安心して暮らせる藤沢地区の実現に向けた取組を進める。

- ・中学生対象のVR体験型認知症サポーター養成講座講師謝礼（報償金）

総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	2-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,269					1,269
令和3年度	1,373					1,373
対前年度	△ 104					△ 104

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. マナーアップ啓発事業 275 千円
 暮らしのマナーやモラル向上を図るため、ごみのポイ捨て、ペットのフンの放置、落書き等の迷惑行為に関するマナーアップ啓発を行うとともに、スタントマンを活用した自転車交通安全教室を実施する。
 ・スタントマン謝礼（報償金）
2. 村岡あいさつ運動事業 210 千円
 あいさつ運動の充実を図るため、あいさつ運動啓発用横断幕の設置や、キャンペーン活動及びポスター・標語コンクールを実施する。
 ・啓発物品の作製等（消耗品費）
 ・審査員謝礼及びコンクール記念品（報償金）
3. 地域防災力強化事業 194 千円
 地域防災力の強化を図るため、地区内の公共施設等に防災啓発看板を設置するとともに防災関連講座を開催する。また、災害時に自治会・町内会等と地区防災拠点本部との通信手段となる通信機器の利用を確保する。
 ・啓発看板の作製、防災関連講座物品（消耗品費）
 ・防災関連講座謝礼（報償金）
 ・電波利用料（負担金）
4. 村岡美化活動事業 90 千円
 美しく住みよい地域環境を築くため、環境に対する意識の向上を図る講習会等の事業及び村岡地区独自の一斉清掃を実施する。
 ・講習会用物品及び指導謝礼（消耗品費・報償金）
5. 歴史継承事業 280 千円
 地域の歴史的資産の継承を図るため、歴史継承事業用冊子の作成及び今昔探訪ウォーキング等の事業を実施する。
 ・歴史継承事業用冊子の作成（印刷製本費）
 ・ウォーキング事業用物品及び指導謝礼（消耗品費・報償金）
6. 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 220 千円
 まちの防犯力を高めるため、「村岡わんわんパトロール」事業を実施する。
 ・パトロール携行グッズ、キャンペーン物品（消耗品費）

総務費

事業名	善行市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 04 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード	2-3-151	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	11,473			0	11,473	0
令和3年度	568,853			420,700	140,300	7,853
対前年度	△ 557,380			△ 420,700	△ 128,827	△ 7,853
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				11,473

【事業概要】

善行市民センター・公民館は、昭和54年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも建て替えを行う。

令和3年度には、健康プラザ棟の改築工事（第2期工事）が竣工したことから、工事区域の周辺家屋について、本工事に起因する損傷等が生じていないか調査する。また、建設した建物により、周辺家屋のテレビ電波受信に影響がないか調査する。

1. 家屋事後調査委託 10,967 千円
本工事の着手前と竣工後の状況を比較し、本工事に起因する損傷等の有無を確認する。
2. 電波障害事後調査 506 千円
本工事の着手前と竣工後の状況を比較し、本工事に起因するテレビ電波受信への影響の有無を確認する。

総務費

事業名	湘南台文化センター整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 5 細目 02 説明 01	文化芸術課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	84,128	67,400				16,728
令和3年度	4,500	0				4,500
対前年度	79,628	67,400				12,228
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				67,400

【事業概要】

湘南台文化センターの利用者の安全確保と機能維持のため、施設整備を行う。

1. 絞り緞帳等改修工事 79,211 千円
 市民シアターホールに設置されている絞り緞帳等が経年劣化しているため、絞り緞帳及び付帯設備の改修工事を行う。
2. 構内電話設備賃貸借 396 千円
 湘南台文化センター内の構内電話設備が老朽化しているため、更新を行う。
 ・賃貸借期間：令和5年1月～令和10年12月（72カ月・6年間）
3. 緊急対応修繕 4,500 千円
4. 印刷製本費 21 千円

総務費

事業名	市民まつり開催費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 02 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	30,000					30,000
令和3年度	30,000					30,000
対前年度	0					0

【事業概要】

市民のふれあいと、個性豊かなふるさとづくりを推進するため、藤沢市民まつりの開催に要する事業費の一部を負担する。

- 第47回藤沢市民まつり開催費負担金 30,000 千円
 - 主催 藤沢市民まつり実行委員会
 - 会場 藤沢駅周辺、秋葉台公園、遊行寺周辺、湘南台駅周辺ほか

<令和元年度の様子>

令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止



藤沢駅南北大パレード



マーチングフェスタ（於秋葉台文化体育館）



遊行寺プロレス



湘南台ファンタジア

総務費

事業名	男女共同参画推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 04 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,800					1,800
令和3年度	2,029					2,029
対前年度	△ 229					△ 229

【事業概要】

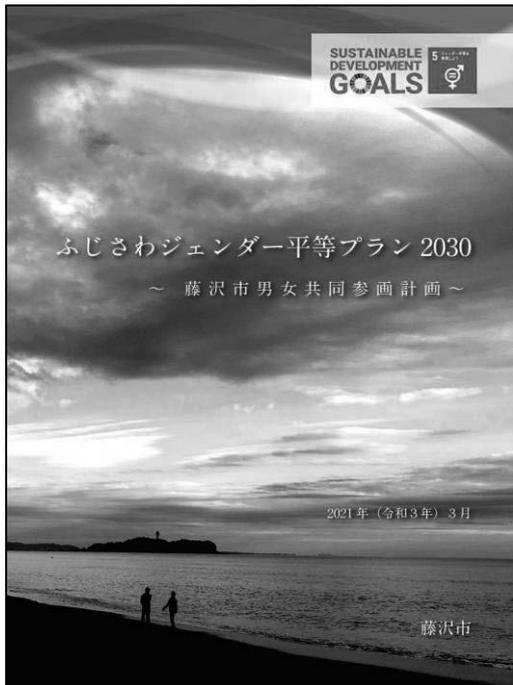
「男女共同参画社会基本法」等に基づき、固定的性別役割分担を解消し、多様な生き方や考え方を認め合うまちづくりを進め、男女に限らず、誰もが生きやすい社会の実現に向けて事業の推進を図る。

1. 啓発事業の推進 1,323 千円

ジェンダー平等・男女共同参画社会への理解を深めるため、市民を対象とする講演会の開催や、職員を対象とした研修を実施するとともに、情報紙の発行等を通じた意識啓発を推進する。

また、性の多様性への理解と支援に向けた取組を行うとともに、DV防止対策に向け、2市1町広域連携の推進及びDV相談窓口案内カード等を作成し、啓発活動に取り組む。
2. 「ふじさわジェンダー平等プラン推進協議会」の運営 477 千円

ジェンダー平等・男女共同参画施策の総合的推進にあたり、必要な助言を得るため、「ふじさわジェンダー平等プラン推進協議会」を運営する。



ふじさわジェンダー平等プラン2030
～藤沢市男女共同参画計画～



ジェンダー平等・男女共同参画講演会
「共に生きるフォーラムふじさわ」

総務費

事業名	多文化共生推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 05 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,346					1,346
令和3年度	1,352					1,352
対前年度	△ 6					△ 6

【事業概要】

外国につながるのがある市民と共に生きるまちづくりのため、市民、団体、関係機関との連携を図り、外国につながるのがある市民への生活支援を行うとともに、互いの言葉や文化を理解し交流する場を提供し、多文化共生を推進する。

1. 藤沢市外国人市民会議の運営 445 千円
 外国につながるのがある市民が市政について意見交換や提案等をする機会を確保するとともに、まちづくりへの主体的な参画を進めることにより、外国につながるのがある市民と「共に生きる」地域社会を築くため、「藤沢市外国人市民会議」を運営する。
2. 藤沢市日本語支援ネットワーク会議の運営 195 千円
 市と日本語教室が連携し、外国につながるのがある市民への日本語習得支援に関する取組を進めるため、「藤沢市日本語支援ネットワーク会議」を運営し、日本語教室の活動場所の確保や日本語を教えるボランティアについての講座を開催する。
3. 多文化共生に向けた取組の推進 20 千円
 外国につながるのがある市民に関わる施策を総合的に推進するため、関係課で構成する「藤沢市多文化共生推進会議」を開催し連携を図るとともに、職員の多文化共生の意識啓発を目的として、研修等を行う。
4. MINTOMO交流会の開催 100 千円
 世界の異なる文化や習慣を知り、地域における国際交流を深めるため、湘南台地区において、歌や踊り、工作等を行う交流会を開催する。
5. 生活ガイド等の多言語による情報提供 363 千円
 生活する上で必要な行政情報を外国につながるのがある市民に的確に伝えるため、生活ガイドや休日夜間医療情報等を翻訳し、多言語で情報を提供する。
6. かながわ医療通訳派遣システム自治体推進協議会負担金 90 千円
 日本語を母語としない市民が安心して医療を受けられるよう、神奈川県及び県内の市町を中心に構成される協議会に参加し、連携を図る。
7. 事務経費 133 千円
 ・旅費、消耗品費



藤沢市外国人市民会議



藤沢市日本語ボランティア入門講座

総務費

事業名	平和都市宣言推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 06 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,987				10,987	
令和3年度	8,637				8,637	
対前年度	2,350				2,350	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				10,647
		平和学習広島・長崎派遣参加者負担金				340

【事業概要】

日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議と連携し、情報交換を行うとともに、核兵器廃絶と恒久平和の実現のため、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」並びに「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」の趣旨に基づき、公募による市民で構成する「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働して、広く市民を対象にさまざまな平和事業を推進する。

1. 「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働で行う平和事業 3,019 千円
 公募による市民で構成する「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働してさまざまな平和事業を展開し、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた事業に取り組む。

2. 平和学習事業（実行委員会委託以外の事業） 3,697 千円
 未来を担う子どもたちに、原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えることを目的に小学生とその保護者4組を広島市へ、小中高生15人を長崎市へ派遣する。
 被爆跡見学や平和式典への参列を通して、平和意識の高揚と相互理解の促進を図る。

3. 日本非核宣言自治体協議会等への参加 1,009 千円
 日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議を通じて、他自治体との連携を強化し核兵器廃絶に向けた活動を推進する。
 - ・役員会、総会等への出席旅費 955 千円
 - ・協議会等負担金 54 千円

4. 事務経費 3,262 千円
 ・旅費、消耗品費、役務費、研修会参加負担金等



平和学習事業
 (長崎市主催のオンライン「青少年ピースフォーラム」への参加)

総務費

事業名	ミライカナエル活動サポート事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 05	市民自治推進課				
指針体系コード	2-3-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,056					9,056
令和3年度	8,096					8,096
対前年度	960					960

【事業概要】

今後の人口構造の変化や住民ニーズの多様化を起因とする地域課題へ対応するため、叶えたい未来を想定し、その目的に向かって企画提案する市民活動団体に対し、立ち上げ期から発展期に至るまで、段階的に支援するミライカナエル活動サポート事業を行う。

1. 市民活動団体の成長支援及び多様な主体との協働の推進 8,996 千円

市民活動団体の目標や成長度によって、市民活動への「きっかけづくり」から、現在及び将来課題を解決する「NPO等の成長支援」、「多様な主体の協働」まで段階に応じた3つの制度を設けるとともに、事業の提案期から実施期まで活動のサポートを行う。

・交付対象コース

コース名	支援内容	交付上限額 (1団体当たり)	採択数
①スタート支援コース ※ユース優先選考あり	市民活動の立ち上げ	200千円	5団体
②ステップアップ支援コース	運営基盤強化や事業発展	500千円	3団体
③協働コース	行政やNPO、企業等との協働	1年目 1,500千円 2年目 1,000千円	2団体 2団体

※構成員の過半数が若者のユース団体は、補助金額合計200千円の範囲内で優先選考。

・事業実施へのサポート

コース	サポート名	内容
①、②	伴走支援業務	事業の実効性や団体の継続性を高めるため、中期的視点をもって、講座や相談会等を行い、提案事業の実施を伴走する。
③	協働コーディネート業務	地域で活動する市民活動団体の意向や特性を踏まえ、協働先となる民間法人、行政等とのマッチングや事業提案の調整を行う。

・積算内訳

内容	予算額
①スタート支援コース	1,000千円
②ステップアップ支援コース	1,500千円
③協働コース	5,000千円
①、②伴走支援業務委託	996千円
③協働コーディネート業務委託	500千円

2. 団体の成長や協働を促進する講座等の開催 60 千円

事業の更なる発展を望む団体を対象に、団体の成長を支援する講座や協働の理解を深める講座等をNPO運営相談サポートテラスと連携して開催する。

総務費

事業名	チームFUJISAWA2020推進事業費 (前年度事業名：オリンピック開催準備関係費)					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 06	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室 (新課名：市民自治推進課)				
指針体系コード	5-5-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	6,842		0			6,842
令和3年度	148,511		49,730			98,781
対前年度	△ 141,669		△ 49,730			△ 91,939

【事業概要】

東京2020大会を契機としたボランティア等の市民参加の盛り上がりや経験を、レガシーとして次世代へ確実につなぎ、市民が主体的に地域課題を解決する協働のまちづくりを進めていくため、ポータルサイトを活用して積極的にボランティアへの参加機会を創出する「チームFUJISAWA2020」の取組を推進する。

1. 「チームFUJISAWA2020」ポータルサイト管理運営委託 5,181千円
各種団体から集約したボランティア募集情報等を提供する機能や、ボランティアの募集及び受付機能などを有するポータルサイトの管理運営を行う。
2. 「チームFUJISAWA2020」広報周知 1,661千円
ポータルサイトへの登録促進と、取組の拡充・浸透を図るため、広報宣伝活動を行う。また、登録者や各種団体を対象としたボランティア講座や体験イベント等を実施する。



「チームFUJISAWA2020」ポータルサイト



「チームFUJISAWA2020」を通じたボランティア活動



シティキャストフジサワ
サンクスイベントでの登録案内

総務費

事業名	地域コミュニティ拠点施設整備支援事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 09 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	27,484					27,484
令和3年度	4,957					4,957
対前年度	22,527					22,527

【事業概要】

地域住民の福祉と自治意識の向上に寄与するため、自治会等が行う集会所の改築及び修繕等にかかる費用に対する補助を行う。

1. 施設整備に対する補助 27,484 千円
- ・補助制度の概要
 - (1) 新築、増改築、又は修繕等に要する費用の1/2以内
 - (2) 登記の申請をしたときに要した登録免許税相当額

(内訳)

種別	件数	補助額	団体名
改築	1 件	5,236千円	入町町内会
修繕	1 1 件	22,248千円	今田南自治会、石名坂自治会、さつき会、台町町内会、滝の沢自治会、宮前町内会、渡内西町内会、辻堂パークハイツ自治会、仲東町内会、ダイアパレス湘南台Ⅱ自治会、円行四ツ辻自治会



令和3年度に修繕を行った緑が丘町内会館

総務費

事業名	人権施策推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 10 説明 01	人権男女共同平和国際課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	12,550		800			11,750
令和3年度	5,429		600			4,829
対前年度	7,121		200			6,921
特定財源の内訳	(県支出金)	人権啓発活動委託金				800

【事業概要】

人権施策推進指針の基本理念である「人権を大切にし、『人権文化』を育むまちづくり」を推進し、一人ひとりの市民が尊重され、あらゆる人が共に生きる社会の実現をめざし、各種啓発事業を実施するとともに、「ふじさわ人権協議会」及び「藤沢市いじめ問題再調査委員会」を運営するなど、人権施策の推進を図る。

1. 講演会及び研修会等の啓発事業の実施並びに人権啓発事業への参加 3,252 千円
多岐にわたる人権課題に関する知識・理解を深めるため、さまざまな機関と連携し講演会等の啓発事業を実施するとともに、各種研修会等への参加を通じ、職員の人権意識の啓発を図る。また、子どものいじめ防止施策の推進を図るため、子どもをいじめから守る啓発講演会を開催する。
2. 「ふじさわ人権協議会」の運営 618 千円
人権施策の推進について協議・検討するため、市民及び学識経験者で組織する「ふじさわ人権協議会」を開催する。
3. 人権擁護委員との連携及び活動支援 634 千円
法務大臣から委嘱された人権擁護委員と連携を図り、人権相談の機会を提供するとともに、中学生人権作文コンテスト、人権教室出前授業等の啓発活動を実施する。
・藤沢市人権擁護委員会運営事業交付金 433 千円
・人権の花運動事業費（市内8小学校で実施予定） 201 千円
4. 「藤沢市いじめ問題再調査委員会」の運営 1,063 千円
子どものいじめ防止施策の推進を図るため、市立の小・中・特別支援学校において、重大事態が発生した場合の再調査に備え設置した「藤沢市いじめ問題再調査委員会」を運営する。
5. 「藤沢市人権施策推進指針」の改定 6,983 千円
インクルーシブ藤沢の実現に向け、多様な主体間において「人権文化」の理念が共有されるまちづくりをめざし、平成19年2月に策定し、平成28年3月に改定した現行の「藤沢市人権施策推進指針」について、社会情勢の変化等を踏まえた改定を行う。

総務費

事業名	個人番号カード普及促進事業費					
予算科目	款 2 項 3 目 1 細目 02 説明 07	市民窓口センター				
指針体系コード	5-2-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	39,190	39,190				
令和3年度	40,479	40,479				
対前年度	△ 1,289	△ 1,289				
特定財源の内訳	(国庫支出金)	マイナンバーカード交付事務費補助金				39,190

【事業概要】

マイナンバーカードの普及促進と北部地域に居住する市民の利便性向上を図るため、マイナンバーカードの各種手続きを行う「マイナンバーカード北部窓口」を運営する。

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1. マイナンバーカード北部窓口の運営 | 39,190 千円 |
| ・ 什器・端末等賃借料 | 21,391 千円 |
| ・ 建物賃借料 | 11,983 千円 |
| ・ その他(手数料、警備委託料、回線使用料、光熱費等) | 5,816 千円 |

(開設場所)

イトーヨーカドー湘南台店2階

(開設期間)

令和5年3月末まで

(取扱業務)

- ・ マイナンバーカード交付 (事前予約制)
- ・ マイナンバーカード申請受付 (再発行を含む)
- ・ マイナンバーカード記載事項変更
- ・ 電子証明書新規発行
- ・ 電子証明書有効期限更新
- ・ 電子証明書暗証番号再設定

総務費

事業名	窓口業務等協働事業推進費					
予算科目	款 2 項 3 目 1 細目 02 説明 08	市民窓口センター				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	310,489	53,533				256,956
令和3年度	110,205	0				110,205
対前年度	200,284	53,533				146,751
特定財源の内訳	(国庫支出金)	マイナンバーカード交付事務費補助金				53,533

【事業概要】

市民サービスの維持・向上及び、より効率的な行政運営への転換に向けて、市民窓口センターの一部業務を協働事業（業務委託）として実施する。

1. 窓口業務等協働事業 310,489 千円
- ・各種証明書等の申請受付・交付等に関する業務
 - ・住民異動届に関する業務
 - ・印鑑登録業務
 - ・マイナンバーカードに関する業務
 - ・フロア案内業務 など

<これまでの経過>

令和3年 2月 実施設計業務委託開始
 令和3年 12月 実施設計業務委託終了
 令和4年 1月 窓口業務等協働事業開始

(この事業は令和3年度9月補正で増額した事業)

総務費

事業名	航空機騒音対策推進事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 1 細目 04 説明 01			危機管理課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	306	189			117	
令和3年度	306	189			117	
対前年度	0	0			0	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	施設区域取得等事務地方公共団体委託金				189
	(その他)	平和基金繰入金				117

【事業概要】

県及び関係市と連携を図り、航空機騒音問題の解消に向けた要請行動を継続的に行うほか、本市独自の要請行動も行うことにより、問題の早期解消に努める。

- 騒音問題に対する取組 306 千円
 厚木基地騒音対策協議会や神奈川県基地関係縣市連絡協議会等を通じ、騒音問題の解消に向けた要請行動を実施する。
 また、住宅防音工事事業の迅速な実施等、騒音対策事業の充実にに向けた要請行動を実施する。

総務費

事業名	急傾斜地防災事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 1 細目 05 説明 01			防災政策課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	15,565					15,565
令和3年度	5,415					5,415
対前年度	10,150					10,150

【事業概要】

急傾斜地崩壊危険区域内に存する宅地の安全性を確保するため、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」（昭和44年7月1日公布）の規定により、県と締結した「急傾斜地崩壊対策工事の施行に伴う費用負担等に関する協定書」に基づき、県が行う事業の一部費用を負担する。

- 急傾斜地崩壊危険区域内の急傾斜地崩壊対策事業費 15,500 千円
 - ・ 施行場所 片瀬山1丁目地内及び大鋸3丁目地内
 - ・ 施行内容 急傾斜地崩壊防止工事（延長：L=60m）及び現場監理業務委託
 - ・ 市負担事業費 県事業費 77,500千円×2/10=15,500千円
- 神奈川県治水砂防協会年会費 65 千円

総務費

事業名	防災施設等維持管理費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 02			防災政策課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	107,214				30	107,184
令和3年度	99,122				30	99,092
対前年度	8,092				0	8,092
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				30

【事業概要】

災害時に迅速な応急対策を行うため、防災備蓄場所や防災備蓄資機材等の維持管理などを実施する。

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. 防災備蓄場所、防災備蓄資機材等の維持管理 | 4,541 千円 |
| ・ 防災備蓄資機材修繕費、防災拠点管理業務委託料等 | 2,842 千円 |
| ・ 災害対策用浄水器等点検、修繕費 | 1,699 千円 |
| 2. 防災行政無線、MCA無線、防災ラジオシステム等の維持管理 | 99,267 千円 |
| ・ 防災行政無線修繕費、電気料、保険料、保守点検等委託料、回線使用料等 | 48,818 千円 |
| ・ MCA無線バッテリー交換修繕費、回線使用料、賃借料等 | 16,323 千円 |
| ・ 防災情報ステーション保守点検等業務委託料、回線使用料等 | 4,703 千円 |
| ・ ふじさわメールマガジン配信サービス保守点検業務委託料 | 1,735 千円 |
| ・ 防災インフォメーション維持管理業務委託料等 | 1,712 千円 |
| ・ 地震観測収集システム賃借料等 | 13,557 千円 |
| ・ 被災者支援システムサーバ賃借料等 | 1,665 千円 |
| ・ 災害対策本部室映像音響設備定期点検業務委託料 | 440 千円 |
| ・ 神奈川県防災行政通信網回線使用料等負担金 | 204 千円 |
| ・ TV会議システム保守点検業務委託料等 | 5,665 千円 |
| ・ 気象情報システム使用料 | 4,257 千円 |
| ・ 衛星携帯電話使用料 | 188 千円 |
| 3. 耐震性飲料用貯水槽の維持管理 | 3,406 千円 |
| 清掃点検委託料、緊急遮断弁点検委託料等 | |

総務費

事業名	地域防災支援事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 04			危機管理課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,010	824	412			774
令和3年度	1,929	728	364			837
対前年度	81	96	48			△ 63
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				824
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				412

【事業概要】

地域における災害時の避難支援体制を構築することを目的として、地震等の災害時に避難支援を必要とする高齢者や障がい児者等の情報を基に避難行動要支援者名簿を更新し、自主防災組織をはじめとした避難支援等関係者に提供するなどの支援を行う。

1. 避難行動要支援者支援事業 2,010 千円

(1) 避難行動要支援者名簿の更新・提供

新たに対象となった避難行動要支援者に対して、名簿掲載等に関する希望確認を実施し、自主防災組織等に更新後の避難行動要支援者名簿の提供を行う。

(2) 説明会等の実施

地域における避難行動要支援者の避難支援体制づくりを推進するため、自主防災組織等に制度内容について説明を行うとともに、制度改善に向けて、避難支援等関係者から意見等を伺う。

(3) 「藤沢市避難行動要支援者避難支援プラン全体計画」等の一部見直し・配布

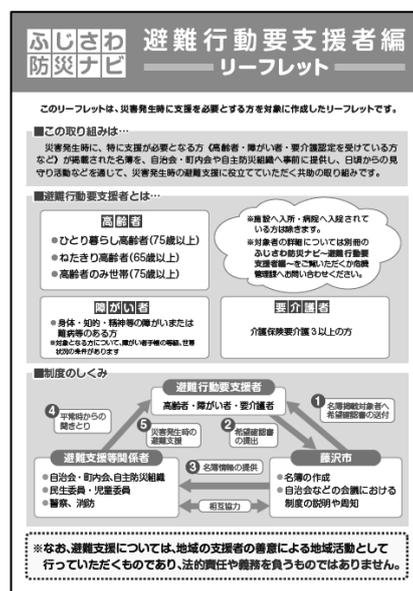
避難支援等関係者や避難行動要支援者からの意見等を踏まえ内容の一部見直しを行い、避難支援等関係者を中心に配布する。また、地域における避難支援体制づくりについてまとめた手順書や訪問用チラシについても配布を行い、地域における避難支援体制づくりを推進する。

(4) 「ふじさわ防災ナビ～避難行動要支援者編～」の改訂・配布

パンフレット及びリーフレットを改訂し、障がい者手帳交付対象者や高齢者世帯を中心に配布することで、災害への備え等について周知・啓発を行う。



パンフレット



リーフレット

総務費

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05			防災政策課		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	202,179		25,061	8,400	4,914	163,804
令和3年度	146,353		19,921	0	6,574	119,858
対前年度	55,826		5,140	8,400	△ 1,660	43,946
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				25,061
	(地方債)	防災施設整備事業債				8,400
	(その他)	防災ラジオ売払収入				1,000
		災害対応型自動販売機設置協力金				3,914

<拡充事業> (仮称)片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設の整備

【施策等を必要とする背景】

該当地区は、近隣に津波避難ビル等がなく、地区内での避難先の確保が必要とされており、多くの市民の生命を守り、迅速かつ確実な避難の実現を図るため、津波避難施設が必要となる。

【提案に至るまでの経緯】

- 令和3年5月 新たな避難施設の設置候補地の情報提供の呼びかけ
- 令和3年6月～ 新たな避難施設の設置候補地の申し出1件あり、改めて区域内の津波避難施設の方向性の検討を行う。
検討の結果、下藤が谷ポンプ場における津波避難施設整備事業に変え、申し出のあった新たな候補地に避難施設を設置することを方針決定した。
(仮称)片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設整備事業計画策定
- 令和3年12月 市議会定例会総務常任委員会に今までの経過と市の考え方を報告
新候補地の用地を先行取得

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

基本構想の策定にあたり、地区内住民を対象とした説明会等を実施して意見集約を図る。

【市の策定する計画や条例との整合性】

地域防災計画（津波災害予防の推進）
国土強靱化地域計画に基づく施策として実施する事業一覧に掲載予定

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
本事業の実施により、片瀬海岸3丁目地区内の津波避難が困難な市民の安心安全が保たれる。
2. 将来にわたる費用
 - ・令和5年度～ 公共事業先行取得用地取得費 211,899千円
 - ・基本・実施設計、施工などの費用については、基本構想等の策定後に積算予定

【事業概要】

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材、防災ラジオ、津波避難施設等の整備や充実・強化を推進する。

1. 防災備蓄資機材等の整備・充実	173,284 千円
おかゆ、長期保存食（ビスケット）、簡易トイレ処理袋、毛布、液体ミルク、紙おむつ等の購入費	
2. 防災ラジオの市民頒布	2,904 千円
災害時等に緊急割込放送を自動受信できる防災ラジオ300台の購入及び頒布	
3. 津波避難対策の充実・強化	846 千円
・津波避難ビル設置用簡易トイレ処理袋等の購入費	608 千円
・津波ハザードマップの印刷費	238 千円
(拡) 4. (仮称) 片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設の整備	11,770 千円
・津波避難施設整備事業基本構想策定委託料	3,333 千円
・津波避難施設整備事業地質等調査委託料	8,437 千円
5. ふじさわ防災ナビの普及・充実	2,684 千円
・市民配布用の冊子「ふじさわ防災ナビ～いま、わたしたちにできること。～」の印刷費	
6. 防災対策の充実・強化	10,691 千円
・洪水・土砂災害ハザードマップの印刷費	640 千円
・防災備蓄倉庫設置工事	7,051 千円
・危険ブロック塀等安全対策工事費補助金	3,000 千円

総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 07	危機管理課				
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	18,398	2,830	6,060			9,508
令和3年度	10,991	1,890	3,485			5,616
対前年度	7,407	940	2,575			3,892
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				2,830
	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				770
		市町村地域防災力強化事業費補助金				5,290

【事業概要】

本市に想定されている災害に対し、被害を最小限に留め、安全で安心なまちづくりを推進するため、指定緊急避難場所（大規模火災）三角柱看板の整備や、自治会・町内会毎の津波避難マップの更新を行う。

また、AI技術を取り入れたSNS緊急速報情報サービスを導入し、災害対応時等の情報収集手段を多角化し、災害対応の充実を図る。

1. 指定緊急避難場所（大規模火災）三角柱看板の整備 8,179 千円

災害時の迅速かつ円滑な避難対策の推進にあたり、市内の公共施設等を災害種別ごとの指定緊急避難場所及び指定避難所に指定したことに伴い、既に各指定緊急避難場所（大規模火災）に設置している三角柱型の看板について、旧名称の「広域避難場所」が表記されていることから、表示内容の変更を行う。

2. 自治会・町内会毎の津波避難マップの更新 7,909 千円

平成27年3月に作成した片瀬地区・鵜沼地区・辻堂地区に所在する自治会・町内会毎の津波避難マップについて、令和3年3月に新たに指定された津波災害警戒区域等の最新情報や地域住民からの意見を踏まえ、津波避難マップを作成し、配布を行う。

- (新) 3. SNS緊急速報情報サービスの導入 2,310 千円

大規模地震や風水害等の災害時はSNS上に投稿された情報も有益であることから、災害対応時等の情報収集手段を多角化するため、AI技術を取り入れたSNS緊急速報情報サービスを導入し、災害対応の充実を図る。



三角柱看板
(現在の表記：広域避難場所)



自治会・町内会毎の津波避難マップ
(平成27年3月作成)

環境保全費

事業名	環境基本計画関係費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 02 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-1-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,015				0	1,015
令和3年度	23,143				21,340	1,803
対前年度	△ 22,128				△ 21,340	△ 788

【事業概要】

多様化する環境問題や今後の新たな課題に対し、良好な環境を次世代へ継承していくことを目的として市民・事業者・行政が一体となって各種施策を推進する。

1. 藤沢市環境審議会の運営 667 千円
 藤沢市環境基本計画の推進及びふじさわ環境白書（藤沢市環境基本計画年次報告）の発行
 - ・ 審議委員謝礼 3回開催 626 千円
 - ・ 審議委員交通費 20 千円
 - ・ 審議委員選考委員会委員謝礼 21 千円

2. 環境基本計画関係事務経費 348 千円
 消耗品費、旅費ほか

環境保全費

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-1-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	42,253				40,950	1,303
令和3年度	35,673				34,150	1,523
対前年度	6,580				6,800	△ 220
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				40,950

< 拡充事業 > 事業者用太陽光発電システム設置費補助金の新設ほか

【施策等を必要とする背景】

1. 事業者用太陽光発電システム設置費補助金の新設

市域における温室効果ガス排出量の多くは製造業、オフィスビル、商業施設、運輸業などが占めていることから、事業者に対する温室効果ガス排出量の削減に繋がる地球温暖化対策設備の導入促進を目的として、新たに本市の自然環境に適した太陽光発電システムの補助を設けるもの。

2. PPA事業（電力購入契約）による再生可能エネルギーの導入

地球温暖化対策として温室効果ガス排出量を削減するため、再生可能エネルギーの導入は欠かせない状況にあり、そのための手法として、初期投資のかからないPPA事業により市有施設に太陽光発電システムを設置し、温室効果ガス排出削減と災害時の電力確保の実現を図るもの。

【市民参加の実施の有無とその内容】

1. 有

市内に事業所等を有する事業者を補助対象とする。

2. 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市環境基本計画、藤沢市地球温暖化対策実行計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 自然環境を活かした太陽光発電システムは、再生可能エネルギーを利用した温室効果ガス排出量の削減につながる重要な設備であり、市域における排出割合が高い事業者に導入を促進することで、更なる温室効果ガス排出削減が見込まれる。

令和4年度以降 3,000千円

2. 公共施設における再生可能エネルギーの導入により温室効果ガス排出量の削減を図るとともに、市が一事業者として率先して取り組むことで、同事業について市民や事業者にも普及促進を図り、市域全体の温室効果ガス排出削減に繋げることができる。

【事業概要】

市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化に対応するため、住宅用太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

1. 藤沢市地球温暖化対策研究会の運営 64 千円
 自然環境や都市環境に応じた地球温暖化における諸課題について企業・学識経験者・行政が協働して調査・研究を行う。
 ・ 研究員謝礼（学識経験者分） 3 回開催

- (括) 2. 地球温暖化対策設備等に関する補助事業 40,950 千円
 地球温暖化対策を目的として、市民及び事業者を対象に、さまざまな地球温暖化対策設備の導入に対し補助金を交付するもの。

	対象	金額	予定件数	予算額
1	住宅用太陽光発電システム	個人住宅1kWあたり 15,000円 (上限50,000円)	150件	13,500千円
		家庭用燃料電池システムと同時 50,000円の増額	内70件	内6,000千円
		家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電池と同時 100,000円の増額	内50件	内5,000千円
2	事業者用太陽光発電システム	(新) 設置費の1/4 (上限 1,000,000円)	3件	3,000千円
3	家庭用燃料電池システム (エネファーム)	1件 50,000円	180件	9,000千円
4	定置用 リチウムイオン蓄電池	1件 50,000円	100件	5,000千円
5	雨水貯留槽	購入金額の1/2 (上限 15,000円)	30件	450千円
6	電気自動車(EV)	1台 100,000円	80件	8,500千円
		自宅、自社に太陽光発電システムを設置している 又は、同時に新設する場合 100,000円の増額	内5件	内500千円
7	燃料電池自動車(FCV)	1台 300,000円	5件	1,500千円

3. 地球温暖化対策関係団体等との連携 33 千円
 地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。

4. 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進
 茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。

- (新) 5. PPA事業（電力購入契約）による再生可能エネルギーの導入
 市有施設の屋根、土地を事業者に貸し、事業者負担で設置する太陽光発電システムにより発電した電力の購入契約を締結し、再生可能エネルギーの導入を図る。

6. 地球温暖化対策関係事業事務経費 1,206 千円
 委員謝礼、消耗品費、旅費ほか

環境保全費

事業名	環境啓発推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 02	環境総務課				
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,952	5,000			900	5,052
令和3年度	10,645	5,000			900	4,745
対前年度	307	0			0	307
特定財源の内訳	(国庫支出金)	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金				5,000
	(その他)	環境制度推進事業協力金				900

【事業概要】

市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化防止のため、ふじさわ環境フェアの開催、「ゼロカーボン推進週間」啓発施策の実施、エコライフアドバイザーの派遣、また新たに小学生、園児を対象とした環境学習体験教室の開催など、さまざまな啓発施策を実施する。

1. 環境実践活動啓発関係 4,301 千円
 環境啓発イベントとして、市民・環境団体・NPO法人・大学・環境関連企業等が連携し、環境活動の展示や発表を行うふじさわ環境フェアを開催する。
 また、本市が取り組んでいるさまざまな環境施策を発信することを目的に環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」の運営、省エネに役立つ情報を掲載した「ふじさわエコライフハンドブック概要版」を発行、配布する。
 - ・ふじさわ環境フェア開催関係費 1,430 千円
 - ・ふじさわエコ日和運営委託費 2,871 千円
 - ・ふじさわエコライフハンドブック概要版関係費（費用はごみ減量推進事業費に含む）

2. エコライフアドバイザー派遣事業の実施
 日常生活の中でできる省エネの取組などに関する講座等への専門的な講師の派遣について支援する。
 - ・エコライフアドバイザー派遣事業

- (新) 3. 環境学習体験教室の開催
 小学校、児童クラブ、保育園にて、環境についての興味を持つきっかけ作りを目的に体験教室を開催する。
 - ・環境学習体験教室事業

4. CO2排出削減促進事業の実施 5,145 千円
 地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」（賢い選択）と連携し、環境啓発イベント等を通じて、CO2排出削減に向けた普及啓発を推進する。
 - ・CO2排出削減促進事業関係費

5. 「ゼロカーボン推進週間」啓発施策の実施 545 千円
 ゼロカーボンの推進に特化したさまざまな施策を実施し、市民、事業者の意識向上を図る。
 - ・講演会事業費 100 千円
 - ・街頭啓発キャンペーン物品購入費 245 千円
 - ・パネル展示関係費 200 千円
 - ・大学生との意見交換会
 - ・「COOL CHOICE」動画作成（費用は上記4に含む）
 - ・リサイクルプラザの体験講座（費用はリサイクルプラザ環境啓発事業費に含む）

6. 環境啓発推進事業事務経費 961 千円
 環境教育教材等消耗品費ほか

環境保全費

事業名	緑地保全事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 01			みどり保全課		
指針体系コード	5-1-6 1	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
区分	事業費	重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	162,723		304		51,194	111,225
令和3年度	160,878		304		52,212	108,362
対前年度	1,845		0		△ 1,018	2,863
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				94
		森林病虫害等防除事業補助金				110
		自然環境事務委託金				100
	(その他)	その他証明閲覧手数料				2
		みどり基金繰入金				14,914
		森林環境譲与税基金繰入金				36,278

【事業概要】

市有山林・憩いの森など樹林地の維持管理及び里山環境の構築を図るとともに、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民等が所有する樹林・樹木・生垣の保存指定を行う。

また、緑地の保全活動を市民と協働で行い、市民ボランティアの育成を図り、活動に携わった市民の郷土愛や地域コミュニティの醸成、豊かな自然環境の復元及び防犯性の向上を目的に事業を実施する。

1. 市有山林、緑地等の維持管理 116,713 千円
 - ・緑地等修繕費等 21,490 千円
 - ・緑地下草刈り及び樹木剪定等業務委託 55,736 千円
 - ・緑地境界測量業務委託 924 千円
 - ・緑地パトロール業務委託 1,191 千円
 - ・樹林地復元業務委託 36,278 千円
 - ・憩いの森、自然環境保全地賃借料 1,094 千円

2. 藤沢市みどり保全審議会の開催 567 千円
 緑の保全及び緑化の推進について必要な事項を調査、審議するため、審議会を開催する。(開催予定数 4回)

3. 保存樹木等関係費 36,000 千円
 保存樹林・保存樹木・保存生垣の所有者に対し、奨励金を交付する。

4. 藤沢市みどり保全協働事業負担金 5,382 千円
 緑地保全活動事業、養成講座事業、環境調査事業、普及啓発事業、支援活動事業の5事業を実施する協働事業活動団体との基本協定に基づく負担金

5. 工事請負費 2,728 千円
 元藤沢航空隊付近市有山林内にある旧大庭東町町内会館の解体工事
 ・旧大庭東町町内会館解体工事

6. 緑地保全事業事務経費 1,333 千円
 消耗品費、負担金等

環境保全費

事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 04			みどり保全課		
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,914				4,524	3,390
令和3年度	7,009				4,524	2,485
対前年度	905				0	905
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				4,524
【事業概要】						
<p>「藤沢市生物多様性地域戦略」及び令和3年度から取り組んでいる「藤沢市生物多様性実行プラン（第1期計画）」に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に資する取組を進めるとともに、市民等の生物多様性に対する関心や認識を高めるための普及啓発を図る。</p> <p>また、ヒートアイランド現象の緩和、みどり豊かな都市景観の創出などを目的として、市民や事業者を対象とした建物緑化に対する助成及び普及啓発を図る。</p>						
<p>1. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業 6,588 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長久保公園みどりの相談所施設修繕 2,206 千円 ・ビオトープ維持管理等 3,234 千円 ・生物多様性サテライトセンター消耗品費等 1,148 千円 <p>2. 建物緑化事業 1,326 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物緑化助成事業交付金等 						

環境保全費

事業名	緑地新設事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 05			みどり保全課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	354,151	73,785	197	132,800	147,369	
令和3年度	1,417	0	197	0	1,220	
対前年度	352,734	73,785	0	132,800	146,149	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				73,785
	(県支出金)	里地里山保全事業補助金				197
	(地方債)	特別緑地保全地区事業債				132,800
	(その他)	みどり基金繰入金				147,369
【事業概要】						
<p>希少な自然環境を有する市内三大谷戸の里山景観を保全するため、緑地の維持管理や「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用促進に関する条例」に基づく活動団体への支援、緑地の取得を実施する。</p>						
<p>1. 石川丸山緑地の維持管理 1,197 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里地里山保全地区内施設修繕等 <p>2. 川名緑地保全事業用地購入（公社買戻） 130,959 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産購入費（取得予定面積2,385㎡） <p>3. 遠藤笹窪緑地用地購入（直買） 221,359 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産購入費（取得予定面積2,979.82㎡） <p>4. その他事務経費 636 千円</p>						

環境保全費

事業名	緑地改修事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 05 説明 01			みどり保全課		
指針体系コード	1-1-5 1	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	41,228			7,100		34,128
令和3年度	42,075			9,300		32,775
対前年度	△ 847			△ 2,200		1,353
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				7,100

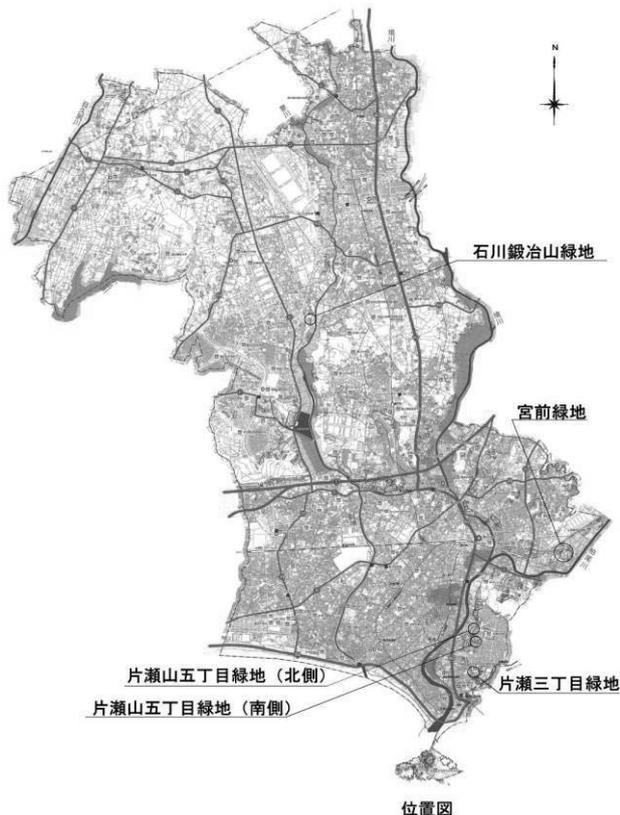
【事業概要】

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に位置する市有山林の法面について、前年度までの成果をもとに安全性の確保に向けた対策を進める。

1. 法面調査委託 16,269 千円
「片瀬山五丁目緑地」において、地質調査と測量を実施し、法面の安全性について評価を行う。
 - ・片瀬山五丁目緑地（その2）法面二次調査委託（南側） 7,513 千円
 - ・片瀬山五丁目緑地（その2）法面二次調査委託（北側） 8,756 千円

2. 法面予備設計委託 17,699 千円
「宮前緑地」、「片瀬三丁目緑地」において、地質調査や測量の結果をもとに、予備設計委託を行う。
 - ・宮前緑地法面予備設計委託 10,494 千円
 - ・片瀬三丁目緑地法面予備設計委託 7,205 千円

3. 法面防護工事 7,260 千円
「石川鍛冶山緑地」において法面防護工事を行う。



宮前緑地



石川鍛冶山緑地

環境保全費

事業名	海岸美化関係費					
予算科目	款 3 項 1 目 3 細目 02 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	67,911		22,885			45,026
令和3年度	58,597		22,785			35,812
対前年度	9,314		100			9,214
特定財源の内訳	(県支出金)	海岸漂着物等対策事業費補助金				22,885

【事業概要】

近年、海洋プラスチックごみや微細なプラスチック類であるマイクロプラスチックが、生態系に与える影響等について国際的に関心が高まり、プラスチックごみ削減及び海洋プラスチックごみ対策は世界全体で取り組むべき地球規模の課題となっている。

また、市区域内海岸の自然環境の保全を図るとともに、利用者にとって快適な環境と安全性を確保するため、(公財)かながわ海岸美化財団への藤沢市分負担金の拠出、江の島島内及び海岸追加清掃、ゴミゼロクリーンキャンペーン等を行う。

1. (公財)かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金の拠出 34,261 千円
 海岸清掃を一元化するために、県・関係市町・企業等により設立された(公財)かながわ海岸美化財団への藤沢市分負担金。(公財)かながわ海岸美化財団が海岸清掃を行う。
2. 江の島島内及び海岸追加清掃の実施 33,421 千円
 ・江の島島内清掃、弁天橋喫煙所灰皿清掃、江の島岩礁部緊急清掃
 ・夏期(7～8月)の海岸屑籠清掃、片瀬東浜・西浜追加清掃
3. ゴミゼロクリーンキャンペーンの実施 229 千円
 海岸をきれいにするとともに、海岸美化への意識啓発を目的として、毎年5月30日(ゴミゼロ)直近となる5月の日曜日に、藤沢市域海岸一帯のボランティア清掃としてゴミゼロクリーンキャンペーンを開催する。

環境保全費

事業名	交通安全啓発費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 01 説明 02			防犯交通安全課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	11,127				260	10,867
令和3年度	11,224				260	10,964
対前年度	△ 97				0	△ 97
特定財源の内訳	(その他)	交通安全対策基金繰入金				260

【事業概要】

市民を対象として交通安全意識の高揚を図るため、交通安全運動や交通安全事業及び交通安全教育事業を行う。新型コロナウイルス感染症対策として、交通安全運動及びキャンペーン等については、関係施設等において展示、チラシ・啓発物品を設置するなど創意工夫をしながら取組を進めるとともに、取組内容を各関係団体にお知らせすることにより、新たな手法を共有する。また、交通安全教室及び研修会等については、「三密」を避け、換気に注意するなど感染予防を図りながら事業を実施する。

1. 交通安全運動の実施 2,712 千円
交通安全推進団体等と連携し、交通安全運動を実施する。
 - (1) 春の全国交通安全運動
 - (2) 夏の交通事故防止運動
 - (3) 秋の全国交通安全運動
 - (4) 年末の交通事故防止運動

2. 交通安全事業の実施 4,557 千円
交通安全対策として各種事業を実施する。
 - (1) 自転車マナーアップ運動キャンペーン
 - (2) 自転車街頭点検
 - (3) 交通安全研修会（幼児教育担当者、地域指導者、高齢者を対象に各1回開催）
 - (4) 藤沢市民交通安全推進総ぐるみ大会
 - (5) 交通安全対策のためのシール等の設置
 - (6) 高齢者安全運転診断

3. 交通安全教育事業の実施 3,858 千円
幼児、小学生、中学生、高齢者等を対象とした交通安全教室等を実施する。
 - (1) 幼稚園、保育園、学校等の交通安全教室
 - (2) 各市民センター・公民館で実施する高齢者交通安全教室
 - (3) シルバー四輪ドライバースクール
 - (4) 二輪車安全運転教室
 - (5) 視聴覚ライブラリー



自転車街頭点検



シルバー四輪ドライバースクール

環境保全費

事業名	防犯対策強化事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 03	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-2-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,581		900			7,681
令和3年度	8,646		900			7,746
対前年度	△ 65		0			△ 65
特定財源の内訳	(県支出金)	特殊詐欺被害防止対策事業補助金				900

【事業概要】

市民と行政が連携して犯罪防止に取り組むため、多様な防犯活動等への積極的支援を行う。

1. 街頭犯罪抑止環境整備 2,166 千円
 こども110番の設置及び登録者確認作業、防犯ブザーの貸出し等により街頭犯罪抑止環境を整備する。
2. インターネット等による防犯情報広報啓発事業 1,323 千円
 - (1) 藤沢市防犯対策システムソフトウェア保守管理業務等 928 千円
 不審者情報、防犯に関する注意喚起などをメール配信するための防犯対策システムソフトウェアの保守管理等を行う。
 - (2) 防犯情報広報啓発事業 395 千円
 ホームページ・SNSにより防犯情報を周知し、防犯意識を啓発する。
3. 暴力追放推進協議会の活動支援 760 千円
 暴力団排除への市民意識の高揚を図る暴力追放推進協議会への支援を行う。
4. 各地区防犯パトロール隊の活動支援 2,300 千円
 市内14地区で活動している防犯パトロール団体等にパトロール用品等の支援を行う。
5. 特殊詐欺対策 1,844 千円
 特殊詐欺被害防止のための啓発チラシ配布や、迷惑電話防止機能付電話機等の購入に対する補助を行う。
6. 防犯市民のつどいの開催 188 千円
 防犯功労者表彰や防犯に関する講演等を行い、日頃の地域防犯活動への功績に感謝するとともに防犯意識の高揚を図る。新型コロナウイルス感染症の状況により、動画・メッセージ配信などホームページ等を活用したオンライン開催を検討する。

迷惑電話防止機能付電話機等購入補助制度のお知らせ

迷惑電話防止機能付き電話機を
 購入すると、**最大6,000円**
 の補助金が交付されます！

※補助条件や手続き方法などの詳細は、
 別添の黄色いチラシをご確認ください。



迷惑電話防止機能付電話機等購入補助制度
 (令和3年度回覧チラシ抜粋)

令和3年度 第38回
 防犯市民のつどい
 ～みんなでつくりよう安全・安心のまち ふじさわ～



と き 2021(令和3年)11月7日(日)午後2時
 と ころ 藤沢市ホームページ
 「藤沢市の安全安心情報」サイト
 主 催 藤 沢 市
 藤沢市防犯協会連合会
 共 催 藤沢警察署・藤沢北警察署
 藤沢防犯協議会・藤沢北防犯協議会

防犯市民のつどいパンフレット

環境保全費

事業名	安全・安心まちづくり対策会議事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 04	防犯交通安全課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	730					730
令和3年度	1,034					1,034
対前年度	△ 304					△ 304

【事業概要】

市民・警察・行政が一体となった、犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議を開催するとともに、総合的な防犯体制を確立し、全市的に犯罪のない安全・安心なまちづくりを推進する。事業実施においては、「三密」を避け、換気に注意するなど新型コロナウイルス感染症対策を図る。

1. 犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議の開催 10 千円

2. 地域安全マップ指導者養成講座等の開催 374 千円

犯罪機会論の普及促進を目的として、市民や教育関係者等を対象に、地域安全マップ指導者養成講座や防犯講座を実施する。新型コロナウイルス感染症の状況により、参加者が一同に集合することが困難な場合、web会議システムなどを活用して実施する。

(拡) 3. 新デジタルコンテンツによる実証事業 150 千円

犯罪機会論の普及促進を目的として、学習や講習会等で活用できる新デジタルコンテンツの実証を行う。

4. 防犯キャンペーン等の活動 196 千円

自転車盗難やひったくり等の街頭犯罪や特殊詐欺の対策として、防犯チラシやグッズを配布するなど効果的なキャンペーンを実施する。



夏期江の島周辺夜間パトロール



地域安全マップ指導者養成講座



防犯パトロール・リレー出発式



繁華街環境浄化パトロール

環境保全費

事業名	街頭防犯カメラ設置推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 05			防犯交通安全課		
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	12,662		1,080			11,582
令和3年度	12,475		1,605			10,870
対前年度	187		△ 525			712
特定財源の内訳	(県支出金)	地域防犯力強化支援事業補助金				1,080

【事業概要】

自治会・町内会が設置する防犯カメラの設置費と修繕費の補助や、市が設置した街頭防犯カメラの維持管理を行う。

1. 自治会・町内会による防犯カメラ設置費補助 11,756 千円

自治会・町内会が設置する防犯カメラ70台について、設置費の一部を補助する。

・設置事業計画届出一覧

地区	団体数	台数 (うち更新台数)
片瀬	2 団体	34 台 (32 台)
明治	2 団体	4 台
長後	2 団体	4 台
辻堂	2 団体	4 台
湘南大庭	1 団体	4 台
鶴沼	2 団体	10 台 (1 台)
藤沢東部	1 団体	8 台 (8 台)
藤沢西部	1 団体	2 台 (2 台)
合計	13 団体	70 台 (43 台)

2. 自治会・町内会が設置した防犯カメラへの修繕費補助 800 千円

自治会・町内会が設置している防犯カメラ本体と周辺機器について、修繕費の一部を補助する。

3. 市が設置した街頭防犯カメラの維持管理 106 千円

市が駅前広場等に設置している15台の街頭防犯カメラについて、維持管理を行う。

・市が設置した街頭防犯カメラ一覧

駅名	台数
藤沢駅	8 台
辻堂駅	2 台
湘南台駅	3 台
片瀬江ノ島駅	2 台
合計	15 台

環境保全費

事業名	浄化槽設置助成事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 5 細目 06 説明 01			下水道総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,525	1,165	1,100			1,260
令和3年度	4,072	1,311	1,311			1,450
対前年度	△ 547	△ 146	△ 211			△ 190
特定財源の内訳	(国庫支出金)	循環型社会形成推進交付金				1,165
	(県支出金)	浄化槽整備事業補助金				1,100

【事業概要】

生活排水による公共用水域の水質汚濁負荷を軽減するため、公共下水道事業計画区域外において、居住の用に供する住宅でみなし浄化槽又は汲み取り便槽から浄化槽へ転換する者に対して、その費用の一部を助成する。

1. 補助金 3,497 千円

(1) 浄化槽設置費補助 5基

人槽	補助単価	基数
5人	332千円	4基
7人	414千円	1基
10人	548千円	—

(2) 浄化槽撤去費補助

- ・ 90千円×4基 (みなし浄化槽)
- ・ 45千円×1基 (汲み取り便槽)

(3) 宅内配管工事費補助

- ・ 300千円×4基 (みなし浄化槽)
- ・ 150千円×1基 (汲み取り便槽)

2. 浄化槽設置助成事務経費 28 千円

- ・ 旅費、負担金

民生費

事業名	民生委員活動費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 02 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	68,922		35,172			33,750
令和3年度	67,131		34,611			32,520
対前年度	1,791		561			1,230
特定財源の内訳	(県支出金)	民生委員活動費負担金				35,172

【事業概要】

地域福祉の推進役として住民に必要な援助を行い、行政との橋渡し役を務める民生委員児童委員の活動推進のため、必要な支援事業を行う。また、本年度行われる一斉改選と欠員補充のため、推薦会を開催する。

1. 民生委員児童委員の報酬及び活動旅費 63,684 千円
 民生委員児童委員の活動に対する費用

2. 報償費 410 千円
 - (1) 民生委員児童委員の力量向上のための研修会の開催
 民生委員児童委員全員が対象の全体研修、高齢者等4つのテーマ別部会に分かれて実施する部会研修及び主任児童委員研修のほか、一斉改選に伴う記念講演を開催

 - (2) (仮称) 民生委員サポーター制度モデル事業の実施
 令和4年12月1日に実施される一斉改選に合わせて民生委員児童委員の負担軽減及び円滑な引継ぎに資するため、前任者が新任委員の活動に協力する(仮称) 民生委員サポーター制度のモデル事業を実施
 - ・実施期間 令和4年12月1日～令和5年3月31日
 - ・活動内容 見守り対象者宅への安否確認を兼ねた声掛けや訪問の同行、地域福祉イベントの周知や参加協力等

3. 民生委員推薦会の開催(委員報酬) 780 千円

4. 民生委員児童委員活動費負担金 3,533 千円
 16地区の各地区民生委員児童委員協議会が実施する事業や活動に要する経費の一部を負担

5. その他事務経費 515 千円
 消耗品費等

民生費

事業名	社会福祉協議会関係費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 04 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	100,564				20,000	80,564
令和3年度	103,902				15,000	88,902
対前年度	△ 3,338				5,000	△ 8,338
特定財源の内訳	(その他)	藤沢市社会福祉協議会貸付金元金収入				20,000
<p>【事業概要】 地域福祉を推進するための諸事業を行う藤沢市社会福祉協議会に対し、団体運営に係る職員の人件費等を助成するとともに、福祉資金等に係る原資の貸付けを行う。</p> <p>1. 職員人件費等補助 80,554 千円</p> <p>2. 行旅人等旅費支給事業（委託） 10 千円</p> <p>3. 貸付金（福祉資金15,000千円、修学旅行資金5,000千円） 20,000 千円</p>						

民生費

事業名	生きがい福祉センター業務委託費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 06 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	33,528					33,528
令和3年度	38,058					38,058
対前年度	△ 4,530					△ 4,530
<p>【事業概要】 高齢者等に就業の機会を提供し、生きがいづくりの支援と社会参加の促進、福祉の向上を図るため、藤沢市生きがい福祉センターの管理運営を行う。</p> <p>1. 藤沢市生きがい福祉センターの管理運営 33,472 千円 高齢者等の生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、指定管理者による事業運営及び施設の維持管理等を行う。</p> <p>2. 施設賠償責任保険の加入 15 千円</p> <p>3. AEDの設置（賃借料） 41 千円</p>						

民生費

事業名	シルバー人材センター事業会計助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 06 説明 02	高齢者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	47,315					47,315
令和3年度	48,205					48,205
対前年度	△ 890					△ 890

【事業概要】

高齢者に就業の機会を提供し、生きがいづくりや社会参加を促進するとともに、市民福祉の向上に寄与するため、シルバー人材センターを設置した公益財団法人藤沢市まちづくり協会に対し、その運営費を助成する。

1. シルバー人材センター運営費助成 47,315 千円
 高齢者に就業機会を提供するとともに、研修・相談会等の実施による就業支援を行い、生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、シルバー人材センターの運営費を助成する。

民生費

事業名	地域福祉プラザ運営事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 08 説明 02	福祉総務課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	97,366	3,022			1,168	93,176
令和3年度	94,565	4,577			1,160	88,828
対前年度	2,801	△ 1,555			8	4,348
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				3,022
	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				1,168

【事業概要】

本市がめざす、地域住民や多様な主体の参加による、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現に資するため、地域住民等のネットワークの拠点として、また、世代や属性を超えた総合支援拠点として「地域福祉プラザ」の運営を行うにあたり、連携の中心となる藤沢市社会福祉協議会に対して、職員の人件費や事業経費を補助する。

1. 地域福祉プラザを運営するための経費の補助 97,366 千円
 - (1) 職員人件費 94,888 千円
 - (2) 地域福祉活動センターの運営 1,168 千円
 障がい者をはじめとする当事者会や家族会等の活動支援を行うとともに、ボランティアの相談事業や養成事業等を実施する。
 - (3) 福祉情報配信の取組 976 千円
 障がい者をはじめとする当事者会やボランティア団体等の地域福祉に関する活動団体の情報や福祉行政に係る事業等の情報を配信し、地域資源に関する情報を共有することで、多様な主体との協働による地域づくりの推進を図る。
 - (4) 社会参加スペースの運営 271 千円
 既存の社会参加の機会において、その環境に配慮を要する者等を対象として、居場所の提供やボランティア、就労体験等の事業を実施する。
 - (5) その他事務経費（役務費） 63 千円

民生費

事業名	愛の輪福祉基金積立金					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 09 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	20,168				20,168	
令和3年度	15,163				15,163	
対前年度	5,005				5,005	
特定財源の内訳	(その他)	愛の輪福祉基金寄付金				20,000
		愛の輪福祉基金利子収入				168

【事業概要】

社会福祉の増進を図るため、愛の輪福祉基金を設置し、基金の積立てを行う。
(令和2年度末基金残高 552,010,934円)

1. 寄付金 20,000千円
パンフレットの配布等により基金の概要や趣旨の周知を行い、基金への寄付を促進する。
2. 利子収入 168千円
利子収入を基金に積み立てる。

民生費

事業名	愛の輪福祉基金事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 10 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,137				10,137	
令和3年度	10,137				10,137	
対前年度	0				0	
特定財源の内訳	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				10,137

【事業概要】

福祉活動の育成強化及び活動の充実を図るため、障がい者団体や福祉関係のボランティア団体等を対象として、愛の輪福祉基金を活用した助成を行う。

1. ボランティア団体等への助成 10,000千円
愛の輪福祉基金補助金交付要綱に基づき、審査委員会で決定した事業を行うボランティア団体等へ補助金を交付する。
2. 補助金交付事務支援業務 137千円
地域団体からの相談業務、補助金交付申請の集計、審査委員会の開催補助等の補助金交付事務に係る支援業務を藤沢市社会福祉協議会に委託する。

民生費

事業名	介護人材育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01			介護保険課		
指針体系コード	5-3-4 1		まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる		
区分	事業費	重点施策名	人材育成の推進			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,121		595			7,526
令和3年度	8,529		304			8,225
対前年度	△ 408		291			△ 699
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分) 事業費補助金				45
		市町村自治基盤強化総合補助金				550

<拡充事業> 介護人材の確保等に向けた各種事業の充実

【施策等を必要とする背景】

少子超高齢社会の進展に伴い、生産年齢人口が減少し、働き手の確保が一層難しくなることが想定される一方、介護ニーズは今後も増加することが予想される。

そのため、国は、「介護現場革新会議」を発足し、介護現場の生産性向上を促進し、社会構造の変革に対応できるよう、人手不足の中でも質の維持・向上を実現するマネジメントモデルの構築、ロボット・センサー・ICTの活用、介護業界のイメージ改善と人材の確保といったテーマを掲げて取組を進めている。

【提案に至るまでの経緯】

事業の充実に向けて、国の動向を注視しつつ、介護サービス事業者に対するアンケート調査や特別養護老人ホームの施設長会等での意見交換を踏まえながら検討してきた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・いきいき長寿プランふじさわ2023（令和3年度～令和5年度）
- ・ロボット未来社会推進プロジェクト

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

人材の確保・定着及び技能の向上により、多様化する利用者ニーズに対応した質の高い介護サービスが提供される。また、介護事業所が地域における安心の担い手としての役割を果たし続けることができる。

2. 将来にわたる費用

介護ニーズに応じて、継続的な支出が必要である。

【事業概要】

介護人材の確保等を図るため、介護職員初任者研修等の受講料の助成をはじめ、介護未経験者等の参入促進や、中学生に対するイメージ改善等の取組を進めるとともに、介護事業所に対して介護ロボット・ICT活用等の支援を行う。

1. 介護職員等研修受講料助成事業 400 千円
 介護職員初任者研修又は介護支援専門員実務研修の受講修了者が市内の介護事業所等に6カ月以上就労した場合に、当該研修受講料の一部を助成する。

- (拡) 2. 外国人介護職員受入支援事業 1,020 千円
 介護福祉士資格の取得をめざす外国人留学生等を新たに受け入れる特別養護老人ホーム等を運営する法人に対し、居住費及び生活必需品に係る費用の一部を助成する。
 令和4年度からは、特定技能への在留資格移行準備期間中に、特定活動の在留資格で就労する外国人を新たに補助対象とする。

3. 介護職員等キャリアアップ研修支援事業 2,400 千円
介護職員等の資格取得又はスキルアップにつなげるため、介護事業所が講師を招いて行う研修や職員を外部に派遣する研修等に係る費用の一部を助成する。
(研修受講料等の2分の1以内・1法人当たり上限12万円)

(拡) 4. 介護の入門的研修の実施 2,531 千円
介護分野への人材の参入を促進するため、介護に関心を持つ介護未経験者を対象に、介護業務に携わる上での不安を払拭することを目的とした基本的知識を身につける研修を実施する。令和4年度においては、受講者の都合の良い時間に受講できるようオンライン講座を中心に実施する。

(新) 5. 先進的介護実証事業 1,650 千円
特別養護老人ホームを実証施設の対象として、介護の専門的なコンサルティング事業者とともに、プロジェクトチームを立ち上げ、生産性向上に向けたロボット・ICT等の導入及び効果検証を実施する。

6. その他の介護人材育成支援事業 120 千円

(1) 介護のしごと出前授業

市内中学校からの依頼により、介護事業所の職員が学校を訪問し、介護の仕事内容や体験、やりがいについての講演会等を実施する。

(2) 介護の職場体験事業

介護業界に就職を希望する人、興味のある人、また、どのような介護事業所で働くかを迷っている人を対象に、介護職場での見学及び仕事体験ができる機会を提供する。

(3) 介護現場の生産性向上プロジェクト

介護事業所とともに、介護ロボット・ICT導入等に先進的に取り組んでいる介護事業所への視察や開発メーカー等との意見交換等を行う。

(4) 介護事業所の見学&仕事相談会 (バスツアー事業)

ハローワーク藤沢との共催により、バスで介護事業所を巡り、事業所内における見学と就職相談を行う事業を実施する。

民生費

事業名	成年後見制度等推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 19 説明 01	地域共生社会推進室				
指針体系コード	2-1-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	42,427	8,894	7,850			25,683
令和3年度	38,917	7,417	7,171			24,329
対前年度	3,510	1,477	679			1,354
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				6,239
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				2,655
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				3,119
		地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				4,731

<拡充事業> 成年後見制度利用促進事業の実施

【施策等を必要とする背景】

成年後見制度の利用の促進に関する法律及び国の通知「成年後見制度利用促進基本計画に係るKPIを踏まえた体制整備の推進について」により、令和3年度末までに全市町村に中核機関を整備することが求められており、本市では令和元年度から、藤沢市社会福祉協議会への業務委託により、ふじさわあんしんセンターを中核機関として位置付け、既存の仕組みを生かしつつ、機能拡充に向け、支援関係者によるチームづくりと、チーム支援、さらには成年後見制度の利用促進機能及び後見人支援の機能などを含めた一体的な支援体制の整備を進めてきた。

【提案に至るまでの経緯】

令和元年度から、中核機関における「相談・広報機能」の充実に加えて、「成年後見制度利用促進機能」、「後見人支援機能」の具体的な実施内容について、専門士業や関係機関等で構成される地域権利擁護ネットワーク連絡会や成年後見制度利用促進に関する検討会において、複雑化、複合化した相談への対応や、より専門的な見地や判断が求められる事案に対し、専門士業によるアウトリーチ支援や、後見人等が選任されるまでの間の緊急的な金銭管理へのニーズに対応するため、中核機関としての機能の拡充に向けて検討を重ねた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

地域福祉計画2026

権利擁護のための支援の充実として、意思決定支援及び成年後見制度の利用促進を位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

専門士業によるアウトリーチ支援や緊急事務管理事業を実施することで、困難な課題への解決が必要な方に対し、より効果的な支援が可能となり、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することをめざす、地域共生社会の実現に向けた取組の一端を担うものと捉えている。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

令和4年度以降 成年後見制度利用促進事業 8,624 千円

【事業概要】

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発、また相談・支援体制整備を図ることにより、判断能力が十分でない高齢者や障がいのある人が、適切にサービスを利用し、安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的とし、成年後見制度利用支援事業の実施及び藤沢市社会福祉協議会内に設置している「ふじさわあんしんセンター」への助成等を実施する。

1. 市民後見人養成事業 4,762 千円
適切かつ安定的に権利擁護の推進を図るため、市民後見人の育成及び活用に向けた基盤整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
2. ふじさわあんしんセンターに対する補助等 20,947 千円
成年後見制度利用支援体制の構築に係る補助及び日常生活自立支援事業に対する事業費補助
3. 後見人に対する報酬等 7,272 千円
成年後見人等への報酬助成
4. その他旅費等 822 千円
市長申立てによる審判請求
親族等の申立てによる審判請求に係る手続費用の支援

- (拡) 5. 成年後見制度利用促進事業 8,624 千円
中核機関としての機能である権利擁護の地域連携ネットワークの充実やチーム支援、アウトリーチの実施、さらに成年後見制度の周知や情報発信を目的とした広報活動など、成年後見制度利用促進に向けた体制整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施する。
また、後見人等が選任されるまでの間の緊急的な金銭管理へのニーズに対応するため、緊急事務管理事業を行うことで、中核機関としての機能の充実を図る。

※ 高齢者を対象とする事業の一部は、介護保険事業費特別会計にて実施

民生費

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01	地域共生社会推進室				
指針体系コード	2-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	64,281	41,051				23,230
令和3年度	64,440	41,179				23,261
対前年度	△159	△128				△31
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				14,150
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				26,901

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

- (括) 1. 自立相談支援事業 (必須事業) 401 千円
 《事業内容》 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、さまざまな社会資源と連携・協働しながら相談支援を一体的かつ計画的に行う。また、ひきこもり状態にある本人や家族等に対し、SNS等を活用した相談窓口を設置するとともに、相談支援に従事する支援者のスキルアップをめざした研修会等を実施する。
 《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」(市直営) 本庁(福祉総合相談支援センター)及び北部福祉総合相談室で実施
2. 住居確保給付金の支給 (必須事業) 17,952 千円
 《事業内容》 離職者や休業等により経済的に困窮した世帯へ家賃相当額を支給するとともに就労に向けた支援を行う。
 《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」(市直営)
3. 就労準備支援事業 (任意事業) 14,527 千円
 《事業内容》 就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会生活自立の段階から支援を行う。
 《実施方法》 委託事業として実施
4. 家計改善支援事業 (任意事業) 9,409 千円
 《事業内容》 家計管理に関する相談と指導及び家計改善の意欲を高める支援を行うとともに、必要な貸付けのあっせん等の支援を行う。
 《実施方法》 委託事業として実施
5. 子どもの学習・生活支援事業 (任意事業) 20,190 千円
 《事業内容》 市内4地区(北部・東部・西部・御所見)に拠点を開設し、学校等の支援機関と連携しながら、生活困窮世帯の子どもへの学習支援、居場所づくり及び不登校等の課題を有する子どもに対する支援を行う。また、子どもを取り巻く保護者や世帯の生活環境や生活上の課題解決に向け支援を行う。
 《実施方法》 委託事業として実施
6. 一時生活支援事業 (任意事業) 1,802 千円
 《事業内容》 居住のない生活困窮者であって、所得が一定水準以下の者に対し、宿泊場所等を提供するとともに、入所者への自立に向けた相談支援を行う。
 《実施方法》 県及び市による広域・共同により、委託事業として実施

民生費

事業名	包括的支援体制推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 02	地域共生社会推進室				
指針体系コード	2-1-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	97,140	72,852				24,288
令和3年度	96,755	70,684				26,071
対前年度	385	2,168				△ 1,783
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				44,949
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				27,903

【事業概要】

地域共生社会の実現に向け、地域のさまざまな関係機関との連携・協働により、地域生活課題を抱える人（世帯）に対する個別支援と、個別支援の積み重ねにより把握される地域課題の解決に向け活動するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を、藤沢市社会福祉協議会への委託により、生活圏域13地区に配置することで、重層的支援体制の整備による包括的な支援体制を目的とした取組を推進する。

1. 自立相談支援事業費（必須事業） 59,933 千円
生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図る。
2. 多機関協働事業（任意事業） 2,683 千円
単独の支援関係機関では対応が難しい複合化・複雑化した支援ニーズがある生活困窮者に対する支援の方向性について、支援関係機関の役割分担、支援プランを策定することにより、関係者間の連携を進めるとともに、分野を超えた包括的な支援体制を推進する。
3. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（任意事業） 19,559 千円
支援関係機関どうしの連携や地域住民とのつながりの中から把握される、潜在的な生活課題を抱える人（世帯）に対し、当該対象者との信頼関係を構築することを目的に、時間をかけて丁寧な働きかけを行うことで、必要な制度、サービスにつなげていくことをめざす。
4. 参加支援事業（任意事業） 14,965 千円
既存の社会参加に向けた事業では対応できない本人のために、本人及びその世帯が抱える生活課題を把握し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネート・マッチングを行う。また、必要に応じ既存の社会資源に対し働きかけを通じて、その拡充や支援ニーズに即した新たなメニューの創設をめざす。

民生費

事業名	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 23 説明 01	地域共生社会推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,087	582				505
令和3年度	1,002	582				420
対前年度	85	0				85
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				582

【事業概要】

「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることができるまち」をめざし市民、地域で活動する団体・事業者等と行政との協働並びに各地域における会議体などを活かし、支えあいの地域づくりについて取組を支える仕組みの構築及び連携体制を取り、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた施策等に取り組む。

1. 「藤沢型地域包括ケアシステム推進会議」の開催（委員報酬） 777 千円
市民、医療・福祉等の関係機関や地域団体の代表者、藤沢市社会福祉協議会や行政の職員で構成する審議会を開催し、藤沢型地域包括ケアシステムの推進における多機関との連携体制やネットワークづくりに向けた意見交換、情報共有を図る（年4回）。
2. 地域共生社会の実現に向けた市民への普及啓発 310 千円
市民一人ひとりが地域社会の一員として支えあう地域づくりに向け、認知症等当事者の視点や感情を自分事として実感できるVR体験会と講義、身近なテーマを切り口としたワークショップの開催、チラシの配布など、地域づくりについてより身近に感じてもらえるような啓発を行う。

民生費

事業名	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01			地域共生社会推進室		
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	28,457	1,963			20,922	5,572
令和3年度	25,555	17,630			1,900	6,025
対前年度	2,902	△ 15,667			19,022	△ 453
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				1,963
	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				20,922

【事業概要】

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 24,491 千円

事業名		団体数	予算額 (千円)
地域の縁側事業		45	11,085
基本型	誰もが気軽に立ち寄れ、交流や相談ができる居場所	29	
特定型	特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	8	
基幹型	基本型の機能に加え、介護予防特化型を除く地域の縁側事業の中核としての役割を担う居場所	4	
介護予防特化型	介護予防を目的に、体操や軽運動を活動の中心とした高齢者の居場所 (高齢者支援課で実施)	4	介護保険事業費 特別会計で計上
地区ボランティアセンター事業 地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした地域支えあい活動の拠点		12	11,592
安全・安心ステーション事業 地域における防犯意識の高揚と地域住民による防犯活動の活発化を図る拠点		7	1,814

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 3,966 千円

- (1) 地域の縁側ポイント支援金 39 千円

地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対してポイントを付与し、活動者からの申請に基づき1ポイント100円の支援金を、前年度の付与ポイントに対し、支給する。

- (2) 地域の縁側活動支援事業 3,927 千円

地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を藤沢市社会福祉協議会と協働して支援するため、活動支援業務を委託する。

民生費

事業名	窓口業務等協働事業推進費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 25 説明 01			保険年金課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	295,888	11,673				284,215
令和3年度	295,888	0				295,888
対前年度	0	11,673				△ 11,673
特定財源の内訳	(国庫支出金)	国民年金事務委託金				11,673

【事業概要】

市民サービスの維持・向上を図るため、保険年金課の業務（国民健康保険業務、後期高齢者医療業務及び国民年金業務）の一部を協働事業（業務委託）として実施する。

1. 保険年金課窓口業務等協働事業 295,888 千円
- ・各種申請受付事務、当該申請に係るシステムへの入力などの補助的業務及び電話対応
 - ・運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新
 - ・月次及び年次報告書の作成
 - ・モニタリング指標の測定
 - ・内部監査の実施

民生費

事業名	障がい者福祉手当					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 02 説明 01	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	423,238	97,282				325,956
令和3年度	414,091	92,524				321,567
対前年度	9,147	4,758				4,389
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特別障がい者手当等給付費負担金				97,282

【事業概要】

障がい児者の生活の安定と福祉の増進を図るため、特別児童扶養手当等の支給に関する法律及び藤沢市障がい者福祉手当条例に基づき、障がい児者に対して福祉手当を支給する。

1. 特別障がい者手当 月額27,350円 94,385千円
 20歳以上の障がい者で、国民年金の1級程度の障がい重複するなど著しく重度の障がい状態にあるため、日常生活に常時特別の介護を必要とする在宅の人に支給する。
 ただし、本人、配偶者又は扶養義務者の所得が一定額以上ある人、障がい者支援施設等に入所している人、3カ月以上医療機関に入院している人を除く。
2. 障がい児福祉手当 月額14,880円 33,361千円
 次のいずれかに該当する20歳未満の重度障がい児で、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の人に支給する。
 (1) 身体障がい者手帳1・2級の一部の人
 (2) 知能指数20以下の人
 (3) 精神障がい者保健福祉手帳1級の一部の人、その他、常時介護が必要であると認められる人
 ただし、本人、配偶者又は扶養義務者の所得が一定額以上ある人、障がいを支給事由とする公的年金を受給している人、肢体不自由児施設等に入所している人、補聴器が交付されている聴覚障がい児又は自動車運転免許証を所持している人を除く。
3. 経過的福祉手当 月額14,880円 1,964千円
 従来福祉手当の受給者のうち、特別障がい者手当に該当せず、障がい基礎年金も支給されない人に支給する。(経過措置として支給する手当)
4. 藤沢市障がい者福祉手当 月額4,000円 293,512千円
 市内に居住する20歳未満又は個人市町村民税が課税されていない20歳以上65歳未満の人で、次のいずれかに該当する人に支給する。
 (1) 身体障がい者手帳1～3級の人
 (2) 知能指数50以下(療育手帳A1～B1相当)の人
 (3) 精神障がい者保健福祉手帳1・2級の人
 ただし、特別障がい者手当、障がい児福祉手当又は経過的福祉手当を受給している人、児童福祉施設又は障がい者支援施設に入所している人を除く。
5. 特別障がい者手当審査嘱託医報酬 16千円

民生費

事業名	心身障がい者介護手当					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 02 説明 02	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	20,727					20,727
令和3年度	20,951					20,951
対前年度	△ 224					△ 224

【事業概要】

重度の心身障がい児者の福祉の増進を図るため、常時介護が必要な重度の障がい児者の介護を在宅で行っている介護者に対し、介護手当を支給する。

1. 心身障がい者介護手当 月額7,000円 20,727千円
 市内に居住する4歳以上65歳未満の障がい児者で、介護保険法によるサービスを受けていない人のうち、次のいずれかに該当する障がい児者を介護している人に支給する。
 (1) 6カ月以上寝たきり又はこれと同等の状態にあり、1・2級の肢体不自由・内部障がい・視覚障がいの身体障がい者手帳が交付されている常時介護が必要な人
 ただし、視覚障がいの場合は、幼児・未就学児に限る。
 (2) A1・A2の療育手帳が交付されている常時介護が必要な人

ただし、次の場合を除く。

- ・障がい児者が施設に入所しているとき。
- ・障がい児者が医療機関に入院しているとき。
- ・現に介護をしていないとき。

民生費

事業名	学園等運営委託費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 03 説明 02	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	183,850					183,850
令和3年度	180,500					180,500
対前年度	3,350					3,350

【事業概要】

障がい児者の福祉及び健康の増進を図るため、指定管理者に委託して太陽の家しいの実学園、藤の実学園及び体育館の管理運営事業を行う。

1. 学園等管理運営業務委託 183,850千円
 (1) 指定管理者により、障がい児者への支援を行う。
 (2) 障がい者スポーツの振興のため、活動の場の提供、講習会、大会等を実施する。
 (3) しいの実学園、藤の実学園の利用者を対象とした、歯科健診・口腔衛生指導・摂食機能指導を実施する。

民生費

事業名	障がい者等医療助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 05 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,879,169		280,601		162,285	1,436,283
令和3年度	1,807,543		269,359		153,427	1,384,757
対前年度	71,626		11,242		8,858	51,526
特定財源の内訳	(県支出金)	重度障がい者医療費補助金				280,601
	(その他)	高額療養費還付金				162,285

【事業概要】

障がい者等の医療に係る経済的負担を軽減し、保健の向上及び福祉の増進を図るため、入通院の医療費の自己負担分（入院時の標準負担額を除く。）を助成する。

対象者は、次のいずれかに該当する人

- ・身体障がい者手帳1～3級の人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1・2級の人
- ・知能指数50以下（療育手帳A1～B1相当）の人
- ・65歳以上で身体障がい者手帳4級の一部の人
- ・65歳以上でねたきりの人

- | | | |
|--------------------|----------------------------------|--------------|
| 1. 扶助費 | | 1,850,627 千円 |
| ・受給者数 | 12,281人（令和4年4月1日見込み） | |
| ・受診件数 | 34,860件（令和4年度月平均見込み） | |
| 2. 審査支払い手数料 | | 27,862 千円 |
| | 医療証取扱い分における神奈川県国民健康保険団体連合会等への手数料 | |
| 3. 障がい者等医療助成事業事務経費 | | 680 千円 |
| | 旅費、消耗品費、印刷製本費 | |

民生費

事業名	障がい者等歯科診療事業運営費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 06 説明 01	障がい者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	147,549		7,900			139,649
令和3年度	148,589		7,900			140,689
対前年度	△ 1,040		0			△ 1,040
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村障がい者福祉事業推進補助金				7,900

【事業概要】

障がい者等の歯科の健康の増進を図るため、一般の開業医では対応が困難な障がい児者及び要介護高齢者のための歯科診療等を藤沢市歯科医師会に委託して行う。

1. 障がい児者歯科診療の実施 97,082 千円
 診療日 南部診療所 火・木曜日午後
 北部診療所 木・土曜日午後

2. 要介護高齢者の歯科診療の実施 50,467 千円
 診療日 南部診療所 木・日曜日午前
 北部診療所 木・日曜日午前

3. 静脈内鎮静法による診療の実施 (経費は上記1に含む。)
 歯科診療に伴う苦痛や不安を取り除くために鎮痛薬や向精神薬を静脈に直接注入し、
 麻酔状態の間に診療を行う。
 診療日 南部診療所 火・木曜日午後 月4回
 北部診療所 木・土曜日午後 月4回

4. 施設訪問歯科健診及び施設訪問口腔衛生指導の実施 (経費は上記1に含む。)
 市内の障がい者施設を訪問し、歯科健診及び口腔衛生指導を実施する。
 施設数 29施設 各1回

5. 藤沢市歯科医師会による摂食支援相談会の実施 (経費は上記1に含む。)
 実施日 南部診療所 日曜日 月1回

6. 藤沢市歯科医師会による摂食嚥下リハビリテーションの実施 (経費は上記2に含む。)
 実施日 南部診療所 日曜日 月1回

7. 施設管理費 (経費は上記1に含む。)
 保健医療センター内に設置した北部診療所の施設管理を行う。

民生費

事業名	障がい者等福祉タクシー助成事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 07 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	132,692					132,692
令和3年度	130,515					130,515
対前年度	2,177					2,177

【事業概要】
 重度の障がい者等の行動範囲の拡大や社会参加の促進を図るため、福祉タクシー利用券を交付しタクシー利用料の助成を行う。
 対象者は、次のいずれかに該当する人
 ・身体障がい者手帳上肢又は内部1級、体幹又は下肢1～3級、視覚1・2級の人
 ・療育手帳A1・A2又は知能指数35以下の人
 ・身体障がい者手帳3級かつ知能指数50以下の人
 ・精神障がい者保健福祉手帳1級の人
 ・特定医療費（指定難病）医療受給者証が交付されている人
 ・特定疾患医療受給者証が交付されている人

1. 福祉タクシー利用券の交付 124,606 千円
 福祉タクシー利用券 1人当たり 月2,400円分を交付
 福祉タクシー利用券（時間制運賃用）
 1人当たり 月2枚を交付
 ※人工透析による通院対象者には、上記の1.5倍を交付

2. 福祉タクシー利用券取扱手数料 5,483 千円

3. 福祉タクシー利用券等印刷製本費 2,603 千円

民生費

事業名	障がい者就労支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 09 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	17,462		4,581		5,152	7,729
令和3年度	17,462		4,581		5,152	7,729
対前年度	0		0		0	0
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村障がい者福祉事業推進補助金				4,581
	(その他)	地域就労援助センター助成事業他市町負担金				5,152

【事業概要】
 就労支援が必要な障がい者に対して、社会参加を促進するため、能力に応じた就労の場の確保や職場定着を支援するための事業を行う。

1. 湘南地域就労援助センター補助金 17,462 千円
 障がい者の就労支援を行っている社会福祉法人電機神奈川福祉センターが運営する湘南地域就労援助センターに対して、運営費を助成する。

民生費

事業名	心のバリアフリー推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 11 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,290	750	375		272	893
令和3年度	1,073	195	97		270	511
対前年度	1,217	555	278		2	382
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				750
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				375
	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				272

【事業概要】

障がいに対する正しい認識と理解の浸透を図るため、啓発事業等を行う。

1. 「障がい者差別解消支援地域協議会」の開催（委員報酬） 186 千円
障がい者差別解消法に基づく障がい者差別解消支援地域協議会を年度内に2回開催する。
2. 「心のバリアフリー講習会」の開催等の啓発事業の実施 486 千円
（報償金、消耗品費、印刷製本費、委託料）
市民や市内事業者等を対象に障がいについて理解を深めるため、講習会の実施や啓発を目的としたリーフレットを作成する。
3. 「藤沢バリアフリーマップ」の保守（委託料） 273 千円
設備等の変更を確認した掲載施設について、最新の情報に更新する。
4. 「心のバリアフリーハンドブック（電子版）」の作成（委託料） 1,345 千円
障がいに対する理解と関心を深めるため、障がい者が困っているときの対応を写真、イラストを交えてわかりやすく説明したハンドブックを作成し、市内小学4年生への配付を行うとともに、市民や事業者等が閲覧できるよう市ホームページに掲載して、活用を促す。

民生費

事業名	介護給付費等事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 13 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,499,811	3,572,368	1,850,608			2,076,835
令和3年度	6,836,038	3,261,776	1,692,020			1,882,242
対前年度	663,773	310,592	158,588			194,593
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者介護給付費等負担金				3,559,762
		療養介護医療費負担金				12,606
	(県支出金)	障がい者介護給付費等負担金				1,779,881
		療養介護医療費負担金				6,303
		市町村障がい者福祉事業推進補助金				64,424

【事業概要】

障がい児者やその家族の身体的・精神的負担を軽減し、障がい者福祉の向上を図るため、障がい児者に対して、居宅又は施設においてそれぞれの障がいに適した支援を行う。

1. 居宅介護等 977,412 千円
居宅等において、入浴、排泄及び食事等の介護、調理・掃除等の家事、並びに生活等に関する相談及び助言、その他生活全般にわたる支援のため、居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問介護を行う。
2. 短期入所（ショートステイ） 125,015 千円
施設に短期間入所した障がい者に対し、入浴、排泄、食事等の介護を行う。
3. 施設等での入通所サービス 6,092,050 千円
入所又は通所する障がい者に対し、施設において食事、入浴、排泄等の介護及び日常生活上の支援又は生産活動や創作活動を通じて必要な訓練を行うほか、重度障がい者を受け入れる市内入通所施設への処遇費補助を実施する。
4. 障がい者地域生活サポート事業 49,065 千円
障がい者の地域生活を支える社会的な資源として、障がい者施設等の活用を図り、障がい者の地域生活移行を促進する。
5. 自立支援給付費支払事務負担金、システム運用経費等 72,444 千円
6. 障がい者施設等通所交通費助成 69,593 千円
地域で生活する障がい者の社会参加を促進し就労意欲を高めるため、通所施設等への通所交通費を助成する。
7. 共同生活援助事業等 114,232 千円
障がい者が住み慣れた地域で生活を維持できるよう、グループホーム等の利用者に対する家賃及び必要な支援を行うグループホームを運営する団体に対する運営費等を助成する。

民生費

事業名	障がい児通所給付費等事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 13 説明 02			子ども家庭課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,335,048	1,167,092	583,546			584,410
令和3年度	2,222,296	1,110,837	555,418			556,041
対前年度	112,752	56,255	28,128			28,369
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい児施設措置費負担金				1,159,700
		障がい者地域生活支援事業費補助金				7,392
	(県支出金)	障がい児施設措置費負担金				579,850
		障がい者地域生活支援事業費補助金				3,696

【事業概要】

障がい児やその家族の身体的・精神的負担を軽減し、障がい児福祉の向上を図るため、それぞれの障がい特性に応じた支援を行う。

1. 障がい児通所支援等 2,319,401 千円
 - (1) 日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練等
(児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援等)
 - (2) 障がい児通所支援等の利用に関する相談支援
2. 重度障がい児放課後等デイサービス受入れ推進事業 14,784 千円
 重度の障がい児を受け入れている事業所に対する助成を行う。
3. 児童発達支援センター昼食代等助成事業 625 千円
 法人立の児童発達支援センターにおける昼食代等の利用者負担額の一部を助成する。
4. その他事務経費 238 千円

民生費

事業名	地域生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 01			障がい者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	445,548	149,638	85,042		5,868	205,000
令和3年度	424,951	128,798	74,654		5,868	215,631
対前年度	20,597	20,840	10,388		0	△ 10,631
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				149,638
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				74,820
		市町村障がい者福祉事業推進補助金				10,222
	(その他)	障がい福祉事業所建物賃貸料収入				5,868

【事業概要】

障がい児者の自立のため、障がい者総合支援法に基づき、地域の特性や利用者の状況に応じた事業（地域生活支援事業）を実施する。

1. 手話通訳等の派遣・配置 3,397 千円
聴覚障がい者等に対し、手話通訳者又は要約筆記者の派遣及び配置を行う。
2. 日常生活用具の給付 104,326 千円
重度の障がい児者に対して、日常生活を円滑に行うための用具を給付する。
3. 移動支援事業の実施 138,433 千円
屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援を行う。
4. 日中一時支援事業の実施 45,522 千円
障がい児者の日中活動の場を確保し、一時的な支援を行う。また、夕方以降の支援の場を確保することで、障がい者の日常生活の安定と介護者の負担軽減を図る。
5. 訪問入浴事業の実施 44,233 千円
自宅での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴サービスの支援を行う。
6. 手話講習会事業等の実施 2,180 千円
手話講習会、要約筆記体験会を実施する。
7. 障がい児者一時預かり事業 33,177 千円
緊急時に障がい児者を受け入れる一時預かり事業に対して助成を行う。
8. 障がい者虐待防止センターの運営等 339 千円
障がい者虐待防止法にかかる普及啓発等を行う。
9. 地域活動支援センターへの運営費等の助成 72,160 千円
10. 市外の地域活動支援センター利用に対する負担金 1,500 千円
11. 居室確保事業 281 千円
介護者の不在等、緊急的に宿泊を伴う支援の必要が生じた際の一時的な居室を提供する。

民生費

事業名	障がい者相談支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 02			障がい者支援課		
指針体系コード	2-1-51		まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	113,641	38,636	17,296			57,709
令和3年度	112,379	45,404	10,859			56,116
対前年度	1,262	△ 6,768	6,437			1,593
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				34,593
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				4,043
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				17,296
【事業概要】						
市内を人口10万人前後の4つの地域に区分し、身近な場所での総合相談窓口として、市民センター等に「障がい者地域相談支援センター」を設置する。また、障がい特性に応じた専門相談支援も継続し、連携を図ることで、多様なニーズに対応する相談支援事業を行う。						
1. 相談支援事業業務委託 113,555 千円						
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者地域相談支援センター 湘南台・善行・Fプレイス・辻堂 ・専門相談支援事業所 重症心身障がい・発達障がい・高次脳機能障がい ・基幹相談支援センター 						
2. 相談支援事業普及啓発 86 千円						
相談支援事業についてパンフレットを作成し、普及啓発を図る。						

民生費

事業名	老人措置事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 01 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	316,636				52,995	263,641
令和3年度	291,095				53,244	237,851
対前年度	25,541				△ 249	25,790
特定財源の内訳	(その他)	老人措置費自己負担金				52,995
【事業概要】						
65歳以上の高齢者で、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な人や、やむを得ない事由により介護保険法に規定するサービスを受けることが困難な人に対し、養護老人ホーム（市内外4施設）及び特別養護老人ホームへの入所措置等を行う。						
1. 養護老人ホームの入所措置費（扶助費） 314,036 千円						
<ul style="list-style-type: none"> 養護老人ホーム4施設 (1) 藤沢養護老人ホーム (2) 養護老人ホーム湘風園 (3) 養護老人ホーム敬愛の園 (4) 横須賀養護老人ホーム 						
2. やむを得ない事由による措置費（扶助費） 2,362 千円						
特別養護老人ホームへの入所等						
3. その他事務経費 238 千円						

民生費

事業名	老人クラブ助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 02 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,253		2,908			5,345
令和3年度	8,819		2,983			5,836
対前年度	△ 566		△ 75			△ 491
特定財源の内訳	(県支出金)	老人クラブ等補助金				2,908
<p>【事業概要】 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、単位老人クラブ及び藤沢市老人クラブ連合会に対する運営費を補助し、老人クラブの育成と充実を図るとともに、高齢者福祉大会及びスポーツ大会を開催する。</p> <p>1. 単位老人クラブへの運営費補助 5,757 千円 (補助予定対象135クラブ)</p> <p>2. 藤沢市老人クラブ連合会への運営費及び事業費補助 1,621 千円</p> <p>3. 高齢者福祉大会の開催 562 千円 藤沢市老人クラブ連合会への委託により、高齢者福祉大会を開催し、講演会や各単位老人クラブへの表彰等を行い、高齢者間の交流を図る。</p> <p>4. 高齢者スポーツ大会の開催 313 千円 藤沢市老人クラブ連合会への委託により、高齢者スポーツ大会を開催し、高齢者の健康増進や介護予防を図るとともに、地域の高齢者間の交流を図る。</p>						

民生費

事業名	敬老事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 03 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	15,801					15,801
令和3年度	15,275					15,275
対前年度	526					526
<p>【事業概要】 長年にわたり社会に貢献された高齢者に敬愛の意を表し、健康と長寿をお祝いするため、各地区社会福祉協議会が実施する敬老事業へ補助を行う。</p> <p>1. 各地区社会福祉協議会への補助 15,801 千円</p>						

民生費

事業名	いきいきシニアセンター施設整備費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 04 説明 02			高齢者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,660					10,660
令和3年度	7,743					7,743
対前年度	2,917					2,917

【事業概要】
 高齢者の生きがいと健康づくりの拠点施設として、市内3カ所に設置したいいきいきシニアセンター（老人福祉センター）について、利用者の安全性を確保し、快適に利用できるようにするため、施設等の維持管理を行う。

- いきいきシニアセンター3館の施設修繕 5,798千円
 施設の老朽化等に伴う修繕を計画的に行い、利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。
- こぶし荘第3駐車場の土地賃借 1,176千円
 近隣の土地を第3駐車場として賃借し、駐車台数を確保する。
- こぶし荘の空調設備のレンタル 3,686千円
 空調設備更新工事の実施にあたり、夏場の室温管理に支障があることから、利用者の快適性を維持するため、エアコンのレンタルを行う。

民生費

事業名	湘南すまいるバス運行事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 04 説明 03			高齢者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	41,784					41,784
令和3年度	40,971					40,971
対前年度	813					813

【事業概要】
 高齢者の外出を支援し、生きがいづくりや介護予防の促進を図るため、いきいきシニアセンター（老人福祉センター）3館それぞれから、交通の不便な地域を中心に、無料の巡回送迎バスを運行する。

- 湘南すまいるバスの運行（委託料） 41,782千円
 - 運行ルート
 - ア やすらぎ号 「亀井野・白旗」、「大庭・遠藤」ルート
 - イ 湘南なぎさ号 「鶴沼神明・辻堂」、「村岡・片瀬」ルート
 - ウ こぶし号 「湘南台・六会」、「御所見」、「上谷台」ルート
 - 運行数 各ルート 3便/1日（午前・昼・午後）
 - 運行日数 304日（いきいきシニアセンターの開所日数）
 - 運行バス マイクロバス3台
- その他事務経費 2千円
 時刻表、駐車場所の表示等（消耗品費）

民生費

事業名	要援護高齢者福祉タクシー助成事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 05 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,075					1,075
令和3年度	1,075					1,075
対前年度	0					0

【事業概要】
 ねたきり高齢者が通院などで福祉タクシー（リフト付キャブ）を利用する際にかかる費用について、福祉タクシー利用券を交付し経済的負担の軽減を図る。

1. 福祉タクシー利用券（距離制運賃） 1,075 千円
 1人当たり 月3, 600円分を交付

- ・ 扶助費 1,015 千円
- ・ その他諸経費 60 千円

民生費

事業名	寝具乾燥消毒事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 05 説明 03			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,449					2,449
令和3年度	1,924					1,924
対前年度	525					525

【事業概要】
 在宅高齢者等の身体的負担の軽減及び衛生的な生活の維持を図るため、寝具の丸洗い乾燥消毒サービスの提供を行う。

1. 寝具乾燥消毒事業業務委託 2,449 千円

(1) 対象者
 65歳以上の在宅高齢者等で、介護保険の要支援・要介護認定を受けている人

(2) 実施回数
 市民税非課税世帯に属する人は年8回
 市民税課税世帯に属する人は年4回

民生費

事業名	紙おむつ支給事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 05 説明 05			高齢者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	33,804					33,804
令和3年度	33,706					33,706
対前年度	98					98

【事業概要】
 在宅高齢者及びその介護者等の経済的・精神的負担の軽減を図るため、ねたきりや認知症等により、常時紙おむつを必要とする人に、毎月紙おむつを支給する。

1. 紙おむつ支給事業業務委託 33,804 千円
 (対象者)

- ・ 40歳以上で、介護保険の要介護4又は要介護5の認定を受けている本人の合計所得金額が400万円未満の人
- ・ 65歳以上の在宅高齢者等で、介護保険の要支援1から要介護3の認定を受けている市民税非課税世帯に属する人

民生費

事業名	緊急通報システム事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 06 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	18,101					18,101
令和3年度	22,559					22,559
対前年度	△ 4,458					△ 4,458

【事業概要】
 慢性疾患等により日常生活上注意を要する状態にある原則65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の人が安心して日常生活を送れるようにするため、日常の相談を受けるとともに、緊急通報装置を貸与することにより、人感センサー等による24時間の見守りを実施し、緊急時の対応を行う。

1. 緊急通報システム事業 17,868 千円
 緊急通報システム事業を委託することで、緊急通報装置による日常の安否確認を行うとともに、看護師等の専門職員が健康上の相談対応なども行う。

2. その他事務経費 233 千円
 貸与品である緊急通報装置等について交換等が必要となった場合の経費。

事業名	(新) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用助成事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 14 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	173,159				10,039	163,120
令和3年度	0				0	0
対前年度	173,159				10,039	163,120
特定財源の内訳	(その他)	後期高齢者医療制度事業補助金				10,039

【施策等を必要とする背景】

高齢者いきいき交流事業の廃止に伴い、高齢者にはり・きゅう・マッサージの利用機会を提供し、高齢者の健康増進、介護予防及び外出機会を創出するとともに、市内各所の施術所との連携を図り、介護予防に関する普及啓発や高齢者の健康状態の把握等を行い、施術・助成にとどまらないサービスの向上を図るもの。

【提案に至るまでの経緯】

平成22年10月から実施している高齢者いきいき交流事業について、利用率の低さ、利用施設の偏在、高齢化の進行に伴う対象者の増加による財政負担の増大等の課題があることから、平成29年度に行財政改革2020の見直し検討対象事業に位置付け、関係団体との協議・調整を含め、継続して抜本的な事業の見直し検討を行った。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

いきいき長寿プランふじさわ2023における施策事業として位置付けている高齢者いきいき交流事業から変更して、本事業を施策事業に位置付ける。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、高齢者の健康増進、介護予防等の福祉の増進を図り、市内各所の施術所と連携して実施するフレイルチェック等を通じて介護予防の意識を高めるとともに、得られた情報を今後の介護予防事業等に活用する。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額（扶助費）は次のとおり。

- ・令和4年度 158,535 千円
- ・令和5年度 164,876 千円
- ・令和6年度 171,471 千円

【事業概要】

市内在住の70歳以上の人を対象に、健康増進や介護予防を目的として、指定はり・きゅう・マッサージ施術所で利用できる利用券を、1人当たり年間3枚交付する。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用助成事業の実施 | 173,159 千円 |
| (1) 施術利用助成（扶助費） | 158,535 千円 |
| (2) 利用券封入封緘等委託料 | 4,539 千円 |
| (3) フレイルチェック等にかかる委託料 | 9,240 千円 |
| (4) 指定はり・きゅう・マッサージ施術所手数料 | 356 千円 |
| (5) その他事務経費（消耗品費、印刷製本費等） | 489 千円 |

民生費

事業名	いきいきシニアライフ応援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 15 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,551					1,551
令和3年度	1,519					1,519
対前年度	32					32

【事業概要】
シニア世代が「生きがい」を感じるとともに、地域に貢献し、いきいきと充実したシニアライフを送ることができるようにするため、シニア世代向けに特化した地域活動等の情報を提供し、シニア世代が地域活動等に気軽に参加できるようなきっかけづくりを行う。

1. いきいきシニアライフ応援事業費負担金 1,551 千円
(1) 「地域活動見本市」の開催
地域で活躍する地域団体が、活動内容の展示や説明を行い、シニア世代が地域活動に関する情報を収集する機会を提供し、地域活動に気軽に参加できるようなきっかけづくりを行う。
(2) シニア世代向け情報サイトの運営
(3) シニア世代向け情報誌の発行

民生費

事業名	敬老祝金事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 16 説明 01			高齢者支援課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	12,407					12,407
令和3年度	11,273					11,273
対前年度	1,134					1,134

【事業概要】
多年にわたり、社会の発展に尽くしてきた高齢者に対し、敬愛の意を表し、長寿を祝う。

1. 敬老祝金の贈呈 7,851 千円
高齢者に対し敬愛の意を表し、その長寿を祝い、敬老祝金を贈呈する。
・祝金90歳 5,000円 7,770 千円
・その他経費（消耗品費、保険料） 81 千円

2. 100歳訪問 4,556 千円
100歳になる人の誕生月に市長の訪問による祝金品の贈呈を行う。
・祝金100歳 20,000円 2,800 千円
・その他経費（色紙、記念写真、花束等） 1,756 千円

民生費

事業名	老人福祉施設建設助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 17 説明 01			介護保険課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	20,000			19,200		800
令和3年度	0			0		0
対前年度	20,000			19,200		800
特定財源の内訳	(地方債)	社会福祉施設整備事業債				19,200

【事業概要】

特別養護老人ホームは、在宅生活が困難な重度の要介護高齢者を支えるセーフティネットとしての機能を果たす施設であり、「いきいき長寿プランふじさわ2023」に位置付けた整備計画に基づき、社会福祉法人が実施する老朽化した既存の特別養護老人ホームの移転改築に伴う建設経費の一部を助成する。

- (拡) 1. 特別養護老人ホームの施設整備に対する補助 20,000 千円
 (令和4年度～令和5年度整備計画の初年度)
- (1) 対象事業者 社会福祉法人 睦愛会
 - (2) 対象施設 特別養護老人ホーム 睦愛園
 - (3) 整備予定地 藤沢市亀井野2087番1ほか
(藤沢市亀井野2520番地の3から移転)
 - (4) 入所定員 100人 (うち増床により増加する入所定員50人)
 - (5) 開設予定 令和6年4月
 - (6) 補助金内訳

補助単価 (入所定員1人当たり)	入所定員	令和4年度進捗率	補助金額
2,000千円	100人	10%	20,000千円

民生費

事業名	地域密着型サービス整備助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 19 説明 01			介護保険課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,080		10,080			
令和3年度	0		0			
対前年度	10,080		10,080			
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分) 事業費補助金				10,080

【事業概要】

地域密着型サービスは、藤沢型地域包括ケアシステムを推進していく上での核となる高齢者向けサービスであり、「いきいき長寿プランふじさわ2023」に位置付けた整備計画に基づき、整備を担う事業者に対し、施設整備に要する経費の一部を助成する。

- (拡) 1. 認知症対応型共同生活介護事業所の施設整備に対する補助 10,080 千円
 (令和4年度～令和5年度整備計画の初年度)
- (1) 対象事業者 NPO法人 ぐるーぷ藤
 - (2) 整備予定地 藤沢市柄沢2-2-2ほか
 - (3) 宿泊定員 2ユニット18人
 - (4) 開設予定 令和5年8月
 - (5) 補助金内訳

補助単価 (1施設当たり)	整備数	令和4年度進捗率	補助金額
33,600千円	1施設	30%	10,080千円

民生費

事業名	児童扶養手当費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 04 説明 01			子育て給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,222,840	407,613				815,227
令和3年度	1,303,579	434,526				869,053
対前年度	△ 80,739	△ 26,913				△ 53,826
特定財源の内訳	(国庫支出金)	児童扶養手当負担金				407,613

【事業概要】

父又は母と生計を同じくしていない児童を育成している家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図るため、児童を監護する母、父又は養育者を対象に児童扶養手当を支給する。

1. 児童扶養手当 1,222,840 千円

(1) 支給対象児童

- ・ 18歳に達した日以降の最初の3月31日までの間にある者
- ・ 20歳未満で政令で定める程度の障がいの状態にある者

(2) 手当額

- ・ 全部支給 月額 43,160円
- ・ 一部支給 月額 43,150円～10,180円
- ・ 子の加算分（2人目）
 - 全部支給 月額 10,190円
 - 一部支給 月額 10,180円～ 5,100円
- ・ 子の加算分（3人目以降）
 - 全部支給 月額 6,110円
 - 一部支給 月額 6,100円～ 3,060円

※一部支給は所得によって支給額が異なる。

民生費

事業名	小児医療助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 05 説明 01			子育て給付課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,871,532		228,082		136	1,643,314
令和3年度	1,560,134		204,452		136	1,355,546
対前年度	311,398		23,630		0	287,768
特定財源の内訳	(県支出金)	小児医療費助成事業費補助金				228,007
		小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業費補助金				75
	(その他)	高額療養費還付金				111
		第三者行為損害賠償金				25

<拡充事業> 令和5年4月に予定する所得制限撤廃に向けた準備作業の実施

【施策等を必要とする背景】

近年、全国的にも所得制限の撤廃が進んでいる。県内においても18市が中学校卒業までの期間を医療費助成の対象としており、そのうち6市が所得制限を設けずに、中学3年生まで助成をしている。

本市においても、令和5年4月から中学生の所得制限を撤廃し、子どもの医療費に係る保護者の経済的負担を軽減し、子どもたちの生活を支援することにより、すべての子どもたちが笑顔で健やかに育つ、子育てしやすい環境づくりの推進を図るものである。

【提案に至るまでの経緯】

小児医療費助成制度の対象年齢を中学生まで拡大した際に、対象となる中学生には児童手当に準ずる所得制限を導入したが、子どもの健全な育成を支援し、福祉の増進を図るという事業の目的を鑑みれば、すべての子どもは保護者の所得に左右されることなく、等しく医療費が助成されるべきである。

所得制限の根拠となる児童手当法の一部改正により、特例給付に上限が設けられ、令和4年10月支給分から高額所得世帯の手当が廃止されることから、これによる財源をもとに、中学生の所得制限を撤廃するもの。

所得制限の撤廃により、本市に住むすべての中学生までの子どもが平等に必要な医療に対し助成を受けられるようになり、小児の保健の向上と福祉の増進が図られる。

【市の策定する計画や条例との整合性】

第2期子ども・子育て支援事業計画<令和2年度～令和6年度>
子ども共育計画<令和2年度～令和6年度>

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、小児の保健の向上と福祉の増進が図られるとともに、子育て世帯の保護者の経済的負担が軽減される。

2. 将来にわたる費用

令和5年度以降 69,980千円 (内訳 扶助費: 68,000千円 役務費: 1,980千円)
※児童手当特例給付の廃止による影響額 年間約396,000千円 (一般財源66,000千円)

【事業概要】

小児の健康増進と子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、0歳から中学3年生（中学生は所得制限あり）までの入通院に係る医療費（入院時標準負担額を除く）を助成する。令和4年度は準備作業として、医療証の発行・発送を行うためのシステム改修費、対象者への申請勧奨・交付申請書印刷・医療証発行までの一連の業務委託等を行う。また、小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活用具を給付する。

1. 医療費助成（扶助費）	1,787,057 千円
対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。	
未就学児分 受診件数見込み 515,011件	833,518 千円
小学生分 受診件数見込み 360,734件	746,716 千円
中学生分 受診件数見込み 84,896件	206,823 千円
2. 審査支払手数料	54,465 千円
小児医療証取扱分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金への審査支払手数料 件数見込み 877,596件	
3. 小児医療助成費事業事務経費 旅費、需用費、委託料	2,838 千円
(拡) 4. 所得制限撤廃に係る準備経費	27,022 千円
システム改修等に要する委託料	24,200 千円
証発行業務	2,822 千円
5. 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付（扶助費） 件数見込み 4件	150 千円

民生費

事業名	母子家庭等自立支援給付金事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 02	子育て給付課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	52,614	39,234				13,380
令和3年度	26,659	19,844				6,815
対前年度	25,955	19,390				6,565
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子家庭等対策総合支援事業費補助金				39,234

【事業概要】

児童扶養手当受給者及び同水準の所得にあるひとり親家庭の親に対し、生活の安定と自立の促進を図るため、高等職業訓練促進給付金及び修了支援給付金並びに自立支援教育訓練給付金を支給する。

また、ひとり親家庭の親及び子が、高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講した場合、高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金を支給する。

1. 高等職業訓練促進給付金 49,084 千円
 看護師や介護福祉士及び保育士等の資格を取得するために6カ月以上養成機関で修業する場合、その修業期間中の経済的負担を軽減するため給付金を支給する。
 ・市民税非課税世帯 月額 100,000円（最後の12カ月は月額140,000円）
 ・市民税課税世帯 月額 70,500円（最後の12カ月は月額110,500円）
2. 高等職業訓練修了支援給付金 875 千円
 養成機関への入学時の経済的負担を軽減するため、養成機関の修業が修了した際に修了支援給付金を支給する。
 ・市民税非課税世帯 50,000円
 ・市民税課税世帯 25,000円
3. 自立支援教育訓練給付金 1,905 千円
 厚生労働省指定の教育訓練講座を受講した場合、受講料の一部を支給する。
 (上限あり)
 ・雇用保険給付の受給無資格者 受講料の60%
 ・雇用保険給付の受給資格者 受講料の60%のうちハローワークから支給される給付金を差し引いた額
4. 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金 750 千円
 高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講した場合、開始時、修了時及び認定試験合格時に受講料の一部を支給する。(上限あり)

	国の制度による 補助対象分	市単独補助分	補助合計
受講開始時	受講料の30%	—	受講料の30%
受講修了時	受講料の10%	受講料の20%	受講料の30%
試験合格時	受講料の20%	受講料の20%	受講料の40%

民生費

事業名	ひとり親家庭等医療助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 03			子育て給付課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	211,008		99,160		30	111,818
令和3年度	195,906		91,994		30	103,882
対前年度	15,102		7,166		0	7,936
特定財源の内訳	(県支出金)	ひとり親家庭等医療費助成事業費補助金				99,160
	(その他)	高額療養費還付金				5
		第三者行為損害賠償金				25

【事業概要】

18歳まで（一部20歳未満）の児童を養育しているひとり親家庭等に対し、経済的負担を軽減するため、入通院に係る医療費を助成する。

1. 医療費助成（扶助費） 205,651 千円
 対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。
 受診件数見込み 80,617件
2. 審査支払手数料 5,309 千円
 ひとり親家庭等福祉医療証取扱い分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会
 保険診療報酬支払基金への審査支払手数料
 件数見込み 79,770件
3. その他事務経費 48 千円
 福祉医療証の印刷製本費

民生費

事業名	養育者支援金事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 04			子育て給付課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	4,843					4,843
令和3年度	2,126					2,126
対前年度	2,717					2,717

【事業概要】

公的年金等との併給調整により児童扶養手当の全部又は一部が支給対象とならない養育者に対し、公的年金等を含む所得に応じて児童扶養手当相当額（児童扶養手当として支給される部分を除く）を養育者支援金として支給する。

1. 扶助費 4,843 千円
 養育者支援金の支給
 対象者数見込み
 - ・継続受給者 5人（対象児童5人） 2,115 千円
 - ・新規受給者 5人（対象児童7人） 2,728 千円

事業名	(新) 養育費確保支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 06			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-91	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,202	1,575				1,627
令和3年度	0	0				0
対前年度	3,202	1,575				1,627
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子家庭等対策総合支援事業費補助金				1,575

【施策等を必要とする背景】

離婚後のひとり親家庭の生活において、養育費は子どもの成長を支える重要なものであり、別居親は子どもに対して養育費を支払う義務を有している。しかしながら、離婚時に養育費の取り決めをしているひとり親（母子）世帯の割合は約43%、また現在も養育費を受けている割合は約24%に留まっており（平成28年度全国ひとり親世帯等調査）、離婚後に別居親から養育費の支払いを十分に受けていないことが、ひとり親世帯の貧困の要因の一つと指摘されている。ひとり親家庭の生活の安定と子どもの健やかな成長のためには、養育費の確保に向けた支援を行う必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成24年4月 民法改正により父母の離婚の際に協議で定める事項として、養育費の分担が明示され（民法第766条第1項）、離婚届に取り決めの有無をチェックする欄が追加される。
- 令和2年4月 民事執行法の一部改正により、第三者からの情報取得手続の新設や公正証書による財産開示手続が可能になるなど、強制執行の申立てに向けた情報取得の手続が改善される。
- 令和2年6月 法務省と厚生労働省による「不払い養育費の確保のための支援に関するタスクフォース」が設置され、養育費の支払い確保に向けた新たな検討に着手。

以上のような国の動向を踏まえ、令和2年度より本市においても養育費の確保に向けた支援策の検討を行い、現在に至る。

【市の策定する計画や条例との整合性】

子ども共育計画（令和2年3月策定）の施策方針3「暮らしや子育てを支援する」柱3「子どもに届く経済的支援の充実」①めざす方向性において、養育費の取り決めの重要性を周知していくとしている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

公正証書（強制執行認諾付き）等の公的書類を作成して養育費を取り決めておくことにより、将来養育費が支払われない場合に強制執行の申立てが可能になることから、取り決めや受け取りに係る費用を補助し、養育費の支払いを確保することにより、ひとり親家庭の生活の安定及び子どもの健やかな成長が図られる。

2. 将来にわたる費用

養育費の取り決めの重要性を周知するとともに、当該事業については継続的に取り組む必要があり、国庫支出金を活用しながら必要な事業費を確保する。

【事業概要】

離婚後のひとり親家庭における子どもの健やかな成長を支援するため、市内在住で、養育費の取り決めの対象となる20歳未満の子を養育しているひとり親を対象に、養育費の取り決めに関する公正証書等の債務名義の取得に要する費用及び、不払い養育費に係る強制執行申立てに要する費用を補助する。

1. 債務名義取得促進事業 2,400 千円
養育費の取り決めに関する公正証書や調停調書等の債務名義の取得に要する費用を補助する。(上限5万円)
＜補助対象経費＞
 - ・公正証書(強制執行認諾付き)の作成に係る公証人手数料
 - ・家庭裁判所の調停申立て又は裁判に要する収入印紙代
 - ・戸籍謄本等添付書類取得費用及び連絡用の郵便切手代

2. 民事執行手続支援事業 750 千円
債務名義を有している養育費について、養育費が不払いになった場合の裁判所への強制執行申立てに要する費用を補助する。(上限15万円)
＜補助対象経費＞
 - ・収入印紙代や郵便切手代などの実費
 - ・弁護士、司法書士に依頼した場合の強制執行申立てに要する費用

3. その他事務経費 52 千円
旅費、消耗品費

民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費						
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 04			保育課			
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる				
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実				
	5-3-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる				
		重点施策名	人材育成の推進				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
令和4年度	2,840,756	358,624	265,204		90,480	2,126,448	
令和3年度	2,587,681	214,503	241,883		90,480	2,040,815	
対前年度	253,075	144,121	23,321		0	85,633	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金					72,950
		保育対策総合支援事業費補助金					149,207
		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金					1,496
		保育士等处遇改善臨時特例交付金					134,971
	(県支出金)	民間保育所特別経常費補助金					12,871
		子ども・子育て支援交付金					72,950
		保育対策総合支援事業費補助金					147,195
		保育緊急対策事業費補助金					23,503
		保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金					6,135
		短時間保育士雇上事業費補助金					2,550
	(その他)	法人立保育所建物賃貸料収入					90,284
		法人立保育所用地賃貸料収入					196

<拡充事業> 保育士人材確保策の強化（保育士奨学金返済補助金の対象拡大）

【施策等を必要とする背景】

近年、保育士不足が全国的に顕著であり、本市においても保育士不足の状況が続いている。令和3年4月の保育施設入所選考にあたっては、保育士不足の理由により、入所児童の受け入れを制限する事態が生じるまでとなり、保育士の確保が急務となっている。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成28年 1月 保育のしごと相談会の開始
- 平成28年 4月 保育士等確保事業補助金を新設
- 平成29年 4月 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設
- 平成30年 9月 保育士確保のための県外保育士養成校訪問事業の開始
- 平成30年10月 潜在保育士の復職に向けた、公立保育所での保育体験事業の実施
- 平成31年 4月 保育士奨学金返済補助金及び潜在保育士保育体験費用補助金を新設、保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の補助対象者数及び保育士等確保事業補助金の補助上限額を拡大
- 令和 元年 8月 保育士募集案内用リーフレットの作成・配布
- 令和 2年 4月 保育士就職支援補助金（現在の保育士転入奨励補助金）を新設、保育士奨学金返済補助金及び保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の対象要件等を拡大
- 令和 3年 4月 保育士就労奨励助成金を新設、保育士奨学金返済補助金の対象要件等を拡大、本市独自での子育て支援員研修事業を委託により実施

保育士確保策として上記取組を行ってきたが、現状では依然として保育士不足が生じている。令和4年度に向けては、関係団体からの要望を踏まえ、既存事業のさらなる拡充について検討を進めた。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）<令和2年度～令和6年度>

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

保育士が安定的に確保されることにより、保育の質の確保とその向上につながる。

2. 将来にわたる費用

事業の拡充に係る費用は、保育士不足が一定程度解消されるまで継続的な支出が必要となる。

【事業概要】

多様化する保育ニーズに対応するとともに、保育環境の充実を図るため、市内の法人立認可保育所の設置運営法人に対して、人件費・施設管理費などの運営費を助成するとともに、保育士の確保に向けた各種支援事業等を実施する。

1. 法人立保育所等の運営に係る業務委託	2,040,588 千円
市内法人立認可保育所に対する人件費・施設管理費のほか、一時預かり事業や病児・病後児保育事業等の実施に要する経費等	
2. 保育士確保に向けた事業	146,630 千円
＜保育士への支援事業＞	
(括) ・保育士奨学金返済補助金	7,200 千円
奨学金の返済に要した費用の1/2（上限20万円）を補助する。令和4年度から補助対象者の市内在住要件を撤廃する。	
・潜在保育士保育体験費用補助金	50 千円
・保育士転入奨励補助金	1,350 千円
・保育士就労奨励助成金	8,620 千円
＜保育所等への支援事業＞	
・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金	99,630 千円
・保育士等確保事業補助金	26,388 千円
＜その他の事業＞	
・保育士募集案内用リーフレット等の作成	400 千円
・子育て支援員研修事業	2,992 千円
3. 新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金	42,800 千円
感染症拡大防止に係る必要備品の購入等の経費を補助する。	
4. 法人立保育所特別経常費補助金	58,829 千円
施設及び設備整備のために資金を借り入れた法人に対し、その経費の一部を補助する。	
5. 法人立認可保育所の設置運営に係る経費の補助	308,262 千円
土地や建物を賃借して認可保育所を設置する法人に対し、その経費の一部を補助する。	
・社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金	19,774 千円
・分園設置運営補助金	5,000 千円
・保育所建物設置賃借料補助金	283,488 千円
6. 保育士等処遇改善（4月～9月分）	134,971 千円
7. 湘南C-X内保育所建物賃借料、その他保育所土地賃借料	96,973 千円
8. 市外法人立認可保育所等に在園する本市在住児童への法外扶助費	8,912 千円
9. その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費	2,791 千円

民生費

事業名	藤沢型認定保育施設保育料助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 05			保育課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,558					9,558
令和3年度	11,061					11,061
対前年度	△ 1,503					△ 1,503

【事業概要】

市が定める基準を満たして認定を受けた藤沢型認定保育施設を利用する世帯の経済的な負担軽減を図るため、所得状況に応じて保育料の軽減を行った施設の設置者に対し、その軽減に係る費用を補助する。

1. 藤沢型認定保育施設保育料補助金 9,518 千円

補助対象要件に該当する児童の保育料軽減に係る費用を世帯の所得状況の区分に応じて補助する。

・補助対象要件

施設の利用児童のうち、保育を必要とし、施設等利用給付認定を受けていない2歳以下の児童で、各月初日に在籍（月極契約）していること

・補助単価等（利用児童1人・1月当たり）

区 分（世帯の所得状況）		補助月額
市町村民税	非課税（地方税法第292条第1項第1号に規定する均等割のみを課された場合のみ）	15,000円
	1円以上 60,700円未満	
所得割課税世帯	60,700円以上 148,200円未満	10,000円
	148,200円以上 196,000円未満	5,000円
	196,000円以上 249,000円未満	2,000円
	249,000円以上	0円

※非課税世帯は、幼児教育・保育の無償化における施設等利用給付認定に該当するため、本補助金の対象外

2. 藤沢型認定保育施設保育料補助事務謝礼（報償費） 40 千円

民生費

事業名	藤沢型認定保育施設補助事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 06			保育課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	59,023		688			58,335
令和3年度	67,477		692			66,785
対前年度	△ 8,454		△ 4			△ 8,450
特定財源の内訳	(県支出金)	届出保育施設助成費補助金				688

【事業概要】

藤沢型認定保育施設の安定的な運営を支援し、保育環境の充実と質の向上を図るため、施設の設置者に対し、運営費を補助する。

また、市内私設保育施設（認可外保育施設）の適切な安全・衛生環境を確保するため、施設の設置者に対し、入所児童の健康診断等に要する経費の一部を補助する。

1. 藤沢型認定保育施設運営費補助金 57,646 千円

- 対象施設 藤沢型認定保育施設（A型・B型・C型）
（施設数の推移）※各年度4月1日現在（令和4年度は見込）

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
A 型	9	5	5	5	6
B 型	1	0	2	2	0
C 型	6	6	4	2	2
計	16	11	11	9	8

- 補助単価等（対象児童1人・1月当たり）

	A 型	B 型	C 型
0 歳 児	52,000 円	44,000 円	31,000 円
1・2 歳児	33,000 円	28,000 円	20,000 円
3 歳 児	14,000 円	12,000 円	8,000 円
4 歳児以上	12,000 円	10,000 円	7,000 円

2. 届出保育施設利用者支援事業費補助金 1,377 千円

- 対象施設 市内の私設保育施設（幼児教育施設を除く）
- 対象経費 ①入所児童の健康診断受診料
②調理・調乳担当職員等の保菌検査料
③賠償責任保険料
- 補助金額 対象経費に係る所要額の2/3以内

事業名	(新) 医療的ケア児保育事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 09			保育課		
指針体系コード	3-2-81	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	11,840	5,649	2,824			3,367
令和3年度	0	0	0			0
対前年度	11,840	5,649	2,824			3,367
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				5,649
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				2,824

【施策等を必要とする背景】

医療技術の進歩を背景に、日常生活において医療的ケアを必要とする子どもの数が年々増加しており、医療的ケア児の保護者によっては保育園での保育を希望する方もいる一方で、本市においては、受入体制の整備が課題であった。保護者の子育てと仕事の両立支援及びインクルーシブ保育の実現のため、市として医療的ケア児の受入体制を整備する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

医療的ケア児の受入れについては、これまで複数の保護者から入園に関する相談・対応を求める声が寄せられ、課題整理を進めてきた。令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（医療的ケア児支援法）が施行され、地方自治体の責務として、体制の拡充や必要な措置を講じることが定められたことを踏まえ、令和4年度に向けて、訪問看護師を活用し、段階的な受入れを検討・計画するにいたった。

- 令和2年3月 神奈川県医療的ケア児実態把握調査（藤沢市民回答数35人）
「預け先があれば就労したい」（回答総数200人のうち87人。43.5%）
- 令和3年7月 先行自治体視察
- 令和3年9月 医療的ケア児支援法施行

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. 子ども・子育て支援事業計画<令和2年度～令和6年度>
子育て支援の充実、仕事と家庭との両立の推進
2. 子ども共育計画<令和2年度～令和6年度>
障がい児等の相談・支援の充実

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
本事業の実施により、復職や就労を断念していた医療的ケア児の保護者に対して、仕事と子育ての両立支援が推進される。また、子どもたちにとっても、インクルーシブな環境のもとで、相互に生まれ成長する機会が提供される。
2. 将来にわたる費用
令和4年度は、医療的ケア児の受入れを10月から行うことを想定しており、令和5年度以降は通年化することから、財政負担見込み額は次のとおり
 - ・令和4年度 11,840 千円
 - ・令和5年度以降 22,998 千円

【事業概要】

多様な保育を推進することを目的に、集団保育が可能と判断される医療的ケア児を受入れるための体制を整備するため、訪問看護師等を活用した医療的ケア児保育事業を実施し、令和4年10月から医療的ケア児の受入れを行う。

1. 対象児童の医療的ケアに係る業務委託 8,803 千円
市内訪問看護ステーションによる医療的ケア・緊急時の相談対応のほか、ケア計画作成等に要する経費。公立保育所2施設及び法人立保育所1施設の計3施設で各施設で1人受入れることを想定。
2. 医療的ケア児の受入れにあたっての検討会謝礼 172 千円
安全に受入れるために、医療機関や法人立保育所などの関係機関とともに児童の状態や保育上の配慮点等などの確認を行う検討会に要する謝礼
3. 医療的ケア児保育に関する研修講師謝礼 45 千円
保育士等が安心して医療的ケア児の受入れができるよう、医療的ケア児保育に関する知識を習得するための研修
4. 医療的ケア児を受入れる環境整備のための物品・消耗品等の購入 220 千円
ケアマット等の物品購入
5. 研修参加費用 80 千円
受入れ児童の医療的ケアに応じた専門研修受講費
6. 医療的ケア児保育補助者の配置（法人委託費） 2,520 千円
法人立保育所での医療的ケア児受入れにあたっての人員配置等に要する委託料

民生費

事業名	幼児教育振興助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 03	保育課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	96,854	18,400	18,400			60,054
令和3年度	128,230	24,480	24,480			79,270
対前年度	△ 31,376	△ 6,080	△ 6,080			△ 19,216
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				18,400
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				18,400

【事業概要】

幼児教育・保育の無償化の対象とならない幼児教育施設の利用者等を対象に、経済的な負担軽減を図るための保育料補助を行うとともに、市内幼稚園に対し、無償化の実施に伴う事務負担の軽減に係る経費への補助を行う。

また、市内の幼稚園、認定こども園及び幼児教育施設の教育環境の充実を図るため、教材教具の購入や児童・教職員の健康管理等に要する経費を補助する。

1. 幼児教育施設利用者等への保育料補助 71,335 千円

- ・対象児童 幼児教育施設及び各種学校の利用児童のうち、無償化の対象とならない児童

- ・補助金額 補助上限月額×対象園児数×12月

	補助上限月額	施設数	対象園児数	補助見込額
指導監督基準に適合する幼児教育施設	25,700円	17施設	228人	70,315,200円
指導監督基準に適合しない幼児教育施設	9,000円	1施設	5人	540,000円
各種学校	20,000円	1施設	2人	480,000円

2. 幼稚園等への事務負担軽減補助 6,729 千円

- ・対象施設 市内の幼稚園及び認定こども園（32施設）

- ・対象経費 無償化給付事務等に係る対応経費

- ・補助金額 園児割単価（100円）×市内在住の在園児数（5,607人）×12月

3. 幼稚園等の教育環境の充実に係る経費の補助 18,790 千円

- ・対象施設 市内の幼稚園、認定こども園及び幼児教育施設

- ・対象経費 ①教材教具の購入費

- ②職員・児童の健康管理等に要する経費

- ・補助金額 （対象経費の園割単価）＋（園児割単価×各施設の対象園児数）

	施設数	園割単価(上限)	対象園児数	園児割単価	補助見込額
幼稚園及び認定こども園	32施設	① 177,000円	5,678人	1,600円	17,628,800円
		② 90,000円			
幼児教育施設	11施設	① 46,000円	224人	1,600円	1,161,400円
		② 27,000円			

民生費

事業名	幼稚園等預かり保育推進事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 04			保育課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	55,173	10,595	10,595			33,983
令和3年度	40,568	7,038	6,168			27,362
対前年度	14,605	3,557	4,427			6,621
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				10,595
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				10,595

【事業概要】

幼稚園等における預かり保育を推進し、保護者の多様な保育ニーズに対応するため、幼稚園等に対し、預かり保育の実施に係る人件費を補助するとともに、一時預かり事業（幼稚園型）を委託する。

- 一時預かり事業（幼稚園型） 31,787 千円
 子ども・子育て支援新制度における施設型給付を受ける幼稚園及び認定こども園（藤沢市在住の児童が在園する市外幼稚園等を含む。）において、一時預かり事業を行う。
- 私立幼稚園預かり保育推進事業費補助金 23,386 千円
 担当教員を配置し、預かり保育を実施する市内幼稚園（一時預かり事業（幼稚園型）の実施施設を除く。）に対し、保育の実施に係る人件費を補助する。

補助対象区分	補助単価 (年額)	施設数 (見込)	補助金額 (見込)
課業日 年間を通じて継続的に平日の開園日に1日2時間以上実施	293,500円 ～ 1,542,600円	20施設	12,836,900円
休業日 長期休業日を除く土日・祝日に1日4時間以上かつ年間35日以上実施	67,200円 ～ 981,600円	1施設	67,200円
長期休業日 春・夏・冬季休業日に、1日8時間以上かつ年間30日以上実施	80,000円 ～ 1,276,400円	15施設	10,481,900円

民生費

事業名	幼稚園人材確保支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 06	保育課				
指針体系コード	5-3-61	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,980					9,980
令和3年度	3,520					3,520
対前年度	6,460					6,460

<拡充事業> 幼稚園等住宅手当補助金及び幼稚園教諭等奨学金返済補助金の実施

【施策等を必要とする背景】

市内幼稚園等へ行った人材確保に関するアンケート調査では、1施設当たり平均2人程度の幼稚園教諭の不足が確認されたところであり、人材が不足する幼稚園等ではクラス数の削減を余儀なくされるなど、厳しい運営が続いている。

こうした中、幼稚園等では預かり保育の拡充により、保育の受け皿としての役割が期待されており、待機児童対策の観点からも人材確保への支援の必要性が高まっている。

【提案に至るまでの経緯】

市内幼稚園等の人材不足への対応として、市では本事業を「市政運営の総合指針2024」の重点事業に位置付けた上で対策を進めることとし、まず取組の第1段階として、令和3年度から潜在する幼稚園教諭等の就労促進策として「幼稚園教諭等就労奨励助成金」の交付を開始した。

その取組の第2段階として、市内関係団体からの意見や要望を踏まえ、令和4年度には新卒者等の採用に向けた支援策を講じることとし、幼稚園等での住宅手当の支給や幼稚園教諭等の奨学金返済への補助事業を行うこととした。

新たな補助事業では、幼稚園利用者から預かり保育の長時間化等を求める声が多いことを踏まえ、幼稚園が預かり保育の拡充を図るインセンティブとなるよう、支援の手法について検討を進めた。

令和3年7月 市内関係団体からの人材確保に係る支援への要望書を受理

8月 市内関係団体に対して新たな支援事業に関するアンケート調査を実施

【市の策定する計画や条例との整合性】

市政運営の総合指針2024における重点事業

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

市内幼稚園等における住宅手当の支給拡大や幼稚園教諭の奨学金返済費用への補助の実施により、就職先を検討する幼稚園教諭等が市内幼稚園を選択することにつながるとともに、幼稚園教諭等のモチベーションの向上により、質の高い教育・保育の提供につながる。

また、預かり保育の実施状況とリンクした補助制度として、保育の受け皿確保や多様な保育ニーズへの対応にもつながる。

2. 将来にわたる費用

人材不足の解消に向けて当面は事業を継続する必要性があり、同様の負担が生じるが、事業の実施状況を踏まえ、実施期間を検討する。

【事業概要】

市内幼稚園及び認定こども園（以下「市内幼稚園等」という。）における人材不足の解消を目的に、各種補助事業を行う。

1. 幼稚園教諭等就労奨励助成金 3,030 千円
- ・対象者 次のいずれかに該当する市内在住の幼稚園教諭等で、市内幼稚園等に就職又は再就職（1年以上の雇用契約を締結）した人
 - ・幼稚園等での就労経験があり、退職後1年以上経過した幼稚園教諭免許保持者
 - ・幼稚園等での就労経験はないが、幼稚園教諭免許取得後1年以上が経過した人
 - ・幼稚園教諭として就労経験があるが、現在は幼稚園教諭免許が失効している人
 - ・助成額（見込人数）
 - ・幼稚園教諭免許を保持し、常勤職員として就労した場合 7万円（20人）
 - ・幼稚園教諭免許を保持し、非常勤職員として就労した場合 5万円（20人）
 - ・幼稚園教諭免許は失効しているが、就労した場合 3万円（21人）

- (新) 2. 幼稚園等住宅手当補助金 5,490 千円
- ・対象者 預かり保育事業を実施し、雇用する幼稚園教諭又は保育士へ賃貸住宅に係る住宅手当等を支給している市内幼稚園等の設置者等
 - ・幼稚園教諭等の条件
幼稚園教諭免許又は保育士資格を有し常勤職員として雇用された人で、雇用後5年以内の人、かつ、幼稚園等の設置者、施設長、園長等の管理者でない人
 - ・賃貸住宅の条件
 - ・原則、市内に所在する居住用の家屋であること
 - ・幼稚園教諭等が自ら居住し、かつ、賃貸借契約の名義人となっている家屋であること
 - ・設置者、施設長、園長等の管理者が所有する家屋でないこと
 - ・対象経費 市内幼稚園等の設置者等が雇用する幼稚園教諭又は保育士へ支給した住宅手当等の実支出額とし、幼稚園教諭等1人当たり月額上限3万円
 - ・補助額（見込施設数） 1月当たりの対象経費 × 補助率※ × 対象月数
※補助率は幼稚園等での預かり保育事業の実施状況に応じて次のとおりとする。
 - ・平日8時間以上及び長期休業日に実施、かつ年間200日以上実施の場合：補助率1/2（24施設）
 - ・平日11時間以上かつ午後7時まで実施、及び長期休業日に実施、かつ年間200日以上実施の場合：補助率3/4（3施設）
 - ・上記以外の場合：補助率1/4（4施設）

- (新) 3. 幼稚園教諭等奨学金返済補助金 1,460 千円
- ・対象者 市内幼稚園等に勤務し、次の要件をすべて満たす人
 - ・奨学金を利用して幼稚園教諭免許又は保育士資格を取得した人
 - ・市内幼稚園等の設置者等との雇用契約後5年以内の人で、当該幼稚園等において常勤職員として勤務する人
 - ・現に市内に住所を有し、自ら奨学金を返済している人
 - ・補助対象となる奨学金を対象とした他の補助金等を受けていない人
 - ・対象経費 対象者の奨学金返済費用のうち、当該年度中に返済した額
 - ・補助額 対象経費 × 補助率1/2（1年度につき20万円を限度）

民生費

事業名	少年の森整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 03 説明 02	青少年課				
指針体系コード	3-2-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	52,312					52,312
令和3年度	6,920					6,920
対前年度	45,392					45,392

<拡充事業> 北部地域の活性化に向けた少年の森再整備

【施策等を必要とする背景】

少年の森は青少年の健全育成のための野外活動施設として昭和55年の開園以来、大規模な修繕や改修等を実施せず今日に至っているため、施設を再整備する必要性が生じている。

再整備にあたっては、市北部地域の活性化に資する施設となるようそのポテンシャルや可能性について民間事業者から意見や提案等を聞き取るサウンディング型市場調査を令和3年度に行ったが、令和4年度以降は具体的な方向性についての検討を行うこととしている。

【提案に至るまでの経緯】

平成28年3月 御所見地区郷土づくり推進会議から「御所見まるごと田園パーク構想の実現に向けた要望書」提出

令和2年9月 市議会定例会にて「北部地域の活性化について」一般質問

令和2年10月 子ども青少年部若手職員によるワーキンググループを発足

令和3年5月～6月 地権者及び地域住民へ再整備について説明

令和3年7月～令和4年3月 サウンディング型市場調査

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

令和3年5月～6月 地権者及び地域住民へ再整備について説明

令和4年度 地権者及び地域住民へ経過を説明予定

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市少年の森条例

藤沢市少年の森条例施行規則

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

少年の森を市北部の地域資源として再構築し活用することにより、北部地域の活性化に資することが見込める。

2. 将来にわたる費用

再整備にあたり民間活力の導入を視野に入れ、運営に必要な費用の縮減を図る。

【事業概要】

必要な修繕やナラ枯れへの対処などにより、少年の森の施設環境の整備を進め、利用者の安全の確保及び快適性の向上を図るとともに、施設の再整備に向けて基礎的なデータとなる敷地全体の測量調査を行う。あわせて既存建築物の更新を想定し、管理棟や周辺建物のアスベスト含有調査を実施する。

1. 施設修繕	2,517 千円
(1) みどりの泉土留め修繕（西側35m）	
(2) 水路及び学習水田給水パイプ設置修繕	
2. 手数料	25,179 千円
ナラ枯れによる枯死木伐採処分	
(拡) 3. 敷地測量及び管理棟等アスベスト含有調査費	24,616 千円
(1) 藤沢市少年の森再整備基本方針策定に伴う敷地測量委託	
(2) 管理棟及び周辺建物のアスベスト含有建材分析調査	

民生費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団青少年事業関係費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 05 説明 01			青少年課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	367,691		738		742	366,211
令和3年度	362,272		728		742	360,802
対前年度	5,419		10		0	5,409
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				738
	(その他)	青少年会館使用料				742

【事業概要】

青少年の健全育成を目的として、地域における青少年及び青少年団体の活動の場と機会を提供するため、(公財)藤沢市みらい創造財団へ事業を委託し、青少年施設の管理運営と青少年健全育成事業等を行う。

1. 青少年施設の管理運営及び青少年健全育成事業 353,368 千円
 - (1) 青少年会館管理運営業務(指定管理)
 - (2) 少年の森管理運営業務(指定管理)
 - (3) 地域子どもの家管理運営業務(指定管理)
 - (4) 児童館管理運営業務(指定管理)
 - (5) S L 広場管理運営業務委託
 - (6) 青少年事業業務委託
 - ・はたちのつどい
 - ・親子ふれあいコンサート
 - ・青少年体験学習事業
 - (7) はたちのつどい屋外誘導警備業務委託
 - (8) 少年の森宿泊研修施設運営費負担金

2. (公財)藤沢市みらい創造財団青少年事業関係事務経費 12,699 千円
 - ・青少年会館 A E D 賃借料等
 - ・(公財)藤沢市みらい創造財団運営補助金

3. 指定管理者審査選定委員会委員報酬等 1,624 千円

青少年施設の管理運営業務に係る指定管理期間が令和4年度をもって終了となるため、令和5年度以降の指定管理者について審査選定を行う。

民生費

事業名	放課後児童健全育成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-2-71	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	988,355	256,490	227,450			504,415
令和3年度	851,578	191,151	191,151			469,276
対前年度	136,777	65,339	36,299			35,139
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				227,450
		保育士等処遇改善臨時特例交付金				29,040
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				227,450

【事業概要】

保護者が就労等により放課後不在となる家庭等の児童の健全育成と、保護者の就労と子育てを支援するため、児童に居場所や生活の場を提供する放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）を行う。

また、児童クラブの安定的な運営とより質の高い人材確保等に向けて、児童クラブ指導員の処遇改善事業を実施する。

1. 放課後児童健全育成事業運営費負担金 977,697 千円
 - ・ 法人が運営する74クラブの運営費の負担金
 - ・ 放課後児童支援員等処遇改善事業負担金

2. 長期休暇対策事業の実施 10,000 千円

小学校の夏期休暇期間中に子どもの居場所確保策としてサマースクール事業を2カ所で実施する。

 - ・ 実施期間 小学校夏期休暇期間（日曜日・祝日は閉所）
 - ・ 対象者 市内在住・在学の小学校4・5・6年生

3. その他経費 658 千円
 - ・ 除草作業

民生費

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-61	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	80,614	333	333	60,800	15,265	3,883
令和3年度	9,682	2,265	1,691	1,800	476	3,450
対前年度	70,932	△ 1,932	△ 1,358	59,000	14,789	433
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				333
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				333
	(地方債)	放課後児童クラブ整備事業債				60,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				15,265

【事業概要】

第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、放課後児童クラブの整備等を行う。

- 放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会委員報酬 59千円
令和5年4月の村岡小学校区及び大道小学校区放課後児童クラブ開所に向け、放課後児童クラブ設置運営事業者の審査選定を行うため、学識経験者等に対し選考委員会委員報酬を支払う。
- 石川小学校区放課後児童クラブ整備費用 76,065千円
環境事業センターの改築工事に伴い、複合化する石川小学校区放課後児童クラブの整備に係る費用負担
- (公財)藤沢市みらい創造財団が実施する整備に係る負担金 4,477千円

小学校区	整備内容
石川	新設する放課後児童クラブの開所に係る準備経費
鵜南	よつば児童クラブの移転に伴う旧施設の原状回復に要する経費

- 石川小学校区放課後児童クラブに設置する消火器の購入費 13千円

民生費

事業名	児童虐待防止対策関係費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 01 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,339	576	576			1,187
令和3年度	2,107	590	590			927
対前年度	232	△ 14	△ 14			260
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				576
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				576

【事業概要】

児童の家庭における安定と児童福祉の向上を図るため、児童虐待のおそれがあるなど特に支援が必要な家庭に対して、「藤沢市要保護児童対策地域協議会」の構成機関が各々の専門性を活かして連携し、児童虐待の早期発見及び迅速な対応と家庭への指導・支援を行う。

また、子ども家庭総合支援拠点として、児童や保護者等から相談を受け、専門的な指導・助言を行うとともに、児童虐待の予防や再発防止等を目的として、通所及び在宅による支援を行う。

1. 相談機関としての業務の実施 984 千円
 - (1) 児童虐待に関する相談や通告を受け、児童の安全確認、要保護児童対策地域協議会の構成機関等への調査及び保護者への指導や継続的支援を実施する。
 - (2) 子ども・子育ての相談に対して、専門相談員による助言や情報提供を行い、必要に応じて専門機関に引き継ぐ。

2. 要保護児童対策地域協議会の運営 113 千円
 - (1) 藤沢市要保護児童対策地域協議会（代表者会議）
定例会：年1～2回
 - (2) 藤沢市要保護児童対策地域協議会（実務者会議）
定例会：年1～2回、部会：年4回程度
 - (3) 支援内容検討のための個別ケース検討会議の開催
 - (4) 児童虐待防止のための啓発事業の実施

3. 養育支援訪問事業の実施 1,242 千円
 - (1) 保健師、保育士等による養育に関する専門的指導・助言の実施
 - (2) 育児・家事援助ヘルパーの派遣

民生費

事業名	子ども発達相談関係費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 02 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,360	621	228			2,511
令和3年度	3,369	617	226			2,526
対前年度	△ 9	4	2			△ 15
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				456
		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金				165
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				228

【事業概要】

障がい児や発達に心配のある子どもについての相談支援を行うとともに、ライフステージに応じて一貫した支援が受けられるよう、ネットワークを活用した支援や啓発事業を実施する。

1. 障がい児や発達に心配のある子どもの相談及び家族支援 1,482 千円
2. 保護者や支援者向け啓発事業の実施 252 千円
 - ・市民及び支援者向け発達障がい啓発講座
3. 発達障がい児等支援者向け研修会の実施 850 千円
 - ・発達支援コーディネーター養成講座（保育園、幼稚園等）
 - ・専門相談員の巡回による保育園や幼稚園への相談や助言及び園内研修
 - ・支援者向け研修会（児童発達支援事業所等）
4. 子ども発達支援連絡会議の開催 225 千円
 - ・関係機関のネットワークによる発達支援の推進を図るための連絡会議
（構成機関：児童相談所、児童福祉施設、私立幼稚園協会、民間保育園園長会等）
5. 子どもサポートファイルの普及と発達障がいに関する冊子を活用した啓発 378 千円
6. その他事務経費 173 千円

民生費

事業名	子どもの生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 03 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,388	4,849				5,539
令和3年度	8,276	3,706				4,570
対前年度	2,112	1,143				969
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				4,849

【事業概要】

経済的に困難を抱えるなど、養育環境に課題がある家庭の子どもに、夕方から夜までの時間を安心して過ごすことができる場を提供し、基本的な生活習慣の習得、学習習慣の定着、食事の提供等の支援を行うことで、子どもの豊かな人間性や社会性を育む事業を実施する。

1. 子どもの生活支援事業業務委託 10,388 千円
 ≪実施場所≫ 市内2カ所
 ≪実施日数≫ 週3日以上（平日の夜間等）

民生費

事業名	生活保護扶助費					
予算科目	款 4 項 3 目 2 細目 01 説明 01			生活援護課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,998,459	7,393,843	188,271			2,416,345
令和3年度	9,958,760	7,408,318	113,849			2,436,593
対前年度	39,699	△ 14,475	74,422			△ 20,248
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活扶助費等国庫負担金				3,805,079
		医療扶助費等国庫負担金				3,362,793
		介護扶助費等国庫負担金				225,971
	(県支出金)	生活保護費負担金				188,271

【事業概要】

生活保護法に基づき、生活困窮者の最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図るため、生活扶助費等を支給し、必要な支援を実施する。

1. 生活保護扶助費の支給 9,998,459 千円

対象数 4,446 世帯 5,807 人 (月平均)
 (内訳)

	世帯数	人員(人)	金額(千円)
生活扶助費	3,898	5,048 (月平均)	3,077,485
住宅扶助費	4,086	5,246 (月平均)	1,985,796
教育扶助費	245	346 (月平均)	31,764
介護扶助費	931	943 (月平均)	305,295
医療扶助費	3,925	4,775 (月平均)	4,485,725
出産扶助費	2	2 (年間)	518
生業扶助費	134	155 (月平均)	27,277
葬祭扶助費	145	145 (年間)	34,550
施設事務費	18	18 (月平均)	38,559
委託事務費	21	21 (月平均)	6,056
就労自立給付金	60	60 (年間)	2,434
進学準備給付金	30	30 (年間)	3,000

民生費

事業名	災害見舞金関係費					
予算科目	款 4 項 4 目 1 細目 01 説明 01			福祉総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,500					2,500
令和3年度	2,500					2,500
対前年度	0					0

【事業概要】

藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例等に基づき、火災又は自然災害（床上浸水等）等の災害による罹災者に対し、弔慰金、見舞金の支給を行う。

1. 災害弔慰金及び見舞金の支給 2,500 千円
- (1) 災害弔慰金の支給
火災又は自然災害等により死亡した人の遺族に対し、災害弔慰金を支給する。
- (2) 災害見舞金の支給
火災又は自然災害等により住居等が被害を受けた人、またその災害により負傷した人に対し、災害見舞金の支給を行う。
- (3) 災害援護資金の貸付け
自然災害等により住居もしくは家財が被害を受けた世帯の世帯主に対し、生活の立て直しに資するため、災害援護資金の貸付けを行う。

衛生費

事業名	乳幼児健診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 01			健康づくり課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	102,114					102,114
令和3年度	101,504					101,504
対前年度	610					610

【事業概要】
 すべての子どもが健やかに成長できるよう、乳幼児の発育・発達の確認を行う健康診査を実施する。健康診査において、疾病及び発達や運動機能等の障がいのある児を早期発見し、適切な保健指導を行い、養育や発達過程に応じた相談及び発達支援につなげる。

- 乳児健康診査 56,186 千円
 4カ月児及び9～10カ月児を対象に、医療機関での個別健康診査を実施する。
- 幼児健康診査 42,147 千円
 1歳6カ月児、2歳児（歯科）、3歳6カ月児を対象に、南・北保健センターでの集団健康診査を実施する。また、4・5歳児を対象に尿検査を実施する。
- その他事務経費 3,781 千円
 報酬、消耗品費、印刷製本費等

衛生費

事業名	母子保健事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 02			健康づくり課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,315				165	8,150
令和3年度	8,781				165	8,616
対前年度	△ 466				0	△ 466
特定財源の内訳	(その他)	歯科予防処置手数料				165

【事業概要】
 母及び乳幼児の健康の保持・増進を図るため、妊娠、出産、育児（思春期含む）についての知識の普及や育児支援、未熟児や慢性疾患児等に対する療育支援を実施する。
 また、南・北保健センターを子育て世代包括支援センターとして位置づけ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談支援を実施する。

- 各種教室、各種相談の実施 6,139 千円
 両親学級、ぱくぱく教室（1歳～1歳2カ月児）、もぐもぐ教室（7カ月児）、育児支援教室等を行う。
 また、赤ちゃんの健康相談、お母さんと子どもの健康相談、心理相談経過観察、幼児健診事後相談、歯科相談等を行う。
- 各種訪問等の実施 2,176 千円
 こんにちは赤ちゃん事業（生後4カ月までの全戸訪問事業）、未熟児訪問指導、慢性疾患児訪問指導等を行う。

衛生費

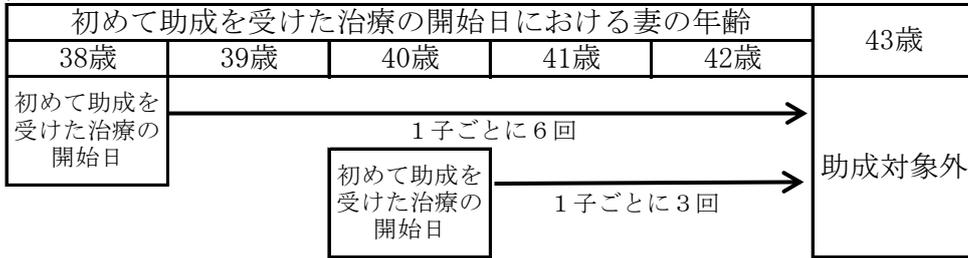
事業名	特定不妊治療助成事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 03			健康づくり課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	62,839					62,839
令和3年度	53,859					53,859
対前年度	8,980					8,980

【事業概要】

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療に要した費用を助成する。

- 特定不妊治療に要した費用に対する助成 62,839 千円
 特定不妊治療に要した費用のうち、神奈川県による助成額を控除した額について1回の治療につき10万円まで、初回助成の対象となる治療開始日に妻の年齢が39歳以下の場合には1子ごとに6回、40歳以上43歳未満の場合には1子ごとに3回を限度に助成する。

<助成イメージ>



衛生費

事業名	不育症治療助成事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 04			健康づくり課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	350					350
令和3年度	350					350
対前年度	0					0

【事業概要】

厚生労働省不育症研究班に属する医師のいる医療機関、又は同等の能力を有する協力医療機関において、不育症と診断されたのち、治療や検査を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療や検査に要した費用（保険診療分は対象外）を助成する。

- 不育症治療に要した費用に対する助成 350 千円
 - 治療等に要した費用の2分の1を助成
 - 1年度当たり上限30万円（回数制限なし）、通算3年度助成
 - 助成対象年齢は、治療開始時の妻の年齢が42歳まで（43歳未満）
 - 夫婦の前年（1月から5月までの申請は前々年）の所得の合計額が730万円未満

衛生費

事業名	妊娠・出産包括支援事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 05			健康づくり課		
指針体系コード	3-2-41		まちづくりテーマ 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
区分	事業費		重点施策名 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	275,748	26,420				249,328
令和3年度	261,275	13,960				247,315
対前年度	14,473	12,460				2,013
特定財源の内訳	(国庫支出金)		母子保健衛生費補助金			21,861
			次世代育成支援対策施設整備交付金			4,559

<拡充事業> 産後ケアの支援内容の拡充、及び産後ケア施設整備に対する助成

【施策等を必要とする背景】

核家族化や出産年齢の高齢化、支援者家族の高齢化等により出産・育児の負担が増加する中、子育てにおける母親の心身の負担軽減と休息の機会を確保するため、医療・保健・教育・福祉が連携し、社会全体で切れ目なく支える環境整備が求められており、国においては第4次少子化対策大綱により、産後ケア事業については令和6年度末までの全国展開をめざしているものである。

【提案に至るまでの経緯】

令和元年12月6日母子保健法の一部が改正され「産後ケア」が法制化された。心身のケアや育児サポート等が各市町村の努力義務とされ、令和3年4月1日からモデル的に3時間のデイサービスを開始するとともに、妊産婦へのアンケートや医療機関等への事業調査を行った。この調査に基づき、令和4年度は個室での休息が可能な3時間と6時間のデイサービスに変更するとともに、新たにショートステイを開始するなどの拡充を図ることとした。

- 令和2年7月～9月 母子手帳交付時・ハローベビィ訪問時・乳児対象栄養教室の利用者872人にアンケートを実施
- 令和3年4月～12月 ①9月に令和3年4月～8月利用者にアンケートを実施
②12月に令和3年9月～11月利用者にアンケートを実施
- 令和3年6月～10月 医療機関・助産院（市内・近隣市）に産後ケア事業調査を実施

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

利用時の意見や、アンケートによる意見を事業立案の参考とした。

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. 市政運営の総合指針における重点施策として位置付けている。
2. 藤沢市子ども・子育て支援事業計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
本事業の実施により妊娠・出産を通じた不安を軽減し、安心して子育てができる環境が整備されることで、孤立を防ぎ、子育てしやすいまちづくりにつながる。
2. 将来にわたる費用
本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり
令和4年度 275,748 千円
令和5年度 291,201 千円
令和6年度以降 282,083 千円

【事業概要】

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行い、安全・安心で健やかな妊娠・出産、産後をサポートするため、妊産婦の健康診査の費用助成及び産後ケア事業を実施する。

1. 妊産婦健康診査 257,087 千円

積極的な妊産婦健康診査の受診を促し、妊産婦の健康確保を図るため、16回の公費負担を実施する。また、里帰り出産等について、安心して妊産婦健康診査が受診できるよう、償還払いにより公費負担を実施する。

(拡) 2. 産後ケア事業の実施 11,223 千円

おおむね産後4カ月（最大1年）までを中心に、支援を必要とする母親を対象に、産後ケア事業として、既存のデイサービスを、休息も可能な3時間型と6時間型に拡充する。また、ショートステイも新たに実施し、休息による育児負担の軽減や、安心できる場所を提供することで、産後の不安定な時期の産後うつ予防や早期対応につなげる。

サービス	補助額	自己負担額	回数	人数	総回数	予算額（千円）
ショートステイ	21,000	9,000	7	50	350	7,350
デイサービス1 6時間	11,200	4,800	2	100	200	2,240
デイサービス2 3時間	7,000	3,000	2	100	200	1,400
免除対象 市民税非課税・生活保護受給世帯（全額）及び多胎（加算額）						233

(新) 3. 産後ケア施設整備に対する助成 6,839 千円

産後ケア施設を新たに整備する事業者に対し、経費の一部を助成する。

※工期については、令和5年1月から7月までの予定

4. その他事務経費 599 千円

衛生費

事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01			健康づくり課		
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	68,577	2,582	2,441		1,987	61,567
令和3年度	74,418	2,271	2,441		1,987	67,719
対前年度	△ 5,841	311	0		0	△ 6,152
特定財源の内訳	(国庫支出金)	受動喫煙対策促進事業補助金				2,582
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441
	(その他)	後期高齢者健康診査補助金				1,987

【事業概要】

健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

1. 健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うための会議の開催 891 千円
2. がん対策や健康づくり、生活習慣病予防等に関する各種事業の実施 60,903 千円
3. ふじさわ歩くプロジェクトの実施 3,278 千円
身体活動の促進を図るため、歩きたくなる情報発信や環境づくりを実施
4. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 3,505 千円

衛生費

事業名	健康診査事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 02			健康づくり課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	357,189		13,930		277,447	65,812
令和3年度	355,651		19,635		285,836	50,180
対前年度	1,538		△ 5,705		△ 8,389	15,632
特定財源の内訳	(県支出金)	健康増進事業費補助金				13,930
	(その他)	後期高齢者健康診査補助金				277,447

【事業概要】

糖尿病等の生活習慣病の早期発見のため、後期高齢者等を対象に健康診査を実施するほか、生活習慣病重症化予防や受診率向上に向け、健康診査結果のデータ活用及び分析を実施する。
また、B型肝炎・C型肝炎の早期発見のため、40歳になる者及び41歳以上の未受診者を対象に肝炎ウイルス検診を実施する。

- (括) 1. 後期高齢者等健康診査（実施期間6月～10月） 349,713 千円
75歳以上の後期高齢者医療制度加入者または40歳以上の生活保護受給者等の無保険者を対象に実施
2. 肝炎ウイルス検診（実施期間6月～10月） 7,175 千円
3. その他事務経費 301 千円

衛生費

事業名	がん検診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03			健康づくり課		
指針体系コード	2-2-21		まちづくりテーマ 健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費		重点施策名 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	661,087	8,935				652,152
令和3年度	676,155	7,905				668,250
対前年度	△ 15,068	1,030				△ 16,098
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				8,935

【事業概要】

がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。

特に女性のがんについては、クーポンの配付を継続するとともに、検診車によるマンモグラフィ検診の実施により普及啓発を図る。

1. 胃がん検診（実施期間4月～3月） 153,628 千円
 - ・ 40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。 59,844 千円
 - ・ 50歳以上の該当年齢の市民を対象に内視鏡検査を行う。 93,784 千円

自己負担額は3,000円（バリウムは70歳以上無料）
2. 胃がんリスク検診（実施期間6月～10月） 7,259 千円

40～70歳の5歳刻みの年齢の市民を対象に採血による検診を行う。
自己負担額は1,000円
3. 子宮頸がん検診（実施期間4月～3月） 112,993 千円

20歳以上の該当年齢の女性市民を対象に細胞診検診を行う。
自己負担額は2,000円（クーポン対象者及び70歳以上は無料）
4. 乳がん検診（実施期間4月～3月） 89,231 千円

40歳以上の該当年齢の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。
自己負担額は40歳～49歳まで（2方向撮影）は3,000円（クーポン対象者は無料）、50歳以上（1方向撮影）は1,800円（70歳以上は無料）
5. 肺がん検診（実施期間6月～10月） 121,059 千円

40歳以上の市民を対象に胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。
自己負担額は600円（70歳以上は無料）
6. 大腸がん検診（実施期間6月～10月） 48,517 千円

40歳以上の市民を対象に便潜血反応検査による検診を行う。
自己負担額は600円（70歳以上は無料）
7. 前立腺がん検診（実施期間6月～10月） 32,104 千円

50歳以上の男性市民を対象にPSA検査による検診を行う。
自己負担額は1,000円
8. マンモグラフィ検診車による集団検診の実施 3,021 千円
9. がん検診デジタル読影の実施 60,841 千円

胃がん、乳がん、肺がんの各検診の二次読影において、デジタル読影を実施する。
10. その他事務経費 32,434 千円

消耗品費、印刷製本費等

衛生費

事業名	歯科健康診査事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 04			健康づくり課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	43,165		6,568			36,597
令和3年度	42,169		6,511			35,658
対前年度	996		57			939
特定財源の内訳	(県支出金)	健康増進事業費補助金				6,568
【事業概要】						
<p>8020運動を推進し、歯の健康に対する意識の高揚と、歯科疾患の予防及び早期発見を図るため、市内指定歯科医療機関で成人歯科健康診査を実施するとともに、口腔がん集団検診を実施する。</p> <p>成人歯科健康診査対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。</p>						
<p>1. 成人歯科健康診査（実施期間6月～10月） 38,109千円 20～70歳の5歳刻みと80歳の市民を対象に成人歯科健康診査を実施 自己負担額は500円</p>						
<p>2. 口腔がん検診（集団検診） 1,188千円 年2回、申込制で実施 自己負担額は500円</p>						
<p>3. その他事務経費 3,868千円 郵便料、印刷製本費等</p>						

衛生費

事業名	休日・夜間発熱患者診療事業運営費補助金					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 06 説明 05			地域医療推進課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	13,915	13,915				0
令和3年度	14,131	0				14,131
対前年度	△216	13,915				△14,131
特定財源の内訳	(国庫支出金)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				13,915
【事業概要】						
<p>新型コロナウイルス感染症の感染症患者が増加している中、市内における発熱者に対する医療提供体制を継続して確保することから、藤沢市医師会が実施する、休日・夜間発熱患者診療事業に対し運営費（人件費相当）を補助する。</p>						
<p>1. 休日・夜間発熱患者診療事業運営費に対する補助 13,915千円 補助対象事業者 公益社団法人藤沢市医師会 事業実施期間 令和4年4月から9月まで（予定） 実施場所 北休日・夜間急病診療所（保健医療センター内） 診療時間 平日 午後8時から午後11時まで 土曜日 午後6時から午後11時まで 休日 午前9時から午後11時まで （正午から午後1時まで及び午後5時から午後6時までは休診）</p>						

衛生費

事業名	ふれあい入浴事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 12 説明 01	高齢者支援課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	20,529					20,529
令和3年度	8,964					8,964
対前年度	11,565					11,565

【事業概要】

市内の公衆浴場における公衆衛生の確保及び世代間交流や地域交流の活性化に資するため、藤沢浴場組合の事業費や設備整備費等の一部を補助する。

1. 藤沢浴場組合に対する補助 20,529 千円
 藤沢浴場組合が実施する交流事業や公衆衛生の確保のための設備整備等に対し、補助金を交付する。

(拡) (1) 交流事業補助 19,113 千円
 浴場組合が実施する世代間交流や地域交流を促進するための事業に対する補助
 ・ふれあい入浴事業
 週に5回、65歳以上又は同一世帯の家族の入浴に対し、利用料金を割引する事業
 ・イベント事業
 地域交流や健康の促進を図る事業

(2) 運営補助 416 千円
 各事業の広報活動等に関する費用の補助

(3) 設備整備補助 1,000 千円
 内装、外装、給水湯設備等の整備に関する費用の補助

衛生費

事業名	医師会立看護専門学校運営費補助金					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 13 説明 01	地域医療推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	22,109				1,800	20,309
令和3年度	22,109				1,800	20,309
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	土地貸付収入				1,800

【事業概要】

湘南東部医療圏(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)の医療機関において看護師を確保するために藤沢市医師会が設立した湘南看護専門学校の運営費を助成する。

1. 湘南看護専門学校運営費に対する補助 22,109 千円
 補助対象事業者 公益社団法人藤沢市医師会

<学校概要>

名称 湘南看護専門学校(平成25年4月開校)
 所在地 藤沢市大庭5062番地3
 学科等 看護学科(3年課程)、定員120人(1学年定員40人)

衛生費

事業名	各種予防接種費					
予算科目	款 5 項 1 目 2 細目 01 説明 01			健康づくり課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,232,688		8,236			1,224,452
令和3年度	1,092,716		8,445			1,084,271
対前年度	139,972		△ 209			140,181
特定財源の内訳	(県支出金)	予防接種健康被害救済費補助金				6,317
		風しん予防接種事業費補助金				1,346
		骨髄移植等予防接種再接種事業費補助金				573

【事業概要】

感染の恐れがある疾患の発生及びまん延の予防のため、予防接種法で定める定期の予防接種対象者に、指定医療機関において各種予防接種（四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、日本脳炎、麻しん・風しん、BCG、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、ロタウイルス、HPV）を実施する。

HPVワクチンについては、従来の定期接種対象者に加えて、積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して、接種機会を提供する。（キャッチアップ接種）

また、厚生労働大臣が、予防接種を受けたことによる健康被害を認定した者について、障がい年金、障がい児養育年金等の給付を行う。

- | | |
|-----------------------------------------------------|--------------|
| 1. 各種予防接種の実施 | 1,217,238 千円 |
| ・各種定期予防接種委託料 | 736,561 千円 |
| （うちHPVワクチンキャッチアップ接種委託料 154,525千円） | |
| ・緊急対策としての風しん予防接種委託料等 | 6,077 千円 |
| ・医薬材料費（ワクチン） | 460,028 千円 |
| ・各種定期予防接種実施に係る市民病院への負担金 | 2,454 千円 |
| ・里帰り出産等による定期予防接種費用の助成 | 10,972 千円 |
| ・骨髄移植等の医療行為により接種済みの定期予防接種の効果が期待できなくなった者に対する再接種費用の助成 | 1,146 千円 |
| 2. 予防接種健康被害給付金等の給付 | 8,524 千円 |
| ・障がい年金 | 4,667 千円 |
| ・障がい児養育年金 | 2,849 千円 |
| ・医療費、医療手当 | 908 千円 |
| ・健康被害見舞金 | 100 千円 |
| 3. その他事務経費 | 6,926 千円 |
| 報酬、消耗品費、印刷製本費等 | |

衛生費

事業名	火葬場整備事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 4 細目 02 説明 02			福祉総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	22,429	19,100		1,500		1,829
令和3年度	191,605	72,000		94,300		25,305
対前年度	△ 169,176	△ 52,900		△ 92,800		△ 23,476
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				19,100
	(地方債)	保健衛生施設整備事業債				1,500

【事業概要】

藤沢聖苑（火葬場）の安全・確実な運営を維持するため、火葬場整備事業を行う。

1. 藤沢聖苑屋内消火栓ポンプ・スプリンクラーポンプ更新工事 13,860 千円
平成3年の施設利用開始から30年以上経過したため更新工事を行う。
2. 藤沢聖苑火葬炉設備修繕工事 8,569 千円
(1) 火葬炉定期保守点検に基づき修繕が必要な箇所の工事を行う。
(2) 故障時のリスクを分散させるため、ガス供給に使用する重要部品（減圧弁）の増設工事を行う。

衛生費

事業名	感染症対策事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 02 説明 01			保健予防課		
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	感染症対策の強化			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	528,296	405,322	0			122,974
令和3年度	600,346	339,240	41,381			219,725
対前年度	△ 72,050	66,082	△ 41,381			△ 96,751
特定財源の内訳	(国庫支出金)	結核対策費負担金				5,064
		感染症予防事業費負担金				3,833
		感染症発生動向調査事業費負担金				74,265
		感染症患者入院医療費負担金				37,869
		結核対策費補助金				622
		特定感染症検査等事業費補助金				24,059
		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				259,610

【事業概要】

市民の健康を守るため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の罹患予防やまん延防止に向けた検診（健診）や保健指導、情報の収集及び提供、普及啓発等の感染症対策事業を行う。

新型コロナウイルス感染症の罹患予防やまん延防止のために、医療提供体制を確立し、自宅療養者への対応や陽性患者の移送、専用の電話相談窓口の設置などを実施する。

また、風しんの流行に伴う緊急対策として、抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査を引き続き実施する。

1. 新型コロナウイルス感染症対策事業 459,010 千円

- ・新型コロナウイルス感染症入院医療費及び検査費用の公費負担
- ・新型コロナウイルス感染症陽性患者の移送
- ・「地域療養の神奈川モデル」運營業務委託
- ・藤沢コロナ受診相談センター及び一般電話相談設置に係る業務委託
- ・PCR検査センターの設置に係る業務委託
- ・集団検査時の民間検査機関への検査委託
- ・新型コロナウイルス感染症自宅療養に係る負担金

2. 結核対策事業 15,983 千円

結核登録患者の家庭を訪問し、不安の軽減や療養支援等の指導相談及び被感染者の早期発見のための接触者健康診断を行うとともに、結核医療費の助成を行う。

3. その他の感染症対策事業 53,303 千円

- ・定点医療機関からの感染症発生動向調査による感染症情報の収集及び提供
- ・感染症患者発生時の疫学調査及び必要に応じた検体検査の実施
- ・新型インフルエンザ等感染症対策の推進
- ・妊娠を希望する女性とパートナー等を対象にした風しん抗体検査の実施
- ・抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査の実施

(この事業は令和3年度6月、9月、12月補正で増額した事業)

衛生費

事業名	精神保健対策事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 02 説明 04			保健予防課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,579	839	4,669			2,071
令和3年度	7,579	0	2,279			5,300
対前年度	0	839	2,390			△ 3,229
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				839
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				419
		地域自殺対策強化交付金事業費補助金				4,250

【事業概要】

地域における精神保健福祉の正しい理解と精神障がい者の自立と社会参加、社会復帰を図るため、地域や関係機関との連携による普及啓発事業及び専門医や専門職による相談事業などの精神保健対策事業を行う。

また、自殺対策、認知症疾患対策等の事業を庁内関係各課及び地域団体と連携して実施する。

1. 精神保健福祉相談・訪問事業 3,388 千円

- (1) 嘱託医による「精神保健福祉相談」（3回/月）と専門職による相談及び家庭訪問
- (2) 措置入院者等退院後支援事業
入院中から関係機関とケース会議を開催の上、退院後概ね6カ月間の支援計画を作成し、当事者・家族の地域移行を支援
- (3) 認知症疾患対策事業
嘱託医による「もの忘れ相談」（2回/月）、若年性認知症の方の交流会等を行う。

2. 自殺対策事業 3,163 千円

- (1) 自殺未遂者緊急介入支援事業
自殺未遂で救急病院に搬送された方や家族等へ、専門相談員を派遣し支援を行う。
- (2) 自殺未遂者・家族個別支援事業
「まごころホットライン」を設置し、専門相談員による電話相談・面接等を行う。
- (3) 当事者、家族等への支援
うつ病の当事者、家族等への支援及び自死遺族支援「藤沢わかちあいの会」の開催
- (4) 人材育成・普及啓発
 - ・ゲートキーパー養成講座の開催
 - ・携帯電話等を使用してうつの自己チェックを行う「こころの体温計」の運用及び自殺予防週間キャンペーン、講演会等の開催

3. 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進事業 1,028 千円

- (1) 精神障がい者地域生活支援事業
精神障がい者の退院への意欲向上を図るため、宿泊や居宅介護、日中活動等を体験する機会の提供
- (2) 当事者、家族等への支援
 - ・精神障がい者の疾病教育や社会参加等を目的とした、「生活教室」「当事者支援セミナー」「家族教室」等の開催
 - ・精神障がい者、認知症の方の家族会及び断酒会等の活動の支援
- (3) 人材育成・普及啓発
 - ・携帯電話等を使用して認知症のチェックを行う「認知症簡易チェック」の運用
 - ・精神疾患や生活障がいに関する知識を普及し、偏見のない地域づくりの推進を図ることを目的に、講演会や精神障がい者福祉事業所等のパネル展示等を行う。また、関係団体等の職員を対象とした研修会を実施する。

衛生費

事業名	ごみ減量推進事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課・環境事業センター				
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	293,820				285,639	8,181
令和3年度	263,874				256,626	7,248
対前年度	29,946				29,013	933
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				270,294
		生ごみ処理容器売払収入				631
		環境基金繰入金				13,751
		広告料収入				963

<拡充事業> 指定収集袋の見直し（バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋の導入等）

【施策等を必要とする背景】

国は令和2年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、本市も令和3年2月に「藤沢市気候非常事態宣言」を表明し、その柱の一つとして2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざすことを掲げている。

現在使用している指定収集袋は石油由来の素材を使用したワンウェイプラスチックであるため、その製造や焼却過程でCO₂が排出されている。国のプラスチック資源循環戦略では自治体を使用する指定収集袋を、バイオマスプラスチック等の再生可能資源へ代替することを促進している。

また、市民意識調査において、「プラスチックごみの削減」や「リサイクルを含め資源を大切にす」など環境問題に対する意見が出されており、市の対策が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

脱炭素社会の実現に向け、本市として環境に配慮した施策を実施する必要があることから、バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋を導入するもの。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・ 藤沢市環境基本計画の施策の展開に位置付け
- ・ 藤沢市地球温暖化対策実行計画の温室効果ガス排出削減に向けた取組に位置付け

【将来にわたる効果及び費用】

バイオマスプラスチックの導入により、温室効果ガス排出量の削減が成され、地球温暖化対策に寄与するとともに、環境に対する市民意識の向上が図られる。

【事業概要】

ごみの排出抑制や減量、再使用及び再生利用の促進を図るため、ごみ処理有料化制度の継続や生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成、ごみの減量・資源化の啓発を行う。食品ロスの削減に向けた取組の推進及びプラスチックごみ削減に関する啓発等を実施する。

1. 指定収集袋の流通システムの運営	272,195 千円
家庭及び小規模事業所から排出する際に用いる指定収集袋の流通システムの運営を行う。	
(拡)	
・バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋の製造・保管及び配送業務委託料 実施予定 令和4年7月	188,374 千円
・指定収集袋流通管理等業務委託料	15,640 千円
・指定収集袋取扱手数料	66,280 千円
・免除対象者用引換券関係経費	1,901 千円
2. 生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成	11,055 千円
・生ごみ処理器購入費助成	3,905 千円
・家庭用電動生ごみ処理機購入費補助金	7,000 千円
・生ごみ処理器等申し込み用リーフレット	150 千円
3. ごみ減量・資源化啓発事業の実施	317 千円
・市内小学4年生及び保育園・幼稚園を対象としたごみ体験学習会の実施	157 千円
・ごみ減量推進店の認定	50 千円
・啓発用動画の制作	110 千円
4. ごみNEWSの作成及び配布	1,656 千円
ごみNEWS（年1回）16万1千部を作成し、各世帯に配布	
5. ごみ検索システム・ごみ分別アプリの運営・管理	792 千円
6. 藤沢市廃棄物減量等推進審議会の運営	998 千円
7. プラスチック製容器包装再商品化経費	4,191 千円
8. プラスチックごみ削減及び食品ロス削減推進啓発事業	612 千円
9. ガラス等再商品化経費	1,870 千円
10. ごみ減量推進事業事務経費	134 千円

衛生費

事業名	廃棄物等戸別収集事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 01 説明 01			環境事業センター		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,586,606				678,211	908,395
令和3年度	1,598,441				689,405	909,036
対前年度	△ 11,835				△ 11,194	△ 641
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				484,921
		環境基金繰入金				170,240
		ペットボトル再商品化収入				21,250
		ペットボトル回収協力金				1,800

【事業概要】

市民生活の衛生保持のため、市内の一般家庭等から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源等を収集する事業を行う。

1. 可燃ごみ収集事業 546,969 千円
 一般家庭等から排出される可燃ごみを定曜日に戸別収集する。
 - ・可燃ごみ収集運搬業務委託料 482,538 千円
 - ・その他収集運搬業務委託料 62,490 千円
 - ・収集業務事務費 1,941 千円

2. 不燃ごみ収集事業 123,421 千円
 一般家庭等から排出される不燃ごみを隔週の定曜日に戸別収集する。
 - ・不燃ごみ収集運搬業務委託料 122,017 千円
 - ・収集業務事務費 1,404 千円

3. 資源収集事業 854,332 千円
 一般家庭等から排出される資源を戸別・集積所収集するとともに、大型商品プラスチック、羽毛布団・スプリングマット等及び剪定枝をコール制により各戸収集する。
 また、収集した資源の中間処理の一部において、障がい者雇用を促進する。
 - ・資源回収事業補助金 435,006 千円
 - ・剪定枝資源化事業費 33,650 千円
 - ・ビン搬送・ペットボトル等収集運搬業務委託料 89,899 千円
 - ・プラスチック製容器包装収集運搬業務委託料 241,399 千円
 - ・大型資源収集運搬業務委託料 35,065 千円
 - ・羽毛布団・スプリングマット等資源収集運搬業務委託料 6,856 千円
 - ・周知関係事務費（収集日程カレンダー等） 10,400 千円
 - ・収集業務事務費 2,057 千円

4. 江の島島内及び藤沢駅周辺区域廃棄物等収集運搬事業 50,000 千円
 江の島島内及び藤沢駅周辺の廃棄物等収集運搬業務を委託する。

5. 福祉大型ごみ収集運搬事業 11,884 千円
 超高齢社会を迎える中、大型ごみを持ち出せない高齢者等への対応として福祉大型ごみ収集運搬業務を委託する。

衛生費

事業名	石名坂環境事業所整備費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 02 説明 05			石名坂環境事業所		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	135,499			28,400	107,000	99
令和3年度	128,187			11,000	117,000	187
対前年度	7,312			17,400	△ 10,000	△ 88
特定財源の内訳	(地方債)	焼却施設整備事業債				28,400
	(その他)	一般廃棄物処理手数料				87,000
		環境基金繰入金				20,000

【事業概要】

焼却施設の処理能力を良好に保つため、機械設備等の補修工事を実施する。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 施設整備工事 | 135,369 千円 |
| (1) 焼却炉耐火物打替工事 | 43,604 千円 |
| (2) 3号ボイラー灰コンベヤ整備工事 | 12,914 千円 |
| (3) 不燃物コンベヤ整備工事 | 27,027 千円 |
| (4) 雑用コンプレッサー更新工事 | 15,950 千円 |
| (5) プラント用コンプレッサー更新工事 | 18,370 千円 |
| (6) ごみ搬出装置整備工事 | 17,504 千円 |
| 2. 石名坂環境事業所整備事務経費 | 130 千円 |

衛生費

事業名	環境事業センター整備費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 02 説明 07	環境事業センター				
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,859,626			1,260,000	420,028	179,598
令和3年度	373,724			196,800	65,742	111,182
対前年度	1,485,902			1,063,200	354,286	68,416
特定財源の内訳	(地方債)	環境事業センター整備事業債				1,260,000
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				420,028

【事業概要】

昭和55年竣工の施設で老朽化が著しく、早期の改築が必要となっていることに加え、2拠点体制で行う必要が薄れたごみ収集体制を見直し、より効率的な収集を行うため、南北収集事務所を統合した収集事務所として改築を行うとともに、待機児童が見込まれる石川小学校区に新たな放課後児童クラブを設置する必要があることから、複合化により一体整備を行う。

令和3年度から2カ年継続で建設工事を行うとともに、工事監理委託を行い、工事期間中の業務については仮設事務所で行う。

1. 事業費	1,859,626 千円
(1) 建設工事(令和3年度～令和4年度の継続費)	1,660,939 千円
(2) 工事監理委託(令和3年度～令和4年度の継続費)	19,089 千円
(3) 仮設事務所賃貸借(令和5年度までの債務負担行為を設定)	118,800 千円
(4) 新事務所什器備品	53,119 千円
(5) その他経費	7,679 千円

2. 施設概要

- (1) 構造等 鉄筋コンクリート造 地上3階建て
- (2) 延床面積 2,629.61㎡(複合施設を含む)
- (3) 複合施設 石川小学校区新設放課後児童クラブ

<継続費年割額>

(単位：千円)

	3年度	4年度	合計
工事請負費	259,664	1,660,939	1,920,603
工事監理委託費	2,878	19,089	21,967

<スケジュール概略>

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
仮設事務所			建設工事	仮設事務所での業務	解体・復旧工事
新事務所		基本・実施設計		建設工事	供用開始

衛生費

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01			北部環境事業所		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,963,310	864,392		2,488,700	587,063	23,155
令和3年度	6,318,637	2,118,082		3,549,900	650,025	630
対前年度	△ 2,355,327	△ 1,253,690		△ 1,061,200	△ 62,962	22,525
特定財源の内訳	(国庫支出金)	廃棄物処理施設整備交付金				856,692
		循環型社会形成推進交付金				7,700
	(地方債)	焼却施設整備事業債				2,488,700
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				587,063

【事業概要】

廃棄物を円滑に処理するため、焼却施設整備基本計画に基づく北部環境事業所新2号炉の建設工事を行い、専門的知識を有するコンサルタントに設計・施工監理業務を委託する。

また、同計画に基づき石名坂環境事業所の大規模整備を実施するために必要な調査等を行う。

1. 工事請負費 3,865,755 千円

・藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事

期間 平成30年度から令和4年度

総額 11,455,023千円 (第2回契約変更)

敷地面積：約15,058㎡ 施設規模：150t/日

令和4年度は、引続き建設工事を進めるとともに、令和5年度の稼働に向けて試運転等を行う。

2. 委託料 85,411 千円

・藤沢市北部環境事業所新2号炉施工監理等委託

51,300 千円

期間 平成30年度から令和4年度

総額 180,360千円 (契約金額)

設計監理、各種申請・許可等届出、現場監理、工場検査、性能試験等

(拡) ・石名坂環境事業所生活環境影響調査業務委託【継続費】 23,100 千円

期間 令和4年度から令和5年度 総額 38,500千円

(拡) ・石名坂環境事業所長寿命化総合計画策定業務委託 11,011 千円

3. 負担金補助及び交付金 9,599 千円

・工事負担金 (東京電力パワーグリッド)

8,250 千円

・工事負担金 (東京電力エナジーパートナー)

1,349 千円

4. 一般廃棄物中間処理施設整備事業事務経費 2,545 千円

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業に関するスケジュール

事業名称	主な内容	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	～	24年度
建設工事		30年2月 契約								
既設解体工事	旧2号炉解体		■							
建設工事	新2号炉建設				■	■	■			
試運転	プラント単体 総合試運転						■			
外構工事	新2号炉建屋 周辺工事						■			
新2号炉 運営・維持管理業務	焼却炉運転 施設の点検等							■	■	■
新2号炉 設計・施工監理業務	設計監理 工事監理	30年3月 契約	■	■	■	■	■			

(1の事業の一部は令和3年度6月補正で債務負担行為を設定した事業)

労働費

事業名	就労支援事業費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02			産業労働課		
指針体系コード	3-3-11		まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		
区分	事業費	重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	29,008		1,043			27,965
令和3年度	29,777		1,044			28,733
対前年度	△ 769		△ 1			△ 768
特定財源の内訳	(県支出金)	地域就職氷河期世代支援加速化交付金				1,043

【事業概要】

就労支援事業として、働くことに不安や困難を抱える若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」と、求職者や勤労者を対象とした就労支援及び資格取得講座を実施する。

また、地域の雇用状況の改善を図るため、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 17,412 千円
 自立や就労に困難を有する若者を対象に、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加・就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。
 また、その保護者を対象にセミナーや相談会を実施する。
 - (1) 対象者
 市内に在住・在勤・在学の概ね15歳から44歳の若者とその家族
 - (2) 支援内容
 - ・個別相談
 - ・就労準備応援
 - ・就労応援
 - ・就労後応援・家族応援

2. 就労支援・資格取得講座 11,305 千円
 就職氷河期世代、女性、障がい者などを対象とした就労支援セミナー及び資格取得講座、キャリアカウンセリングなど就労支援事業を実施する。

3. 湘南合同就職面接会 291 千円
 藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

労働費

事業名	勤労者生活資金貸付金					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	280,000				280,000	
令和3年度	280,000				280,000	
対前年度	0				0	
特定財源の内訳	(その他)	勤労者生活資金貸付金元金収入				280,000
<p>【事業概要】 市内に在住又は在勤する勤労者の生活の安定と向上を図るため、中央労働金庫に貸付金を預託し、低利な生活資金の融資を行う。</p> <p>1. 勤労者生活資金融資制度 280,000 千円 ・ 融資限度額 300 万円 (在勤者については、他市町村の勤労者生活資金貸付制度との合計額) ・ 返済期間 10 年以内 (50 万円以下は3年以内) ・ 取扱金融機関 中央労働金庫</p>						

労働費

事業名	勤労者住宅資金等利子補助金					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 02			産業労働課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	23,010	1,827				21,183
令和3年度	26,497	2,223				24,274
対前年度	△ 3,487	△ 396				△ 3,091
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,827
<p>【事業概要】 勤労者の経済的負担の軽減を図るため、中央労働金庫から住宅資金又は教育資金を借入れた市内在住の勤労者に、住宅資金利子及び教育資金利子の一部を補助する。</p> <p>1. 勤労者住宅資金利子補助金 20,302 千円 勤労者が自己の居住用として、市内に住宅を購入又は建築するための資金を中央労働金庫から借入れたとき、借入金利子の一部を補助する。 ・ 補助対象 借入れた額のうち600万円までの額に係る利子 ・ 補助金額 年3%以内の別途定める額 ・ 補助期間 4年間(48カ月)</p> <p>2. 勤労者教育資金利子補助金 2,708 千円 勤労者が子の教育資金を中央労働金庫から借入れたとき、借入金利子の一部を補助する。対象となる教育資金については、学校教育法に規定する高等学校、大学、高等専門学校、専修学校に在学又は入学する際に要するものとする。 ・ 補助対象 1子につき借入れた額のうち200万円までの額に係る利子 ・ 補助金額 支払利子総額の2分の1(上限2万円) ・ 補助期間 入学又は在学する教育機関の修業年限(4年以内)</p>						

労働費

事業名	技能振興関係費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 04			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,847					8,847
令和3年度	10,810					10,810
対前年度	△ 1,963					△ 1,963

【事業概要】

技能の振興と存続を目的として、技能職団体等と連携し、各種事業を実施する。

1. 藤沢市マイスター事業 2,291 千円
優れた技能・技術を有し、後進の目標となる卓越した技能者等を藤沢マイスターとして認定し、その活動を通じて市民に技能等を幅広く周知し、技能等を尊重する風土の醸成を図る。
2. 技能者表彰事業 829 千円
長く同一の職に従事し、後進の育成、技能の練磨等、その職の向上発展に寄与した技能者を表彰し、その功績をたたえる。
3. 技能まつり事業 380 千円
2022ふじさわ産業フェスタに出展し、技能者の優れた技能を市民に広くPRする。
4. “ザ・職人”技能展事業 50 千円
技能の振興、発展のため、技能者の優れた技能を市民に広くPRする。
5. 職人版インターンシップ事業 150 千円
技能職の担い手確保のため、若年者を対象とした技能職職場体験を実施する。
6. 学校訪問事業 480 千円
技能者の仕事を身近に感じてもらうため、技能者が小中学校等を訪問し、技能の講演・実演・体験教室を実施する。
7. 技能職団体への助成 4,667 千円
技能者間の交流や技能文化の継承等により技能振興を図るため、藤沢市技能職団体連絡協議会に対して助成を行う。

労働費

事業名	障がい者就労関係費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 04 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	582					582
令和3年度	582					582
対前年度	0					0

【事業概要】

障がい者の就労・雇用の促進を図るため、藤沢公共職業安定所及び神奈川県等の労働・福祉関係機関と連携を密にしながら、障がい者の就労・雇用に関する情報収集、情報提供、制度の啓発事業等を行う。

1. 障がい者雇用促進事業所訪問等啓発事業の実施 137 千円
 - (1) 障がい者雇用促進事業所訪問、見学会の実施
藤沢公共職業安定所と連携して市内事業所を訪問し、障がい者の雇用促進と定着に向けた要請や、本市で実施している障がい者就労の場「JOBチャレふじさわ」の見学受入れを通して啓発を図る。
 - (2) 障がい者雇用啓発講演会、企業向け障がい者雇用促進セミナーの実施
労働団体、支援機関等と連携し、市内事業者向けの障がい者雇用の理解促進につながる講演会やセミナーを開催して、市内事業者への啓発を図る。
2. 市内事業所への雇用モデルの提示 271 千円
「JOBチャレふじさわ」を運営し、蓄積した障がい者雇用のノウハウを、市内事業者へ提示することで啓発を図る。
3. 就労を希望する障がい者への就労体験の実施
社会的自立に向けた就労体験機会の提供を行うため、県内特別支援学校生徒等を対象に、職場実習を実施する。
4. 障がい者雇用優良事業所への感謝状贈呈 24 千円
藤沢公共職業安定所の推薦に基づき、障がい者雇用の促進に貢献のあった市内事業所等を対象に、感謝状の贈呈を行う。
5. 湘南地区障がい者卓球大会実施の支援 150 千円
障がい者の親睦を深め、友好の輪を広げるための卓球大会の実施を支援する。

農林水産業費

事業名	地産地消推進事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 2 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	5,281					5,281
令和3年度	6,433					6,433
対前年度	△ 1,152					△ 1,152

【事業概要】

藤沢産農水産物等の市内流通・利用促進のため、市民を対象に地産地消を推進することにより市内農水産業の持続的な発展及び健康で豊かな市民生活の実現を図る。

1. 地産地消推進計画の実施管理等 860 千円
 地産地消推進計画に基づく取組内容や事業進捗の審議等のため、藤沢市地産地消推進協議会を年3回開催する。また、市民の地産地消に対する意識や購買動向等を把握するため、アンケート調査を行う。
 - ・地産地消推進協議会委員報酬 500 千円
 - ・アンケート調査費用 360 千円

2. 地産地消講座の開催 319 千円
 藤沢産農水産物の利用を促進するとともに、市内農業への理解を深めるため、栽培収穫体験型講座（7月～12月、全6回）、収穫体験型講座（年9回）を開催する。

3. 「おいしい藤沢産」情報発信事業 985 千円
 地産地消の推進を図るため、ホームページやSNS等を活用して、藤沢産農水産物等や地産地消イベント・講座等の各種情報を市民へ提供する。

4. 地産地消推進イベント開催事業 1,600 千円
 藤沢産農水産物等の普及促進と地産地消の意識高揚を図るため、「藤沢市地産地消推進事業実行委員会」が主体となって、生産者、事業者と連携したPRイベント等を開催する。

5. 地産地消のPR 1,367 千円
 地産地消及び藤沢産農水産物等の普及促進を図るためのチラシ及びロゴマークシールを作成し、市内各所に配架等を行う。

6. 地産地消推進事業事務経費 150 千円

農林水産業費

事業名	水田保全事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 2 細目 03 説明 03			農業水産課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	26,500				25,000	1,500
令和3年度	25,000				25,000	0
対前年度	1,500				0	1,500
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				25,000

【事業概要】

環境に配慮した減農薬等による水稻栽培に取り組む水田耕作者を対象として、水田の持つ生物多様性の確保や、水源のかん養、治水などの多様な機能の保全・拡大を図るため、水稻栽培面積に応じた奨励金を交付する。

1. 水田保全事業奨励金 25,000 千円
 水稻生産を行う有機農業者及び神奈川県知事の認定を受けたエコファーマーに対して、1㎡当たり50円以内の奨励金を交付する。

- (拡) 2. 農業用機械導入支援事業 1,500 千円
 遊休化した水田の解消や発生抑制に寄与する農業機械を導入する際に要する費用の一部を助成する。
 ・対象者 城稻荷水稻生産組合
 ・補助率 1/2以内
 ・導入機械 グレイタスローダ及びトラクタ、ロータリ

農林水産業費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-3-71	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	21,813		17,250			4,563
令和3年度	31,159		27,934			3,225
対前年度	△ 9,346		△ 10,684			1,338
特定財源の内訳	(県支出金)	農業人材力強化総合支援事業補助金				17,250

< 拡充事業 > 技術習得支援事業の実施

【施策等を必要とする背景】

農外からの新規参入者の受け入れを開始した平成21年度以降、2割の方が離農をしている。また、令和元年度に実施した新規就農者向けアンケートにおいて、約7割が「計画通りの収量が得られていない」「目標額に達していない」、約6割が「栽培技術の不足」を課題に感じていると回答していることから、これまで実施してきた就農までの支援に加えて、定着に向けた支援が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

湘南広域都市行政協議会都市農業部会では平成27年度から「新規就農者の集い」事業として、先進農家視察等を年1回実施し、好評を得ている。

新規就農者の中でも、栽培方法や品目は多岐にわたるが、農業者が個人で視察や研修参加するにあたっての補助事業はない。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

第2次都市農業振興基本計画における基本方針1「農業者及び担い手の育成・確保の推進」の具体的な取組として位置づけ。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

新規就農者の課題の解決を支援することにより、新規就農者の定着を図り離農を防ぐ。また、新規就農者の技術の確立により、市内農業の発展に寄与する。

2. 将来にわたる費用

令和4年度以降 600千円

【事業概要】

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

1. 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施 688 千円
委託先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会
委託内容：遊休農地において景観作物(コスモス等)を栽培し摘み取りイベントを行う。
2. 援農ボランティア養成講座の開催 100 千円
対象者：援農ボランティア活動を希望する市民
3. 新規就農者に対する支援 17,250 千円
次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有する新規就農者に対して、国が実施する農業人材力強化総合支援事業に基づき補助金を交付する。
対象者：経営開始から5年以内で50歳未満の独立自営就農者
支援内容：年間最大150万円の補助金を交付
4. 農業研修受入支援事業 360 千円
農業後継者の育成のため、新規就農希望者に対して農業技術及び経営に関する研修を行う者に対し補助金を交付する。
対象者：市内の農業経営士、認定農業者
支援内容：研修生1人当たり3万円の補助金を交付
5. 農業後継者支援事業 1,699 千円
農業を継承していくために施設の整備等が必要な農業後継者に対し補助金を交付する。
6. 農福連携促進事業 1,080 千円
福祉施設と受委託契約等を交わし、障がい者等の受入を行う農業者に対し委託料の一部を補助する。
支援内容：農作業1日当たり3千円以内の補助金を交付
- (新) 7. 技術習得支援事業 600 千円
就農概ね10年目までの者が農業技術等の習得に必要とする費用について補助を行う。
支援内容：視察や研修の受講等の費用の一部を補助する。
(補助率1/2、上限3万円)
8. 担い手育成支援事業事務経費 36 千円

農林水産業費

事業名	産地競争力強化事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 04 説明 01			農業水産課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,615					2,615
令和3年度	1,128					1,128
対前年度	1,487					1,487

【事業概要】

産地競争力の強化を図るため、生産工程の省力化や農産物の品質向上を図る機械、資材の導入を支援する。

1. 防虫農薬導入事業（補助率 1 / 2 以内） 468 千円
 チョウ目害虫からの被害を防除し、生産の安定化を図るため、防虫農薬を導入する際に要する経費の一部を助成する。
2. LED防虫灯導入事業（補助率 1 / 2 以内） 2,040 千円
 飛翔害虫等の侵入を防ぎ、作業効率の改善を図るため、LED防虫灯を導入する際に要する経費の一部を助成する。
3. 防虫粒剤導入事業（補助率 1 / 2 以内） 107 千円
 植木生産におけるカミキリムシ被害を防除し、品質の安定化を図るため、防虫粒剤を導入する際に要する費用の一部を助成する。

農林水産業費

事業名	野菜生産出荷対策事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 01 説明 01			農業水産課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	13,464					13,464
令和3年度	13,464					13,464
対前年度	0					0

【事業概要】

地場農産物のPRを図るとともに、市内産野菜の安定生産と安定出荷を図るため、市内の農協共販野菜及び市場出荷野菜の出荷資材であるダンボール箱や、テープ等のその他資材の購入に対して支援を行う。

1. 出荷資材の購入に対する助成 13,464 千円
 農協共販農家及び湘南野菜出荷推進協議会会員のうち、市内生産者を対象に出荷資材の購入に要する費用の一部を助成する。
 - (1) 農協共販出荷用資材費補助（補助率 25 / 100 以内） 12,738 千円
 - ・ダンボール購入費補助 11,238 千円
 - ・その他資材購入費補助 1,500 千円
 - (2) 市場出荷用資材費補助（補助率 25 / 100 以内） 726 千円
 - ・ダンボール購入費補助 111 千円
 - ・その他資材購入費補助 615 千円

農林水産業費

事業名	湘南野菜生産育成事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 01 説明 02			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,754					3,754
令和3年度	3,754					3,754
対前年度	0					0

【事業概要】

湘南藤沢地方卸売市場への地場産農産物の出荷を推進するため、市場出荷用レンタルコンテナ利用料に対する助成及び生産者で組織される団体に対する活動費の助成を実施し、市場出荷量の維持確保及び地産地消の推進を図る。

1. 湘南野菜レンタルコンテナ促進事業（補助率25／100以内） 1,960千円
生産者の負担軽減及び量販店等の事業者ニーズに対応したレンタルコンテナ利用による出荷を推進するため、市場出荷野菜の生産者のうち、市内生産者を対象に利用料の一部を助成する。
2. 出荷団体育成事業（補助率1／2以内） 1,794千円
市場に出荷する生産者で組織される湘南野菜出荷推進協議会の活動費に対して助成を行う。

農林水産業費

事業名	学校給食用農水産物生産出荷対策費					
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	756					756
令和3年度	1,610					1,610
対前年度	△ 854					△ 854

【事業概要】

地産地消の推進と市内産農産物の利用促進による安定的な生産及び出荷を図るため、市内産の大豆・きな粉を市内の小学校や特別支援学校の給食食材として提供する際に生産者団体が行う配達等に要する費用を負担する。

1. 市内小学校等の給食に対する市内産農産物の提供 756千円
 - ・市内産大豆の集荷、仕分け及び配達費用 714千円
市内の小学校や特別支援学校において使用する市内産大豆（津久井在来大豆）の集荷、仕分け及び配達に係る費用を負担する。
 - ・市内産きな粉の配達費用 42千円
市内の小学校や特別支援学校において使用する市内産大豆（津久井在来大豆）を使用したきな粉の配達に係る費用を負担する。

農林水産業費

事業名	畜産振興対策事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 5 細目 02 説明 01	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	11,392					11,392
令和3年度	10,673					10,673
対前年度	719					719

【事業概要】

畜産経営における防疫体制の強化と衛生環境の向上、家畜の資質改良及び後継乳牛の確保のため、畜産農家が行う家畜の伝染病予防の検査や投薬、注射、病虫害防除資材の購入、肉質・乳質に優れた家畜の生産及び後継となる乳牛の生産に対して助成を行う。

1. 家畜防疫対策事業 7,988 千円
 家畜の伝染病予防のための検査や投薬、注射の実施及び病虫害防除資材の購入に要する経費に対して助成を行う。
 - ・ 監視伝染病予防注射等推進事業（補助率 1 / 4 以内） 6,000 千円
 監視伝染病の発生を予察するために行う検査、投薬、注射等に要する経費の一部を助成する。
 - ・ 家畜衛生対策事業（補助率 1 / 3 以内） 1,988 千円
 畜舎における病虫害や臭気の発生防止のために使用する薬剤の購入に要する経費の一部を助成する。

2. 家畜改良増殖事業 2,546 千円
 繁殖性に優れた家畜の導入や品質に優れた家畜の生産に要する経費に対して助成を行う。
 - ・ 乳牛資質改良事業（補助率 1 / 3 以内） 400 千円
 酪農経営において、より多くの乳量を出す雌乳牛を生産するために行う受精卵移植等に要する経費の一部を助成する。
 - ・ 肉豚資質改良事業（補助率 1 / 3 以内） 2,146 千円
 養豚経営において、繁殖性に優れた母豚の導入や肉質に優れた豚の生産に要する経費の一部を助成する。

3. 後継乳牛生産支援事業（補助率 1 / 3 以内） 800 千円
 酪農経営において、生産基盤となる乳用種の生産に要する経費の一部を助成する。

4. 畜産振興対策事業事務経費 58 千円

農林水産業費

事業名	畜産経営環境整備事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 5 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,920					2,920
令和3年度	13,469					13,469
対前年度	△ 10,549					△ 10,549

【事業概要】

畜産業の活性化や生産性の向上、周辺環境衛生等に配慮した畜産農場にするため、畜産経営に必要となる畜舎や設備機器、家畜排せつ物処理施設等の改修・更新を行う畜産農家に対して助成を行う。

1. 臭気調査費 486 千円
有機質資源再生センター運営事業の廃止に伴い整備した戸別処理施設等に対して、臭気のモニタリング調査を実施する。(年2回分)
2. 畜産緊急支援基金 1,879 千円
緊急の設備修復に対応するために、市と畜産会が2分の1ずつ出資して創設した基金について、前年度分の基金利用金額に応じて補填する。
3. 畜産経営環境整備事業(補助率1/2以内) 555 千円
畜産物の品質の向上及び畜産経営により生じる悪臭等を防止するため、畜舎の付帯設備等の更新に要する経費の一部を助成する。
 - ・スクレーパー更新 379 千円
 - ・飼料用パン乾燥機用熱交換機更新 176 千円

農林水産業費

事業名	農業用水路等改修事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 6 細目 01 説明 02			農業水産課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	16,054					16,054
令和3年度	10,548					10,548
対前年度	5,506					5,506

【事業概要】

水田等への安定した用水を確保し農業生産の維持を図るため、水利組合等が実施している老朽化の著しい取水堰等の補修及び用水路の改修に対し助成を行う。

1. 取水堰等の補修及び用水路等の改修に対する助成 16,054 千円
(単位:千円)

団体名	事業内容	対象事業費	補助金額	補助率
上高倉水利組合	農業用水路改修ほか	1,112	778	7/10以内
高倉水利組合	農業用水路改修	1,713	1,199	
藤沢市西俣野土地改良区	農業用水路改修	2,299	1,609	
長後堰水利組合	農業用水路改修	1,101	770	
石川堰水利組合	石川堰保守点検	330	231	
城稻荷水利組合	ポンプ分解整備	5,500	3,850	
用田堰水利組合	土砂吐ゲート改修	6,325	4,427	
目久尻川用排水組合	農業用水路改修	1,243	870	
打戻左岸用水組合	農業用水路改修	3,003	2,102	6/10以内
亀井野灌水施設組合	農業用施設改修	364	218	



用水路改修前



用水路改修後

農林水産業費

事業名	農業基盤整備事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 6 細目 02 説明 01	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	57,239		28,374	15,900		12,965
令和3年度	38,370		6,087	18,400		13,883
対前年度	18,869		22,287	△ 2,500		△ 918
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				28,374
	(地方債)	農業基盤整備事業債				15,900

【事業概要】

農作業の機械化を進め農業生産の向上を図るため、一般車両の通行によって損傷、通行困難となった農道や老朽化の著しい用水路の改修整備を行う。

1. 農道等整備 32,252 千円
西俣野地区の農道整備工事を実施する。

(単位:千円)

工事名	延長	金額
西俣野地区農道整備工事	L=110m	32,252

2. 委託（測量・調査） 3,072 千円
西俣野地区の農道整備を行うための測量等を実施する。

(単位:千円)

委託名	範囲	金額
地積測量委託	N=9筆	1,628
補償物件再算定委託	N=2棟	1,444

3. 用地取得 1,908 千円
西俣野地区の農道整備を行うための用地取得を実施する。

(単位:千円)

内容	面積	金額
農業用道路用地	A=220m ²	1,210
不動産鑑定料	N=9筆	698

4. 補償 13,578 千円
ビニールハウス等損失補償 2棟

- (括) 5. 委託（測量） 5,940 千円
老朽化が著しく機能低下している宮原地区の農業用水路について、用水を安定供給するためなどの改修工事に必要となる現況測量を行う。

(単位:千円)

委託名	延長	金額
農業用水路現況測量委託	L=830m	5,940

6. 農業基盤整備事業事務経費 489 千円
・ 神奈川県土地改良事業団体連合会負担金
・ 神奈川県土地改良事業団体連合会湘南支部負担金
・ 旅費、消耗品費、印刷製本費

農林水産業費

事業名	つくり育てる漁業推進事業費					
予算科目	款 7 項 2 目 2 細目 01 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	4,290					4,290
令和3年度	2,805					2,805
対前年度	1,485					1,485

【事業概要】

水産物の資源維持を図り、市内水産業の発展をめざすため、つくり育てる漁業を推進するとともに、漁業者、漁業協同組合と連携して、持続可能な水産業に向けた取組を行う。
また、市民を対象に市内水産業や自然環境への理解を深めるPRイベントを実施する。

- (新) 1. 食害生物駆除作業 372 千円
放流した魚介類が育つためなどに必要な藻場が、ウニなどの食害生物により著しく減少していることを受け、その駆除を行う。
2. 地引網漁業体験学習イベント業務委託 210 千円
市内在住の親子を対象に、地引網漁業体験イベントを行う。
3. 漁場体験イベント業務委託 258 千円
市内在住の親子を対象に、江の島沖でとれた魚の選別等の漁業体験イベントを行う。
4. 魚介類放流事業補助（補助率9／10以内） 2,843 千円
漁業協同組合が行う魚介類の放流事業に対する助成を行う。
・マダイ稚魚放流 13,000尾
・ヒラメ稚魚放流 13,000尾
・サザエ稚貝放流 13,900個
・ハマグリ稚貝放流 480kg
5. 水産多面的機能発揮対策事業補助金（補助率15／100） 420 千円
国・県・活動団体と協働して、江の島周辺の藻場の保全、海底清掃などの環境保全活動に対する助成を行う。
6. つくり育てる漁業推進事業事務経費 187 千円



魚介類放流事業

商工費

事業名	新産業創出事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 04 説明 01	産業労働課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	38,857					38,857
令和3年度	41,346					41,346
対前年度	△ 2,489					△ 2,489

【事業概要】

新しい産業や雇用機会を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官連携（市内の企業・起業家・大学等との連携）を進めるとともに、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援する。

1. 湘南新産業創出コンソーシアム事業 24,787 千円
 産学官で構成する「湘南新産業創出コンソーシアム」が中心となり、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援するための各種事業を展開する。
 - ・湘南ビジネスコンテスト事業
 - ・都市拠点型起業家育成施設運営事業（湘南藤沢インキュベーションセンターの運営）
 - ・創業機運醸成フォーラム事業
 - ・スタートアップ・ツーリズム事業（創業関連施設の見学等）
 - ・海外事業展開等支援事業
 - ・ロボット産業に対する参入支援事業（藤沢ロボット産業研究会）
 - ・コミュニティビジネス支援事業（セミナー・事例発表会等） など

2. 大学連携型起業家育成施設支援事業 9,070 千円
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の運営のため、インキュベーションマネージャー等を派遣し、入居者に対する総合的支援を行う。

3. 大学連携型起業家育成施設入居支援事業 2,864 千円
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の入居者に対し、賃料の一部を補助する。（補助単価は1,000円/㎡）

4. コミュニティビジネス支援事業（創業補助） 329 千円
 コミュニティビジネスの創業時に要する経費（賃借料及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の40%以内、女性や55歳以上の事業者の賃借料は45%以内）

5. ポストインキュベーション支援事業 750 千円
 市内公的インキュベーション施設を退去後、市内に新たに事業所等を開設する際に要する経費（敷金相当額及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の50%以内）

6. ロボット産業推進事業補助金 1,057 千円
 市内中小企業のロボット産業への参入及びロボットに関する研究開発の促進を図るため、ロボットの試作開発等に要する経費に対し補助する。

商工費

事業名	企業立地等促進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 06 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	4,252					4,252
令和3年度	1,825					1,825
対前年度	2,427					2,427

【事業概要】

市内産業の活性化と雇用機会の拡大を図り、本市の経済発展と市民生活の向上に寄与するため、本市の産業振興の上で重要と認められる地域において、企業立地のための優遇措置を講じることなどにより、企業誘致の促進と既存企業の再投資の誘発を図る。

1. 税制上の支援措置等の実施 126 千円
「藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例」に基づく事業計画の認定及び税制上の支援措置（固定資産税・都市計画税の軽減措置）の決定をする。
神奈川県企業誘致促進協議会のホームページや同協議会が作成するパンフレット及び各種展示会等を通じて、本市の優遇制度を効果的に周知する。
 - ・企業誘致パンフレット印刷製本費 85 千円
 - ・神奈川県企業誘致促進協議会負担金 41 千円

2. 企業立地促進融資利子補給金 4,126 千円
神奈川県企業立地促進に関する融資を利用し、市内進出や市内再投資を行った企業に対して、利子支払額に対する利子補給金を支給する。
 - ・補助対象企業数：2社

商工費

事業名	地域密着型商業まちづくり推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	17,415					17,415
令和3年度	13,800					13,800
対前年度	3,615					3,615

【事業概要】

多様化する消費者ニーズに対応した商業集積を進めるため、商店街団体が商店街の活性化を目的に行う特色づくり等への支援のほか、「ふじさわ元気バザール」事業及び「まちゼミ」事業の実施に対し支援する。

1. 商店街にぎわいまちづくり支援事業 9,695 千円
 商店街ににぎわいや直接の消費をもたらすため、商店街が実施する特色づくりの取組や販売促進イベントによるにぎわいづくり等の事業に対し事業費の一部を助成する。

2. ふじさわ元気バザール事業 6,720 千円
 地域経済の活性化に向け、にぎわいの創出、市内での経済循環などを図るため、市民が主役の地域活性化の取組である「ふじさわ元気バザール」事業に対し事業費の一部を助成する。

3. まちゼミ事業 1,000 千円
 商店街を中心とする地域商業の活性化に向け、地域住民とのコミュニケーションの場から、地域コミュニティの核となる商店街の構築と集客力向上を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会が実施する「まちゼミ」事業に対し事業費の一部を助成する。

商工費

事業名	商店街経営基盤支援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	28,850					28,850
令和3年度	23,879					23,879
対前年度	4,971					4,971

【事業概要】

地域コミュニティの核として市民生活を支える商店街を維持するため、商店街団体の共同施設の運営や維持管理、新設及び修繕など基盤整備事業等に対する助成を行い、商店街経営基盤の安定を図る。

1. 商店街駐車場運営事業補助金 10,596 千円
 消費者の利便性の向上と快適な買物空間の創出及び違法駐車の減少を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置した顧客用駐車場の運営費の一部を助成する。
 - ・提携駐車場に対する助成 10,092 千円
 遊行通り4丁目商店街振興組合 ほか13商店街 18カ所
 - ・借上駐車場に対する助成 504 千円
 片瀬竜の口商店街振興組合 1カ所

2. 商店街街路灯電灯料補助金 9,956 千円
 商店街の活性化及び安全・安心なまちづくりを推進するため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置及び管理する街路灯の電灯料に対し、補助対象電灯料を全額助成する。
 - ・本町白旗商店街振興組合 ほか33商店街 街路灯 2,732灯

3. 商店街共同施設設置事業補助金 8,298 千円
 商店街の環境を改善し、活性化を図るため、共同施設の設置又は改修、修繕を実施する商店街団体に対し、その設置費用又は改修、修繕費用の一部を助成する。
 - ・防犯カメラ新設等 7,898 千円
 湘南台商店連合会、六会商店会、湘南辻堂商店会
 - ・防犯カメラ修繕 400 千円

商工費

事業名	拠点駅等周辺商業活性化事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 03			産業労働課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	4,460					4,460
令和3年度	3,000					3,000
対前年度	1,460					1,460

【事業概要】

本市の主要な都市拠点として藤沢の顔・玄関口の性格を有する藤沢駅をはじめとする拠点駅周辺の商業振興を図るため、点在する歴史的資源等の地域資源を活用したまちづくりや拠点駅周辺商店街の回遊性を向上させる取組に対し支援する。

1. 遊行の盆事業補助金 3,500 千円
 藤沢の新しい創作踊り等を中心とした市民参加型イベントの15回記念として開催する「第15回藤沢宿・遊行の盆」事業に対し、その事業費の一部を助成する。



遊行ばやしコンテスト



遊行寺境内での盆踊り

2. 街なみ継承地区魅力向上店舗集積事業補助金 960 千円
 藤沢駅北口から遊行寺を中心とした街なみ継承地区（旧東海道藤沢宿周辺地区）において、藤沢宿のレトロでモダンなイメージを取り入れた飲食や商品販売の店舗を開業した事業者に対し、事業実施に係る経費の一部を助成する。



補助金活用事例：パンの蔵 風土

商工費

事業名	藤沢ものづくりブランド応援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 04 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,546					1,546
令和3年度	2,615					2,615
対前年度	△ 1,069					△ 1,069

【事業概要】
 市内中小企業の新製品、新技術等の販路拡大を図り、本市の「ものづくりのまち」としてのブランド価値を高めるため、藤沢商工会議所が実施する市内中小企業を対象とした展示会等への共同出展支援事業に対し、経費の一部を補助する。

1. 藤沢ものづくりブランド応援事業補助金 1,546 千円
 ・補助対象経費
 出展料 出展料の最大3分の2以内 968 千円
 装飾費用 共同出展にかかる展示装飾費用全額 500 千円
 事務経費 藤沢商工会議所の事務経費の2分の1 78 千円

商工費

事業名	店舗・事業所等リニューアル補助金					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 05 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	20,163					20,163
令和3年度	20,163					20,163
対前年度	0					0

【事業概要】
 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、低迷している市内経済の活性化を図るため、市内事業者を利用して、店舗・事業所のリニューアル工事を実施した市内中小企業者、住宅リニューアル工事を実施した市民に対し、その費用の一部を助成するもの。

1. 店舗・事業所リニューアル補助金 10,000 千円
 2. 住宅リニューアル補助金 10,000 千円
 3. 事務経費 163 千円

区分	対象者	助成対象工事額	対象要件	補助金額
店舗・事業所 リニューアル工事	法人・個人 (市内中小企業者)	20万円以上	市内施工事業者へ発注する者等	10万円
住宅リニューアル工事	個人 (市民)	10万円以上		5万円

商工費

事業名	中小企業融資制度関係事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 3 細目 01 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	764,165				671,000	93,165
令和3年度	976,853				879,000	97,853
対前年度	△ 212,688				△ 208,000	△ 4,688
特定財源の内訳	(その他)	雇用安定対策特別資金貸付金元金収入				5,000
		中小企業支援資金貸付金元金収入				420,000
		小規模企業緊急資金貸付金元金収入				81,000
		景気対策特別資金貸付金元金収入				120,000
		創業支援資金貸付金元金収入				45,000

【事業概要】

市内中小企業の振興と経営の安定を図るため、中小企業融資制度を円滑に運営する。

1. 預託先金融機関への貸付金 671,000 千円
 - ・雇用安定対策特別資金貸付金 5,000 千円
 - ・中小企業支援資金貸付金 420,000 千円
 - ・小規模企業緊急資金貸付金 81,000 千円
 - ・景気対策特別資金貸付金 120,000 千円
 - ・創業支援資金貸付金 45,000 千円

2. 融資制度利用者等への補助金 75,705 千円
 - ・中小企業融資制度利子補助金 43,473 千円
 - ・信用保証料補助金 31,954 千円
 - ・中小企業信用保険補助金 278 千円

3. パンフレット、融資申込書の作成 200 千円
 - ・藤沢市中小企業金融のしおり 5,000 部
 - ・中小企業融資申込書 1,000 部
 - ・創業支援資金「キュンとするスタートアップ」パンフレット兼要件確認書 3,000 部

4. 中小企業融資制度業務委託料 17,260 千円
 - ・藤沢市中小企業融資制度の相談受付、審査等の窓口業務
 - ・中小企業融資制度利子補助及び信用保証料補助の受付・審査業務
 - ・中小企業信用保険法に基づく認定事務 など

商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01			観光課		
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	50,096		10,277		37,607	2,212
令和3年度	31,548		5,315		16,660	9,573
対前年度	18,548		4,962		20,947	△ 7,361
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				10,277
	(その他)	江の島岩屋使用料				32,722
		片瀬東浜駐車場使用料				4,885

<拡充事業> 観光宣伝事業委託（旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業、観光プロモーション事業、外国人観光客誘致対策事業）

【施策等を必要とする背景】

本市では、新型コロナウイルスの影響によって疲弊した観光産業の再活性化をめざし、コロナ禍での取組の方向性を定める「藤沢市観光経済再活性化プラン」を策定し、取組を進めてきたが、今後の本市観光産業の再活性化に向けては、厳しい観光地間競争を勝ち抜ける戦略的な観光プロモーションを実施する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

令和3年度においては、コロナ禍に鑑み、国内のうち、特に県内の観光客にターゲットを絞りプロモーション等を展開してきたが、今後、フェーズの切替えや、アフターコロナの際の円滑な観光行政の推進のため、令和4年度において、適切な情報発信やプロモーションの展開とともに、令和5年度以降を見据えたマーケティング調査等を実施する必要がある。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

本市では、平成23年に藤沢市観光振興計画を策定し、令和4年度までの12年間の計画期間の中で、概ね3年間の周期で見直しを実施してきた。

しかしながら、本来の見直し時期である令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業が大きく変化してきたことから、見直しの時期を延期し、コロナ禍における本市の観光施策の方向性を示す「藤沢市観光経済再活性化プラン」を策定して取組を進めてきた。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

今後に向けたニューノーマルな観光プロモーションを実施することで、「選ばれ続ける観光地」の実現が期待される。

また、外国人観光客については、日本政府観光局（JNTO）の調査結果から令和5年度には回復が見込まれるとされていることから、観光先の調査・選択を行う令和4年度において、マーケティング調査及び分析を行うとともに、情報発信等によるウィズコロナのフェーズにおける効果的な観光プロモーションを実施することで、アフターコロナの厳しい観光地間競争を勝ち抜き、スタートダッシュに備えることが期待できる。

2. 将来にわたる費用

国内外の観光客に係るマーケティング調査・分析経費のほか、より効果的な誘客宣伝に要する経費が必要となる。

【事業概要】

新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受け疲弊した市内観光産業について、コロナ禍からの回復を支援するため、まずは国内観光客をターゲットとした動画製作などによるプロモーション事業を行うとともに、その後、徐々に回復が想定されるインバウンド事業に係るマーケティングや情報発信、オンラインアンケートを実施し、市内観光経済の再活性化を図る。

さらに、高い経済効果が見込まれる事業や歴史資源を活用したイベント等に対し、側面的支援を行うことで、観光振興を図る。

1. 観光宣伝事業委託	43,177 千円
・メディアによる観光宣伝事業	1,397 千円
・観光ホームページによる宣伝事業	2,079 千円
・松本市交流事業	220 千円
・北部観光振興事業	200 千円
(拡) ・旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業	9,961 千円
(拡) ・外国人観光客誘致対策事業	13,746 千円
・宝探し事業（エノシマトレジャー）	9,517 千円
・観光親善大使関連事業	601 千円
(新) ・観光プロモーション事業	5,456 千円
街頭ビジョンやYouTube等を活用した動画広告宣伝	
2. 海と山との市民交歓会開催委託	1,091 千円
姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施	
(拡) 3. 観光客動態調査事業負担金	4,182 千円
auスマートフォン使用者のGPS情報及びSuica利用による動態調査等	
4. 地域観光振興事業補助金	500 千円
8月に開催される遊行寺薪能事業への助成	
5. 新春藤沢・江の島歴史散歩事業補助金	530 千円
1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成	
6. 全日本ライフセービング選手権大会補助金	300 千円
10月に片瀬海岸西浜で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成	
7. 誘客宣伝事業事務経費	316 千円



旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業



宝探し事業（エノシマトレジャー）

商工費

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 04			観光課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	18,451					18,451
令和3年度	27,573					27,573
対前年度	△ 9,122					△ 9,122

【事業概要】
 湘南藤沢フィルム・コミッション事務局である（公社）藤沢市観光協会を通じ、本市を舞台とする国内外の映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影や映像作品の誘致及び市内全域における撮影環境の調整を行い、メディアを通じて観光地藤沢としての情報を発信するほか、撮影隊の本市への訪問による直接的・間接的な経済効果を波及させる。

1. 湘南藤沢フィルム・コミッションの事業負担金 18,451 千円

- ・ロケハン（ロケ地探し）への協力（ロケ地情報の提供・写真提供など）
- ・撮影許可申請の案内
- ・ロケの立ち会い
- ・食事や宿泊施設の紹介及び調整
- ・市民エキストラ、支援施設の募集及び手配
- ・市民向けフォーラムの開催
- ・制作宣伝部とのPR企画・実施協力
- ・ロケ地マップ作成

商工費

事業名	海水浴場対策費					
予算科目	款 8 項 2 目 3 細目 01 説明 01			観光課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	39,292		557			38,735
令和3年度	37,818		0			37,818
対前年度	1,474		557			917
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				557

【事業概要】
 海水浴場の安全性及び快適性を守り発展させるため、各海水浴場組合へ救護警備費用の一部を助成するとともに、藤沢市夏期海岸対策協議会の行う危険防止施設設置等の事業に対し費用を助成することにより、海水浴場開設期間中、安全で快適な海水浴場を維持し、海水浴客の利便性を図る。

1. 藤沢市夏期海岸対策協議会補助金 27,479 千円

- ・「藤沢市海水浴場ルール」に基づくマナーアップ事業 2,186 千円
- ・ライフセーバー危険区域監視事業 6,336 千円
- ・監視船パトロール事業 2,526 千円
- ・海水浴場防護柵(サーファーフェンス)設置撤去管理事業 7,585 千円
- ・仮設トイレ設置及び撤去・清掃等事業 6,043 千円
- ・救護機材購入費・施設等修繕費ほか 2,803 千円

2. 海水浴場救護警備補助金 11,813 千円

商工費

事業名	観光施設整備費					
予算科目	款 8 項 2 目 4 細目 01 説明 02			観光課		
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	114,090		13,666	72,200	18,670	9,554
令和3年度	86,420		0	66,500	12,800	7,120
対前年度	27,670		13,666	5,700	5,870	2,434
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				13,666
	(地方債)	観光施設整備債				72,200
	(その他)	江の島岩屋使用料				10,170
		江の島サムエル・コッキング苑リニューアル整備事業寄付金				8,500

【事業概要】

ポストコロナを見据え、将来にわたり選ばれ続ける魅力ある観光地として、本市の観光施設の核となっている江の島サムエル・コッキング苑のリニューアル整備を行う。事業実施にあたっては、コスト縮減及び工期短縮の観点から、同施設の指定管理者である江ノ島電鉄（株）と協定を締結し、同社が一体的な工事を行い、市が応分の費用を負担する。

1. 江の島サムエル・コッキング苑リニューアル整備事業（第二工区） 114,090 千円
 来場者の少ない昼間にも楽しめるコンテンツを提供し、観光客の分散化及び消費型観光を促進する観光施設をめざしリニューアル整備を行う。
 第二工区として、植物に関連したワークショップ等が体験できる建物の新設や、松本館の改修に要する費用を負担するもの。
 なお、事業実施にあたっては、クラウドファンディングを活用し財源の一部に充てる。

設計・整備予定期間 令和4年4月～令和4年9月

江の島サムエル・コッキング苑 第二工区エリア



整備イメージ

土木費

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03			建築指導課		
指針体系コード	1-1-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	54,101	20,884	12,067			21,150
令和3年度	30,556	14,963	6,738			8,855
対前年度	23,545	5,921	5,329			12,295
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				8,059
		地域防災拠点建築物整備緊急促進事業費補助金				12,825
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				4,217
		沿道建築物耐震化支援事業費補助金				7,850

【事業概要】

災害対策を充実するため、市内の建築物の耐震性能の把握と向上を図るとともに、藤沢市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、住宅耐震化に向け個別通知等による普及啓発に取り組む。

昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組構法2階建て以下の木造住宅（以下「対象住宅」という。）の所有者、非木造の分譲マンションの管理組合及び耐震診断が義務化された緊急輸送道路沿道建築物の所有者を対象に、既存建築物の耐震化の促進を図る。

1. 木造住宅耐震診断補助 1,860 千円
 対象住宅の所有者を対象に、耐震診断に要する費用の1/2を補助する。
 ・一般診断（補助上限 60,000円） 31件

2. 木造住宅耐震改修工事補助 15,060 千円
 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅の耐震改修工事を行う所有者を対象に、耐震改修工事に要する費用の1/2を補助する。さらに、木造住宅耐震診断補助を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、診断における自己負担分の追加補助を行う。
 ・耐震改修工事（補助上限 900,000円） 16件
 ・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円） 11件

3. 木造住宅耐震シェルター・ベッド等設置補助 200 千円
 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅に耐震シェルター・ベッドの設置を行う所有者を対象に、設置に要する費用の1/2を補助する。
 ・耐震シェルター・ベッド設置（補助上限 200,000円） 1件

4. 分譲マンション耐震診断補助 1,650 千円
 昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1/2を補助する。
 ・予備診断（補助上限 150,000円） 1件
 ・本診断（補助上限 1,500,000円） 1件

5. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修等補助 34,750 千円
 耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された緊急輸送道路沿道の、旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）の所有者を対象に、耐震改修設計、耐震改修工事及び除却に要する費用の一部を補助する。
 ・耐震改修設計（補助率 5/6、補助上限 1,750,000円） 1件
 ・耐震改修工事（補助率 11/15、補助上限 22,000,000円） 1件
 ・除却（補助率 11/15、補助上限 11,000,000円） 1件

- | | |
|---------------------------------------------------------------------|--------|
| 6. 耐震アドバイザー講師謝礼 | 80 千円 |
| 分譲マンションの耐震化促進に向けた合意形成を図るため、管理組合等に対し専門家の立場からサポートするアドバイザー（建築士等）を派遣する。 | |
| ・講師謝礼（20,000円／回） | 4回 |
| 7. 建築物等防災対策事務経費 | 501 千円 |

土木費

事業名	道路改修舗装費					
予算科目	款 9 項 2 目 2 細目 03 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	977,631	112,600		459,300		405,731
令和3年度	700,053	52,857		214,600		432,596
対前年度	277,578	59,743		244,700		△ 26,865
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				112,600
	(地方債)	道路整備事業債				459,300

【事業概要】

車両の円滑な通行と市民生活の安全を確保するため、藤沢市道路舗装修繕計画等に基づき、舗装の老朽化が著しい道路について舗装打換等を行う。

1. 施設修繕費 248,045 千円
老朽化が著しい生活道路等の小規模修繕を行う。

2. 委託料 9,000 千円
舗装打換予定路線における既設舗装各層の健全度を把握する調査を行うとともに、工事に伴う境界復元測量委託、現況測量委託及び地質調査委託を行う。
 - ・ FWD 調査委託 9 路線 延長 L = 4,500 m
 - ・ 道路境界復元測量委託
 - ・ 道路現況測量委託及び地質調査委託

3. 工事請負費 720,010 千円
1・2級道路及び主要な生活道路等については藤沢市道路舗装修繕計画に基づく舗装打換、その他の生活道路については市民要望が強く修繕対応では困難な場所の舗装打換を行う。
 - ・ 国庫補助対象事業 9 路線
延長 L = 1,970 m 面積 A = 17,005 m²
 - ・ 国庫補助対象以外の事業 27 路線
延長 L = 3,505 m 面積 A = 20,575 m²

4. 道路改修舗装事務経費 576 千円
・ 旅費、消耗品費、印刷製本費



石川下土柵線（ひび割れ）



辻堂 396 号線（ひび割れ）

（この事業は令和3年度6月補正で増額した事業）
（3の事業の一部は令和3年度12月補正で債務負担行為を設定）

土木費

事業名	道路施設改修事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 2 細目 04 説明 01			道路維持課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	272,789	10,940		153,300		108,549
令和3年度	210,990	30,640		124,800		55,550
対前年度	61,799	△ 19,700		28,500		52,999
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				5,650
		道路メンテナンス事業費補助金				5,290
	(地方債)	道路整備事業債				153,300

【事業概要】

老朽化が進む道路施設について、利用者の安全を確保するため、専門業者による定期的な調査の実施とともに、点検結果に基づき道路施設の改修工事等を行う。

1. 委託料

(1) 道路施設の安全確保のため、調査を実施 13,300 千円

- ・路面下空洞調査委託

(2) E S C O事業によるLED化を実施【債務負担行為の設定】 (1,020,100 千円)

- ・道路照明灯LED化E S C O事業
- 期間：令和4年度～令和15年度

2. 工事請負費 241,799 千円

道路施設の安全確保のため、調査、点検結果等に基づき、改修・更新工事等を実施

- ・大庭トンネル非常用施設改修工事
- ・市内道路照明灯更新工事
- ・藤沢駅南口デッキ軒天材改修工事
- ・藤沢駅北口地下道アスベスト撤去工事
- ・湘南台駅地下公共施設照明灯更新工事

3. 施設修繕費 16,460 千円

道路施設の調査、点検結果等に基づき、小規模修繕を実施

4. 道路施設改修事務経費 1,230 千円

- ・旅費、印刷製本費、手数料、使用料

土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	1-2-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
指針体系コード	4-1-91	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	604,994	96,720		425,700		82,574
令和3年度	134,345	17,410		82,400		34,535
対前年度	470,649	79,310		343,300		48,039
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				72,850
		都市構造再編集集中支援事業費補助金				23,870
	(地方債)	道路整備事業債				425,700

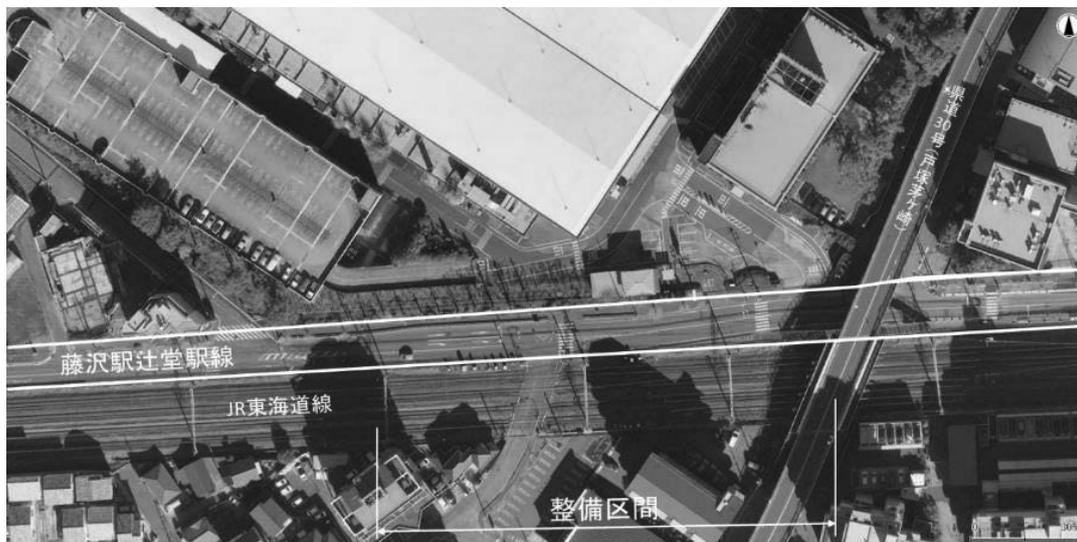
【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、自転車走行空間の整備を行う。

1. 道路の新設改良事業 468,402 千円
 - ・ 藤沢駅辻堂駅線（支障物調査、工事、補償）
 - ・ 藤沢652号線（設計・測量委託、工事、用地取得（買戻）、補償）
 - ・ 六会554号線（工事、用地取得（直買）、補償）
 - ・ 宮原百石線（建物調査、埋蔵文化財調査、用地取得（直買）、補償）
 - ・ 辻堂429号線〔羽鳥立体〕（測量委託）
 - ・ 白旗川No. 3仮設道路橋（設計・地質調査・測量委託）

2. 自転車走行空間整備事業 116,864 千円
 - ・ 藤沢村岡線（工事）
 - ・ 藤沢駅鵜沼海岸線（工事）
 - ・ 藤沢駅周辺（工事）
 - ・ 鵜沼29・31号線（工事）

3. 市道新設改良事務経費 19,728 千円
 - ・ 旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金



藤沢駅辻堂駅線

（この事業は令和3年度6月補正で増額した事業）

土木費

事業名	道路安全対策費					
予算科目	款 9 項 2 目 4 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-2-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	118,360			41,000	14,418	62,942
令和3年度	84,696			17,600	1,530	65,566
対前年度	33,664			23,400	12,888	△ 2,624
特定財源の内訳	(地方債)	道路整備事業債				41,000
	(その他)	交通安全対策基金繰入金				14,418

【事業概要】

交通事故の防止及び安全な道路環境を提供するなどの安全対策を図るため、老朽化したものや破損した安全施設の補修等を行うとともに、信号機のない横断歩道に歩行者横断点減器をモデル事業として設置する。

また、安全施設の必要な交差点に対する車止め設置や、保育所等周辺にキッズ・ゾーン路面標示を設置するなどの安全対策を進める。

1. 委託料 12,392 千円
 - ・道路反射鏡清掃及び管理業務委託

2. 工事請負費 92,988 千円
 - ・道路交通安全施設設置工事 道路反射鏡等の新設・建替 計35基
 - ・道路区画線標示補修等工事 道路区画線の標示 約31,500m
(キッズ・ゾーン路面標示を含む)
 - ・車止め設置工事 車止め設置(鵜沼地区他2地区)
 - ・交差点横断施設設置工事 歩行者横断点減器 1カ所

3. 施設修繕費 12,480 千円

道路反射鏡など道路安全施設の小規模修繕を行う。

4. 役務費 500 千円

道路反射鏡などに支障となる樹木の剪定等を行う。



車止め施工例



道路区画線標示施工例

(2の事業の一部は令和3年度12月補正で債務負担行為を設定)

土木費

事業名	橋りょう改修費					
予算科目	款 9 項 2 目 5 細目 01 説明 02			道路維持課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	617,713	248,490		318,100		51,123
令和3年度	319,183	67,705		207,700		43,778
対前年度	298,530	180,785		110,400		7,345
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				86,020
		道路メンテナンス事業費補助金				162,470
	(地方債)	橋りょう整備事業債				318,100

【事業概要】

市内橋りょうの経年劣化に対応するため、第二期計画に基づき高欄交換、伸縮装置交換、塗装塗替を行うとともに、第三期橋りょう長寿命化修繕計画を策定する。また、跨線橋の定期点検の実施、地震発生時の避難路確保を図るため、弁天橋の耐震化を進める。

1. 報償費 300 千円
 - ・橋りょう長寿命化修繕計画策定学識者謝礼
2. 委託料 39,622 千円
 - ・橋りょう長寿命化修繕計画策定委託
 - ・長寿命化修繕計画に基づく J R 跨線橋定期点検委託
3. 工事請負費 371,311 千円
 - ・弁天橋改修工事（その1）【継続費】
 - ・橋りょう長寿命化修繕計画に基づく塗装塗替、高欄交換等補修工事（大庭大橋、船玉橋、不動橋、村岡歩道橋、高飯橋、東山田橋等）
4. 負担金補助及び交付金 206,480 千円
 - ・長寿命化修繕計画に基づく新藤沢跨線橋跨線部塗装負担金
 - ・長寿命化修繕計画に基づく J R 跨線橋定期点検負担金

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
弁天橋改修工事（その1）	180,514	69,340	249,854



新藤沢跨線橋（J R 東海道線） 跨線部エリア
【塗装塗替工事】



大庭大橋（引地川）
【高欄交換工事・鋼桁交換工事】

(この事業は令和3年度6月補正で増額した事業)
(3の事業の一部は令和3年度12月補正で債務負担行為を設定)

土木費

事業名	橋りょう架替事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 6 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	33,118			0		33,118
令和3年度	16,076			9,700		6,376
対前年度	17,042			△ 9,700		26,742

【事業概要】

河川改修事業に併せて神奈川県が実施する、引地川の六会橋架替及び蓼川の蓼中人道橋下部工撤去における事業費の費用負担を行う。

1. 負担金補助及び交付金 33,118 千円
- ・ 蓼中人道橋下部工撤去負担金
 - ・ 六会橋架替事業負担金（仮設工事費等）

※六会橋架替及び蓼中人道橋下部工撤去は、神奈川県が施工を行う事業であり、道路管理者分の負担金を支払うもの



六会橋（引地川）【左岸側より】



六会橋（引地川）【上流側より】

（この事業は令和3年度6月補正で増額した事業）

土木費

事業名	自転車対策費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 01			道路河川総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	168,030				119,018	49,012
令和3年度	155,907				116,447	39,460
対前年度	12,123				2,571	9,552
特定財源の内訳	(その他)	放置自転車等移動・保管手数料				5,754
		自転車等駐車場指定管理者納付金収入				112,059
		撤去自転車売却収入				1,205

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保を図るため、放置自転車等の移動・保管を行うとともに、市営自転車等駐車場・保管所の維持管理を行う。

1. 委託料 100,996 千円
 - ・駅前及び自転車等駐車場整理業務委託
(街頭指導、放置自転車等の移動・保管、市営自転車等駐車場の滞留自転車等の移動)
 - ・移動自転車等保管所消防用設備保守点検業務委託 (保管所の消防設備法定点検)

2. 使用料及び賃借料 61,421 千円
 - (1) 土地・建物賃借料 33,899 千円
 - ・土地賃借料 (藤沢駅北口第2自転車等駐車場ほか6カ所)
 - ・管理棟賃借料 (江ノ島駅自転車等駐車場管理棟)

 - (2) 賃借料 (土地・建物以外) 27,522 千円
 - ・管理設備賃借料 (藤沢駅南口路上自転車駐車場ほか10カ所)

3. 自転車対策事務経費 5,613 千円
 - ・旅費、需用費、役務費、負担金

土木費

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02			道路河川総務課		
指針体系コード	1-2-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	78,993			32,100		46,893
令和3年度	14,998			0		14,998
対前年度	63,995			32,100		31,895
特定財源の内訳	(地方債)	自転車駐車場整備事業債				32,100

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保や自転車等の利用者の利便性の向上を図るため、自転車等駐車場の整備及び一部の駐車場のゲートについて機械化（非接触型）を進める。

- 1. 委託料 8,316 千円
 - ・ 自転車等駐車場測量費

- 2. 使用料及び賃借料 15,742 千円
 - (1) 土地・建物賃借料 2,869 千円
 - ・ (仮称) 藤沢本町駅自転車駐車場管理棟賃借料
 - ・ (仮称) 藤沢本町駅第2自転車駐車場土地賃借料

 - (2) 賃借料（土地・建物以外） 12,873 千円
 - ・ (仮称) 藤沢本町駅自転車駐車場管理設備賃借料
 - ・ (仮称) 藤沢本町駅第2自転車駐車場管理設備賃借料
 - ・ 鵜沼海岸駅自転車等駐車場の機械化に伴う管理設備賃借料
 - ・ 辻堂駅南口自転車駐車場の機械化に伴う管理設備賃借料
 - ・ 長後駅東口自転車等駐車場の機械化に伴う管理設備賃借料

- 3. 工事請負費 42,823 千円
 - ・ (仮称) 藤沢本町駅第2自転車駐車場整備工事
 - ・ 藤沢本町駅周辺自転車等放置禁止区域標識設置工事
 - ・ 片瀬江ノ島駅第2自転車駐車場原状復旧工事

- 4. 自転車駐車場整備事務経費 12,112 千円
 - ・ 旅費、需用費、役務費、負担金



藤沢本町駅周辺案内図

(この事業は令和3年度6月及び9月補正で増額した事業)
 (この事業の一部は令和3年度12月補正で債務負担行為を設定)

土木費

事業名	河川水路修繕費					
予算科目	款 9 項 3 目 1 細目 02 説明 02			河川水路課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	100,522			34,900		65,622
令和3年度	36,029			0		36,029
対前年度	64,493			34,900		29,593
特定財源の内訳	(地方債)	河川改修事業債				34,900

【事業概要】

老朽化が顕著になった準用河川及び普通河川の河川管理施設等の適切な維持管理のため、長寿命化計画を策定した小糸川について、地質調査及び護岸詳細設計を行うとともに、白旗川他3河川について、河川管理施設の点検結果を基に長寿命化計画の策定を行う。

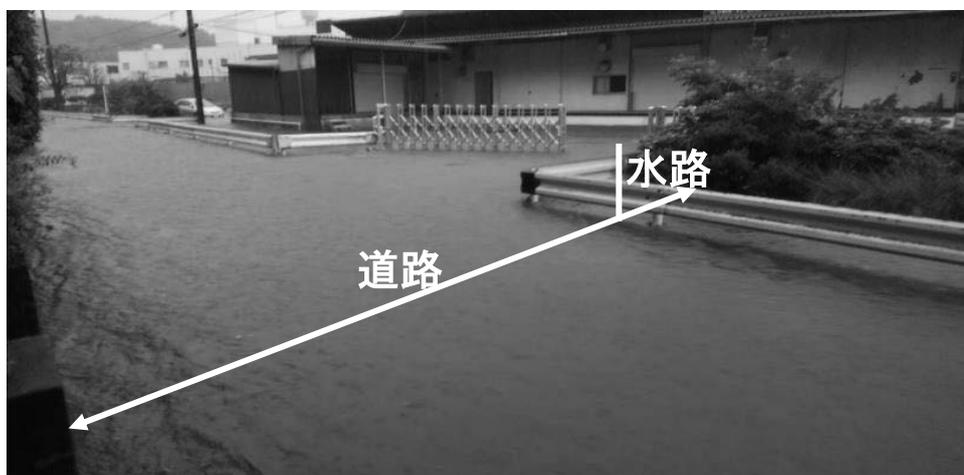
用田1号水路について、近年、激甚化、頻発化している大雨により用田1号水路が度々溢水し、近隣の宅地に浸水被害や道路冠水を引き起こしていることから、治水対策として現況測量を行い、その成果を基に流出解析を行う。

また、小田急江ノ島線の湘南台、六会日大前駅区間を横断している六会5号水路は、経年劣化によりヒューム管が座屈し、水路の切り回しが必要なため、小田急電鉄株式会社と受委託協定を締結し、機能の改善を行う。

1. 委託料 74,672 千円
 - ・河川長寿命化計画策定委託
(白旗川、一色川、打戻川、不動川)
 - ・小糸川護岸詳細設計委託 延長L = 430m
 - ・小糸川地質調査委託
 - ・用田1号水路現況測量委託(その1) 延長L = 713m
 - ・用田1号水路現況測量委託(その2) 延長L = 714m
 - ・用田1号水路現況測量委託(その3) 延長L = 556m
 - ・用田1号水路流出解析委託

2. 負担金補助及び交付金 15,670 千円
 - ・小田急線横断管本復旧委託に伴う負担金

3. 河川水路修繕費事務経費 10,180 千円
 - ・報償費、需用費



用田1号水路（大雨時の状況）

（1の事業の一部は令和3年度12月補正で債務負担行為を設定）

土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			河川水路課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	111,607	10,000		88,700		12,907
令和3年度	128,290	10,000		104,400		13,890
対前年度	△ 16,683	0		△ 15,700		△ 983
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				10,000
	(地方債)	河川改修事業債				88,700

【事業概要】

一色川流域の浸水被害を軽減するため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、護岸改修工事等を行う。

1. 委託料 10,043 千円
 - ・ 稲荷山橋架替工事に伴う建物事後調査委託
 - ・ 一色川護岸改修工事に伴う建物事前調査委託

2. 工事請負費 99,235 千円
 - ・ 一色川護岸改修工事 延長 L = 64 m 【継続費】
 - ・ 一色川護岸改修工事その2 延長 L = 80 m 【継続費】

<継続費年割額>

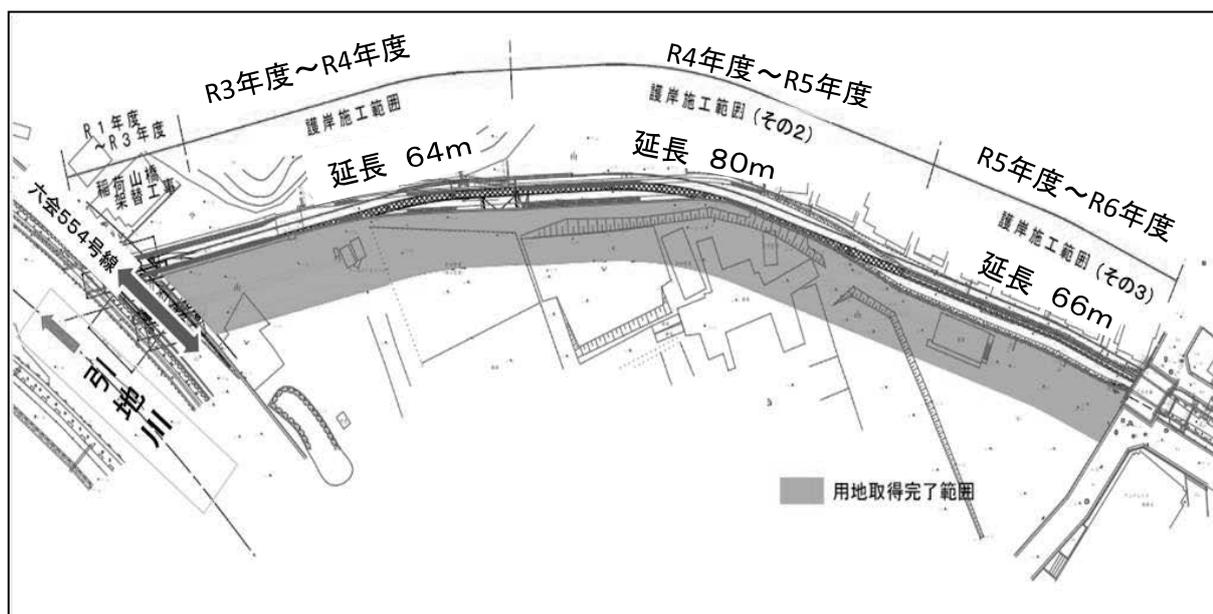
(単位：千円)

	3年度	4年度	合計
一色川護岸改修工事	46,000	49,235	95,235

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
一色川護岸改修工事(その2)	50,000	61,100	111,100

3. 一色川改修事務経費 2,329 千円
 - ・ 旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料



一色川護岸改修工事平面図

土木費

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01			都市計画課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	44,686	2,700				41,986
令和3年度	37,958	4,900				33,058
対前年度	6,728	△ 2,200				8,928
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				2,700

【事業概要】

都市基盤や公共交通の充実に向けた総合交通体系整備を推進するとともに、誰もが利用しやすく、地域に根差した公共交通網の整備を進める。

令和4年度は、東京都市圏パーソントリップ調査の解析結果を基に、社会情勢の変化やコロナ禍における行動変容による新たな交通の考え方を加味した藤沢市交通マスタープラン、藤沢市交通アクションプラン及びふじさわサイクルプラン（藤沢市自転車活用推進計画）の令和5年度改定に向けた検討等を実施する。

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| 1. 委託料 | 38,245 千円 |
| ・ 総合交通体系に係る計画改定作業業務委託 | 20,163 千円 |
| ・ 公共交通利用転換事業に関する二酸化炭素削減効果測定業務委託 | 6,820 千円 |
| ・ 長後地区地域公共交通実証運行に関する業務委託 | 4,046 千円 |
| ・ いずみ野線延伸関連検討業務委託 | 7,216 千円 |
| 2. 負担金補助及び交付金 | 3,398 千円 |
| ・ 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費 | 180 千円 |
| ・ 地域提案型交通システム導入支援補助（善行地区・六会地区） | 3,206 千円 |
| ・ 総合都市交通計画研修負担金 | 12 千円 |
| 3. 総合交通体系推進業務事務経費 | 3,043 千円 |

土木費

事業名	景観資源推進費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 05 説明 02			街なみ景観課		
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	259,236			230,700		28,536
令和3年度	10,120			0		10,120
対前年度	249,116			230,700		18,416
特定財源の内訳	(地方債)	歴史的建造物維持活用事業債				230,700

【事業概要】

旧東海道藤沢宿街なみ継承地区の歴史・文化の継承及び地域の活力やにぎわいの創出を図るため、旧桔梗屋を保全し、魅力ある活用を図る。

また、歴史や文化を大切にしたい良質な街なみの形成を推進するため、地区内における歴史的建築物の保全や街なみの修景に関する経費の一部を補助する。

さらに、地域の景観資源を市民共有の財産として継承していくため、都市景観に関する意識啓発を行う。

1. 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区歴史的建築物維持活用事業の実施 258,018 千円
 旧桔梗屋を保全・活用するため、歴史的建築物及び庭園部等の維持管理、敷地内の地質調査、歴史的建築物の耐震診断・補強設計を行うとともに、藤沢市土地開発公社が先行取得した事業用地の買戻しを行う。
 - ・歴史的建築物及び庭園部等の維持管理 6,127 千円
 - ・敷地内の地質調査業務委託 7,931 千円
 - ・歴史的建築物の耐震診断・補強設計業務委託等 10,835 千円
 - ・事業用地買戻し 233,125 千円
2. 旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助 410 千円
 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区街なみ継承ガイドラインに基づく、歴史的建築物の外観の保全工事に係る経費の1/2以内の額を補助する。
3. 都市景観の意識啓発に係る事務経費 808 千円



旧桔梗屋

土木費

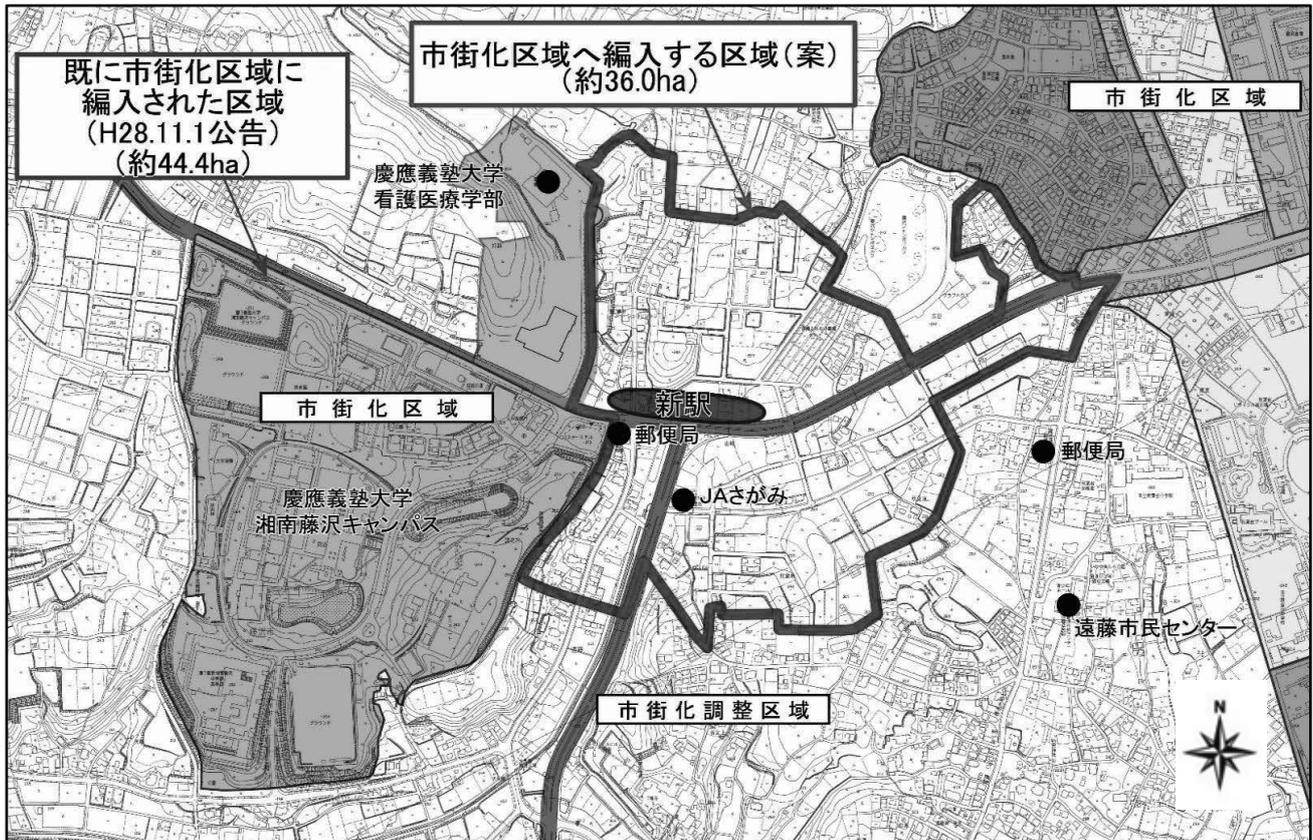
事業名	健康と文化の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01			西北部総合整備事務所		
指針体系コード	4-1-81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	77,022	7,000				70,022
令和3年度	83,301	6,900				76,401
対前年度	△ 6,279	100				△ 6,379
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				7,000

【事業概要】

本市の都市拠点の一つに位置づけられている健康と文化の森地区では、いずみ野線延伸の計画において新駅の設置が想定されており、現在、鉄道延伸の計画を見据えながら、地権者組織である「藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会」や事業化検討パートナーなどの関係者とともに、市街化区域への編入及び土地区画整理事業の実施に向けた取組を進めている。引き続き、本市の新たな活力創造の場となる都市拠点の形成をめざし、まちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づき地区内の浸水対策を行う。

- 健康と文化の森地区まちづくり 74,426 千円
 - 健康と文化の森地区まちづくり事業推進委託
- 健康と文化の森地区浸水対策 2,596 千円
 - 仮設調整池維持管理費



市街化区域へ編入する区域（土地区画整理事業実施区域）案

土木費

事業名	新産業の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 02	西北部総合整備事務所				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,338					8,338
令和3年度	6,820					6,820
対前年度	1,518					1,518

【事業概要】

新たな産業拠点の創出により、地域経済の活性化及び雇用の創出を図るため、既に市街化区域に編入している新産業の森北部地区に引き続き、隣接する第二地区においても、地域経済の動向を注視するとともに、企業ニーズを取り入れながら、広域交通機能の利便性を活かしたまちづくりをめざし、事業の促進を図る。

1. 新産業の森第二地区のまちづくり 8,338 千円
 - ・新産業の森第二地区まちづくり支援業務委託



新産業の森第二地区位置図

土木費

事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01			藤沢駅周辺地区整備担当		
指針体系コード	4-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	312,531	70,000	0	84,700	0	157,831
令和3年度	673,978	0	12,903	538,200	20,000	102,875
対前年度	△ 361,447	70,000	△ 12,903	△ 453,500	△ 20,000	54,956
特定財源の内訳	(国庫支出金)	都市構造再編集中央支援事業費補助金				70,000
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				84,700

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化に向け、藤沢駅南北自由通路の拡幅に係る小田急側の詳細設計を令和3年度からの継続事業として実施するとともに、JR東日本の小田急側自由通路接続部の詳細設計を行う。併せて、小田急側詳細設計の妥当性を確認するための設計検証業務を実施する。

また、藤沢駅南口駅前広場の再整備に向けた検討業務、藤沢駅周辺の交通量調査等業務を実施する。さらに、藤沢駅東西地下通路のリニューアルに合わせ、指定管理区域に北口地下広場を追加する等、各プロジェクトの推進を図る。

1. 委託料 74,151 千円
 - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備に関する詳細設計検証業務委託（小田急側）
 - ・ 藤沢駅南口駅前広場再整備検討業務委託
 - ・ 藤沢駅周辺交通量調査等業務委託
 - ・ 藤沢駅前広場指定管理料
2. 負担金補助及び交付金 234,604 千円
 - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備詳細設計に伴う負担金（小田急電鉄） **【継続費】**
 - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備詳細設計に伴う負担金（JR東日本） 等
3. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費 3,776 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	3年度	4年度	合計
藤沢駅自由通路拡幅整備詳細設計に伴う負担金（小田急電鉄）	17,280	218,070	235,350



自由通路拡幅イメージ（小田急線改札付近から南口を望む）

土木費

事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02	都市整備課長後地区整備事務所				
指針体系コード	4-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	40,356	1,000		33,000		6,356
令和3年度	27,785	2,180		16,100		9,505
対前年度	12,571	△ 1,180		16,900		△ 3,149
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,000
	(地方債)	道路整備事業債				33,000

【事業概要】

長後駅周辺の交通混雑緩和を図るため、高倉下長後線の都市計画変更に向けた関係機関との協議・調整及び事業化に向けた取組を進める。

また、歩行者等の安全性向上を図るため、長後725号線の道路北側の歩道整備に向けて、藤沢市土地開発公社が先行取得した用地の買戻しを行うとともに、歩道の整備工事等を行う。

1. 長後725号線歩道整備事業 40,181 千円
 - ・委託料（移転補償費算定） 25,234 千円
 - ・工事請負費 4,290 千円
 - ・公有財産購入費（事業用地買戻し） 7,889 千円
 - ・負担金補助及び交付金（電柱移設） 2,768 千円

2. 長後地区整備事業事務経費（旅費・消耗品費・印刷製本費） 175 千円



事業位置図

土木費

事業名	村岡地区都市拠点総合整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 2 細目 02 説明 01	都市整備課				
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	90,163	36,500			11,635	42,028
令和3年度	1,063	0			0	1,063
対前年度	89,100	36,500			11,635	40,965
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				23,500
		都市構造再編集集中支援事業費補助金				13,000
	(その他)	村岡新駅周辺整備事業費他団体負担金				11,635

【事業概要】

村岡新駅周辺に新たな都市拠点を創出するとともに、「かながわ都市マスタープラン」に位置付けられた村岡・深沢地区における都市圏域の自立を支える新たな地域の拠点整備に神奈川県、鎌倉市と広域連携を図りながら取り組む。

1. 委託料 62,150 千円
 村岡新駅周辺の新たな都市拠点の創出に向け、まちづくりガイドラインの検討や、PPPによる土地開発公社用地の活用方法の具体化検討、新駅設置を契機とする交通課題の解決に向けた状況分析及び村岡新駅南口通り線の事業化に必要な調査等を行う。
 - ・村岡新駅周辺の交通状況分析等調査業務委託 11,176 千円
 - ・村岡新駅南口通り線用地測量委託 8,272 千円
 - ・村岡新駅南口通り線家屋調査業務委託 5,005 千円
 - ・村岡新駅南口通り線事業手法検討委託 7,777 千円
 - ・村岡新駅周辺地区まちづくりガイドライン等検討業務委託 11,990 千円
 - ・村岡新駅周辺PPP事業アドバイザー業務委託 17,930 千円
2. 負担金【継続費】 27,200 千円
 村岡新駅（仮称）詳細設計を神奈川県、鎌倉市、東日本旅客鉄道株式会社及び本市の4者の負担で行う。詳細設計は2カ年にわたって実施する。
 - ・村岡新駅（仮称）詳細設計負担金
3. 村岡地区都市拠点総合整備事業事務経費 813 千円
4. 自由通路詳細設計負担金【債務負担行為の設定】 (55,000 千円)
5. 村岡新駅（仮称）詳細設計等監理業務委託【債務負担行為の設定】 (34,800 千円)

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
村岡新駅（仮称）詳細設計負担金	27,200	425,850	453,050

土木費

事業名	善行長後線街路新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 02 説明 03			道路整備課		
指針体系コード	4-1-101	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	158,450	14,300		93,900		50,250
令和3年度	93,690	1,000		80,900		11,790
対前年度	64,760	13,300		13,000		38,460
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				14,300
	(地方債)	都市計画街路事業債				93,900

【事業概要】

都市計画道路善行長後線六会工区の未整備区間（約140m）について、街路築造工事を行う。また、交差点部における張出歩道等の検討及び測量委託、電柱移設を行う。

- 1. 委託料 15,150 千円
 - ・張出歩道及びスロープ部詳細設計委託
 - ・取付道路部測量委託

- 2. 工事請負費 133,000 千円
 - ・街路築造工事 幅員W=16.0m、延長L=140m

- 3. 善行長後線街路新設事業事務経費 10,300 千円
 - ・需用費、補償補填及び賠償金



進捗状況写真（六会側から湘南台方面を望む）

土木費

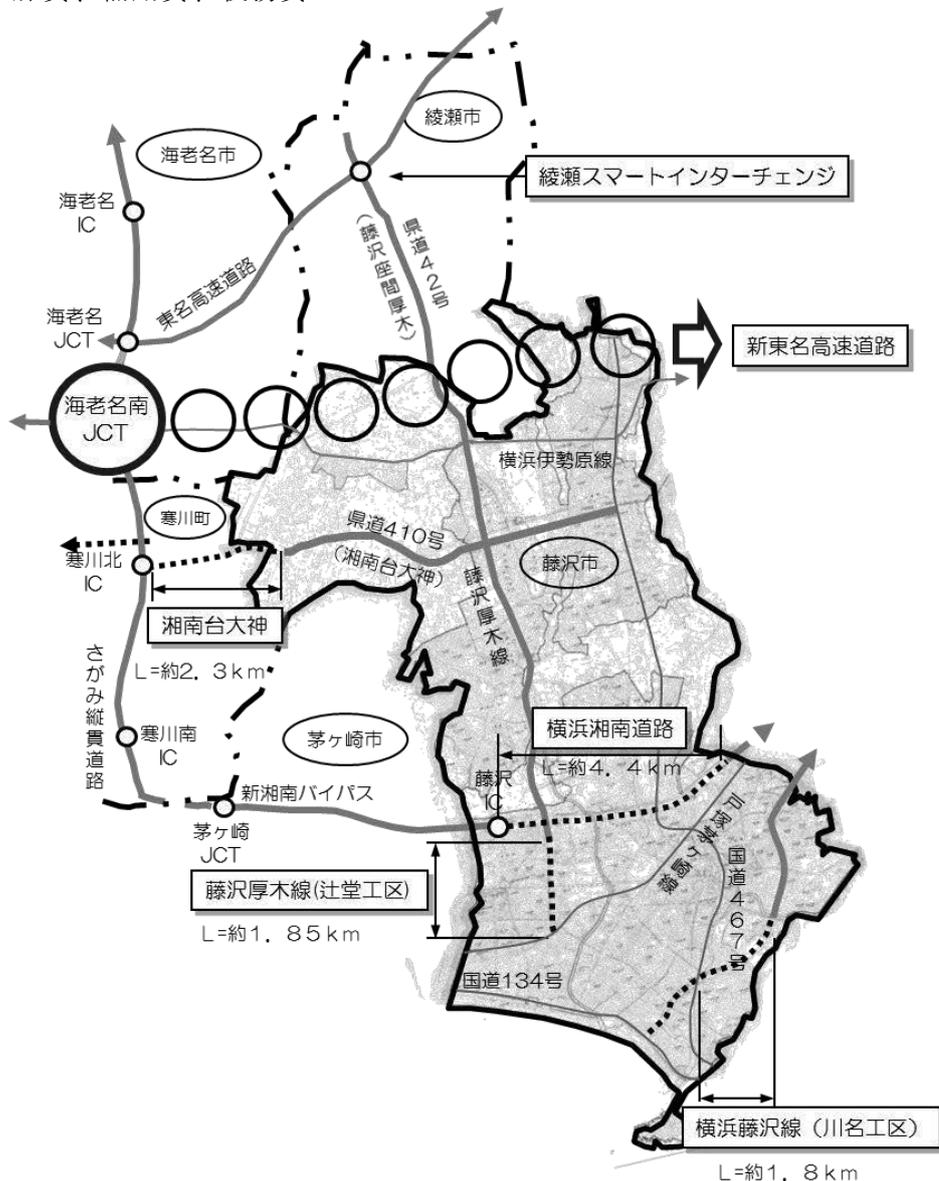
事業名	主要幹線道路対策費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 03 説明 01	道路河川総務課				
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	866					866
令和3年度	866					866
対前年度	0					0

【事業概要】

都市の骨格を形成する主要幹線道路網の整備により、首都圏及び全国各圏域との交流を容易にし、市民・企業等の交流・連携をささえ、都市の活力を創造するため、国道（横浜湘南道路、新東名高速道路）及び県道（横浜藤沢線、藤沢厚木線、湘南台大神）の事業調整、促進及び要望活動を行う。

1. 負担金補助及び交付金 165 千円
 - ・ 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会他負担金

2. 主要幹線道路対策事務経費 701 千円
 - ・ 旅費、需用費、役務費



土木費

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	1-1-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
	4-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	429,108	6,000		219,400	157,604	46,104
令和3年度	148,637	0		112,600	0	36,037
対前年度	280,471	6,000		106,800	157,604	10,067
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				6,000
	(地方債)	公園建設事業債				16,600
		土砂災害防止対策事業債				202,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				157,604

【事業概要】

公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定された公園等の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、対策実施に向けた委託及び工事を行う。

また、鵜沼海浜公園（Park-PFI）については、事業者がリニューアルに向けた改修工事を行うため、既存施設の撤去費を負担するとともに、コンビプールの買取りを行う。

1. 需用費 20,872 千円
劣化が進む遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
2. 役務費 10,239 千円
老朽化した施設の撤去や樹木の剪定等を行う。また、市の花「フジ」の剪定を実施し、保護及び育成を図る。
3. 委託料 21,537 千円
 - ・都市公園遊具点検業務委託
 - ・新林公園古民家樹木剪定業務委託
 - ・片瀬山公園法面詳細設計委託
 - ・本在寺公園他法面調査委託
 - ・公園照明灯LED化ESCO事業【債務負担行為の設定】 (227,000 千円)
期間：令和4年度～令和15年度
4. 工事請負費 218,856 千円
 - ・御所ヶ谷緑地法面对策工事【継続費】
 - ・引地川親水公園駐車場舗装打換え工事
5. 備品購入費 9,104 千円
 - ・鵜沼海浜公園コンビプール購入費
6. 負担金補助及び交付金 148,500 千円
 - ・鵜沼海浜公園土木施設・建築物撤去負担金

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
御所ヶ谷緑地法面对策工事	202,851	262,559	465,410

土木費

事業名	近隣・街区公園新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 03 説明 01	公園課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	74,356			56,400		17,956
令和3年度	7,183			5,300		1,883
対前年度	67,173			51,100		16,073
特定財源の内訳	(地方債)	公園建設事業債				56,400

【事業概要】

地域コミュニティ形成の場や災害時の一時避難場所としての役割と市民に憩いと安らぎを与える身近なオープンスペースを確保するとともに、身近な公園への未到達区域の解消を図るため、公園・緑地の整備を行う。

1. 吉野町公園 10,769 千円
隣接するFプレイスとの一体的な利活用に向け、実施設計を行う。
・吉野町公園実施設計委託

2. 桜小路公園 13,959 千円
本公園の東側において、用地取得を行った箇所の整備を行う。
・桜小路公園整備工事

3. 引地川緑地 14,783 千円
龍宮橋下流左岸において、用地取得を行った箇所の整備に向け、現況測量を行うとともに、大庭大橋上流右岸の用地取得を行う。
・引地川緑地現況測量委託（龍宮橋下流左岸）
・引地川緑地用地測量委託（大庭大橋上流右岸）
・引地川緑地用地取得（大庭大橋上流右岸）
・不動産鑑定料ほか（大庭大橋上流右岸）

(拡) 4. 秋葉台公園 29,645 千円
秋葉台文化体育館の北側にスケートボード広場の整備を行う。
・秋葉台公園スケートボード広場整備工事

5. 需用費 5,200 千円
用地取得を行った箇所に立入防止柵等を設置する。
・用地取得に伴う立入防止柵等設置



秋葉台公園スケートボード広場整備箇所（位置図・現況写真）

（1の事業及び3の事業の一部は令和3年度12月補正で債務負担行為を設定）

土木費

事業名	住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	951	132				819
令和3年度	1,185	131				1,054
対前年度	△ 234	1				△ 235
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				132

【事業概要】

少子超高齢社会、本格的な人口減少社会を迎える中で、長期的な視野に立ち、総合的な住宅政策を推進する。

1. 藤沢市住宅マスタープランの進捗管理 92 千円
 藤沢市住宅マスタープランに基づき、各課との連携を図り事業の進捗管理を行う。また、藤沢市居住支援協議会の運営及び団地再生に向けた地域と連携した取組を実施する。
 - ・旅費、消耗品費等

重点施策－1 居住支援協議会による住宅確保要配慮者への支援
 重点施策－2 空き家の適正管理の促進と利活用の推進
 重点施策－3 市営住宅の長寿命化等による居住性の向上と活用の推進
 重点施策－4 団地再生に向けた地域と連携した取組の推進

2. 高齢者住まい探し相談会の実施 395 千円
 本市の民間賃貸住宅への入居に困窮している高齢者等に対し、相談会を実施するなど、居住の安定を図るための入居支援事業を行う。
 - ・高齢者円滑入居支援事業業務委託 295 千円
 - ・公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会年会費 100 千円

3. 藤沢市居住支援協議会の開催・運営 160 千円
 居住支援協議会の会員及び不動産事業者向けにセミナーを開催し、住宅確保要配慮者に対する理解の促進、支援体制の構築を図る。
 - ・セミナー講師謝礼 60 千円
 - ・居住支援協議会チラシ印刷製本費 100 千円

4. 湘南大庭の未来を考える会議の開催・運営 304 千円
 団地再生の取組として、湘南ライフタウンをモデル地区に、行政、地域住民、事業者等で構成する「湘南大庭の未来を考える会議」において、地域の将来、再活性化について議論・検討し、多世代居住の観点も含めた大規模住宅団地の再生、持続可能なまちづくりの実現を図る。
 - ・湘南大庭の未来を考える会議委員報酬・旅費 139 千円
 - ・湘南大庭の未来を考える会議技術指導謝礼 135 千円
 - ・セミナー講師謝礼 30 千円

土木費

事業名	空家対策関係費 (前年度事業名：空き家対策関係費)					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 02	住宅政策課				
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,281	500			1,000	7,781
令和3年度	2,967	450			0	2,517
対前年度	6,314	50			1,000	5,264
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				500
	(その他)	相続財産管理人申立予納金還付金				1,000

【事業概要】

藤沢市空家等対策計画に基づき、空家の発生抑制の啓発、空家の適正管理の促進、特定空家の認定と措置及び空家の利活用の推進などの空家対策を行う。

1. 空家の発生抑制・適正管理の促進 6,389 千円
 広報やホームページ等を活用し、空家の発生抑制及び適正管理に関する意識啓発を行う。また、空家の損壊状況や周囲への衛生上の影響を現地にて調査し、空家所有者等に対して、実態に即した助言・指導を行うほか、相続人不存在の空家については、相続財産管理人制度を活用する。
 - ・訪問等調査に係る旅費 41 千円
 - ・相続財産管理人申立費用 2,024 千円
(予納金・家庭裁判所への旅費・印紙代・官報公告掲載料)
 - ・管理不全等空家現地調査業務委託 4,279 千円
 - ・空家対策に関する研修会参加負担金 45 千円

2. 特定空家の認定及び特定空家審査部会の開催 293 千円
 放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空家等を特定空家として認定し、所有者等に対し法に基づく助言・指導等を行い是正を促す。
 - ・特定空家審査部会委員報酬・旅費

3. 空家の利活用の促進 1,350 千円
 藤沢市空家利活用マッチング制度、藤沢市空家利活用事業補助金制度の実施により、空家の利活用の推進を図る。
 - ・空家利活用事業審査部会委員報酬・旅費 130 千円
 - ・空家移動相談会広告料 220 千円
 - ・空家利活用事業補助金 1件 1,000 千円

4. 藤沢市空家等対策協議会の開催 727 千円
 藤沢市空家等対策計画に基づき、これまでの施策の見直しや新たな施策の検討を行う。
 - ・空家等対策協議会委員報酬・旅費

5. 空家対策関係事務経費 522 千円

土木費

事業名	住宅環境整備事業費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	474,859	99,595		303,500		71,764
令和3年度	0	0		0		0
対前年度	474,859	99,595		303,500		71,764
特定財源の内訳	(国庫支出金)		社会資本整備総合交付金			99,595
	(地方債)		市営住宅改修事業債			303,500

【事業概要】

市営住宅の良好な居住環境の整備・改善を図るため、藤沢市市営住宅等長寿命化計画に基づき改修工事を実施し、市営住宅ストックの長寿命化を進められるよう住宅環境の整備を行う。

1. 工事請負費 473,429 千円
 - ・外壁等改修工事 市営渋谷ヶ原住宅1～3号棟及び集会所 231,220 千円
 - ・外壁等改修工事 市営長後住宅1～3号棟 242,209 千円

2. 住宅環境整備事業事務経費 1,430 千円



工事予定箇所（市営渋谷ヶ原住宅）



工事予定箇所（市営長後住宅）

消防費

事業名	応急手当普及啓発推進事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 1 細目 04 説明 03			救急救命課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	6,497					6,497
令和3年度	6,425					6,425
対前年度	72					72

【事業概要】

市民の応急手当に関する知識・技術の普及啓発を図るため、特定非営利活動法人ふじさわ救命普及推進会及び藤沢市救命普及指導員等と協力し、普通救命講習を実施する。また、応急手当に精通した市民の育成を図るため、上級救命講習や応急手当普及員講習を実施する。

1. 各種救命講習及び応急手当教育の実施 6,497 千円

普通救命講習、上級救命講習及び応急手当普及員講習や、市内中学校の生徒に対する応急手当教育を実施する。

 - ・救命普及指導員、保育ボランティア報償費 792 千円
 - ・配布教材費、消耗品費等 2,769 千円
 - ・賃借料、保険料 376 千円
 - ・救命講習指導事業負担金 2,560 千円

消防費

事業名	大規模震災等対策強化事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 05	警防課				
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,545	0	0	0		3,545
令和3年度	181,975	82,039	13,987	77,100		8,849
対前年度	△ 178,430	△ 82,039	△ 13,987	△ 77,100		△ 5,304

<拡充事業> 指揮本部機能の向上（映像伝送システムの整備）

【施策等を必要とする背景】

昨今における各種災害が複雑多様化する中、安全、迅速な活動を行うためには、より正確な情報に基づく、統制の取れた現場指揮活動を行うことが重要となっている。また、建築様式の変化などにより、火災活動時の危険性が高まり、全国的に消防職員の殉職・受傷事案が増加しているため、災害現場では効果的な情報収集が必要不可欠である。

【提案に至るまでの経緯】

平成28年度からドローンを中心とした映像伝送システムを用いた指揮本部機能強化について、視察等を含め研究・検討を進めてきた。また、令和2年度には警防課題検討会議を開催し、必要性及び有効性などについて、活動部隊と共に検討を行った。

令和3年度は、導入に向け産官学で同システムを使用した検証を実施するとともに、他市からの情報収集を継続し、運用の現状などについての把握を進めた。また、同システムを導入している消防本部での業者と合同の実機検証へ出向し、実動運用を見据え、意見や課題などの情報収集を行った。さらに、熱海市への災害派遣では、他市が運用する映像伝送システムにより効率的に情報収集する様子を見ることができ、有効性の再確認をし、本市導入における必要があると判断した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

消防局総合基本指針において「大規模災害等に対応できる先進消防」に位置付け。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

映像伝送システムを導入することで、視覚による効率的な情報の収集及び伝達が可能となり、有効かつ迅速な活動方針の決定が可能となる。また、整備拡充により情報収集能力がさらに向上することで、大規模災害を含め、あらゆる災害に対する指揮機能の精度が高まり、統制の取れた現場活動及び被害の軽減につながる。

2. 将来にわたる費用

資機材のメンテナンス費用や消耗品費

【事業概要】

大規模災害では、広範囲で多発的にさまざまな災害が発生することが予想されるため、ドローン等を活用した映像伝送システムを導入し、正確な情報を確実・迅速に収集することで、指揮本部機能強化とともに効果的な部隊運用を図る。

また、昨今多発する大型台風や集中豪雨等から市民の安全安心を確保するため、災害対応資機材等を整備するとともに、特殊災害への対策として現有資機材の校正点検を行う。

(拡) 1. 映像伝送システムの整備	2,549 千円
・ 消耗品費（スマートフォン用ハーネス）	52 千円
・ 役務費（通信料・保険料等）	743 千円
・ 使用料（システム使用料）	594 千円
・ 備品購入費（ドローン・PC・タブレット等）	1,160 千円

2. 災害対応資機材の整備 106 千円
 ・ 消耗品費（胴付き長靴）20着
3. 特殊災害対応資機材の校正点検 890 千円
 ・ 役務費（放射線測定器校正点検手数料）



ドローン



モニタリング用タブレット

消防費

事業名	消防自動車等整備費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 06			警防課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	187,923	37,554	25,618	116,000		8,751
令和3年度	0	0	0	0		0
対前年度	187,923	37,554	25,618	116,000		8,751
特定財源の内訳	(国庫支出金)	緊急消防援助隊設備整備費補助金				37,554
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				25,618
	(地方債)	消防施設整備事業債				116,000

【事業概要】

多様化する各種災害から、市民の生命、身体及び財産を守り、安全安心なまちづくりを推進していくため、消防車両更新計画に基づき、老朽化した消防自動車等を計画的に更新し、整備を行う。

1. 車両購入費 180,758 千円
 ・ 災害対応特殊消防ポンプ自動車（南消防署鶴沼出張所） 66,489 千円
 ・ 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（南消防署本町出張所） 74,800 千円
 ・ 災害対応特殊救急自動車（南消防署明治出張所） 39,469 千円
2. 車両購入に係る諸経費 7,165 千円
 ・ 旅費 305 千円
 ・ 役務費 880 千円
 ・ 委託料 4,917 千円
 ・ 備品購入費 985 千円
 ・ 公課費 78 千円

事業名	(新) 消防指令システム等更新事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 08			警防課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	679,621			672,800		6,821
令和3年度	0			0		0
対前年度	679,621			672,800		6,821
特定財源の内訳	(地方債)	消防施設整備事業債				672,800

【施策等を必要とする背景】

消防指令システムとは、119番通報の受付、災害現場の特定、部隊への出動指令、無線交信等を行う各機器の総称であり、このシステムの安定的な稼働は本市消防救急体制の確立に必要不可欠である。令和4年度には、システムを構成する一部の機器（指令制御装置、車両運用端末装置等）が耐用年数を迎え、補修用物品の保有期間が終了するため、更新を実施する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

令和4年度に消防指令システムの根幹となる一部機器の耐用年数が切れ、補修用物品の保有期間も終了することから、システムの不具合が生じた時に補修用物品の調達が難しく、保守対応ができなくなる。これまでも既存の消防指令システム構築業者と補修用物品の保有期間延長などを含む保守対応についての協議を行ってきた。

- ・平成24年度 消防指令システム全更新を実施。
- ・令和元年度 消防指令システム全更新から耐用年数7年の機器を対象に部分更新を実施。
- ・令和2年度 耐用年数10年の機器の部分更新について、消防指令システム構築業者と補修用物品の保有期間延長などを含む保守対応について協議した結果、令和4年度の部分更新が必要であると判断。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

消防局総合基本指針において「大規模災害等に対応できる先進消防」に位置付け。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
耐用年数が切れる消防指令システムの機器を更新することで、消防指令システムの安定した稼働が見込まれる。その結果、市民の生命、身体及び財産を保護し、災害による被害の軽減を図ることができる。
2. 将来にわたる費用
継続的に消防指令システムに対する保守点検費用が必要となる。

【事業概要】

119番通報を受信し、消防隊や救急隊等への出動指令や、消防活動で必要となる情報等の送受信を行う消防指令システムの安定的な稼働は、市民の生命、身体及び財産の保護並びに災害による被害の軽減を確保するために必要不可欠であることから、システムを構成する機器のうち、保守耐用年数が終了する一部の機器を対象に更新作業を実施する。

1. 消防指令システム部分更新業務委託

679,621 千円



消防指令システム（イメージ図）

教育費

事業名	奨学金給付事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 10			教育総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	12,858				12,600	258
令和3年度	10,308				10,040	268
対前年度	2,550				2,560	△ 10
特定財源の内訳	(その他)	教育応援基金繰入金				12,600

【事業概要】

意欲と能力のある高校生等が、経済的な理由により進学を断念することなく、大学等での修学の機会が得られるよう、給付型奨学金事業を実施する。

1. 奨学金の給付 12,600 千円
 これまでに選考した奨学生に対し、学費奨学資金を給付するとともに、面談等により入学後のアフターフォローを行う。
 また、新たな奨学生を募集し、入学準備奨学資金を給付する。
 - ・一般（大学、短大、専門学校等） 11,580 千円
 - ・白石敬子奨学金（医学部・歯学部） 1,020 千円

2. 奨学金給付審査委員会委員報酬 111 千円
 奨学生の選考等に関する審査を行う奨学金給付審査委員会委員に対して、日額報酬を支払う。

3. 奨学金関係事務経費 147 千円
 奨学金給付事業に必要な事務用品等

事業名	(新) 学校適正規模・適正配置関係事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 12	教育総務課				
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	324					324
令和3年度	0					0
対前年度	324					324

【施策等を必要とする背景】

現在、本市において、一部の学校では過大規模化や教室不足が問題となっている一方、人口減少地域においては学校が小規模化している。また、少人数学級への対応のほか、特別支援学校の教室不足の解消、特別支援学級の全校設置に向けての対応、学校施設の老朽化などさまざまな課題が生じている。こうしたことから、将来を見据えた学校の適正規模・適正配置に向けた取組を進める必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

- 令和3年 5月 藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」の検討を開始。
- 令和3年 9月 市議会定例会子ども文教常任委員会において「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針（素案）」を報告。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会は、地域住民の代表や保護者の代表からも委員を選出している。

【市の策定する計画や条例との整合性】

ふじさわ教育大綱をはじめ、市政運営の総合指針、公共施設再整備プラン及び教育振興基本計画のほか、学校施設に関連する個別計画との整合を図りながら取組を進める。

【将来にわたる効果及び費用】

学校の規模や配置に関して、現在抱えているさまざまな課題が解消され、子どもたちにとってより良い教育環境が整えられる。

【事業概要】

市立小学校35校・中学校19校・特別支援学校1校を検討対象に、将来を見据えた学校の適正規模・適正配置に向けた取組を進めるため、藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会を運営し、令和4年度は、通学区の見直しや学校の統合など、具体的な手法や学校名を明記した「藤沢市立学校適正規模・適正配置実施計画」の検討を開始する。

- 藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会 委員謝礼 314千円

委員長	1人×10,800円×年5回	54,000円
委員	5人×10,400円×年5回	260,000円
- 学校適正規模・適正配置関係事務経費 普通旅費 10千円

【今後のスケジュール】

- 令和4年 2月 市議会定例会子ども文教常任委員会において「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針（最終案）」を報告。
- 令和4年 3月 「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定。
- 令和4年 5月 「藤沢市立学校適正規模・適正配置実施計画」の検討を開始。
- 令和4年12月 市議会定例会子ども文教常任委員会において「藤沢市立学校適正規模・適正配置実施計画（素案）」を報告。

教育費

事業名	人権環境平和教育関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 02	教育指導課				
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	474					474
令和3年度	474					474
対前年度	0					0

【事業概要】

児童生徒を対象に、人権・環境・平和についての知識の習得や理念の啓発を行う。また、児童生徒に対する人権教育・環境教育・平和教育の有効性を高めるため、教職員を対象にした研修を実施する。

- 児童生徒及び教職員を対象とした、人権・環境・平和教育に関する講演会等の実施 95 千円
 - 人権教育移動教室講師謝礼 80 千円
 - 人権・環境・平和教育担当者会講師謝礼 15 千円
- 小・中・特別支援学校への人権・環境・平和教育に関する参考図書等の配布及び各種リーフレットの作成・配布 379 千円
 - 参考図書等の配布
 - 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）リーフレットの作成・配布
 - 対象 小学校1・4年生及び中学校1年生
 - セクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットの作成・配布
 - 対象 小学校4年生及び中学校1年生

小|学|校|低|学|年|の|み|な|さ|ん|へ

わたしってなあに

「子どもの権利条約」をふまえて

せかいじゅう
**世界中のすべての子どものしあわせを
ねがって作られた約束、それが**

「子どもの権利条約」だよ。

" ころうじょうがでできるといいいね"
" ころうじょうふうにならばいいかな?"
と、大人たちがいっしょうけんめい考えた、そして決めた
国と国との約束だよ。

みんながいつもニコニコしてられるように、この条約に
ついて知ってください。そして、先生やともだちとだけでな
く、おうちの人ともいっしょにかんがえてみましょう。



ふじきゅん



藤沢市教育委員会

子どもの権利条約リーフレット
(小学校1年生用)



STOP!! スクール・セクハラ

中学生のみなさんへ

ネットDV、SNS等も通じた迷惑

スクール・セクハラとは?

◇学校という場所で起るセクハラ（セクシュアル・ハラスメント）です。
たとえば友だちや先輩、先生から・・・

- ① 他人の体形や顔について話をする。
- ② 性的なからかいや冗談を言う。
- ③ 性的な体触れをたずねたり、話したりする。
- ④ 教室や部室などに水着の写真やポスターをはる。
- ⑤ 必要もないのに体をさわる。
- ⑥ 着替えているところを見たり、のぞいたりする。
- ⑦ 携帯電話などで性的なメールや画像を送る。

セクハラとは、性的な言葉や行動で相手を不快にさせることを言います。セクハラかどうかは、基本的に受け手がそれを不快に感じるかどうかによって決まります。嫌しみのつもり、軽い気持ちで行ったことでも相手がいやだと感じたら、それはセクハラです。また、「男のくせに」とか「女らしく」とかといった男女についての固定的な考え方もセクハラにつながります。

***「セクハラ」は、みんなできなくていいけれどやらなければならないことです!!**

楽しい学校生活を過ごすために...

◇不快なことを、言われたりされたときは、がまんせず「やめて!」ときっぱり言います。

◇セクハラをする人は「他の人に言っちゃいけない。」など、口止めするつもりはしません。しかし、そのままにしておく、「セクハラ」がますますエスカレートする可能性があります。

◇自分の中に抱えこまずに家族や友だち、先生、スクールカウンセラーさんなど信頼できる人に話を聞いてもらいましょう。

※ あなたのプライバシーは、守られます。安心して相談しましょう。

***もし、セクハラを見聞きしたり、被害を相談されたりしたら**

見て見ぬふりではなく、嫌な思いをしている人に声をかけ、話を聞いてあげましょう。態度、声をかけるのが難しいときは、身近な信頼できる人に相談しましょう。

セクハラを防止するには、セクハラ行為を注意する勇気も大切です。

みんなからこんなことを心がけよう!

- ・男女がお互いの違いを認め、対等な存在として尊重しあうことが大切です。
- ・相手の気持ちよく聞いて気持ちを理解し、お互いの持っている良さを認め合っていくきましょう。
- ・勇気はなく、軽い気持ちで言ったりしたことが、結果として相手の心を傷つけることがあります。自分がセクハラされたらどんな気持ちだろうと考えることは、セクハラ防止に有効です。

セクシュアル・ハラスメント等
防止リーフレット（中学校1年生用）

教育費

事業名	国際教育推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 03			教育指導課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	84,132		1,658			82,474
令和3年度	83,395		1,782			81,613
対前年度	737		△ 124			861
特定財源の内訳	(県支出金)	帰国・外国人児童生徒等教育推進事業費補助金				1,658

【事業概要】

学校における国際教育を推進するため、外国語指導講師等を学校に派遣し、授業を行うことによる国際教育の実施と、外国につながるのある児童生徒に対し、学校教育への適応に向けた支援を行う。

1. 外国語指導業務委託（F L T） 69,134 千円
 英語を第一言語とする外国語指導講師を派遣し、小学校3～4年生の外国語活動や小学校5～6年生及び中学校1～3年生の外国語（英語）の授業をティーム・ティーチング（T・T）で行う。

2. 国際理解協力員派遣事業 1,490 千円
 異文化やコミュニケーションに対する興味、関心及び共生への理解を高めるため、国際理解協力員と学級担任がティーム・ティーチング（T・T）で授業を実施する。
 ・小学校1～2年生 年間1学級2時間
 ・特別支援学校 年間1学年1時間

3. 日本語指導員の派遣事業 13,035 千円
 日本語指導を必要とする外国につながるのある児童生徒に対し、10カ国語に対応して日本語指導員を派遣し、日本語指導と学校生活へ適応するための支援を行う。
 ・支援を必要としている児童生徒人数 約200人

4. 国際教育教材費等経費 353 千円
 指導教材費、傷害保険料及び損害保険料、外国語指導業務事業者選定審査委員会委員報酬

5. 研修会の実施 120 千円
 教員の指導力向上のため、外国語及び外国語指導に関する研修会を行う。

教育費

事業名	教育情報機器関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 04			教育総務課		
指針体系コード	3-1-1-1	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	537,431					537,431
令和3年度	460,373					460,373
対前年度	77,058					77,058

【事業概要】

GIGAスクール構想等により導入された1人1台端末の活用を推進するとともに、緊急時においてもICTの活用により子どもたちの学びを保障できる環境整備を実施する。

- (拡) 1. 学校におけるICT環境整備事業 430,484 千円
 学習で使用するためのICT機器環境等の整備を行う。
 ・ネットワーク管理費 13,543 千円
 ・授業支援ソフト利用料 36,262 千円
 ・オンライン学習ドリル利用料 23,610 千円
 ・授業目的公衆送信補償金 5,273 千円
 ・学習用ICT機器等整備費 351,796 千円
- (拡) 2. ICT機器活用サポート業務委託 77,652 千円
 ICT機器の活用をサポートするICT支援員や情報モラル学習講師の派遣、機器の故障等へ対応するための窓口を担うヘルプデスク業務等を行う。
3. ICT周辺機器等整備事業 29,295 千円
 モバイルWi-Fiルーター等の整備を行うとともに、既存機器等の修理対応を行う。



1人1台端末を活用した授業の様子

教育費

事業名	学校安全対策関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 05			教育指導課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	21,992	2,322				19,670
令和3年度	22,914	2,319				20,595
対前年度	△ 922	3				△ 925
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				2,322

【事業概要】

小・中・特別支援学校の安全管理及び児童生徒の安全確保や防災意識の向上を図るための対策を講じる。

1. 学校非常通報システム維持管理 6,828 千円
2. 学校防犯カメラシステム維持管理 7,639 千円
3. ジュニアライフセービング教室の実施 418 千円
小・中学校で海の安全に関する意識を高めるための講演や体験教室を実施する。
4. スクールガード・リーダーの配置（10地域・35小学校区） 7,017 千円
「六会」、「御所見・遠藤」、「長後・湘南台」、「湘南大庭」、「善行」、「村岡」、「明治」、「藤沢」、「片瀬・鶴沼」、「辻堂」地域に配置する。
・スクールガード・リーダー謝礼、被服費及び損害保険料
5. 学校防災アドバイザーによる研修会 90 千円
各学校の実情に応じた児童生徒の防災意識を高めるための授業や指導方法等についての教職員向け研修会を実施する。

教育費

事業名	学校教育相談センター関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 06	教育指導課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	6,832					6,832
令和3年度	6,565					6,565
対前年度	267					267

【事業概要】

さまざまな困難を抱える児童生徒及び保護者を支援するための相談活動や不登校児童生徒を対象とした相談支援教室の運営を行う。

1. 小・中・特別支援学校に在籍する児童生徒及び保護者等への支援 924 千円
 - (1) スクールカウンセラーの配置
小・中・特別支援学校にスクールカウンセラーを配置し、学校生活において、さまざまな困難を抱える児童生徒及びその保護者・教職員を対象に相談活動を行う。
 - (2) スクールソーシャルワーカーの派遣
福祉的な支援が必要な家庭に対し、学校や関係機関と連携した支援を行う。
 - (3) 就学相談の実施
市内の幼稚園、保育園、児童発達支援センター等に対して、事業の周知を図り、次年度就学予定児童の就学及び就学後の教育的支援に関する相談活動を行う。
 - (4) 相談支援教室の運営
さまざまな課題を抱える児童生徒に対し、善行分室内の教室での個別学習や体験活動、カウンセリング等、学校生活や社会生活への適応に向けた支援を行う。
 - (5) 学校教育相談センターにおける教育相談活動
電話及び来所による教育相談を行う。
(受付時間)
・平日 午前9時～午後5時
・土曜日 午前9時～正午

2. 研修・講演会事業 820 千円
 - ・特別支援に関する校内研修や事例研究会への開催支援
 - ・特別支援学級及び白浜養護学校への特別支援教育スーパーバイザーの派遣
 - ・教員を対象とした個別指導計画作成及びスクールカウンセラー等の専門性向上のための研修会の実施

3. 学校教育相談センター善行分室の施設維持管理及びその他事務経費 5,088 千円

教育費

事業名	いじめ暴力防止対策費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 09	教育指導課				
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	4,077					4,077
令和3年度	4,298					4,298
対前年度	△ 221					△ 221

【事業概要】

いじめ防止対策推進法、「藤沢市子どもをいじめから守る条例」の基本理念に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のための対策を学校、保護者、警察、各種関係団体と連携し、総合的かつ効果的に推進する。また、児童生徒に対し、いじめ防止に関する各種リーフレットを作成し、法令の趣旨をはじめ、いじめ相談ホットラインなどの周知を継続的に実施するとともに、体罰についても、その根絶に向けて取り組む。

1. 藤沢市いじめ問題対策連絡協議会の運営 283 千円
いじめ防止対策推進法第14条に基づき、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、「藤沢市いじめ問題対策連絡協議会」を運営する。
2. 藤沢市いじめ問題調査委員会の運営 2,920 千円
いじめ防止対策推進法第28条に基づき、小・中・特別支援学校におけるいじめ問題で、重大事態が発生した際に調査することを目的として「藤沢市いじめ問題調査委員会」を開催する。
3. いじめ防止対策担当スクールカウンセラー及びスクールロイヤー旅費等 210 千円
いじめの早期発見・早期対応のために心理の専門性を有するスクールカウンセラーを配置する。また、教職員だけでは困難な事案に対応するため、スクールロイヤーを配置する。
 - ・学校からの緊急要請への対応
 - ・学校訪問による児童生徒のカウンセリング、教職員の相談対応
 - ・教職員、保護者向けの研修会の実施
 - ・法的観点に立った、学校への指導・助言
4. いじめ相談等の充実 206 千円
 - ・いじめ相談ホットラインの運営
 - ・いじめ相談機関紹介カード、いじめ防止リーフレット、「藤沢市子どもをいじめから守る条例」趣旨紹介リーフレット等の作成・配布
 - ・いじめ相談メール及び藤沢市子ども相談フォームの運営
 - ・体罰調査アンケートの実施
5. 中学生いじめ防止対策報告会「Stopいじめ！中学生の集い in ふじさわ」の開催 51 千円
6. いじめ防止講演会の開催 20 千円
小・中・特別支援学校の教職員等を対象とした講演会の実施
7. いじめ防止教室の実施 360 千円
8. 児童生徒指導支援に関する会議の開催 27 千円
学校、保護者、警察、各種関係団体の連携協力を深め、児童生徒指導上の情報交換や対応について、検討協議を行う。

教育費

事業名	教育情報化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10			教育総務課		
指針体系コード	3-1-2 1	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	151,816					151,816
令和3年度	118,640					118,640
対前年度	33,176					33,176

【事業概要】

令和元年度に再構築した学校ICT基盤を活用することで、文部科学省が公表している「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に則した情報セキュリティ対策を行いながら、学校ICT機器を円滑に利用できるようなICT環境の実現を図る。

また、学校グループウェアや採点ソフトを活用し、校内外の連絡の円滑化や採点業務の効率化を図ることで、教職員の働き方改革を推進する。

- | | |
|----------------------------------------------------|------------|
| 1. 学校ICT基盤の運用 | 114,370 千円 |
| 2. 学校回線使用料 | 16,932 千円 |
| 3. セキュリティ対策ソフトの運用 | 6,050 千円 |
| (新) 4. 採点ソフトの導入
採点ソフトを活用し、採点業務を効率化して校務の軽減を推進する。 | 1,881 千円 |
| 5. 学校グループウェアの運用 | 7,315 千円 |
| 6. 学校ホームページの運用 | 5,254 千円 |
| 7. 先進ICT整備研究旅費 | 14 千円 |

(1の事業の一部は令和3年度9月補正で増額した事業)

教育費

<新規事業>

事業名	(新) 児童生徒学習支援関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 11			教育指導課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	4,554					4,554
令和3年度	0					0
対前年度	4,554					4,554

【施策等を必要とする背景】

- 中学校夜間学級に係る広域的な仕組みへの参画
誰一人取り残さないというインクルーシブの視点から、本市在住者の学びの場を確保するために、令和4年4月に開設される相模原市立大野南中学校分校夜間学級へ就学することができる広域的な仕組みに参画し、さまざまな事情により義務教育を十分受けることができなかった者に対して、教育の機会を保障するもの。
- 学習支援事業の小学校への拡充
生まれ育つ環境に左右されることなく、すべての児童生徒の学力が保障されるよう、中学校において実施していた学習支援事業を小学校においても導入し、長期休業中等に学習指導員による補習指導等を実施するもの。

【提案に至るまでの経緯】

1. 平成28年12月に文部科学省は「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」を公布し、すべての地方公共団体に、夜間中学における就学機会の提供等の措置を講ずることを義務付けた。

本市は、神奈川県教育委員会により設置され、県内市町村教育委員会により構成される協議会に参加し、夜間中学の設置について検討・協議を重ね、令和3年10月に「相模原市立大野南中学校分校夜間学級における生徒の就学及び費用負担に関する協定」を神奈川県教育委員会及び相模原市と締結した。

2. 中学校学習支援事業について、平成22年度に6校で試行。平成23年度に15校、平成24年度から19校全校で実施。

【市の策定する計画や条例との整合性】

・子ども共育計画<令和2年度～令和6年度>

小学校及び中学校学習支援事業について、子ども共育計画の施策方針4「教育を受ける権利の保障と学びを支援する」事業の一つとして位置付けている。

【将来にわたる効果】

1. さまざまな事情により義務教育を十分受けることができなかつた市民に対して、教育の機会を保障することができる。

2. 生まれ育つ環境に左右されることなく、児童の基礎的・基本的な学力の確実な定着を図ることができる。

【将来にわたる費用】

1. 在籍生徒数に応じて算出された費用を毎年度負担する。

2. 学習指導員への謝礼等が継続的に必要となる。

【事業概要】

教育を受ける権利を保障し、市民及びすべての児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培うことができるよう、学校教育におけるさまざまな学びの場を確保する。

(新) 1. 中学校夜間学級事業の実施 960 千円
相模原市立大野南中学校分校夜間学級に本市在住者も就学することができるよう、広域的な仕組みに参画する。
・中学校夜間学級負担金

(拡) 2. 学習支援事業の実施 3,594 千円
児童生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、小・中学校等へ学習指導員を派遣し補習指導を実施する。
・小学校学習指導員謝礼(試行実施) 333 千円
・中学校学習指導員謝礼 3,211 千円
・損害保険料 50 千円

(前年度の教育指導事務費から分離した事業)

教育費

事業名	特別支援教育運営費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 01			教育総務課・教育指導課		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	78,878	466			647	77,765
令和3年度	71,889	0			707	71,182
対前年度	6,989	466			△ 60	6,583
特定財源の内訳	(国庫支出金)	教育支援体制整備事業費補助金				466
	(その他)	茅ヶ崎市教育事務受託料				647

【事業概要】

小・中・特別支援学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、教育の充実や適切な支援を行う。

1. 特別支援教育協議会の運営 221 千円
本市の特別支援教育充実のための方策について協議を行う。

2. 特別支援学級、通級指導教室の運営 6,695 千円
 - ・研究会の開催等 840 千円
 - ・特別支援学級教材購入 775 千円
 - ・「のびゆく子ら作品展」委託 181 千円
 - ・「みんなの学習会」講師派遣、消耗品費 131 千円
 - ・聴力検査器保守点検 106 千円
 - ・消耗品費、物品修繕費等 4,662 千円

3. 介助員派遣事業 70,562 千円
特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活や宿泊行事における介助や支援を行う。また、担任と協力して困難な問題を抱える児童生徒への対応や学習支援等を行う。
 - ・介助員謝礼 66,707 千円
 - ・損害保険料 280 千円
 - ・宿泊介助員派遣負担金 3,575 千円

4. 医療的ケアを必要とする児童生徒への支援 1,400 千円
小・中・特別支援学校において、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行うために、学校看護師が該当児童生徒の在籍する学校を巡回することにより、児童生徒の健康の保持及び安全な環境の整備を図る。

(3の事業の一部は令和3年度12月補正で増額した事業)

教育費

事業名	特別支援教育整備事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 04			教育指導課		
指針体系コード	3-1-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	6,959					6,959
令和3年度	4,837					4,837
対前年度	2,122					2,122

【事業概要】

特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。

- (拡) 1. 秋葉台中学校特別支援学級開級の準備 5,620 千円
 令和5年4月より秋葉台中学校に特別支援学級を開級するため、教室等の整備を行う。
2. 既存特別支援学級及び難聴特別支援学級の整備 1,339 千円
 特別支援学級の適切な教育環境維持のため、既存教室等の整備・修繕を行う。
- ・特別支援学級設置数（令和4年度学級開設予定を含む。）
 小学校 21校
 中学校 14校
 - ・難聴特別支援学級（令和4年度学級開設予定）
 小学校 1校

教育費

事業名	八ヶ岳野外体験教室整備事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 04 説明 02			教育総務課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	54,973			51,400		3,573
令和3年度	0			0		0
対前年度	54,973			51,400		3,573
特定財源の内訳	(地方債)	大規模改造事業債				51,400

【事業概要】

建築から30年が経過し、施設の老朽化が進む八ヶ岳野外体験教室について、利用者の安全を確保するため、整備を行う。

1. 集会棟屋根改修工事 54,912 千円
集会棟の屋根から雨漏りが生じているため、改修工事を行う。
2. 整備事業費事務経費 61 千円
旅費、印刷製本費



集会棟外観（現況）



集会棟内観（現況）

教育費

事業名	要保護準要保護児童援助費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 2 細目 02 説明 01			学務保健課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	116,379	347	372			115,660
令和3年度	112,561	308	220			112,033
対前年度	3,818	39	152			3,627
特定財源の内訳	(国庫支出金)	要保護児童援助費補助金				347
	(県支出金)	被災児童就学支援事業費補助金				372

【事業概要】

保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な実施を図るため、経済的理由により就学困難と認められる小学校に通う児童の保護者に対し、児童が学校生活を送る上で必要な費用を援助する。

また、令和5年度小学校・中学校入学予定者の保護者に対し、入学準備金を支給する。

1. 扶助費	115,785 千円
・学用品費等	37,111 千円
・修学旅行費、社会見学費等	15,210 千円
・めがね購入費等	2,453 千円
・卒業アルバム購入費	4,084 千円
・小学校入学準備金（令和5年度入学予定者）	24,929 千円
・中学校入学準備金（令和5年度入学予定者）	31,998 千円
2. 事務経費	594 千円
・消耗品費、印刷製本費	

教育費

事業名	学校施設環境整備事業費（小学校）					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 01 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	631,415	352,913		168,000		110,502
令和3年度	102,970	0		0		102,970
対前年度	528,445	352,913		168,000		7,532
特定財源の内訳	(国庫支出金)	防衛施設周辺防音事業補助金				352,913
	(地方債)	大規模改造事業債				168,000

【事業概要】

小学校の教育環境の向上を図るため、環境整備事業を行う。

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1. 空調設備更新工事設計委託 | 23,331 千円 |
| 2. 六会小学校空調設備機能復旧工事【継続費】 | 500,781 千円 |
| 3. 六会小学校空調設備機能復旧工事に伴う冷房機賃借 | 3,435 千円 |
| 4. 空調設備の賃借 11校
継続（小糸小学校、鵜南小学校、鵜洋小学校、片瀬小学校、
藤沢小学校、鵜沼小学校、大道小学校、俣野小学校、
滝の沢小学校、大鋸小学校、大清水小学校）
新規（藤沢小学校（管理諸室及び特別教室））【債務負担行為の設定】
期間：令和4年度～令和10年度
総額：134,015千円 | 99,757 千円 |
| 5. 環境整備事業費事務経費
手数料 | 4,111 千円 |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	3年度	4年度	合計
六会小学校空調設備機能復旧工事	204,600	500,781	705,381

(2の事業は令和3年度9月補正で増額した事業)

教育費

事業名	鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01	学校施設課・学校給食課				
指針体系コード	3-1-61	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	382,517	78,967	0	151,800	143,110	8,640
令和3年度	1,280,735	95,515	9,852	856,200	313,594	5,574
対前年度	△ 898,218	△ 16,548	△ 9,852	△ 704,400	△ 170,484	3,066
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				78,967
	(地方債)	大規模改造事業債				151,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				143,110

【事業概要】

老朽化が著しい鵜南小学校を全面改築し、施設の安全性確保と教育環境の向上を図る。令和4年度からは第二期工事として、校舎棟建設工事（既存校舎棟解体工事含む）を実施する。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 工事費 | 245,444 千円 |
| ・ 鵜南小学校等改築工事（第一期工事）【継続費】 | 23,202 千円 |
| 既存屋内運動場棟等解体 | |
| ・ 鵜南小学校等改築工事（第二期工事）【継続費】 | 222,242 千円 |
| 既存校舎棟解体 | |
| 2. 委託料 | 7,188 千円 |
| ・ 鵜南小学校等改築工事（第一期工事）に伴う工事監理委託 | 353 千円 |
| 【継続費】 | |
| ・ 鵜南小学校等改築工事（第二期工事）に伴う工事監理委託 | 5,884 千円 |
| 【継続費】 | |
| ・ プール送迎バス委託料 | 951 千円 |
| 3. 仮設校舎賃借料 | 122,196 千円 |
| 4. 仮設調理場への移設に係る経費 | 7,689 千円 |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	2年度	3年度	4年度	合計
鵜南小学校等改築工事（第一期工事）	525,955	1,250,443	23,202	1,799,600
鵜南小学校等改築工事（第一期工事）に伴う工事監理委託	10,239	24,718	353	35,310

(単位：千円)

	4年度	5年度	6年度	合計
鵜南小学校等改築工事（第二期工事）	222,242	1,231,693	1,589,844	3,043,779
鵜南小学校等改築工事（第二期工事）に伴う工事監理委託	5,884	33,620	44,547	84,051

教育費

事業名	要保護準要保護生徒援助費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 2 細目 02 説明 01			学務保健課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	123,969	918	88			122,963
令和3年度	125,783	1,419	61			124,303
対前年度	△ 1,814	△ 501	27			△ 1,340
特定財源の内訳	(国庫支出金)	要保護生徒援助費補助金				918
	(県支出金)	被災生徒就学支援事業費補助金				88

【事業概要】

保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な実施を図るため、経済的理由により就学困難と認められる中学校に通う生徒の保護者に対し、生徒が学校生活を送る上で必要な費用を援助する。

1. 扶助費	123,969 千円
・学用品費等	39,461 千円
・修学旅行費、社会見学費等	40,836 千円
・学校給食費	37,137 千円
・医療費	117 千円
・めがね購入費等	3,221 千円
・卒業アルバム購入費	3,197 千円

教育費

事業名	学校施設環境整備事業費（中学校）					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 01 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	371,205	312,390		46,400		12,415
令和3年度	0	0		0		0
対前年度	371,205	312,390		46,400		12,415
特定財源の内訳	(国庫支出金)	防衛施設周辺防音事業補助金				312,390
	(地方債)	大規模改造事業債				46,400

【事業概要】

中学校の教育環境の向上を図るため、環境整備事業を行う。

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1. 長後中学校空調設備機能復旧工事【継続費】 | 358,742 千円 |
| 2. 長後中学校空調設備機能復旧工事に伴う冷房機賃借 | 2,292 千円 |
| 3. 空調設備の賃借 1校
新規 (藤ヶ岡中学校)【債務負担行為の設定】
期間：令和4年度～令和10年度
総額：134,015千円 | 7,446 千円 |
| 4. 環境整備事業費事務経費
手数料 | 2,725 千円 |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	3年度	4年度	合計
長後中学校空調設備機能復旧工事	146,520	358,742	505,262

(1の事業は令和3年度9月補正で実施した事業)

教育費

事業名	諸整備事業費（中学校）					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 02 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	188,119	12,600		120,600		54,919
令和3年度	45,299	0		0		45,299
対前年度	142,820	12,600		120,600		9,620
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				12,600
	(地方債)	大規模改造事業債				120,600

【事業概要】

中学校の施設維持管理及び教育環境の整備を図るため、諸整備事業を行う。

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| 1. 諸整備工事 | 141,416 千円 |
| ・高浜中学校給水設備改修工事 | 58,784 千円 |
| ・村岡中学校給水設備改修工事 | 64,559 千円 |
| ・長後中学校プール濾過機更新工事 | 18,073 千円 |
| 2. 施設修繕費・手数料 | 36,873 千円 |
| 3. 校内放送設備の賃借 5校 | 700 千円 |
| (鵜沼中学校、善行中学校、湘南台中学校、高浜中学校、秋葉台中学校) | |
| 4. 生徒数増に対応するための仮設校舎の賃借 2校 | 8,544 千円 |
| (鵜沼中学校、羽鳥中学校) | |
| 5. 諸整備事業費事務経費 | 586 千円 |
| 印刷製本費、負担金 | |

事業名	(新) 鵜沼中学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	3-1-62	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	106,148				106,148	
令和3年度	0				0	
対前年度	106,148				106,148	
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				106,148

【施策等を必要とする背景】

鵜沼中学校は、最も古い校舎が昭和45年に建設され、建築後50年が経過し、建物の老朽化が進行している状況である。また、文部科学省が定める学校施設に必要な面積及び近年の教育環境に見合った機能についても不足している状況である。これらの施設状況について、抜本的な対策を講じ、安全性の確保及び教育環境の機能向上を図る必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

- ・平成26年度「藤沢市立学校施設再整備基本方針」を策定
 - ・平成27年度「藤沢市立学校施設再整備第1期実施計画」を策定
 - ・令和2年度「藤沢市立学校施設再整備基本方針」を改訂
 - ・令和3年度「藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画」を策定
- 建物の状態及び老朽化の度合い等を考慮し検討した結果、事業実施について最も高い優先度とした。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

事業の進捗に伴い、保護者、地域住民等への説明会を随時開催する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画において優先度1に位置づけ
- ・藤沢市公共施設再整備プランにおいて第3期短期プラン実施事業に位置づけ

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
本事業の実施により、学校施設の老朽化が解消され、子どもたちの教育環境の機能向上が図られる。
2. 将来にわたる費用
令和4年度 106,148 千円
令和5年度 232,730 千円
令和6年度 520,135 千円
令和7年度以降 4,140,987 千円

【事業概要】

学校施設の老朽化の解消及び教育環境の機能向上を図るため、鵜沼中学校の校舎改築等を実施する。令和4年度は校舎改築等に伴う基本・実施設計委託及び地質調査委託を行う。

1. 鵜沼中学校校舎改築等に伴う基本・実施設計委託【継続費】 95,456 千円
2. 地質調査委託 10,692 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	6年度	合計
鵜沼中学校校舎改築等に伴う基本・実施設計委託	95,456	95,456	127,274	318,186

教育費

事業名	諸整備事業費（特別支援学校）					
予算科目	款 1 1 項 4 目 2 細目 01 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	3-1-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	155,150	9,110		107,700		38,340
令和3年度	13,129	0		7,000		6,129
対前年度	142,021	9,110		100,700		32,211
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				9,110
	(地方債)	大規模改造事業債				107,700

【事業概要】

白浜養護学校の施設維持管理及び教育環境の整備を図るため、諸整備事業を行う。

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 白浜養護学校空調設備更新等工事【継続費】 | 124,194 千円 |
| 2. 施設修繕費 | 1,300 千円 |
| 3. 児童生徒数増に対応するための仮設校舎の賃借 | 29,656 千円 |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
白浜養護学校空調設備更新等工事	124,194	289,785	413,979

教育費

事業名	生涯学習推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 03 説明 01			生涯学習総務課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	4,747					4,747
令和3年度	4,877					4,877
対前年度	△ 130					△ 130

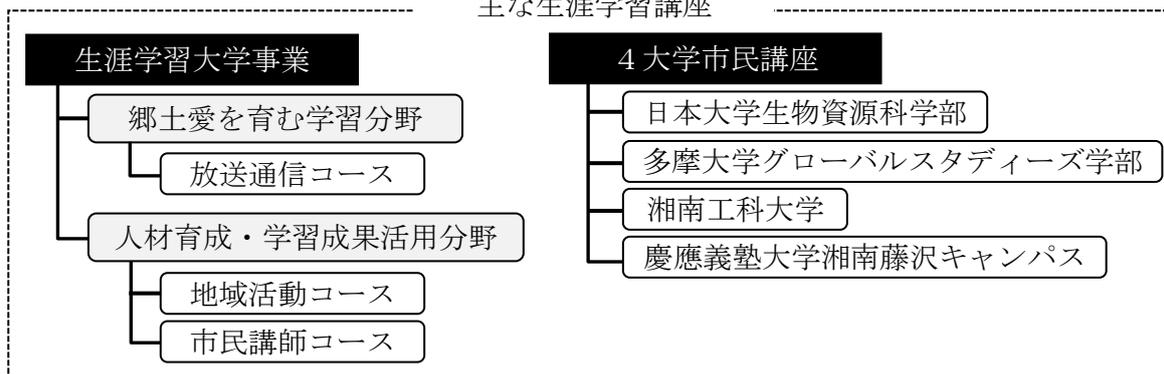
【事業概要】

市民の主体的な学習を推進し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会を構築するため、全市的な生涯学習活動拠点である生涯学習活動推進室を管理・運営し、各種事業を実施する。

- 生涯学習活動推進室の管理・運営 211 千円
 生涯学習活動を行う個人・団体や市民講師が、自由に集い、交流し、学習できる全市的な拠点として、生涯学習活動推進室の管理・運営を行う。
 - 運営委員会出席謝礼 63 千円
 - 消耗品費 22 千円
 - 通信運搬費電信電話料 120 千円
 - 手数料 6 千円

- 生涯学習講座の実施 4,491 千円
 各種団体・機関や庁内各課と連携し、市民の主体的な学習の推進及び地域コミュニティの活性化を目的として、生涯学習大学をはじめとした生涯学習講座を座学やオンラインなど、さまざまな手法を用い実施する。
 - 講師謝礼等 960 千円
 - 消耗品費 30 千円
 - 委託料 3,501 千円

主な生涯学習講座



- 生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」の運営 39 千円
 登録している市民講師が有するさまざまな知識や技術、豊かな体験や経験を地域へ還元することで、市民の学習のきっかけづくりを支援する。
 - 消耗品費

- 生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営 6 千円
 市民の要望に応じて、市職員が行政の取組や情報・専門知識を直接届けることで、市民への学習機会の提供、自主的な学習活動の支援を行う。
 - 消耗品費

教育費

事業名	学校運営協議会推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 04 説明 02			教育総務課		
指針体系コード	3-1-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,185					1,185
令和3年度	150					150
対前年度	1,035					1,035

【事業概要】

これからの社会を創り出していく子どもたちの「生きる力」を育むため、社会に開かれた教育課程の実現と、地域とともにある学校への転換をめざして、保護者や地域住民が学校運営に参画することができる学校運営協議会を小・中・特別支援学校に段階的に設置する。

- (拡) 1. 学校運営協議会委員報酬 1,125 千円
 当該校の学校運営や子どもたちを取り巻く課題について協議する学校運営協議会委員に対して、日額報酬を支払う。
 ・令和4年度学校運営協議会設置校 15校 (小学校9校、中学校6校)
 ※うち新規設置校 13校 (小学校7校、中学校6校)

- (新) 2. 学校運営協議会関係者への研修 60 千円
 学校運営協議会を効果的に運用していくために、学校や地域等に対して研修会を実施し、意識啓発を図る。

- (新) 3. 学校運営協議会先進都市視察
 神奈川県内において先行して学校運営協議会を導入している自治体を視察する。



学校運営協議会の様子 (片瀬小学校)

教育費

事業名	文化財保護費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 05 説明 01			郷土歴史課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	24,175	4,384	1,169			18,622
令和3年度	24,715	4,384	1,168			19,163
対前年度	△ 540	0	1			△ 541
特定財源の内訳	(国庫支出金)	埋蔵文化財確認調査費補助金				4,384
	(県支出金)	指定文化財等保存修理等補助金				1,169

【事業概要】

文化財保護の推進のため、文化財の調査・研究、保存・管理の指導及び補助、普及・活用事業の実施、開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理などを実施する。

1. 調査・研究 1,178 千円
 文化財保護委員会の開催及び市内に存在する各種別の文化財について調査を実施する。
 - ・文化財保護委員報酬 281 千円
 - ・調査、文化財保護推進員謝礼 680 千円
 - ・その他経費（消耗品費、印刷製本費、旅費） 217 千円

2. 保存・管理の指導及び補助 2,179 千円
 市指定文化財の修理・復旧等事業について補助申請があった所有者に対し、費用の3分の1以内を補助する。また、所有者の維持管理と活用及び後継者育成の一助となるよう保存管理奨励交付金を交付する。
 - ・市指定重要文化財等修理等補助金 250 千円
 - ・市指定重要文化財等保存管理奨励交付金 1,929 千円

3. 普及・活用事業 1,800 千円
 市民の郷土に対する理解と関心を深めるため、刊行物の発行、リーフレットの作成、展示や講座などの各種普及・啓発事業を実施する。また、文化財説明板等の設置・修繕を実施する。
 - ・執筆、講演等謝礼 680 千円
 - ・消耗品費、説明板修繕費、印刷製本費 746 千円
 - ・説明板設置等役務費 238 千円
 - ・委託料、賃借料 136 千円

4. 開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理 19,018 千円
 諸開発に伴い、埋蔵文化財の確認調査の実施や記録保存のための発掘調査を指導する。また、南鍛冶山遺跡発掘調査の資料整理を実施する。
 - ・消耗品費、印刷製本費、旅費 1,154 千円
 - ・委託料（埋蔵文化財確認調査、資料整理等） 17,864 千円

教育費

事業名	ふじさわ宿交流館運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 06 説明 01			郷土歴史課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	29,648				60	29,588
令和3年度	29,094				60	29,034
対前年度	554				0	554
特定財源の内訳	(その他)	ふじさわ宿交流館使用料				60

【事業概要】

旧東海道藤沢宿周辺地区の活性化を図るため、歴史的まちづくりの拠点となるふじさわ宿交流館の運営管理を行う。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. ふじさわ宿交流館の運営管理 | 29,648 千円 |
| ・委託料（指定管理料） | 27,852 千円 |
| 指定管理者：（公社）藤沢市観光協会 | |
| ・施設修繕費 | 1,300 千円 |
| ・展示用消耗品費 | 119 千円 |
| ・その他経費 | 377 千円 |
| パソコン等賃借料、警備委託料 | |



郷土資料展示室



宿場寄席

教育費

事業名	藤澤浮世絵館運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 06 説明 02			郷土歴史課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	11,989				4,112	7,877
令和3年度	45,841				4,370	41,471
対前年度	△ 33,852				△ 258	△ 33,594
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				2,522
		浮世絵館関連グッズ売上収入				1,590

【事業概要】

浮世絵をはじめとする市所蔵の郷土歴史及び文化に関する資料を展示公開することにより、市民の郷土への愛着を育み、文化の向上に寄与するため、藤澤浮世絵館の運営管理を行う。

1. 展示等事業 10,421 千円
 - ・年6回の展示（「美人東海道の風景にみる国貞と広重のつながり」「江の島詣と浮世絵でみる弁財天信仰の歴史」ほか）
 - ・展示に伴う講座、みどころ解説、ワークショップなどの実施
 - ・藤澤浮世絵館グッズの作成
 - ・アートスペースと連携したアウトリーチ事業の実施
 - ・藤澤浮世絵館運営委員会の開催

2. 施設管理、運営費 1,568 千円
 - ・電信電話料、光熱水費、清掃委託料、PC賃借料、ビジネスホン賃借料等



学芸員によるみどころ解説



浮世絵うちわづくりワークショップ

教育費

事業名	文化財収蔵庫整備事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 08 説明 03			郷土歴史課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	221,978			175,400	30,906	15,672
令和3年度	1,395			0	0	1,395
対前年度	220,583			175,400	30,906	14,277
特定財源の内訳	(地方債)	社会教育施設等整備事業債				175,400
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				30,906

<拡充事業> 新文化財収蔵庫建設に伴う既存施設の解体撤去

【施策等を必要とする背景】

文化財の収蔵施設は、現在、第1収蔵庫（旧善行学校給食合同調理場）、第2収蔵庫（旧北部学校給食合同調理場）、御所見収蔵庫（旧御所見市民センター）及び公益財団法人藤沢市まちづくり協会ビル内収蔵室の4カ所に分散している。

収蔵庫に転用した3施設については、いずれも建築後50年程度が経過し老朽化が進んでおり、各収蔵庫は既に飽和状態となっている。

このため、収蔵品を集約し、適正に整理・保管する施設の整備を必要としている。

【提案に至るまでの経緯】

平成26年度：「第1次公共施設再整備プラン 第1期短期プラン」検討事業

平成29年度：「第2次公共施設再整備プラン 第2期短期プラン」検討事業

令和3年度：「第3次公共施設再整備プラン 第3期短期プラン」実施事業

【市の策定する計画や条例との整合性】

令和3年9月策定の「第3次公共施設再整備プラン」において、実施事業として位置付けられた。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

市内各所に分散し、かつ老朽化している収蔵施設を集約する新収蔵庫を整備することで、収蔵品の効率的な整理と適正な保管を推進し、本市の文化財を確実に後世へと継承することができる。さらに公開・活用の推進が見込まれ、その効果として郷土愛の醸成が期待できる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

令和5年度	3,064千円	仮収蔵施設の維持管理
令和6年度	46,124千円	新文化財収蔵庫賃貸借 仮収蔵施設の維持管理・解体準備
令和7年度～16年度の総額	655,122千円	新文化財収蔵庫賃貸借 仮収蔵施設の解体準備・解体工事

【事業概要】

収集した文化財を確実に後世へと継承し活用していくため、市内各所に分散し、かつ老朽化している収蔵施設を集約し、文化財を適正に整理・保管できる施設整備を行う。

新収蔵庫は既存の第1収蔵庫及び隣接する旧あずま保育園を解体し、その跡地に整備を行う。また、解体・整備期間中については、仮収蔵施設（旧村岡保育園・旧南市民図書館）にて収蔵品を保管する。

(括) 1. 第1収蔵庫及び旧あずま保育園の解体撤去	206,406 千円
・ 廃棄物解体、運搬搬出処理	880 千円
・ 敷地測量、境界復元	5,247 千円
・ 事前家屋調査	3,872 千円
・ 既存擁壁調査	1,387 千円
・ 解体工事	194,920 千円
・ その他消耗品	100 千円
 (括) 2. 仮収蔵施設の整備及び収蔵品の移動	 15,572 千円
・ 整備 紫外線対策シート、作業用物品等	363 千円
・ 移動 第1収蔵庫収蔵品移動業務委託等	12,145 千円
・ 維持管理 修繕費、光熱水費	2,526 千円
手数料（樹木剪定・貯水槽清掃）	295 千円
委託料（機械警備・消防設備保守）	243 千円

スケジュール概略

	4年度	5年度	6年度	7年度以降
第1収蔵庫	敷地測量等 擁壁調査 解体準備 解体工事			
旧あずま保育園		設計・諸手続き・建設工事		新収蔵庫賃貸借
		収蔵品の移動 仮収蔵施設にて保管	新収蔵庫へ移動	
御所見収蔵庫	収蔵品の整理		新収蔵庫へ移動	
第2収蔵庫	収蔵品の整理		新収蔵庫へ移動 (解体保存部材を除く)	

教育費

事業名	公民館事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 02 説明 01			生涯学習総務課・13公民館		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	29,045				30	29,015
令和3年度	29,010				30	28,980
対前年度	35				0	35
特定財源の内訳	(その他)	公民館陶芸窯燃料代収入				30

【事業概要】

市民の学習活動の支援・促進を図るため、市内13公民館において、社会教育事業の企画実施等、公民館運営を行うことにより、さまざまな分野の学習機会や自主的な活動の場等を提供する。

1. 公民館事業に係る事務経費等（生涯学習総務課） 4,530千円
事業用旅費、消耗品、海洋科学教室業務委託、公民館事業用バスの使用、公民館事業用著作権の使用
2. 公民館事業に係る経費等（13公民館） 24,515千円
講師等謝礼、消耗品、印刷製本、ピアノ調律、公民館まつり等業務委託、印刷機、DVD等賃貸借

公民館別予算額

公民館名	金額	公民館名	金額
藤沢	1,486千円	遠藤	2,086千円
鵜沼	1,954千円	長後	1,914千円
御所見	1,907千円	明治	1,938千円
片瀬	1,834千円	善行	1,906千円
村岡	1,512千円	湘南大庭	1,936千円
六会	1,953千円	湘南台	2,065千円
辻堂	2,024千円	合計	24,515千円



公民館事業の様子

教育費

事業名	図書館情報ネットワーク事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 3 細目 01 説明 05			総合市民図書館		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	56,424	17,072			798	38,554
令和3年度	36,122	0			786	35,336
対前年度	20,302	17,072			12	3,218
特定財源の内訳	(国庫支出金)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				17,072
	(その他)	文化振興基金繰入金				798

＜拡充事業＞ 市民図書室への図書館情報システム導入及び電子図書サービスの実施

【施策等を必要とする背景】

市内11市民図書室には図書館情報システムが導入されておらず、市民図書館と市民図書室の利用方法が異なり、蔵書や利用者の管理を紙媒体で行っていることから、市民図書室所蔵資料はホームページから予約できないなどの制約があり、以前から市民図書室への図書館情報システム導入が求められていた。

また、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（以下、「読書バリアフリー法」）が令和元年6月に施行され、視覚障がい者等が利用しやすいメディアとして電子図書サービス等の充実と円滑な利用のための支援や、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からも利用者から電子図書サービスの導入が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

- 昭和61年10月 総合市民図書館開館 コンピュータを導入した貸出・返却システム開始
- 平成11年 7月 図書館新情報システムがスタート、インターネットでの蔵書検索開始
- 平成18年10月 市民図書室でのインターネット予約資料受取サービス開始
市民図書館貸出資料の市民図書室返却受取サービス開始
- 平成19年 6月 市民図書室に業務用としてインターネットパソコンを設置

市民図書館・市民図書室では、上記サービスを含むICTを活用したサービス導入の取組を行ってきたが、市民図書室においてはサービスに制約があることから、多くの利用者から図書館情報システム導入が望まれてきた。業務面においても市民図書館と市民図書室では運営方法が大きく異なり、非効率であることから図書館情報システム導入に向けて課題を整理しながら検討を進めてきた。

また、電子図書サービスの実施については、「読書バリアフリー法」への対応のほか、障がい者サービスの充実において藤沢市図書館協議会から要望が出ていたことや、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも導入の検討を進めてきた。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

図書館情報システムを市民図書室へ導入することで、所蔵資料などをシステムで一元管理し、図書室所蔵資料も図書館ホームページから貸出状況確認や予約ができるようになるため、利用者の利便性の向上と業務の効率化が図られる。

また、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等からインターネットを通じて電子図書や地域資料等のコンテンツをいつでも検索・貸出・返却できる電子図書サービスを実施し、図書館サービスの拡充を行う。

2. 将来にわたる費用

図書館情報システムと電子図書サービスの維持管理に要する事業費を見込む。

【事業概要】

市民図書館に設置されている図書館情報システムの整備及びデータベース検索等の環境整備と、県内図書館、市内4大学との協力体制を推進する。

また、市民図書館・市民図書室利用者の利便性の向上と業務の効率化のため、市民図書室への図書館情報システムの導入と電子図書サービスを実施する。

1. 図書館情報システム保守管理	34,162 千円
2. データベース記事検索用環境整備	799 千円
3. 利用者、職員のインターネット検索用環境整備	1,085 千円
(新) 4. 市民図書室への図書館情報システム導入環境整備	9,950 千円
・ 導入、運営に係る消耗品費	1,227 千円
・ システム導入作業業務委託料	7,884 千円
・ 市民図書室新規設置端末賃貸借料	839 千円
(新) 5. 電子図書サービス実施	10,428 千円
・ 電子図書コンテンツ (2,000タイトル)	8,800 千円
・ 電子図書導入作業業務委託料	770 千円
・ 電子図書サービスクラウド利用料	858 千円

<スケジュール>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
市民図書室への 図書館情報システム 導入		市民図書室新規機器等構築											
								市民図書室での 図書館情報システム運用開始					
電子図書サービス 実施			電子図書サービスサイト構築										
							電子図書サービス開始						

教育費

事業名	総合市民図書館市民運営費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 3 細目 01 説明 06			総合市民図書館		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	255,866					255,866
令和3年度	251,512					251,512
対前年度	4,354					4,354

【事業概要】
 効率的かつ効果的な図書館の運営及びサービスの充実を図るため、南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営業務を委託する。

1. 図書館運営業務委託料 255,866 千円
 南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営業務を委託により実施する。

- ・南市民図書館運営事業費 80,859 千円
- ・辻堂市民図書館運営事業費 80,305 千円
- ・湘南大庭市民図書館運営事業費 84,005 千円
- ・事務局経費 10,697 千円

教育費

事業名	子ども読書活動推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 3 細目 05 説明 01			総合市民図書館		
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,278					3,278
令和3年度	3,332					3,332
対前年度	△ 54					△ 54

【事業概要】
 「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの豊かな心と健やかな成長を育むため、子ども（おおむね18歳以下）及び子どもの読書活動推進に関わる人を対象に、子どもが本に出会い、楽しみ、親しめる機会を提供し、子どもと本に関わる豊かな環境の整備を進めるための事業を実施する。

1. 幼児と保護者を対象としたブックスタート事業の実施 3,131 千円
 ボランティアの協力により、1歳6カ月児健診時に幼児とその保護者に対して、絵本の読み聞かせを行うとともに、絵本1冊と子育て支援に関する資料を入れたブックスタートパックを手渡す。
 ・南、北保健センターにて年48回実施、対象者約3,650人

2. 乳幼児と保護者を対象とした推薦絵本等のリーフレットの作成・配付 27 千円
 子どもの年齢ごとに実施される保健事業等の機会に合わせて配付する。

3. 子どもの読書活動に関わるボランティアの交流会、研修会等の実施 60 千円
 ・図書館、図書室おはなし会ボランティア連絡会、研修会 年5回実施
 ・ブックスタートボランティア交流会、研修会 各年1回実施

4. 子どもの読書活動推進のための市民向け啓発講座、講演会の開催 60 千円
 ・年3回実施

教育費

事業名	アートスペース運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04			文化芸術課		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	15,171				5,980	9,191
令和3年度	46,794				5,775	41,019
対前年度	△ 31,623				205	△ 31,828
特定財源の内訳	(その他)	アートスペース使用料				705
		文化振興基金繰入金				4,735
		アートスペース関連グッズ売上収入				540

【事業概要】

アートスペースの運営管理を行い、若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表の支援を行うとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

1. 事業運営費 12,319 千円

- ・若手芸術家の創作活動及び展示、発表等の支援
藤沢ゆかりの若手芸術家や全国からの公募により選出した若手芸術家による公開制作や制作作品の展示・発表を行う。
- ・身近な美術鑑賞の機会の提供
本市所蔵の藤沢にゆかりのある作家の作品展示とあわせ、若手芸術家の公開制作及び展示を行う。
- ・美術作品の展示、発表の場の提供
個展及びグループ展が開催できるよう展示ルームを貸し出し、地域で活動する作家やグループの作品発表の場を提供する。
- ・美術学習の場の提供
子ども向けを中心としたワークショップや各世代で楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。
- (拡) ・公民館等との連携事業
公民館と連携して市内のパブリックアートを巡るイベントや、本市所蔵作品を紹介する「移動美術館」、浮世絵館と連携したアウトリーチ事業を実施する。
- (新) ・アーティストプラットフォーム
市内高校等と連携したアウトリーチ事業として、今までアートスペースの事業に参加したアーティストと協力し、ワークショップや作品の共同制作等を実施する。

2. 施設管理、運営費 2,852 千円

光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等



令和3年度 企画展Ⅲ Artists in FAS 2021

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	131,535				0	131,535
令和3年度	128,366				6,610	121,756
対前年度	3,169				△ 6,610	9,779

【事業概要】

文化芸術創造の活性化及び市民文化活動の支援・育成を図るため、公益財団法人藤沢市みらい創造財団に対し補助を行う。

1. (公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化振興事業補助金 131,535 千円
 ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現を図るため、芸術鑑賞事業や体験発表事業等を実施する。
 - ・音楽、演劇等を鑑賞する機会の提供
 オペラ招聘公演、文楽公演、ジャズ公演等
 - ・芸術文化の創造の機会の提供
 学校訪問事業、子どものためのワークショップ等
 - ・芸術文化の普及
 ロビーコンサート、ワンコインコンサート等
 - ・地域における芸術文化及び伝統文化の継承
 藤沢市展 日程：5月31日～6月19日
 会場：藤沢市民ギャラリー
 ふじさわ合唱祭、市民川柳大会等



藤沢市展



学校訪問事業

教育費

事業名	ビーチバレー大会開催関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 06			スポーツ推進課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,500				3,000	6,500
令和3年度	9,500				3,000	6,500
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	スポーツ拠点づくり推進事業助成金				3,000

【事業概要】

広く市民を対象として、「観るスポーツ」の機会を提供するため、ビーチバレー発祥の地である鵜沼海岸ビーチバレーコートにおいて「第36回ビーチバレージャパン」を開催する。

また、湘南の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の推進及びビーチバレー競技人口の底辺拡大を図るとともに、中学生の夢や希望を育むためのビーチバレー県大会と、その上位チームに加え全国の予選を勝ち抜いた中学生を対象とした全国大会を同会場にて開催する。

1. 第36回ビーチバレージャパン（開催負担金） 4,800 千円
 開催月：8月（3日間）（予定）
 主 管：ビーチバレージャパン実行委員会

2. 第16回神奈川県中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 900 千円
 開催月：7月（1日間）（予定）
 主 管：神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会

3. 第13回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 3,800 千円
 開催月：8月（2日間）（予定）
 主 管：湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会実行委員会



ビーチバレージャパン



湘南藤沢カップ
全国中学生ビーチバレー大会

教育費

事業名	ねんりんピックかながわ2022開催関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 09	スポーツ推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	35,036					35,036
令和3年度	4,000					4,000
対前年度	31,036					31,036

<拡充事業> ねんりんピックかながわ2022の開催

【施策等を必要とする背景】

「ねんりんピックかながわ2022」（第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会）が令和4年度に開催され、本市ではゲートボール及びソフトバレーボールの2種目を実施することとなっている。

ねんりんピックは、スポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、主に60歳以上の方を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、昭和63年から都道府県持ち回りで開催されている。

【提案に至るまでの経緯】

平成30年度に県内市町村における開催種目が決定され、本市ではゲートボール及びソフトバレーボールの2種目が実施されることとなった。

令和3年度に本大会が開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から令和4年度に延期となった。

令和3年度は各種目競技団体や県と調整を進め、リハーサル大会を実施し、令和4年度は大会本番を迎える。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

ねんりんピックは、60歳以上の方が参加対象となるが、大会運営に携わるボランティアについては、東京2020大会のレガシーでもあるボランティアポータルサイト「チームF U J I S A W A 2 0 2 0」等を活用し、広く募集することで市民参加を促していく。

【市の策定する計画や条例との整合性】

ねんりんピックという全国的な規模の大会を開催することで、市内外をはじめ県外からも多くの参加者や観客が訪れることが期待される。その結果、スポーツ推進計画で掲げる目標の1つである「まちのにぎわい創出」に繋がる。

【将来にわたる効果及び費用】

当該事業を実施することで、スポーツ推進計画に掲げる高齢者の健康増進が推進されるとともに、全国から大会に多くの選手・関係者が来藤されることから、観光など経済における効果も期待される。

【事業概要】

「ねんりんピックかながわ2022」が開催されるにあたり、令和3年度から実行委員会を組織し、機運を高めるためのPR活動を行うとともに、ゲートボール及びソフトバレーボールの各交流大会を開催する。

【大会スケジュール】

総合開会式	令和4年11月12日（土）横浜アリーナ
交流大会開催日	11月13日（日）・14日（月）県立スポーツセンター（善行） ゲートボール・ソフトバレーボール
総合閉会式	11月15日（火）横須賀芸術劇場

【近年の開催状況】

令和2年度	岐阜県（新型コロナウイルス感染症の影響で翌年度に延期）
令和3年度	岐阜県（新型コロナウイルス感染症の影響で令和7年度に延期）
令和4年度	神奈川県
令和5年度	愛媛県
令和6年度	鳥取県

1. ねんりんピックかながわ2022 藤沢市実行委員会に対する負担金 35,036 千円
- (1) 実行委員会管理運営費
(総会等の開催経費、事務局運営費等)
 - (2) 歓迎装飾費
(会場の歓迎装飾等)
 - (3) 交流大会開催費
(ゲートボール・ソフトバレーボール大会の開催に要する経費)
 - (4) 競技主管団体事業費
(競技主管団体開催準備補助金)



ねんりんピックリハーサル大会
(ゲートボール)



ねんりんピックリハーサル大会
(ソフトバレーボール)

教育費

事業名	スポーツ都市宣言推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 10	スポーツ推進課				
指針体系コード	5-5-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,802			0	0	3,802
令和3年度	99,842			50,200	46,820	2,822
対前年度	△ 96,040			△ 50,200	△ 46,820	980

<拡充事業> 藤沢市スポーツ都市宣言の理念のもと、スポーツ推進計画に位置付けた各施策の推進

【施策等を必要とする背景】

人生100年時代において、市民誰もが、生涯にわたってやりたいことが実現でき、健康で豊かな市民生活を送れるよう、健康増進施策並びにスポーツ施策を推進することが必要である。スポーツ都市宣言を制定することによって、スポーツ施策に明確な目標を持って取り組み、「健康寿命日本一の推進」をはじめ、施策の柱となる「スポーツ活動の充実」「共生社会の推進」「まちなぎわい創出」にかかる事業展開を進めることが必要となっている。

【提案に至るまでの経緯】

令和3年10月1日に藤沢市スポーツ都市宣言を制定し、その理念に基づき新たなスポーツ推進計画を策定することについて、令和3年9月及び12月の子ども文教常任委員会において報告した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

実施する事業については、その多くが広く市民を参加対象とするものであり、気軽に参加できる体験型のものから、専門性を追求した一定期間を要する教室型のものなど、多岐にわたる事業を実施していく。

【市の策定する計画や条例との整合性】

令和4年度からスタートを予定している「藤沢市スポーツ推進計画2029」は、藤沢市スポーツ都市宣言の内容を基本理念としており、この計画に基づきさまざまな事業を展開していく。

【将来にわたる効果及び費用】

東京2020大会等を契機とした市民のスポーツへの関心の高まりに応え、「藤沢市スポーツ推進計画2029」に基づく事業を展開していくことで、将来的に「まちなぎわいの創出、経済の活性化、地域交流の促進」等を生み出すことができる。

長期的な視点では、市民がスポーツに触れる機会が増えることで、本市が掲げる「健康寿命日本一の推進」にも繋がっていく。

【事業概要】

生涯にわたって健康で豊かなスポーツライフを実現するため、「健康寿命日本一の推進」「スポーツ活動の充実」「共生社会の推進」「まちのにぎわい創出」を目標とする藤沢市スポーツ都市宣言の理念のもと、スポーツ推進計画に位置付けた各施策を推進する。

そして、本市がスポーツを楽しむ市民であふれ、生き生きとしたにぎわい豊かなまちになるよう、【する・観る・支える】スポーツに関する各種事業を実施する。

1. 都市宣言総合推進事業 1,926 千円
 - (1) 「健康寿命日本一の推進」に向けた事業
子どもや高齢者などの体を動かす習慣、体力向上につなげるきっかけづくり、体を動かす機会を提供することなどを目的に、楽しみながら健康・体力づくりにつなげるイベントを開催する。
 - (2) 「スポーツ活動の充実」に向けた事業
競技スポーツの特性、競技性などを知る機会として、また、スポーツ離れが進む若年層に競技種目への適性を知る機会や魅力を発信するイベントを開催する。
 - (3) 「共生社会の推進」に向けた事業
東京2020大会で注目されたパラスポーツを体験するとともに、障がい者のスポーツ活動をサポートするボランティアの体験など、藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会と連携したイベントを開催する。
 - (4) 「まちのにぎわい創出」に向けた事業
プロスポーツチームと連携し、トップアスリートによるエキシビジョン、チームや競技の魅力発信を行うことで、地域の一体感や交流を生み出し、地域の活性化に繋げる。
また、アーバンスポーツの体験、親しむ上でのマナーやモラルを啓発するイベントを開催する。
2. スポーツシンポジウム開催事業 500 千円

スポーツ都市宣言を契機に設立された、本市の生涯スポーツ・地域スポーツの推進を担う「藤沢市スポーツ連盟」と連携し、多角的な視点でスポーツを「する」きっかけとなるような知見を得るためのシンポジウムを、オリンピックやパラリンピアンなどをパネリストとして招き、開催する。
3. インクルーシブスポーツ推進事業 1,376 千円

多様な障がい者スポーツ活動を「支える」スポーツボランティアや指導者の人材育成など、インクルーシブスポーツを推進する総合講座を実施する。



藤沢市スポーツ都市宣言記念碑

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 03 説明 01			スポーツ推進課		
指針体系コード	まちづくりテーマ					
	重点施策名					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	45,940		3,984		4,955	37,001
令和3年度	43,901		6,803		5,800	31,298
対前年度	2,039		△ 2,819		△ 845	5,703
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				3,984
	(その他)	スポーツ振興基金繰入金				4,955

【事業概要】

スポーツ推進計画に基づき、「健康寿命日本一の推進」「スポーツ活動の充実」「共生社会の推進」「まちのにぎわい創出」をめざし、競技スポーツ・生涯スポーツ活動を通じた市民の健康増進・体力向上を図るため、(公財)藤沢市みらい創造財団へ各種スポーツ関係事業の実施を委託する。

1. スポーツ事業業務委託 45,940 千円

- (1) 「健康寿命日本一の推進」に向けた事業
 - ・「おはよう！キュンとするまち。藤沢ラジオ体操2022」の開催
 - ・健康、体力づくりに関連する各種イベント等の開催支援
- (2) 「スポーツ活動の充実」に向けた事業
 - ・湘南藤沢市民マラソン大会の開催支援
 - ・藤沢市駅伝競走大会の開催
 - ・市民参加型スポーツ大会等の開催
 - ・ビーチレクリエーションゾーンの管理運営
 - ・スポーツ施設マップの作成
- (3) 「共生社会の推進」に向けた事業
 - ・パラスポーツフェスタ2022の開催支援
 - ・スポーツ栄養講座等の開催
 - ・藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会と連携したふじさわボッチャ競技大会をはじめとする各種イベントの開催
- (4) 「まちのにぎわい創出」に向けた事業
 - ・ふじさわセーリングフェスタ2022の開催
 - ・ビーチバレー中学生県大会、全国大会及びビーチバレージャパンの開催支援



ふじさわセーリングフェスタ2021



おはよう！キュンとするまち。藤沢ラジオ体操2021

北部第二（三地区）土地区画整理事業費

事業名	北部第二（三地区）土地区画整理事業費					
予算科目	款 項 目 細目 説明			北部区画整理事務所		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,732,390	203,500	67,500	549,400	1,516,940	395,050
令和3年度	2,570,821	403,000	180,000	367,000	1,319,771	301,050
対前年度	161,569	△ 199,500	△ 112,500	182,400	197,169	94,000
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				203,500
	(県支出金)	都市計画事業費補助金				67,500
	(地方債)	都市計画事業債				549,400
	(その他)	一般会計繰入金				1,516,940

【事業概要】

地区内住民の快適で良好な生活環境を確保するとともに産業の集積を進めるため、住宅と産業が共存できる土地利用を図り、都市計画道路等の整備による交通体系の確立、公園・下水道等の都市基盤の整備による健全な市街地を形成する。

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|------------|
| 1. 業務委託費 | | 504,953 千円 |
| 測量管理委託、建物等調査委託、埋蔵文化財確認調査委託等 | | |
| 2. 工事費 | | 444,640 千円 |
| 街路築造工事 | 1,724 m | |
| 宅盤造成工事 | 22,808 m ² | |
| 3. 補償費 | | 883,900 千円 |
| 建物移転 | 21戸 27棟 | |
| 用地補償 | 15.5 ha | |
| 4. 工事負担金 | | 208,490 千円 |
| 給水管移設 | φ100/L=1,504.5 m
φ150/L=84.5 m | |
| 東電柱等移設 | 電柱移設等 N=11本 | |
| 下水道事業受益者負担金 | 下水道を使用開始している宅地に対する受益者負担金 | |
| 5. 補修費 | | 42,500 千円 |
| 舗装修繕、道路構造物修繕等 | | |
| 6. 事務費 | | 218,670 千円 |
| 給与費、審議会運営費、一般事務費 | | |
| 7. 公債費 | | 429,137 千円 |
| 公債費内訳 | 元金 | 414,006 千円 |
| | 利子 | 13,851 千円 |
| | 一時借入金利子 | 1,280 千円 |
| 8. 予備費 | | 100 千円 |

墓園事業費

事業名	墓園事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	福祉総務課
指針体系コード	4-1-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	600,117				167,425	432,692
令和3年度	630,355				192,574	437,781
対前年度	△ 30,238				△ 25,149	△ 5,089
特定財源の内訳	(その他)	墓園基金繰入金				155,744
		カロート実費収入				10,923
		利子及び配当金				258
		墓地使用許可証再交付等手数料				500

【事業概要】

緑豊かで快適に利用できる公園墓地として大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理を行うとともに、墓地の貸付業務等を行い、墓地需要への対応を図る。

1. 墓園管理費 340,939 千円
 公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理に要する経費
 (主な経費)
 - 墓園墓所管理等業務委託 42,578 千円
 - 園内清掃等業務委託 52,854 千円
 - 機械警備業務委託 198 千円
 - 自家用電気工作物保安管理業務委託 459 千円
 - 管理業務委託 (A区、B区、C区、D区) 185,416 千円
 - 墓地管理料納入通知書封入封緘業務委託 373 千円
 - 普通墓地測量業務委託 3,058 千円
 - 光熱水費 (電気・上下水道代) 6,110 千円

2. 墓園事業費 65,390 千円
 - (1) 貸付事務費 7,145 千円
 墓所使用者募集及び貸付事務、電算機器の賃借料等に要する経費
 大庭台墓園管理システム機器賃借料等

 - (2) 工事費 58,245 千円
 大庭台墓園の環境整備を図るための経費
 - 外周フェンス改修工事 5,808 千円
 - 芝生墓地カロート設置工事 10,923 千円
 - 高圧線改修工事 30,426 千円
 - 立体墓地再整備設計委託 11,088 千円

3. 基金積立金 190,438 千円
 大庭台墓園基金条例第2条及び第4条に基づく基金積立金及び積立金利子

4. 諸支出金 2,850 千円
 墓地永代使用料等還付金

5. 予備費 500 千円

国民健康保険事業費

事業名	国民健康保険事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	保険年金課・健康づくり課
指針体系コード				まちづくりテーマ		
				重点施策名		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	38,663,961	1,000	26,463,203		3,357,773	8,841,985
令和3年度	38,061,874	1,000	26,249,498		3,328,358	8,483,018
対前年度	602,087	0	213,705		29,415	358,967
特定財源の内訳	(国庫支出金)	災害臨時特例補助金				1,000
	(県支出金)	保険給付費等交付金				26,463,203
	(その他)	利子及び配当金				300
		一般会計繰入金				3,072,571
		国民健康保険事業運営基金繰入金				284,902

【事業概要】

国民健康保険法に基づき、藤沢市国民健康保険加入者を対象に、健康の保持増進と生活の安定を図るため、療養の給付や療養費・高額療養費・出産育児一時金・葬祭費等の保険給付事業や特定健康診査、特定保健指導等の保健事業等を行う。

1. 被保険者数 81,000人 (28,000人)
 (1) 一般被保険者 81,000人 (28,000人)
 (2) 退職被保険者 0人 (0人)
 ※ () 内は介護保険第2号被保険者数

2. 加入世帯数 54,000世帯 (24,000世帯)
 (1) 一般被保険者 54,000世帯 (24,000世帯)
 (2) 退職被保険者 0世帯 (0世帯)
 ※ () 内は介護保険第2号被保険者の属する世帯数

3. 保険料賦課現年度内訳 (※後期分＝後期高齢者支援金分)

一般被保険者分							(千円)
	所得割	均等割	平等割	軽減見込額	調定見込額	収納率	予算計上額
医療分	3,577,165	1,980,216	830,413	673,015	5,714,779	90.0%	5,143,301
介護分	607,277	336,172	140,975	90,684	993,740	90.0%	894,366
後期分	1,475,364	816,720	342,495	280,099	2,354,480	90.0%	2,119,032

被保険者1人当たり現年度調定見込額 医療分 70,553円
 介護分 35,491円
 後期分 29,068円

介護保険事業費

事業名	介護保険事業費					
予算科目	款	項目	細目	説明	介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課	
指針体系コード	2-1-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる	重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進	
指針体系コード	2-2-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる	重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	31,816,763	6,830,702	4,444,192		13,331,058	7,210,811
令和3年度	30,339,205	6,506,602	4,244,245		12,638,429	6,949,929
対前年度	1,477,558	324,100	199,947		692,629	260,882
主な特定財源の内訳	(国庫支出金)	介護給付費負担金				5,235,871
	(県支出金)	介護給付費負担金				4,144,628
	(その他)	介護給付費交付金				7,793,031
		一般会計繰入金				5,078,399

【事業概要】

介護保険法に基づき、介護保険事業の円滑な運営を図るため、被保険者の資格管理及び保険料の賦課徴収並びに介護認定の審査を実施し、要介護（要支援）認定を受けた人に対して、介護（予防）サービスを提供する。また、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた取組の一つとして、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）をはじめとする地域支援事業を実施し、介護予防を進めるとともに、高齢者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援の充実を図る。さらに、窓口業務等協働事業における実施設計等の準備委託を実施した業務について、市民サービスの維持・向上が見込まれるため、民間事業者との協働事業（業務委託）として実施する。

1. 対象者

(単位：人)

区分	人数	うち要介護者等
第1号被保険者	111,073	20,833
第2号被保険者	158,107	485
被保険者合計	269,180	21,318

要介護者等は、第1号被保険者のうち65歳以上で介護や支援が必要な人及び第2号被保険者のうち40歳以上65歳未満で特定疾病により、介護や支援が必要な人

2. 第1号被保険者保険料賦課総額 7,192,467 千円
 保険料基準額（年額） 66,000円（5,500円×12月）

3. 保険給付費の総額（主なサービス費） 28,885,475 千円
 (1) 居宅介護サービス給付費 14,397,536 千円
 (2) 地域密着型介護サービス給付費 4,408,876 千円
 (3) 施設介護サービス給付費 7,694,700 千円
 (4) 介護予防サービス給付費 911,487 千円
 (5) 地域密着型介護予防サービス給付費 45,903 千円

4. 地域支援事業費の総額 2,100,416 千円

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業（主な事業）

要支援認定を受けた人及び基本チェックリストにより事業対象者に該当した人に対し、介護予防・生活支援サービス事業を実施するとともに、すべての第1号被保険者等を対象に一般介護予防事業を行う。

ア 介護予防ケアマネジメント費（介護予防・生活支援サービス事業）

179,175 千円

イ 訪問型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

392,949 千円

ウ 通所型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

885,626 千円

- エ 一般介護予防事業費（一般介護予防事業） 27,224 千円
介護予防や健康増進についての啓発を行うとともに、地域での介護予防に資する活動に対して支援を行う。
- オ いきいきパートナー事業費（一般介護予防事業） 2,970 千円
福祉施設等におけるボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じた支援金を交付する。
- カ 地域ささえあいセンター運営事業費（一般介護予防事業） 10,500 千円
高齢者の生きがいづくりや多世代交流などを推進する藤沢市地域ささえあいセンターの運営経費を助成する。

(2) 包括的支援事業（主な事業）

- ア 包括的支援事業費 480,049 千円
高齢者への包括的な支援を行う地域包括支援センターの設置・運営を行う。
- イ 認知症総合支援事業費 2,144 千円
認知症の人及びその家族に対する早期支援等、認知症施策を推進する。
- ウ 生活支援体制整備事業費 51,303 千円
ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進するための協議体を設置する。
また、総合事業の多様な担い手を養成するための研修会を実施する。
- エ 在宅医療・介護連携推進事業費 10,886 千円
在宅医療推進会議の開催、多職種研修会や在宅医療拠点運営事業を行う。
- オ 地域ケア会議運営事業費 3,238 千円
多職種協働による事例検討や地域課題を共有するため、地域ケア会議を開催する。

(3) 任意事業（主な事業）

- ア 介護給付費等適正化事業費 10,619 千円
介護保険サービス利用者への介護給付費の通知のほか、ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアマネジャー等に対する支援及びケアプラン点検を実施するとともに、リハビリテーション専門職による住宅改修及び福祉用具貸与点検を実施する。
- イ 介護サービス相談員派遣事業費 4,974 千円
介護保険サービス利用者の日々の生活での不安や疑問等に対応するため、介護保険施設等に介護サービス相談員を派遣する。
- ウ 成年後見制度利用支援事業費 25,952 千円
判断能力が十分でない認知症高齢者等の権利を守るため、成年後見制度利用のための相談支援や市長申立てによる審判請求、制度の普及啓発事業を行う。
- エ 家族介護者教室事業費 2,046 千円
高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場として、家族介護者教室を開催する。
- オ 認知症サポーター養成事業費 567 千円
認知症を正しく理解し、偏見を持たず、地域において認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。

(括) 5. 窓口業務等協働事業業務委託 177,808 千円

各種申請受付事務、当該申請に係るシステム入力などの補助的業務及び電話対応、運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新、月次及び年次報告書の作成、モニタリング指標の測定、内部監査の実施を行う。

なお、令和4年度については、令和3年度に行った実施設計等を踏まえ、実施済みの認定担当業務のほか、総務・給付担当業務及び資格・保険料担当業務も含めて協働事業として実施する。

後期高齢者医療事業費

事業名	後期高齢者医療事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	保険年金課
指針体系コード				まちづくりテーマ		
				重点施策名		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,014,271				7,014,271	
令和3年度	6,577,432				6,577,432	
対前年度	436,839				436,839	
特定財源の内訳	(その他)	後期高齢者医療保険料・延滞金				6,125,269
		保険基盤安定繰入金				798,283
		運営費繰入金				70,319
		保険料還付金・還付加算金				20,400

【事業概要】

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上の者及び65歳から74歳までの一定の障がいのある後期高齢者医療制度加入者を対象に医療給付等を実施し、後期高齢者の福祉の増進を図る。事業は神奈川県後期高齢者医療広域連合が主体となっていくが、市町村事務として各種申請受付及び保険料の徴収を行う。

1. 被保険者数 59,033 人
2. 総務費 68,319 千円
 - (内訳) 給与費 36,436 千円
 - 一般管理運営費 13,466 千円
 - 徴収費 18,417 千円
3. 後期高齢者医療広域連合納付金 6,923,552 千円
徴収した保険料及び保険基盤安定制度拠出金を神奈川県後期高齢者医療広域連合へ納付する。
4. 諸支出金 20,400 千円
過年度に徴収した保険料が過誤納になった場合に返還する。
5. 予備費 2,000 千円

下水道事業費

事業名	下水道事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	下水道総務課 ほか3課
指針体系コード	5-1-81	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	19,857,442	709,510		2,487,800	4,458,107	12,202,025
令和3年度	19,937,416	648,497		2,992,700	4,322,901	11,973,318
対前年度	△79,974	61,013		△504,900	135,206	228,707
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				709,510
	(地方債)	公共下水道債				2,481,500
		流域下水道債				6,300
	(その他)	一般会計負担金				4,347,581
一般会計出資金				110,526		

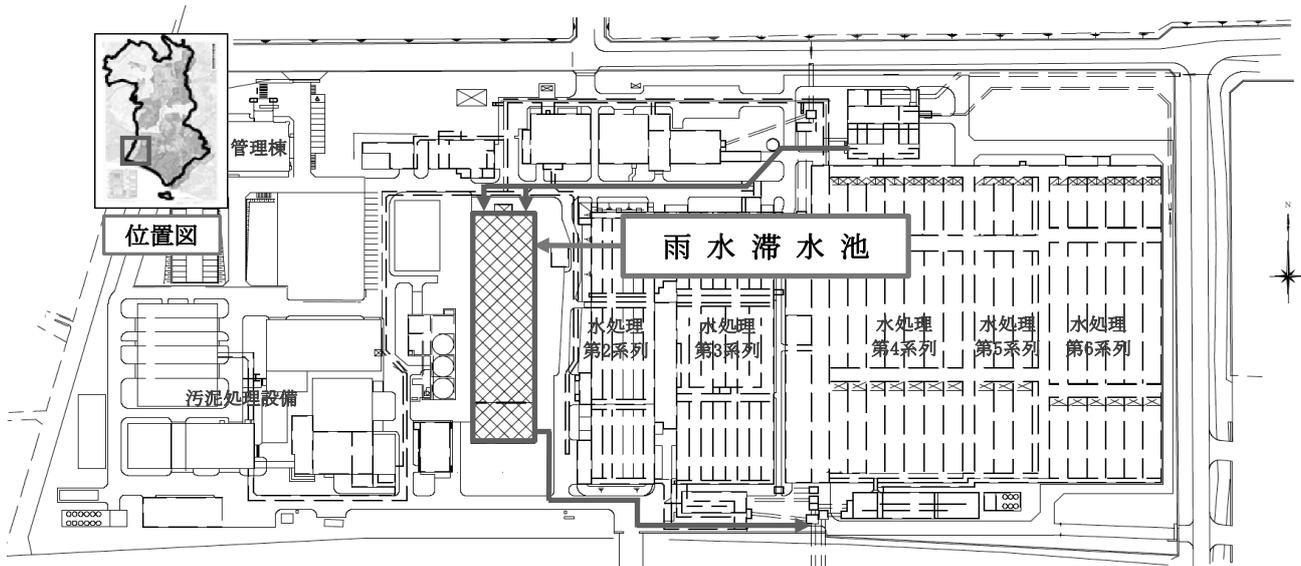
【事業概要】

市民が健康で安全かつ快適な生活を送れるよう、雨水の排除による浸水の防除、生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全を図るため、下水道の整備及び維持管理を行う。

また、安全で安定した下水道サービスの確保、継続的な経営改善と経営基盤の強化を図るため、令和5年度のアセットマネジメント運用に向けた段階的な導入作業を進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査及び修繕・改築工事を行う。

1. 収益的支出の主な事業 12,266,533 千円
 - (1) 管渠維持管理事業 1,132,472 千円
 下水道管路の点検・調査（延長300km）及び浚渫清掃等業務委託、管渠・取付管及びマンホール蓋の修繕、ストックマネジメント計画実施に伴う管路調査・診断委託ほか
 - (2) ポンプ場維持管理事業 1,150,927 千円
 ポンプ場15カ所等の維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、ストックマネジメント計画実施に伴う点検・調査ほか
 - (3) 浄化センター維持管理事業 2,997,999 千円
 辻堂及び大清水浄化センターの維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、ストックマネジメント計画実施に伴う点検・調査ほか
 - (4) 水洗便所普及促進事業 22,383 千円
 「下水道の日」作品コンクールなどの下水道PR活動、水洗化促進
 令和4年度末見込み 水洗化率 98.5%
 - (5) 減価償却費、支払利息等 6,962,752 千円
2. 資本的支出の主な事業 7,590,909 千円
 - (1) 南部処理区管渠建設事業 905,087 千円
 辻堂南部放流管渠築造工事（その4）（令和3年度～令和5年度）
 合流管路（新設）延長136m
 辻堂南部放流管流入管渠築造工事（令和4年度～令和5年度）
 合流管路（新設）延長29mほか
 - (2) 東部処理区管渠建設事業 553,873 千円
 円行第二排水区雨水管渠築造工事（令和3年度～令和4年度）
 雨水管路（新設）延長153m
 西俣野地内管渠更生工事
 汚水管路（改築）延長138mほか

- (3) 南部処理区ポンプ場建設事業 388,811 千円
 大庭ポンプ場沈砂池設備改築機械工事（令和3年度～令和4年度）
 大庭ポンプ場負荷設備他改築電気工事（令和3年度～令和4年度）ほか
- (4) 東部処理区ポンプ場建設事業 1,681 千円
 スtockマネジメントデータベース（施設）等運用規則整理業務委託
- (5) 辻堂浄化センター建設事業 1,183,770 千円
 雨水滞水池建設工事委託、雨水滞水池機械電気等工事委託ほか
- (6) 大清水浄化センター建設事業 226,741 千円
 管理棟受変電設備他改築工事（令和3年度～令和4年度）ほか
- (7) 新市街地下水道建設事業 274,871 千円
 土地区画整理事業施行区域における汚水及び雨水管渠築造工事
 北部第二（三地区） 汚水管路（新設）延長 1,317m
 雨水管路（新設）延長 1,236m
- (8) 相模川流域下水道建設事業 246,290 千円
 宮原地内汚水管渠築造工事 汚水管路（新設）延長221mほか
- (9) 水洗便所普及促進事業（貸付金） 5,500 千円
 水洗便所改造等工事資金の貸付
 水洗便所改造等資金貸付金 10件 区域外水洗便所改造等資金貸付金 1件
- (10) 企業債償還金等 3,804,285 千円



辻堂浄化センター 雨水滞水池 完成予定平面図



「下水道の日」作品コンクール 優秀作品の展示

市民病院事業

事業名	市民病院事業					
予算科目	款	項	目	細目	説明	病院総務課
指針体系コード				まちづくりテーマ		
				重点施策名		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	24,084,899	14,572	83,125	249,900	1,764,147	21,973,155
令和3年度	23,370,646	14,968	84,405	141,100	1,676,860	21,453,313
対前年度	714,253	△396	△1,280	108,800	87,287	519,842
特定財源の内訳	(国庫支出金)	臨床研修費等補助金				14,572
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (小児救急医療拠点病院運営事業)				46,227
		地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (産科医師等分娩手当補助事業)				1,806
		地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (新人看護職員職場内研修事業費補助事業)				1,175
		がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金				6,104
		感染症指定医療機関運営費補助金				8,196
		周産期救急医療事業費補助金				19,617
		(地方債)	医療器械購入事業債			
	(その他)	一般会計負担金				1,672,287
		一般会計補助金				91,860

【事業概要】

高度急性期・急性期医療を担う地域の基幹病院として、患者が安心して受けられる医療を提供し、次の役割を果たしながら医療の質を高め、地域全体で治し支える地域完結型の医療をめざす。

- ・湘南東部二次保健医療圏の地域医療支援病院として、地域医療機関との機能分担・連携を推進し、地域医療の向上に積極的に取り組む。
- ・救命救急センターとして、重症及び重篤な患者の受け入れをはじめ、24時間にわたり高度な救急医療を提供する。
- ・小児救急医療拠点病院として、小児科二次救急及び夜間等空白時間帯の初期診療など24時間にわたり小児救急医療を提供する。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供するとともに、地域医療機関と連携して質の高い医療体制を確保する。
- ・周産期救急医療中核病院として、ハイリスクな出産に対する医療を提供するとともに、より安心した出産ができるよう施設環境の整備に取り組む。
- ・新型コロナウイルス感染症に対して、「神奈川モデル」の高度医療機関及び重点医療機関協力病院等として、感染状況のフェーズに応じた病床を確保し、重症・中等症の患者を中心に治療を行う。

1. 収益的支出の事業 22,690,006 千円

(1) 病院運営事業 22,543,632 千円

入院診療では主に急性期患者を対象とした診療、外来診療では地域医療機関からの紹介予約制に基づく専門外来での診療及び救急外来における24時間体制での診療による病院運営を行う。

（２）特別損失 過年度損益修正損	146,374 千円
2. 資本的支出の事業	1,394,893 千円
（１）医療総合情報システム整備事業 医療総合情報システムの老朽化に伴う端末機器更新及び無停電電源設備の更新を行う。	111,520 千円
（２）その他施設整備事業 産科病棟において出産後の母児が同室で過ごすことができる環境を提供するため、機器設置工事等を行う。	27,500 千円
（３）医療器械等購入事業 診断や治療機能の維持向上を図り、質の高い医療サービスを提供するため、生体情報モニターや白内障手術装置をはじめとした医療器械・備品の導入及び更新を行う。	577,379 千円
（４）企業債償還金等 建設改良事業の財源に充てるために借り入れた企業債の償還等を行う。	678,494 千円